トヨタ自動車株式会社

47の素敵な街へ 一緒に行きましょう！

トヨタ純正 HDD ナビゲーション ■ 型番: NHZD-W62G

AKB48 Team 8 ナビ

取扱書

お買い上げいただきありがとうございました。ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。本書は紛失しないように車の中に保管してください。

この取扱書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

取り扱い上のご注意

測位状態が安定してから走行することをおすすめします。

- 測位状態が不十分なときに走り出すと、自車位置がずれる場合がありますので、GPSマークが表示されてから走行することをおすすめします。

※本書の画面と実際の画面は、地図データの作成時期・種類などによって異なることがあります。

- 製品に添付されている各種取扱書や保証書などは必ずお読みください。
  これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

本書はやさしく取り扱ってください。
無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

AKB48 Team 8 ナビについて

2〜5ページにAKB48 Team 8 ナビについて説明しています。各機能の操作説明ページと合わせてよくお読みください。

知っておいていただきたいこと

- 本書で説明している販売店装着オプションや機能は、車種により一部対応していないことがあります。詳しくは販売店にご相談ください。
- 液晶画面に保護フィルム（保護フィルター）等を貼り付けないでください。
  タッチスイッチが正常に操作できなくなります。

CONTENTS

目次

詳細目次については、それぞれの章をご覧ください。

AKB48 Team 8 ナビについて 2
スマートフォンをご利用の方へ 6
はじめてナビをお使いいただく方へ 10

はじめに 13
ナビゲーションシステムの操作 19
GPSボイスナビゲーション 65
オーディオ&ビジュアル 209
スマートフォン連携機能 333
音声操作システム 347
情報 363
周辺モニター 367
ETCシステム／ITSスポットサービス（DSRC） 425
ハンズフリーを使う 433
G-BOOKオンラインサービス 473
smart G-BOOK ARPEGGiO 569
ご参考に 587

AKB48 Team 8 ナビについて

AKB48 Team 8 ナビでは、AKB48 Team 8 をイメージしたオリジナルの画面や、メンバーによる音声案内をお楽しみいただけます（一部の機能では、対応していません）。

専用オープニング画面

ナビゲーションの電源を ON したときに表示されるオープニング画面に、AKB48 Team 8 を採用しました。オープニング画面の設定については、54 ページを参照ください。

メニュー画面、目的地設定画面

メニュー画面

目的地設定画面

メニュー画面や目的地設定画面に AKB48 Team 8 テイストのデザインを採用しました。本書の説明で使用しているメニュー画面および目的地画面のテイストは、AKB48 Team 8 です。その他のテイストは、リアリティです。画面のテイスト変更については、55 ページを参照ください。

メンバー選択

音声案内をするメンバーは、AKB48 Team 8 のメンバーから選択できます。日直モードに設定すると、日替わりで 47 名のメンバーを楽しむことができます。メンバーの選択については、50 ページを参照ください。

メンバー選択画面

AKB48 Team 8 ナビについて

音声案内

AKB48 Team 8 のメンバーによる、個性豊かな音声案内をお楽しみいただけます。

音声案内の例

＜メンバー選択＞
「AKB48 Team 8 ○○代表の○○○○です。私がご案内します。一緒にドライブ楽しもうね。」

＜ハートフル音声＞
「お帰りなさい。ご案内は○○○○でした。また選んでくださいね。」
「AKB48 Team 8 ○○代表の○○○○です。私が一生懸命ナビします。一緒に楽しいドライブにしようね。」
「今日は 4 月 3 日 Team 8 結成記念日です。これからも頑張るので、応援宜しくお願いします。」

＜音声案内の音量変更＞
「この大きさで、しゃべるね。」

＜メンテナンスの案内＞
「は〜い！お知らせがあります。」

＜携帯電話忘れ案内＞
「あれ〜？携帯電話が接続出来てないよ。携帯電話忘れてない？」

＜目的地案内の開始＞
「じゃあ､私○○○○がご案内します。実際の交通規制に従って走行して下さい。」

＜交差点案内＞
「右（左）に曲がってね。」

＜県境案内＞
「東京都に入りました。日本の首都だよ。時間があったら秋葉原にも遊びに来てね。スカイツリー見えるかな。」

＜目的地到着案内＞
「目的地は右(左)側です。一緒にドライブできてすごく楽しかったよ。ありがとう。」

＜学校存在案内＞
「近くに学校があるから、気を付けて走ってね。」

＜一時停止案内＞
「この先、止まれがあるよ。」

AKB48 Team 8 による一部の音声案内は、案内の設定を「する」にしているときのみ、出力されます。
該当音声案内の概要説明と設定変更方法については、下記の表をご覧ください。

音声の種類	音声案内の概要説明 参照ページ	設定変更方法 参照ページ
メンバー選択	50	–
ハートフル音声	99	165
音声案内の音量変更	98	–
メンテナンスの案内	169	171
携帯電話忘れ案内	320,443	472
目的地案内の開始	125	–
交差点案内	126	–
県境案内	94	165
目的地到着案内	127	–
学校存在案内	90	167
一時停止案内	86	167

知っておいていただきたいこと

AKB48 Team 8 メンバーのセリフは、運転を楽しんでいただくための演出です。

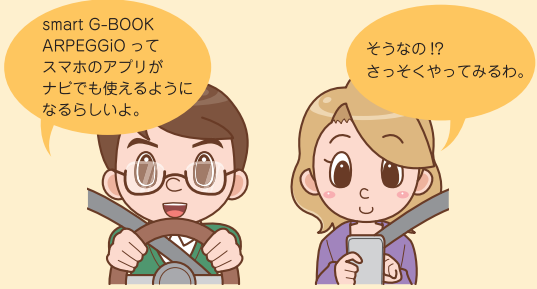
スマートフォンをご利用の方へ

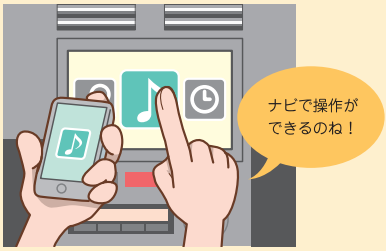
スマートフォンを使って、もっとナビゲーションを活用しませんか？
本機には４つのスマートフォン連携アプリをご用意しています。
使い方にあったアプリをぜひ試してみてください。

smart G-BOOK ARPEGGiO

P.339

ＳＮＳやニュースなど、
普段スマートフォンで使っている
コンテンツがナビで利用できる
サービスアプリ





主な機能

インターネットの情報からお店を検索しそのまま目的地に設定できるローカルサーチ、
スマートフォンの中の音楽がナビから楽しめる Musicplayer、SNS と連携したチェックイン
機能など、普段ご利用されているスマートフォンのアプリがナビで操作することができます。

スマートフォンと同じコンテンツをナビでも使ってみよう

NaviCon

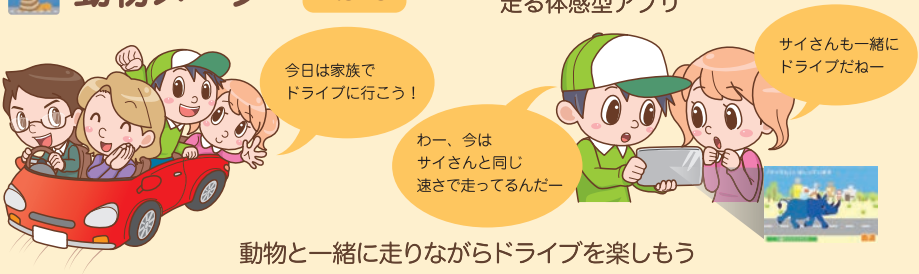
P.341

スマートフォンから地図の操作や
目的地設定ができるナビ操作アプリ
他のグルメアプリとも連携しています

Web サイトやグルメアプリで見つけたお店を目的地に設定しよう

動物メータ P.343

車の速度にあわせて動物が一緒に
走る体感型アプリ



動物と一緒に走りながらドライブを楽しもう

オーディオリモコン P.345

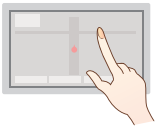
ナビのオーディオを
操作できるリモコンアプリ

スマートフォンを操作して音楽を楽しもう

ご利用いただくにはスマートフォンへアプリのダウンロードが必要です。
ダウンロードの方法は 334 ページをご覧ください。
対応スマートフォンに関しては、http//toyota.jp/ をご確認ください。

ナビゲーションの基本操作

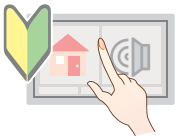
パネルを操作する



本機はパネルスイッチとタッチスイッチを直接タッチして操作します。ナビを操作する前に、パネルスイッチとタッチスイッチについて説明します。

詳しくは 24 ページをご覧ください。

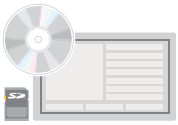
初期設定をする



初めて本機を起動したときに設定します。最初に設定しておくと便利な自宅登録や案内音量などが設定できます。

詳しくは 56 ページをご覧ください。

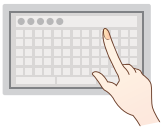
メディアの出し方・入れ方



CDやDVD・SDメモリーカードの出し方・入れ方を説明します。メディアの再生や、データの追加ができます。

詳しくは 30 ページをご覧ください。

文字を入力する



場所や音楽のタイトル情報を登録するときに、文字を入力することができます。漢字やひらがなの他にも、数字や英語も入力できます。

詳しくは 36 ページをご覧ください。

地図画面の基本操作

地図の見方は 69 ページをご覧ください。
地図画面では下図のような操作をすることができます。詳細は各参照ページをご覧ください。

場所を登録する

覚えておきたい場所を登録したい P.148
登録した場所を変更したい P.149
登録した場所を削除したい P.149

ナビゲーションを使う –目的地へ行く–

地図画面を表示します。

画面外の MAP にタッチします。

STEP 1

目的地を探します。

画面外の MENU から右記の目的地の呼び出し方法を選んでください。

STEP 2

目的地を決定します。

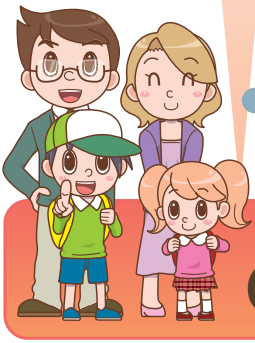
目的地セット にタッチします。

STEP 3

案内を開始します。

案内開始 にタッチします。

STEP 4



目的地に到着!

GOAL

目的地の呼び出し方法を選ぶ

名称	104 ページ
住所	108 ページ
施設	108 ページ
電話番号	109 ページ
WEB	501 ページ
メモリ地点	145 ページ
ジャンル	110 ページ
Gで設定	499 ページ
先程の地図	101 ページ
マップコード	111 ページ
特別メモリ 1 ～ 5	147 ページ
地点を受信※	111 ページ
履歴	112 ページ
自宅に帰る	146 ページ

※ 携帯連携機能のサービスは終了しています。

ルートを変更したい、目的地を追加したい

目的地を追加したい	139 ページ
通過点を指定したい	142 ページ
乗降ICを指定したい	141 ページ
探索条件を変更したい	138 ページ
スマートICを考慮したい	141 ページ
5ルートから選びたい	124 ページ

オーディオを使う

STEP 1
オーディオ画面を表示します。
画面外の AV にタッチします。

STEP 2
オーディオを選択します。
お好みのオーディオにタッチします。

STEP 3
音量を調節します。
画面外の ± にタッチします。

STEP 4
音質を調節します。
音設定 にタッチします。

オーディオを楽しむ!
GOAL

各オーディオの操作方法

P.219 AM FM ラジオ
P.339 Apps ARPEGGiO
P.223 DISC CDまたはDVD
P.253 HDD HDD
P.295,301 USB iPod USB/iPod
P.311 BT ポータブルオーディオプレイヤー
P.309 VTR VTR
P.274 TV デジタルテレビ
P.249 SD SDメモリーカード

メディアの出し方・入れ方 ▶30 ページ

音質を調整する

イコライザカーブ → 216 ページ
あらかじめ設定されているイコライザカーブを調整したり、お好みのイコライザカーブを作成できます。

音量バランス → 217 ページ
前後、左右の音量バランスを調整することができます。

サラウンド設定 → 217 ページ
音楽信号に処理をかけて、音楽や映画などに適した設定ができます。

音質を向上する → 218 ページ
最適なリスニング音で心地よい音楽を楽しめる設定ができます。

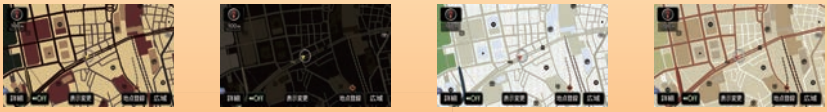
ナビをカスタマイズする

本機では、気分やお好みにあわせてナビをカスタマイズする機能があります。
カスタマイズの機能を活用して自分好みのナビ画面でお楽しみください。

インテリアマップ

設定方法は 94 ページをご覧ください。

地図色を車室内のインテリアの色にあわせて切り替えることができます。
色は4種類から選ぶことができます。
目的地案内を開始すると、自動で通常の地図色に切り替わります。



アカウント de カスタマイズ

設定方法は 60 ページをご覧ください。

お客様に合わせて、目的地設定画面や情報画面のデザインを記憶させておくことができます（3ユーザ分）。

カスタマイズ可能なよく使う機能

● 車載機の設定	テイスト切替の設定	P.55
	ショートカットの設定	P.54
● GPSボイスナビゲーションカスタマイズ	地図表示モードの設定	P.76~82
	地図の表示色の設定	P.80
	接続するスマートフォン	P.336
	スマートフォン連携の設定	P.337

音量調節、トラックバーを使う

音量調節バー

画面外の ± にタッチすると、音量調節バーが表示されます。

トラックバー

画面外の ⏭ にタッチすると、トラックバーが表示されます。

画面外のスイッチにタッチすると、音量調節バー（トラックバー）は消去します。（設定方法は 212 ページをご覧ください）

はじめに

01. 知っておいて
いただきたいこと 14
はじめに 14
GPSボイスナビゲーション 14
データの補償に関する免責事項 14
バッテリーの取りはずし 14
02. 本書の見方・表示 15
本書の見方 15
スイッチの表示 16
警告、注意、知識 16
セーフティーシンボル 16
その他の表示について 17

01 知っておいていただきたいこと

はじめに

1章の「ナビゲーションシステムの操作」には、本機について知っておいていただきたいこと、および各機能共通の操作内容がまとめられています。本機を初めてお使いになる際は、この章からお読みになることをおすすめします。

GPSボイスナビゲーション

GPSボイスナビゲーションは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

データの補償に関する免責事項

本機は各種データをハードディスクに保存します。本機の故障・修理、誤作動、または不具合等により、ハードディスクに保存されたデータ等が変化・消失することがあります。
お客様がハードディスクに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

バッテリーの取りはずし

本機はエンジンスイッチをOFF（LOCK）にするごとに、各種データをハードディスクに保存しています。各種データの保存が終わる前にバッテリーターミナルを取りはずすと、データが正常に保存できないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本製品は、T-Engineフォーラム（www.t-engine.org）のT-Licenseに基づきT-Kernelソースコードを利用しています。

02 本書の見方・表示

本書の見方

セクションタイトル
セクションタイトルを表示しています。

知識
知っておくと便利な情報を記載しています。

項目タイトル
項目ごとに No. とタイトルがつけられています。

操作タイトル
操作を行うことなどを記述しています。

概要説明
操作や機能の概要を説明しています。

主要操作
操作の手順を説明しています。

関連操作
主要操作の補足的な操作、応用操作を記載しています。

02 地図画面を操作する

地図の表示

》現在地を表示する

地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。

現在地以外の地図表示中、または地図以外を表示中

1 画面外の MAP にタッチ。

■現在地画面で、画面外の MAP にタッチすると、画面上部に現在地付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。

知識

▶走行中は表示される道路が制限されます。（幅5.5m 未満の道路などは表示されません。）ただし、幅5.5m 未満の道路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。（→**123**）

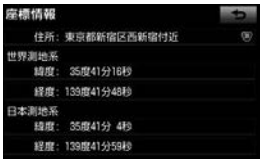
▶初めて車載機を起動したときやバッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車マークが表示されている（自車マークがずれている）ことがあります。ただし、地図の自車マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

▶GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→**162**）

▶以下のとき路線名・路線番号は表示されません。
- 地図データに情報がないとき
- 200m 図より広域な地図を表示しているとき

緯度経度の表示

現在地の緯度や経度を確認することができます。



スイッチの表示

	画面外のスイッチの名称を表示しています。 （ MAP ・ AV など）
	画面内のスイッチの名称を表示しています。 （ 広域 ・ 詳細 など）
	画面内のタブの名称を表示しています。 （ ナビ ・ オーディオ など）

警告、注意、知識

⚠警告

▶ここに記載されていることをお守りいただかないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。お客様自身と周囲の人々への危険を避けるため必ずお読みください。

⚠注意

▶ここに記載されていることをお守りいただかないと、お車や装備品の故障や破損につながるおそれや、正しい性能を確保できない場合があります。

知識

▶「知っておくと便利なこと」、「知っておいていただきたいこと」を記載しています。

セーフティーシンボル

	“してはいけません”“このようにしないでください”“このようなことを起こさないでください”という意味を表しています。

その他の表示について

(→000)	参照するページを表示しています。
★	接続可能なオプションです。

本書では、操作を開始する画面を表示するまでのガイドとして、下記のように記載しています。操作開始画面の表示方法がわからないときにご利用ください。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
メンテナンス ⇒ 項目設定 ⇒
メンテナンス画面

この場合は、次の操作を意味しています。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 画面内の 設定 にタッチ。

3 画面内の メンテナンス にタッチ。

4 画面内の 項目設定 にタッチ。

5 メンテナンス画面が表示される。
この画面から、操作を開始する。

ナビゲーションシステムの操作

01. ナビゲーションシステム 21
お使いになる前に 21
ナビゲーションシステムの機能 22
機能一覧 22
作動条件について 23
作動条件一覧 23
各部の名称とおもな働き 24
車載機のスイッチ 24
液晶画面について 25
電源を入れる・切る 25
電源を入れる・切る 25
メニュー画面 26
メニュー画面を表示する 26
ステアリングスイッチ 26
共通操作 26
オーディオの操作 27
スライドタッチ操作 28
スライドタッチ操作について 28
02. メディアについて 30
メディアについて 30
メディアの出し入れ 30
使用できるメディアについて 32
プレーヤーについて 35
文字情報の表示について 35
03. ソフトウェアキーボード 36
ソフトウェアキーボードを使う 36
入力画面の各スイッチを使う 36
ソフトウェアキーボードの
設定を変更する 41
ソフトウェアキーボードの
設定変更について 41
単語を編集する 41
定型文を修正する 42
入力履歴を削除する 43
予測変換候補の表示設定を変更する 43
04. リスト画面 44
リスト画面について 44
リスト画面を切り替える 44
文字の表示範囲を変更する 45
05. 画面の調整・設定について 46
画面の調整・設定を変更する 46
ディスプレイの角度を調整する 46
画質調整画面を表示する 46
画質を調整する 47
昼画表示・夜画表示について 47
手動で昼画表示にする 48
画面を消す 48
画面モードについて 49
06. ナビゲーションシステムの
設定 50
ナビゲーションシステムの
設定を変更する 50
ナビゲーションシステムの
設定変更について 50
メンバーを設定する 50
タッチしたときの応答音について 51
操作画面継続表示の設定を変更する 51
エアコン切替表示の設定を変更する 51
地図表示を切り替える 52
個人情報を初期化する 52
オープニング画面の設定 54
ショートカットを変更する 54
画面のテイストを変更する 55
トラックバー自動消去の設定を変更する ... 55
07. QUICK SETUP
（初期設定サポート） 56
QUICK SETUPで設定する 56
QUICK SETUPの使い方 56
08. セキュリティ 58
セキュリティを設定する 58
セキュリティの設定 58
09. アカウントdeカスタマイズ ... 60
ナビゲーションシステムの
設定を記憶する 60
アカウントde カスタマイズについて 60
記憶しておくことができる
設定項目について 60
10. アクセサリについて 62
アクセサリについて 62
アクセサリとは 62
アクセサリの種類について 62

アクセサリ画面 62
アクセサリー覧 63
アクセサリを確認する 64
アクセサリを配置する 64
アクセサリの情報を表示する 64

01 ナビゲーションシステム

お使いになる前に

⚠警告

▶安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

▶走行するときは、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートや、道幅が狭く通行できないルートが表示されることがあります。

⚠注 意

▶バッテリー上がりを防ぐため、エンジン停止中に長時間使用しないでください。

ナビゲーションシステムの機能

》機能一覧

モード	主な機能	ページ
共通	●QUICK SETUP ●セキュリティ ●アカウントdeカスタマイズ ●アクセサリ	56～64
GPS ボイス ナビゲーション	●現在地の表示 ●目的地への案内 ●メモリ地点の登録 ●メンテナンス機能の設定 ●エコ機能 ●VICS・交通情報の地図への表示 ●携帯連携※	68～208
オーディオ& ビジュアル	●AM・FM放送の受信 ●DVDプレーヤーの操作 ●SDオーディオの操作 ●HDDオーディオの操作 ●デジタルテレビ放送の受信 ●USBメモリの操作 ★ ●iPodの操作 ★ ●Bluetoothオーディオの操作 ●後席ディスプレイの操作 ★	212～332
スマートフォン／ ナビ連携	●smart G-BOOK ARPEGGiOアプリの操作 ●NaviConアプリの操作 ●動物メータアプリの操作 ●オーディオリモコンアプリの操作	334～346
情報	●交通・ナビ関連情報の表示	364～365
	●ハンズフリー	434～472
周辺モニター	●バックガイドモニターの表示 ★ ●マルチビューバックガイドモニターの表示 ★ ●バックモニターの表示 ★ ●ブラインドコーナーモニター★/ サイドモニターシステムの表示 ★ ●マルチアングル全周囲モニターの表示 ★	369～422
G-BOOK	●G-BOOKオンラインサービス	475～566
smart G-BOOK ARPEGGiO	●smart G-BOOK ARPEGGiOの操作	570～586

※携帯連携機能のサービスは終了しています。

★印はオプションです。

作動条件について

》作動条件一覧

車載機の各機能は、次の条件により操作できるときと、できないときがあります。
○：操作できます。
×：操作できません。

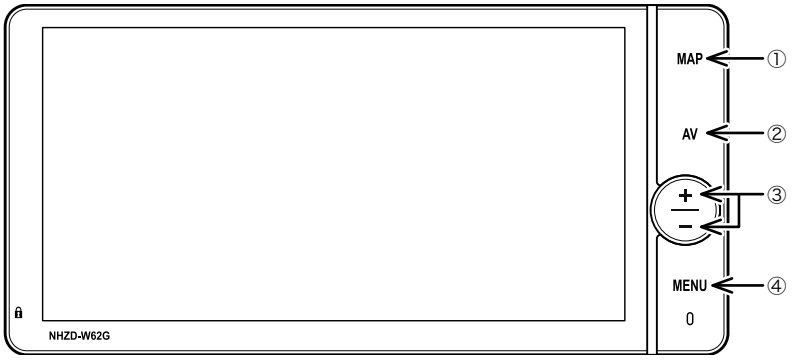
エンジンスイッチ / 機能	OFF (LOCK)	ACC	ON 停車中	ON走行中	ディスプレイがオープン状態
GPSボイスナビゲーション／情報	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。	×
オーディオ	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。	×
デジタルテレビ DVDビデオ DVD-VR	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、音声のみになります。	×
ハンズフリー	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。	○
G-BOOK	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、音声のみになります。	×
ディスクおよびSDメモリーカードの出し入れ/ディスプレイの角度調整	×	○	○	○	ディスプレイの角度調整はできません。

知識

▶ー20℃以下の低温時には、通信ができなくなったり、ハードディスクへの書き込みができなくなります。

各部の名称とおもな働き

》車載機のスイッチ



名　称		機　能
①	現在地スイッチ	ナビ画面で現在地を表示するなど。（→**72**）
②	オーディオ操作スイッチ	オーディオ操作画面を表示する。（→**214**） “ピッ”と音がするまでタッチし続けると、オーディオの電源をON/OFFする。
③	音量/トラックスイッチ	音量調節バー/トラックバーを表示する。（→**212**）
④	メニュースイッチ	MENU画面を表示する。（→**26**） “ピッ”と音がするまでタッチし続けると、画質調整画面を表示する。（→**46**）

▶1つ前の画面に戻すときは、画面内の ⮌ にタッチします。
タッチすると、タッチした画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものもあります。）

》液晶画面について

⚠注意

▶画面のよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。
手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

知識

▶液晶画面は、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
▶太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見えにくくなります。
▶偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見えにくくなったりします。
▶車載機のタッチパネルは静電容量方式のため、手袋などを着用して操作すると、反応しなくなることがあります。また、水滴などが付いたときは誤作動のおそれがあるため拭き取ってお使いください。
▶液晶画面に保護フィルム（保護フィルター）等を貼り付けないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなります。

電源を入れる・切る

》電源を入れる・切る

1 車両のエンジンスイッチをACCまたはONにする。

▶オープニング画面を表示し、その後自動でナビ画面、またはオーディオ画面に切り替わります。
▶車両のエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、車載機の電源が切れます。

知識

▶電源が入っている状態で画面外の MENU を10秒以上タッチし続けると、車載機が再起動します。自車マークが動かないなど車載機が動作不良を起こした場合に行ってください。

メニュー画面

現在地の表示・オーディオ画面の表示・音量/画質の調整以外の操作は、すべてメニュー画面から行います。

》メニュー画面を表示する

1 画面外の MENU にタッチ。

▲メニュー画面

▶メニュー画面から次の操作を行うことができます。

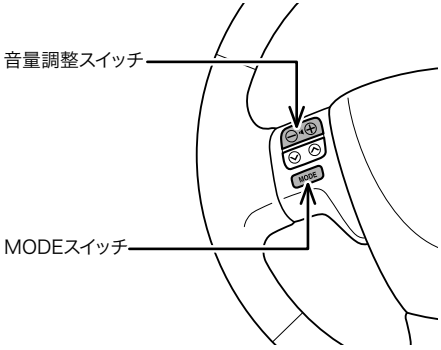
- ナビ：目的地を検索する。（→100）
- G-BOOK：G-BOOK画面を表示する。（→491）
- カスタマイズ：アカウントde カスタマイズを設定する。（→60）
- Apps：ARPEGGiO画面を表示する。（→339）
- インフォ：インフォメーション画面を表示する。（→207※、364）
- 電話：ハンズフリー画面を表示する。（→434）
- 設定：設定画面を表示する。
  設定画面上部のタブスイッチにタッチすると、項目を切り替えることができます。
- ⏏：ディスク・SDメモリーカードを出し入れする。（→30）
  ディスプレイの角度調整をする。（→46）

※ 携帯連携機能のサービスは終了しています。

ステアリングスイッチ

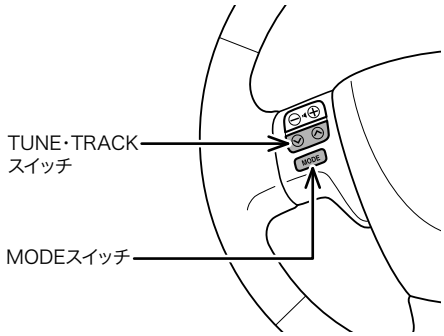
ステアリングスイッチ装着車は、手元にあるステアリングスイッチで各オーディオやG-BOOK の主要操作をすることができます。

》共通操作



スイッチ	機能
音量調整スイッチ	オーディオの音量、ハンズフリー音声の音量（受話音量・着信音量）、G-BOOKオンラインサービスの各種コンテンツの読み上げ音量を調整する。 ●大きくするとき →＋側を押す。 ●小さくするとき →ー側を押す。 ●1秒以上押し続けると、音量を連続して調整できます。（オーディオ音量のみ）
MODE スイッチ	オーディオOFFのとき、押すとオーディオがONになる。

》オーディオの操作



■モードの切り替え

スイッチ	機能
MODE スイッチ	押すとオーディオのモードが切り替わる。 ●押すごとに、「FM→（Apps）→（DVDプレーヤー）→（HDDオーディオ）→(USB/iPod)→Bluetooth オーディオ→（VTR）→デジタルテレビ→（SDオーディオ）→AM→FM」の順にモードが切り替わります。

知 識

▶（ ）内のモードは、次のようなときは選択できません。
- ●メディアが挿入されていないとき（DVD プレーヤーモード、SD オーディオモード）
- ●再生するデータがない（収録されていない）とき（HDDオーディオモード）
- ●iPod 対応USB/VTR アダプターに機器が接続されていないとき（USBモード、iPodモード）
- ●iPod 対応USB/VTR アダプターが接続されていないとき（VTR モード）
- ●スマートフォンが未登録のとき（Appsモード）
- ●スマートフォン連携が無効のとき（Appsモード）
- ●smart G-BOOK ARPEGGiOの音声モードが有効になっていないとき（Appsモード）
- ●smart G-BOOK ARPEGGiOで一度も音楽を再生したことがないとき（Appsモード）

■ラジオ・デジタルテレビの操作

スイッチ	機能
TUNE・ TRACK スイッチ	プリセットスイッチに記憶した放送局を切り替える。 ●次のプリセットスイッチを選択するとき →∧側を押す。 ●前のプリセットスイッチを選択するとき →∨側を押す。 放送局を自動で選択する。（ラジオのみ）（→**220**） ●高い（大きい）方へ選択するとき →“ピッ”と音がするまで∧側を押し続ける。 ●低い（小さい）方へ選択するとき →“ピッ”と音がするまで∨側を押し続ける。
MODE スイッチ	“ピッ”と音がするまで押し続けると、ミュートをON／OFFする。

■音楽CDの操作

スイッチ	機能
TUNE・ TRACK スイッチ	選曲する。 ●後ろにあるとき →∧側を押す。 ●前にあるとき →∨側を押す。
MODE スイッチ	“ピッ”と音がするまで押し続けると、一時停止または再生を再開する。

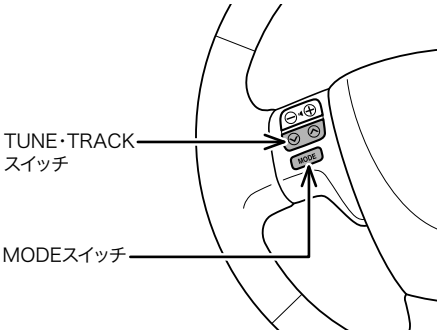
■DVD・iPodビデオの操作

スイッチ	機能
TUNE・ TRACK スイッチ	チャプターやファイルを選択する。 ●後ろにあるとき →∧側を押す。 ●前にあるとき →∨側を押す。
MODE スイッチ	“ピッ”と音がするまで押し続けると、一時停止または再生を再開する。

■MP3/WMAディスク・SDメモリーカード・HDDオーディオ・USBメモリ・iPodミュージック・Bluetoothオーディオの操作

スイッチ	機能
TUNE・TRACK スイッチ	選曲する。 ●後ろにあるとき →∧側を押す。 ●前にあるとき →∨側を押す。 フォルダ（アルバム）を選択する。 ●後ろにあるとき →“ピッ”と音がするまで∧側を押し続ける。 ●前にあるとき →“ピッ”と音がするまで∨側を押し続ける。
MODE スイッチ	“ピッ”と音がするまで押し続けると、一時停止または再生を再開する。

G-BOOKの操作



スイッチ	機能
TUNE・TRACK スイッチ	コンテンツの読み上げ開始位置を変更する。 ● 読み上げ中の項目の先頭からはじめるとき →∨側を押す。 ●次の項目の先頭からはじめるとき →∧側を押す。 ●前の項目の先頭からはじめるとき →∨側を押してから約1秒以内に再度押す。
MODE スイッチ	押すとコンテンツの読み上げを解除する。

スライドタッチ操作

»スライドタッチ操作について

車載機では、通常のタッチ操作に加え、タッチする指の動きに合わせて、画面の移動やスクロールをすることができます。
スライドタッチ操作には次の方法があります。

▶スライド操作
▶フリック操作

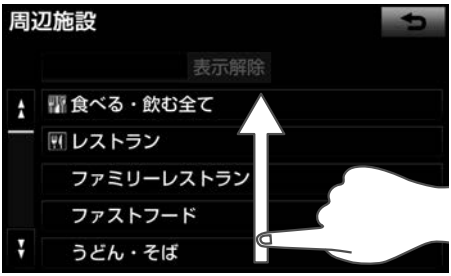
知識

▶走行中は操作できません。

スライド操作について

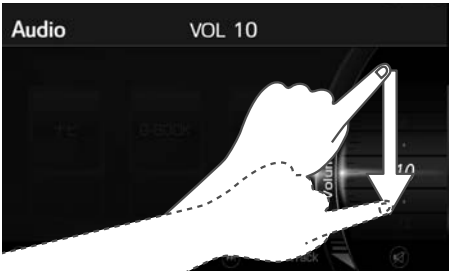
一部の地図画面、リスト画面および音量調節バー(トラックバー)画面で操作できます。
画面をタッチしたまま指をずらすと、指の動きに合わせて、画面が移動します。

▲地図画面



▲リスト画面

▲音量調整バー画面



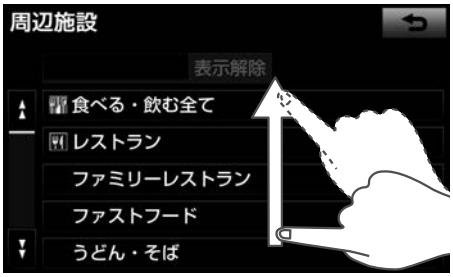
▲音量調節バー画面

フリック操作について

一部の地図画面、リスト画面および音量調節バー(トラックバー)画面で操作できます。画面をタッチした状態で、軽く指を払うと、払った方向に画面がスクロールします。スクロールする量は、払う速度により変わります。

スクロールは、自動で止まります。スクロール中に画面にタッチしても止めることができます。

▲地図画面



▲リスト画面

メディアについて

メディアについて

》メディアの出し入れ

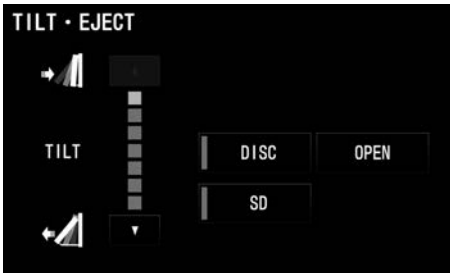
車載機では、CD、DVDおよびSDメモリーカードを使用します。

メディアを入れる

1 画面外の MENU にタッチ。

2 ⏏ にタッチ。

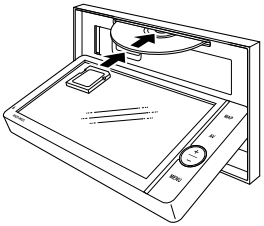
3 OPEN にタッチ。



▶ディスプレイが開きます。

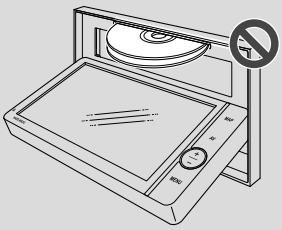
4 メディアを挿入口に差し込む。

▶ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれます。
▶ディスクを差し込んだ場合、自動的にディスプレイが閉じます。
▶SDメモリーカードは奥まで挿入したことを確認します。
▶SDメモリーカードを挿入した場合、画面外のいずれかのスイッチにタッチすると、ディスプレイが閉じます。



⚠注 意

▶8cmディスクおよびアダプターを使用しないでください。無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
▶CDまたはDVDを挿入するときは、2枚以上重ねて挿入しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。



▶挿入口にディスク、またはSDメモリーカード以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
▶SD メモリーカードは▶マークを奥にして、“カチッ”と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。
▶miniSD カード、microSD カード、miniSDHC カード、microSDHC カードを差し込むときは、必ず、専用のアダプターを取り付けてから差し込んでください。(miniSDカード、micro SD カード、miniSDHC カード、microSDHC カードのみを差し込むと取り出せないことがあります。)

⚠注意

▶ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー（“P”位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・Ⓡ位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを“N”または“ニュートラル”位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。

▶ディスクまたはSDメモリーカードの差し込み途中に、画面外のいずれかのスイッチにタッチしないでください。

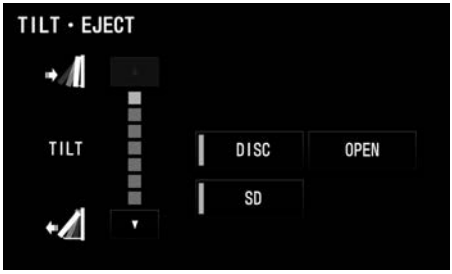
メディアを取り出す

1 画面外の MENU にタッチ。

2 ⏏ にタッチ。

3 取り出したいメディアを選択する。

▶ DISC ：CDまたはDVDを取り出す
▶ SD ：SDメモリーカードを取り出す



▶ DISC にタッチした場合、ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。

▶SDメモリーカードはカードを軽く押して取り出します。

4 メディアを取り出したあと、画面外のいずれかのスイッチにタッチ。

▶ディスプレイが閉じます。

⚠注意

▶ディスプレイ部の開閉時は、手などを挟まないよう注意してください。けがをしたり、ディスプレイの故障の原因となります。

▶ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをするおそれがあります。

▶ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。

▶ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶など物を置くと、ディスプレイが損傷するおそれがあります。

▶ディスクを取り出す際、下記に注意してください。

- A/T車はディスクを取り出す際、Pレンジで干渉する場合は、Nレンジに切り替えてから操作してください。（コラムA/T の場合はP またはNレンジで操作してください。）
- M/T車はディスクを取り出す際、1・3・5・Ⓡポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。

▶本機からディスクまたはSD メモリーカードを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。ディスクに傷がつき、音とびをしたり、SDメモリーカードを破損するおそれがあります。

⚠注 意

- ▶ディスプレイ部の上にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。故障の原因となります。
- ▶メディアが押し出された状態でディスプレイ部を閉めると、ディスクを傷つけるおそれがあります。
- ▶熱やホコリなどからディスプレイ部を守るため、ディスクを挿入する、または取り出すとき以外はディスプレイ部を閉めておいてください。
- ▶SD メモリーカードの再生中は、絶対に取り出さないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

■ディスプレイ開警告ブザー

ディスプレイ部を開いたままエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、“ピーッ”という音でお知らせします。

»使用できるメディアについて

車載機で使用できるディスクやSDメモリーカードについては、「車載機で使用できるメディア／データについて」（→**593**）をご覧ください。

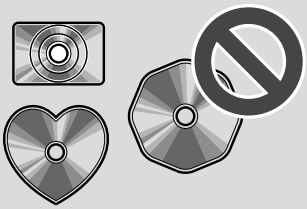
CD、DVDについて

⚠注 意

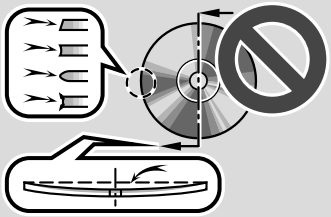
- ▶ディスクには指紋、よごれ、キズ等をつけないように取り扱ってください。
- ▶ディスクを扱うときは、中心の穴と端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてください。
- ▶ディスクのよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布でこすると表面に傷がつくことがあります。また、レコードスプレー・帯電防止剤・アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤や化学ぞうきんなどを使用すると、ディスクが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- ▶ディスク取り出しスイッチにタッチして、ディスクが飛び出た状態のまま長時間放置しないでください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- ▶ディスクは直射日光を避けて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- ▶DualDiscには対応していません。機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。
- ▶レンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。

⚠注意

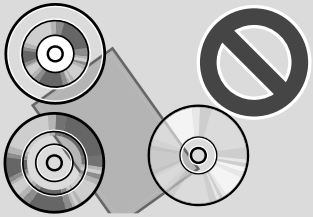
▶直径12cmの円形以外のディスクは再生できません。特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。



▶低品質または変形したディスクは機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。

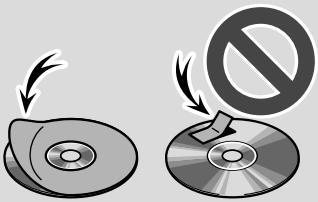


▶記録部分に透明または半透明部分があるディスクは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので、使用しないでください。

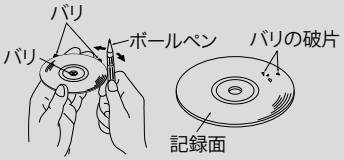


⚠注意

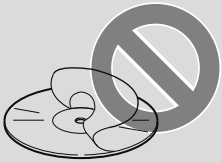
▶セロハンテープ、シール、CD-R用ラベルなどが貼ってあるディスクや、はがしたあとのあるディスクは使用しないでください。プレーヤーが正常に作動しなくなったり、ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となるおそれがあります。



▶新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しないことがあります。



▶音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となることがあります。



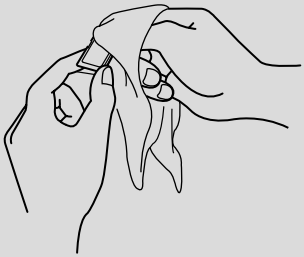
⚠注意

▶音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリー（CDリング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となることがあります。

SDメモリーカードについて

⚠注意

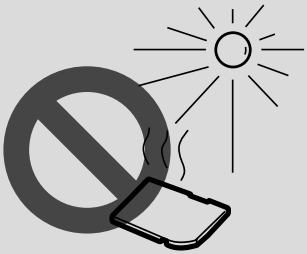
▶定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



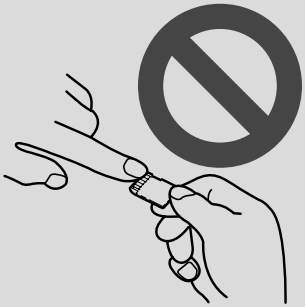
▶ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってあるSDメモリーカードは使用しないでください。

⚠注意

▶直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。SDメモリーカードが使用できなくなることがあります。



▶端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



▶持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。

▶静電気や電気的ノイズを受ける恐れのある場所に、SDメモリーカードを放置しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

▶SDメモリーカードの再生中は、SDメモリーカードを抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

プレーヤーについて

▶プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても、なお機能が停止しているときは、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売店で点検を受けてください。

▶寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）が生ずることがあります。この場合、音が飛んだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。

▶悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びをすることがあります。

文字情報の表示について

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

03 ソフトウェアキーボード

ソフトウェアキーボードを使う

》入力画面の各スイッチを使う

▶本システムでは、文字入力が必要になると、ソフトウェアキーボードが表示されます。ここではG-BOOKオンラインサービスのソフトウェアキーボードで説明しています。

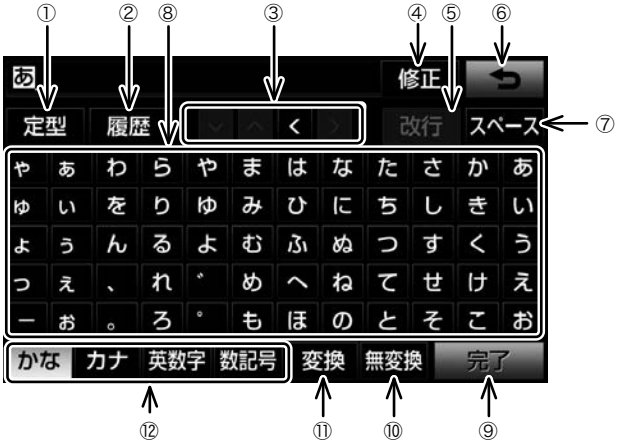
知識

▶ソフトウェアキーボードが表示される状況により、キーボード画面の意匠が異なったり、入力方法が限定されたりします。

▶各スイッチの働きは、次のようになっています。

- 特に説明のないスイッチは、各入力時とも共通です。
- ナビで文字入力するときは、専用のソフトウェアキーボードを使用します。

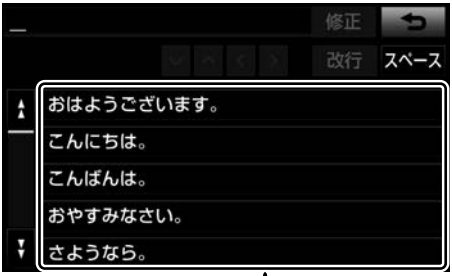
→「名称で地図を検索する」(→104)
→「名称を入力する」(→153)



▲かな・漢字入力時

スイッチ		働　き
①	定型スイッチ	定型入力画面を表示し、定型文を入力する。
②	履歴スイッチ	入力履歴画面を表示し、前回までに入力した文字列の履歴から入力する。
③	カーソル移動スイッチ	カーソルを移動する。 ●タッチし続けると、連続してカーソルが移動。 ●未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動。 確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。
④	修正スイッチ	文字を消去する。 ●カーソルが文字の下にあるときは、カーソルの上の文字を消去。 ●カーソルが最後尾の文字の後にあるときは、カーソルの直前の文字を消去。 タッチし続けると、カーソルの位置から1文字ずつ順に消去する。
⑤	改行スイッチ	改行する。
⑥	戻るスイッチ	ソフトウェアキーボードで入力した文字を入力しないで、キーボードを終了する。
⑦	スペーススイッチ	カーソル位置に空白を入力する。
⑧	文字入力スイッチ	各種文字を入力する。
⑨	完了スイッチ	ソフトウェアキーボードを終了する。 キーボードが表示される前の画面にもどり、文字が入力される。
⑩	無変換スイッチ	かな入力時、ひらがなのままで確定する。
⑪	変換スイッチ	かな入力時、漢字に変換する。
⑫	入力モード切り替えスイッチ	文字の入力モードを切り替える。 **かな** :ひらがな、漢字を入力 **カナ** :カタカナを入力 **英数字** :アルファベット、数字を入力 **数記号** :数字、記号を入力

▲カタカナ入力時



▲定型文入力時／履歴入力時

▲英字・数字入力時

▲WEB検索時

▲数字・記号入力時

スイッチ		働　き
⑬	全角／半角スイッチ	半角入力と全角入力を切り替える。
⑭	大文字／小文字スイッチ	大文字入力と小文字入力を切り替える。
⑮	ページ切り替えスイッチ	ページを切り替える。
⑯	定型文入力スイッチ／ 履歴入力スイッチ	各文字列を入力する。
⑰	検索エンジンスイッチ	検索エンジンを選択する。
⑱	エリアスイッチ	検索エリアを指定する。 「Ⓐ」：現在地を指定 「●」：住所を指定 「G1～G5」：目的地を指定 「なし」：エリア指定なし

漢字変換

1 かな入力状態で、文字を入力する。

2 変換 にタッチ。

3 文字を確定する。

▶そのままの状態でよいとき
→ 全確定 にタッチ。

▶変換範囲のみ変換するとき
→希望の候補を選択しタッチ。

▶変換範囲（文節）が間違っているとき
→ ＜ または ＞ にタッチして変換範囲を修正する。

4 変換範囲のみ変換する場合は、確定すると、次の変換範囲に移動する。すべての文字の変換が終わるまで、3 の操作を繰り返す。

予測変換候補の表示

G-BOOK詳細設定の予測変換候補表示で「する」を選択しているとき、予測変換をすることができます。文字を入力すると、未確定文字の後に続く文字を予測して、読みの先頭部分が一致する予測変換候補を画面左下に表示します。

1 かな入力状態で、文字を1文字以上入力する。

2 予測変換候補を選択する。

予測変換候補

▶表示された候補でよいとき
→予測変換候補にタッチ。

▶希望の候補でないとき
→ ▼ にタッチして希望の候補を表示させ、候補にタッチ。

■予測変換候補の表示／非表示を切り替えるとき
「予測変換候補の表示設定を変更する」（→43）

知識

▶予測変換候補は最大5候補まで表示されます。

ソフトウェアキーボードの設定を変更する

ソフトウェアキーボードの設定変更について

G-BOOK詳細設定画面で、メモリ地点の名称登録やEメール作成時などの入力を簡単にする設定ができます。

項　目	ページ
単語の編集	41
定型文の修正	42
入力履歴の削除	43
予測変換候補の表示設定	43

単語を編集する

読みと単語を指定して、車載機の辞書に変換候補対象となる単語を追加することができます。また、追加した単語を修正・削除することができます。

単語を追加する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 G-BOOK にタッチ。

4 G- BOOK 詳細設定 にタッチ。

5 単語編集 にタッチ。

6 追加 にタッチ。

7 読み および 単語 にタッチして、それぞれ入力する。

▶ソフトウェアキーボードで入力します。

8 完了 にタッチ。

単語を修正する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ G-BOOK ⇒ G-BOOK詳細設定 ⇒ G-BOOK詳細設定画面

1 単語編集 にタッチ。

2 修正 にタッチ。

3 修正したい単語の読みにタッチ。

4 読み および 単語 にタッチして修正する。

▶ソフトウェアキーボードで入力します。

5 完了 にタッチ。

▶単語の最大登録数を超えたときは、登録済みの不要な単語を削除してください。（→**42**）

▶引き続き単語の修正をするとき
→ 2 ～ 4 の操作を繰り返す。

単語を削除する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ G-BOOK ⇒ G-BOOK詳細設定 ⇒ G-BOOK詳細設定画面

1 単語編集 にタッチ。

2 削除 にタッチ。

3 削除したい単語の読みにタッチ。

▶すべての単語を選択するとき
→ 全選択 にタッチ。

4 削除 にタッチ。

5 はい にタッチ。

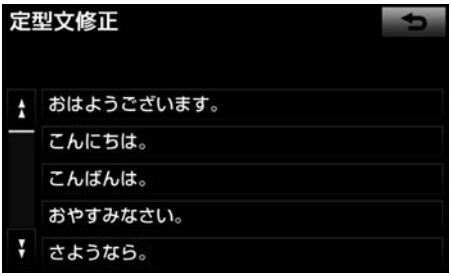
定型文を修正する

定型文は、お好みにより内容を変更することができます。 ただし、新規に追加することはできません。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ G-BOOK ⇒ G-BOOK詳細設定 ⇒ G-BOOK詳細設定画面

1 定型文修正 にタッチ。

2 修正したい定型文にタッチ。



3 定型文を修正する。

▶ソフトウェアキーボードで入力します。

》入力履歴を削除する

不要な入力履歴を削除することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
G-BOOK ⇒ G-BOOK詳細設定 ⇒
G-BOOK詳細設定画面

1 入力履歴削除 にタッチ。

2 削除したい履歴にタッチ。

▶すべての履歴を削除するとき
→ 全削除 にタッチ。

3 はい にタッチ。

》予測変換候補の表示設定を変更する

ソフトウェアキーボードを使用するとき、予測変換候補（→**43**）の表示／非表示を選択できます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
G-BOOK ⇒ G-BOOK詳細設定 ⇒
G-BOOK詳細設定画面

1 予測変換候補表示 にタッチ。

2 する または しない にタッチ。

3 完了 にタッチ。

リスト画面

リスト画面について

»リスト画面を切り替える

地図を呼び出すときなどに複数の候補（選択項目）がある場合、リスト画面が表示されます。希望の候補が表示されているリストにないときは、リストを切り替え、希望の候補を選択します。

行の切り替え表示について

1 あ行、か行、さ行、た行、な行、は行、ま行、や行、ら行または わ行 にタッチ。

▶「あ行→か行」というようにリストが動きます。

▶「あ行」の場合、あ行 にタッチするごとに、「あ→い」というようにリストが動きます。

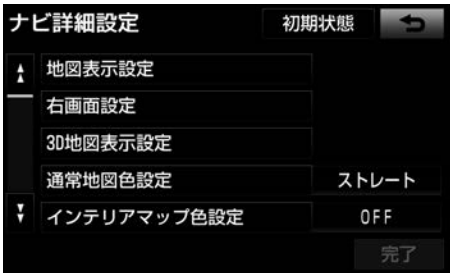
マーク／種類の切り替え表示について

1 ▲マーク・▼マーク・▲種類・▼種類 のいずれかにタッチ。

▶次のマーク／種類に飛ばして、リストが動きます。

ページの切り替え表示について

1 ▲または▼にタッチする。



▶1ページずつリストが動きます。

▶▲または▼にタッチし続けると、1項目ずつリストが動き続けます。

■スライドタッチ操作でリストを切り替えることもできます。（→28）

地域／施設項目の切り替え表示について

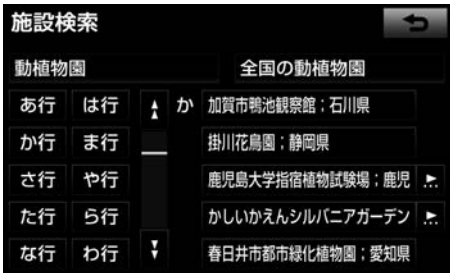
1 地域（北海道、東北、関東、中部、近畿、中四国、九州）や施設項目（店、車、宿泊、遊び、公共、医療、交通、文化、他）にタッチ。

▶地域／施設項目ごとにリストが動きます。

文字の表示範囲を変更する

リストに表示されている名称の文字数が多い場合、すべて表示されないことがあります。
次の操作をすると、名称をすべて確認することができます。

1 ▶..にタッチ。



▶先頭に戻すとき
→◀にタッチ。

05 画面の調整・設定について

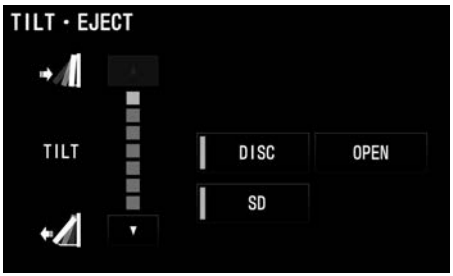
画面の調整・設定を変更する

»ディスプレイの角度を調整する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 ▲ にタッチ。

3 ▼ または ▲ にタッチ。



▶ ▼ ……斜め下方に傾ける
▶ ▲ ……傾きを戻す
▶タッチするごとに1 段階（5°）ずつ傾きます。最大6 段階30°まで傾けることができます。

知 識

▶ディスプレイ部を傾けた状態で車両のエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、自動で傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチをACCまたはONにした場合、元の傾いた状態に戻ります。

»画質調整画面を表示する

画面外のスイッチで表示する

1 画面外の MENU に1秒以上タッチし続ける。

タッチスイッチで表示する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 画質・消 にタッチ。

▶画質調整画面（ナビゲーション画面）が表示されます。

■DVDなどの映像表示中は、 各種切替 → 画質調整 の順にタッチしても表示させることができます。

画質調整画面の表示例

▲ナビゲーション画面

▲DVD画面

▲カメラ画面

▶ < または > にタッチして、調整したい項目のスイッチを表示させます。
▶画質調整画面を解除するとき
→ 完了 にタッチ。

》画質を調整する

色合い、色の濃さは、DVDやカメラなどの映像を表示しているときに調整できます。ナビ画面やオーディオ操作画面などは、コントラスト、明るさのみ調整できます。

画面外の MENU （1秒以上タッチ）
⇒画質調整画面

または

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
画質・消 ⇒画質調整画面

1 < または > にタッチし、調整したい項目に切り替える。

2 画質を調整し、 完了 にタッチ。

▶画質調整では、次のような項目を調整することができます。

項目	スイッチ	機能
色合い	緑	緑色を強くする
	赤	赤色を強くする
色の濃さ	濃	色を濃くする
	淡	色を淡くする
コントラスト	強	強くする
	弱	弱くする
明るさ	明	明るくする
	暗	暗くする

知識
▶昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

》昼画表示・夜画表示について

夜間など、周囲が暗いと画面が明るすぎて映像が見えにくくなることがあります。そのため、〈昼画表示〉と〈夜画表示〉を切り替えて画面を見やすくすることができます。

■昼画表示と夜画表示の画面例

▲昼画表示

▲夜画表示

昼画表示・夜画表示の切り替え

昼画表示と夜画表示を切り替えるタイミングを次の中から選択することができます。

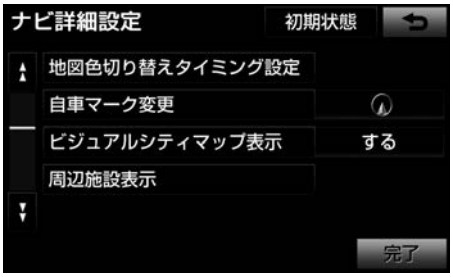
▶時刻連動･･･季節ごとの日の出・日の入り時刻に合わせて表示を切り替えます。

▶イルミ連動･･･ライト（車幅灯、尾灯、番号等）の点灯・消灯によって表示を切り替えます。

▶強制昼画･･･常に昼画表示で表示します。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ 地図表示設定 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 地図色切り替えタイミング設定 にタッチ。



2 時刻連動 、 イルミ連動 または 強制昼画 にタッチ。

3 完了 にタッチ。（ 1 の画面）

》手動で昼画表示にする

画面が夜画表示のとき、手動で昼画表示にすることができます。

画面外の MENU （1秒以上タッチ）⇒画質調整画面

または

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 画質・消 ⇒画質調整画面

1 夜画表示のとき、 昼画面 にタッチ。

▶タッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

知識

▶昼画表示のときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。

》画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

画面外の MENU （1秒以上タッチ）⇒画質調整画面

または

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 画質・消 ⇒画質調整画面

1 画面消 にタッチ。

▶画面を表示させるとき

→ MAP ・ AV ・ MENU のいずれかにタッチ。

》画面モードについて

DVDなどの映像は、通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。

標準画モード（Normal）

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。

ワイド1画モード（Wide 1）

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。

ワイド2画モード（Wide 2）

たて3：よこ4の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示します。

テレビ番組や映画などの映像比率と異なるモードを選択されますとオリジナルの映像とは見え方に差が出ることをご留意ください。

お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画面モードを切り替える

各映像の画面モードの切り替え方法については、次のページをご覧ください。

映　像	ページ
DVD	**238**
デジタルテレビ	**290**
iPodビデオ	**308**
VTR	**310**

ナビゲーションシステムの設定

ナビゲーションシステムの設定を変更する

》ナビゲーションシステムの設定変更について

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 共通設定 にタッチ。

4 各項目の設定をし、 完了 にタッチ。

▶共通設定画面から、次の項目を設定できます。

項　目	ページ
メンバーの設定	50
BEEP音通知の設定	51
操作画面継続表示の設定	51
エアコン切替表示の設定	51
個人情報の初期化	52
ショートカットの設定	54
画面テイストの設定	55
トラックバー自動消去の設定	55
セキュリティの設定	58

》メンバーを設定する

AKB48 Team 8 のメンバーから音声案内をするメンバーを選択できます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 共通設定 ⇒共通設定画面

1 メンバー選択 にタッチ。

2 メンバーにタッチ。

▶ 日直モード に設定すると、日替わりでメンバーがランダムに切り替わります。

▶次の音声が選択したメンバーで発声されます。

音声種類	ページ
ハートフル音声	99
音声案内の音量変更	98
メンテナンスの案内	169
携帯電話忘れ案内	443
目的地案内の開始	125
交差点案内	126
目的地到着案内	127
県境案内	94
学校存在案内	90
一時停止案内	86

知識

▶日直モードで、日付が変わっても車載機の電源をONにし続けている場合、前日のメンバーが継続されます。この場合、車載機の電源をOFFにして、再度ONにすると、次のメンバーに切り替わります。

»タッチしたときの応答音について

タッチスイッチにタッチしたときの応答音の出力する／しないを設定できます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 共通設定 ⇒共通設定画面

1 BEEP音通知 にタッチ。

2 する または しない にタッチ。

»操作画面継続表示の設定を変更する

オーディオ操作画面の継続表示のする／しないを設定することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 共通設定 ⇒共通設定画面

1 操作画面継続表示 にタッチ。

2 する または しない にタッチ。

▶「しない」に設定すると、約20秒以上操作しなかった場合、もとの画面にもどります。

知識

▶ハンズフリーの着信時などの割り込み画面が表示されると、割り込み画面の解除後に、もとの画面にもどらないことがあります。

»エアコン切替表示の設定を変更する

車両のエアコン機能を操作したときのオンスクリーン画面の表示する／しないを設定することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 共通設定 ⇒共通設定画面

1 エアコン切替表示 にタッチ。

2 する または しない にタッチ。

知識

▶対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

》地図表示を切り替える

地図画面の右側に拡大地図やオーディオ画面などを表示することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
ナビ詳細設定 ⇒ 地図表示設定 ⇒
地図表示設定 ⇒地図表示設定画面

1 設定したい地図表示を選択し、 完了 にタッチ。

▶地図表示設定画面から、次の項目を設定できます。

項　目	ページ
地図1画面	78
地図2画面	78
地図&オーディオ	79
地図&エコ情報	80

■地図画面の 表示変更 からも、地図表示を切り替えることができます。

》個人情報を初期化する

車載機の設定や保存されている情報を初期化することができます。

▶次の情報を、削除または初期設定の状態にすることができます。

項　目	情　報
ソフトウェアキーボード	入力履歴
	追加した単語
	編集した定型文
	ソフトウェアキーボード関連の設定・編集項目
GPSボイスナビゲーション	走行軌跡
	インテリアマップの設定
	給油ガイドナビの設定
	目的地履歴
	車両情報の設定
	メモリ地点
	迂回メモリ地点
	アカウント設定
	メンテナンス機能の各種設定項目
	メンテナンス自動通知の設定
	販売店の設定
	音量設定
	ナビ詳細設定一覧の設定
	地図向きの設定
	地図表示モードの設定
	地図表示縮尺の設定
	施設の表示設定
	VICS・交通情報の各種設定
	ETCの各種設定
	安全・快適走行設定一覧の設定
	渋滞増減予測の表示設定※

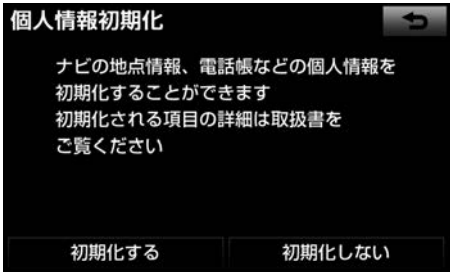
項　目	情　報
オーディオ&ビジュアル	音量設定
	音質調整の設定
	オーディオモード
	受信するラジオの種類（AM/FM）
	ラジオ、デジタルテレビでプリセットスイッチに記憶した周波数およびチャンネル情報
	ハードディスクに録音している音楽
	手動Gracenoteメディアデータベース更新データ
	メディアデータベースバージョン情報
	Bluetoothオーディオ機器の登録情報
オープニング画面	オープニング画面の設定
ハンズフリー	電話帳データ
	発信履歴および着信履歴
	ワンタッチダイヤル
	Bluetooth電話機の登録情報
	ハンズフリー関連の設定・編集項目
smart G-BOOK ARPEGGiO	車載機のARPEGGiO更新データ
	チェックインで利用するSNSサービス
	Music Playerの設定
G-BOOK※	G-BOOK画面のオペレーターサービス、情報確認
	Gメモリ地点
	メインメニューにG-BOOKセンターが追加したスイッチ
	ブックマーク
	閲覧履歴
	Myリクエストのメニュー
	G-BOOK関連の設定・編集項目

※G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに操作することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 共通設定 ⇒共通設定画面

1 個人情報初期化 にタッチ。

2 初期化する にタッチ。



3 はい にタッチ。

知識

▶一度初期化されたデータはもとに戻せません。十分注意して初期化してください。

»オープニング画面の設定

本機の電源を入れたときに表示される画面をお好みに合わせて切り替えることができます。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 画像設定 にタッチ。

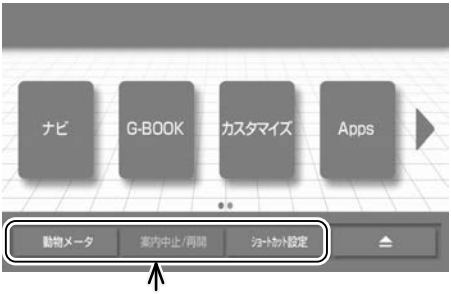
4 オープニング画像変更 にタッチ。

5 1 、 2 または 3 にタッチ。

6 完了 にタッチ。

»ショートカットを変更する

メニュー画面のショートカットを変更することができます。

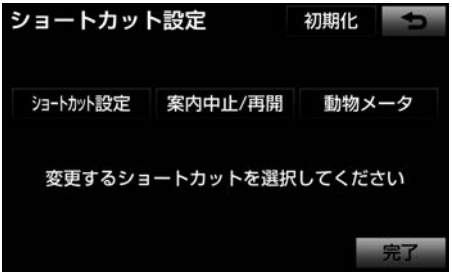


ショートカット

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 共通設定 ⇒共通設定画面

1 ショートカット設定 にタッチ。

2 変更したいショートカットにタッチ。



▶初期設定の状態に戻すとき
→ 初期化 にタッチ。

3 希望のショートカットにタッチ。

4 完了 にタッチ。

画面のテイストを変更する

画面表示のテイストを変更することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 共通設定 ⇒共通設定画面

1 テイスト切替 にタッチ。

2 AKB48 Team 8 、 リアリティ または サイバー にタッチ。

トラックバー自動消去の設定を変更する

トラックバー画面の自動消去のする / しないを設定することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 共通設定 ⇒共通設定画面

1 トラックバー自動消去 にタッチ。

2 する または しない にタッチ。

▶ しない に設定すると、約5秒以上操作しなかった場合、もとの画面にもどります。

QUICK SETUP（初期設定サポート）

QUICK SETUPで設定する

》QUICK SETUPの使い方

初めて本機を起動したときやバッテリーをはずしたときは、QUICK SETUP 画面が表示されます。最初に設定しておくと便利な、自宅や案内音量、車両情報などを設定することができます。設定状況は、画面で確認することができます。

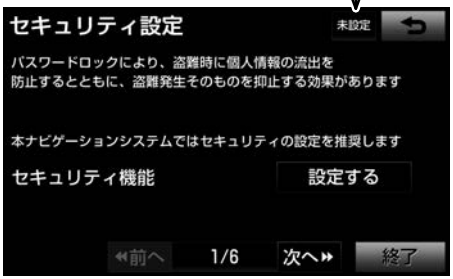
1 **QUICK SETUPを開始する** にタッチ。

▶QUICK SETUPを終了し、次回起動時にQUICK SETUP画面を再度表示するとき
→ **次回起動時に設定する** にタッチ。

▶QUICK SETUPを終了し、次回起動時にQUICK SETUP画面を再度表示しないとき
→ **設定しない** にタッチ。

▶セキュリティを設定しないと、**設定しない** を操作できません。

2 セキュリティを設定する。



▶ **設定する** にタッチすると、パスワードのヒント設定画面が表示されます。
（→**58**）

▶項目により、設定状況が表示されます。

3 **次へ** にタッチ。

4 自宅を登録する。

▶ **現在地周辺から登録** …現在地周辺の地図を表示する

▶ **住所から登録** …住所から登録する
（→**108**）

5 **セット** にタッチ。

6 **次へ** にタッチ。

7 案内音量を設定する。
（→**98**）

8 **次へ** にタッチ。

9 車両情報を設定する。
（→**133**）

10 **次へ** にタッチ。

11 エコ機能の燃費を設定する。
（→**176**）

12 **次へ** にタッチ。

13 Bluetooth の設定をする。
（→**440**）

▶G-BOOK通信設定（→**556**）は、G-BOOK mXモデルのみ設定が必要です。

14 **完了** にタッチ。

15 **はい** にタッチ。

知識

- ◀◀前へ にタッチすると、前の画面に戻ることができます。
- 設定の途中で画面外のスイッチにタッチして他の画面に切り替えた場合、そこまでの設定が反映されます。次回起動時に、QUICK SETUP画面が再度表示されます。
- 設定の途中で 終了 → はい の順にタッチした場合、そこまでの設定が反映されます。次回起動時には、QUICK SETUP画面は表示されません。設定の続きは、ナビ詳細設定から操作してください。（→**163**）
- QUICK SETUPは、ナビ詳細設定からも操作することができます。（→**166**）
- セキュリティの設定をしていないと、起動するたびにQUICK SETUP画面が表示されます。

セキュリティ

セキュリティを設定する

»セキュリティの設定

セキュリティ機能を作動させると、車両のバッテリーターミナルをはずした場合、車載機を操作することができません。セキュリティの作動中は、作動インジケータを点灯させて、盗難を抑止することができます。また、表示されるシリアルナンバーを控えておくと、盗難などにあった場合、車載機と所有者を確認することができます。

セキュリティを作動させる

パスワードのヒントとパスワードを登録すると、セキュリティを作動させることができます。

知 識

- ▶パスワードのヒントとパスワードは、全角と半角、大文字と小文字を区別します。
- ▶登録したパスワードは忘れないよう控えておいてください。ロックを解除するときに必要です。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 共通設定 にタッチ。

4 セキュリティ設定 にタッチ。

5 セキュリティ機能の 設定 にタッチ。

▶パスワードを登録している場合、
設定 → はい の順にタッチするとパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力すると、新しいパスワードを登録することができます。

6 マルチワードで設定 または 固定文より設定 にタッチ。

- ▶ マルチワードで設定 …パスワードのヒントを任意に入力する
- ▶ 固定文より設定 …パスワードのヒントを5つの中から選ぶ

7 パスワードのヒントを登録する。

▶手順 6 で マルチワードで設定 にタッチした場合
→ヒントを入力する。（→36）

▶手順 6 で 固定文より設定 にタッチした場合
→ヒントにタッチする。

8 パスワードを入力する。（→36）

9 完了 にタッチ。

セキュリティのロックを解除する

車両のバッテリーターミナルをはずして車載機が操作できなくなった場合、登録したパスワードを入力すると、操作できるようになります。

1 パスワードを入力する。（→36）

▶シリアルナンバーが表示されます。盗難などにあったとき、車載機と所有者を確認することができます。

2 了解 にタッチ。

知識

▶パスワードを忘れた場合、販売店にご相談ください。

作動インジケータを点滅させる

エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合、作動インジケータを点滅させることができます。

知識

▶作動インジケータを点滅させる前に、セキュリティを作動します。（→58）

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 共通設定 ⇒ セキュリティ設定 ⇒ セキュリティ画面

1 インジケータの ON にタッチ。

▶ OFF にタッチすると、作動インジケータは点滅しません。

セキュリティを停止する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 共通設定 ⇒ セキュリティ設定 ⇒ セキュリティ画面

1 セキュリティ機能の 解除 にタッチ。

2 はい にタッチ。

3 パスワードを入力する。（→36）

アカウントdeカスタマイズ

ナビゲーションシステムの設定を記憶する

》アカウントde カスタマイズについて

アカウントde カスタマイズとは、ナビゲーションシステムの様々な設定状態をユーザーごとに記憶させておく機能です。ユーザーは、３つまで登録できます。

》記憶しておくことができる設定項目について

各種ナビ設定や音質設定、Bluetooth 機器の接続先などを記憶させておくことができます。

▶次の設定項目を記憶することができます。

項目		ページ
ナビゲーションシステムの設定	ディスプレイの角度調整	46
	画質調整の設定	47
	オープニング画面の設定	54
	テイスト切替の設定	55
	ショートカットの設定	54
	アクセサリの設定	62
GPS ボイスナビゲーション	地図表示縮尺の設定	75
	地図向きの設定	76
	地図表示モードの設定	76～82
	地図の表示色の設定	80
	音量設定	98
	ナビ詳細設定一覧の設定※1	163
	安全・快適走行設定一覧の設定	167
	VICS・交通情報の各種設定	192
	ETC の各種設定※2	429
オーディオ＆ビジュアル	オーディオモード	214
	音量設定	215
	音質調整の設定	216
	受信するラジオの種類（AM/FM）	219
スマートフォン連携	接続するスマートフォン	336
	スマートフォン連携の設定	337
ハンズフリー	電話帳データ	458
	ハンズフリー関連の設定・編集項目	465
	接続するBluetooth 電話機	469
G-BOOK	ブラウザ画面の音量設定	504
	G-BOOK 関連の設定・編集項目	556

※1　ルート学習結果、車両情報設定はユーザーごとに記憶することができません。
※2　ナビゲーション対応ETC 車載器を接続しているときのみ。
※3　G-BOOK オンラインサービスを利用されているときのみ。

知識

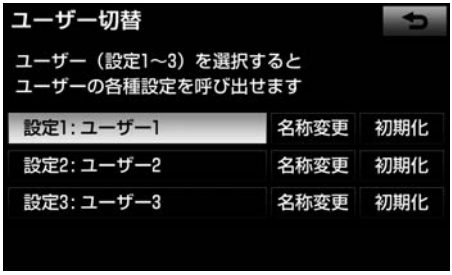
▶異なるユーザーで同じBluetooth機器（オーディオ機器／電話機）を登録することはできません。登録済のBluetooth機器を別のユーザーが登録した場合、最初に登録してあったユーザーの登録が解除されます。
▶Bluetooth 機器（オーディオ機器／電話機）は、3つのユーザーを合わせて、最大5台まで登録できます。
▶Bluetooth 機器（オーディオ機器／電話機）の選択（→**321**、**469**）や削除（→**325**、**468**）は、その機器を登録したユーザーのみ操作できます。

ユーザーを切り替える

ご希望の設定を呼び出すことにより、その設定状態でナビを使用することができます。

画面外の MENU ⇒ カスタマイズ ⇒ ユーザー切替画面

1 ユーザーを選択。



知識

▶ハンズフリー機能使用中は、ユーザーが切り替えられません。

設定した名称を変更する

画面外の MENU ⇒ カスタマイズ ⇒ ユーザー切替画面

1 名称変更 にタッチ。

2 修正・入力をする。（→**36**）

各ユーザーの設定を初期化する

画面外の MENU ⇒ カスタマイズ ⇒ ユーザー切替画面

1 初期化 にタッチ。

2 はい にタッチ。

10 アクセサリについて

アクセサリについて

»アクセサリとは

一目でわかるように情報提供し、様々な用途に使用できる小さなアプリのことです。気に入ったデザインの時計を配置することや、お気に入りのキャラクターを表示して、ナビディスプレイをお好みで自由にカスタマイズできます。
アクセサリは、画面の左側、中央、右側に配置することができます。画面に配置しておくことによって、いろいろな機能を使用することができます。

⚠注意

▶車両が走行状態になると、スイッチがトーンダウンする機能があります。操作する場合は、安全な位置に停車して操作してください。

»アクセサリの種類について

本機には、4種類のアクセサリが用意されています。

▶時計アクセサリ
▶キャラクターアクセサリ
▶カレンダーアクセサリ
▶電卓アクセサリ

アクセサリ画面

お好みのアクセサリ画面を表示して、いろいろな機能を使用することができます。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 インフォ にタッチ。

▶BTナビ画面が表示されたとき
→情報 にタッチ

3 アクセサリ にタッチ。

4 アクセサリ画面が表示される。

▶アクセサリは最大3個まで表示させることができます。
▶アクセサリ一覧から画面の左側、中央、右側に配置することができます(→63)。
▶展開することができるアクセサリは、アクセサリ にタッチすると拡大表示（展開画面）されます。

アクセサリー覧

アクセサリー覧を表示して、アクセサリのプレビュー、情報表示を行うことができます。

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒(情報)⇒ アクセサリ ⇒アクセサリ画面

1 アクセサリー覧 にタッチ。

2 アクセサリー覧画面が表示される。

項目（タッチスイッチ）	機能	ページ
①	現在選択されているアクセサリを表示します。	–
②	アクセサリー覧を表示します。	–
◀ または ▶	一覧のページを切り替えます。	–
プレビュー	選択したアクセサリを全画面で表示します。	64
情報	選択したアクセサリの情報を表示します。	64
一覧に戻す	選択したアクセサリを一覧に戻します。	–
完了	アクセサリ画面に戻ります。	–

»アクセサリを確認する

一覧から選択したアクセサリを全画面表示して確認することができます。

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (情報)⇒ アクセサリ ⇒ アクセサリー覧 ⇒アクセサリー覧画面

1 表示させたいアクセサリにタッチ。

2 プレビュー にタッチ。

3 選択したアクセサリが全画面表示される。

▶ 戻る ...アクセサリー覧画面に戻る

»アクセサリを配置する

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (情報)⇒ アクセサリ ⇒ アクセサリー覧 ⇒アクセサリー覧画面

1 配置する位置にタッチ。

2 アクセサリー覧から配置するアクセサリにタッチ。

3 完了 にタッチ。

»アクセサリの情報を表示する

一覧から選択したアクセサリの情報を表示させることができます。

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (情報)⇒ アクセサリ ⇒ アクセサリー覧 ⇒アクセサリー覧画面

1 表示させたいアクセサリにタッチ。

2 情報 にタッチ。

3 選択したアクセサリの情報が表示される。

▶ 戻る ...アクセサリー覧画面に戻る

GPSボイスナビゲーション

01. ナビをお使いになる前に 68
はじめに 68
知っておいていただきたいこと 68
ナビ画面の見方と音声案内 69
GPSボイスナビゲーションとは 69
目的地案内中の現在地画面の見方 69
ナビ画面の見方と音声案内 71
音声案内について 71
02. 地図画面を操作する 72
地図の表示 72
現在地を表示する 72
スイッチの表示について 73
地図を動かす（スライドタッチスクロール／ワンタッチスクロール） 74
地図縮尺を切り替える 75
地図の向きを切り替える 76
地図の文字サイズの設定を変える 77
画面を左右2分割して表示する(2画面表示) 78
画面を左右2分割して表示する（地図/オーディオ） 79
画面を左右2分割して表示する（地図/エコ情報） 80
地図の表示色の設定を変える 80
自車マークを切り替える 80
時計表示を切り替える 81
市街図を表示する 81
地図表示画面を設定する 82
地図上に施設記号を表示する 82
施設記号の表示を消去する 83
近くの施設を検索する 83
走行中に呼び出すジャンルの設定を変更する 85
実際と同じ道幅で表示する（ビジュアルシティマップ） 85
立体的な施設マークを表示する（立体ランドマーク） 85
一時停止交差点を案内する 86
道路形状を案内する 87
事故多発地点を案内する 88
逆走注意案内をする 89
学校の周辺であることを案内する 90
ITSスポットサービス（DSRC）安全運転支援案内 90
季節規制区間を表示する 92
走行した経路を表示する（走行軌跡） 92
季節名所を表示する(シーズンレジャーランドマーク) 93
県境案内を表示する 94
画面切り替え時に動画表現をする 94
インテリアマップを表示する 94
動物メータを表示する 95
給油ガイドナビを表示する 95
高速道路・都市高速道路を表示する ... 95
ハイウェイモードについて 95
高速分岐案内を表示する 97
音声の設定を変更する 98
音量設定を変更する 98
ハートフル音声を発声する 99
地図を呼び出す 100
地図を検索する 100
名称で地図を検索する 104
住所で地図を検索する 108
施設で地図を検索する 108
電話番号で地図を検索する 109
ジャンルで地図を検索する 110
マップコードで地図を検索する 111
携帯電話で地図を検索する 111
履歴で地図を検索する 112
検索した地図を操作する 113
ピンポイント検索について 113
地図の位置を変更する 113
施設の内容を表示する 113
提携駐車場を検索する 114
住所で絞り込む 114
03. 目的地までの案内 116
目的地案内 116
目的地案内について 116
目的地を設定してルートを探索する ... 117
目的地の設定について 117
自宅を目的地に設定する 119
ルート探索について 119
ルート学習について 120
ルート検索後の全ルート図表示について ... 121
目的地案内の開始 125
目的地案内を開始する 125
目的地案内を中止する 126
目的地への案内について 126
音声案内について 126
交差点案内について 128
到着予想時刻を表示する 132

車両情報の設定をする ... 133
フェリー航路の案内について ... 134
ルート案内中の操作 ... 134
全ルート図を表示する ... 134
到着予想時刻・残距離表示を切り替える ... 135
ルートを再探索する ... 135
ルートを自動で再探索する ... 135
ルートの再探索方法を選ぶ ... 136
ルートを変更する ... 138
ルート変更画面を表示する ... 138
探索条件を変更する ... 138
目的地を追加する ... 139
目的地への順番を並び替える ... 139
目的地を消去する ... 140
出入口IC（インターチェンジ）を指定する ... 141
通過する道路を指定する ... 142
目的地履歴を消去する ... 144
目的地履歴を消去する ... 144
04. 地点の登録 ... 145
メモリ地点を登録する ... 145
地点の登録について ... 145
地点編集画面について ... 145
自宅を登録する ... 146
自宅を修正する ... 146
自宅を消去する ... 147
特別メモリを登録する ... 147
特別メモリを修正する ... 147
特別メモリを消去する ... 148
メモリ地点を登録する ... 148
メモリ地点を修正する ... 149
メモリ地点を消去する ... 149
迂回メモリを登録する ... 150
迂回メモリを修正する ... 150
迂回メモリを消去する ... 151
登録地点の情報を修正する ... 152
グループで絞り込む ... 156
メモリ地点の取り込み・取り出し ... 158
メモリ地点の取り込みと取り出しについて ... 158
パスワードの設定 ... 158
メモリ地点の取り込み ... 159
メモリ地点の取り出し ... 160
05. ナビを使いこなす ... 162
補正が必要なとき ... 162
補正について ... 162
現在地を修正する ... 162
距離を補正する ... 162
ナビ詳細設定一覧 ... 163
ナビの詳細を設定する ... 163
地図表示設定をする ... 164
自動表示切替設定をする ... 164
案内表示設定をする ... 165
音声設定をする ... 165
ルート系設定をする ... 166
その他の設定をする ... 166
安全・快適走行設定一覧 ... 167
安全・快適走行の設定をする ... 167
メンテナンス機能について ... 168
メンテナンス機能とは ... 168
メンテナンスの項目を設定する ... 168
メンテナンスの設定を変更する ... 170
販売店の設定をする ... 171
車両警告灯表示について ... 172
車両警告灯の表示 ... 173
エコ機能 ... 174
エコ機能について ... 174
燃費の計算 ... 174
ルート案内時の燃費設定 ... 176
エコ情報の表示 ... 177
エコドライブインフォメーションの設定 ... 179
エネルギーモニターの表示 ... 179
GPS について ... 180
GPSとは ... 180
GPS情報を利用できないとき ... 180
システムの特性上、避けられないズレ ... 180
知っておいていただきたいこと ... 181
こんなメッセージが表示されたとき ... 181
故障とお考えになる前に ... 183
ナビの精度について ... 184

06. データ情報を確認する 186
地図について 186
地図データについて 186
地図データの更新について 186
地図データの情報を見る 186
地図データベースについて 187
地図のスケール表示について 188
地図記号・表示について 188
07. VICS・交通情報を使う 190
VICS・交通情報の表示について 190
VICS・交通情報を表示する 190
タイムスタンプについて 191
VICS 記号の内容を表示する 192
VICS・交通情報の表示設定 192
VICS・交通情報を活用する 193
渋滞・規制音声案内について 193
VICS 図形情報・文字情報を表示する 194
割込情報（ビーコン即時案内）を
表示する 195
割込情報の表示設定を変更する 197
渋滞を考慮して探索する 198
新旧ルートを比較して表示する 199
VICS 放送局を選択する 200
放送局を選択する 200
自動で放送局を選択する 201
手動で放送局を選択する 201
VICSの概要 202
VICSについて 202
VICSの用語について 202
VICSセンター著作権について 203
VICSについて問い合わせをする 203
VICS 記号・表示について 206
08. 携帯連携 207
携帯連携について 207
携帯連携とは 207
情報を携帯電話へ送信する 207
情報を車載機へ送信する 208

ナビをお使いになる前に

はじめに

》知っておいていただきたいこと

走行するときは、実際の交通規制に必ずしたがってください。
安全のため、走行状態になると操作できなくなる機能があります。

▶目的地案内で表示されるルートは、あくまでも目的地周辺までの参考ルートです。
- ●必ずしも最短ルート、渋滞していないルート、早く行けるルートなどではありません。

▶道路・地名・施設情報・料金のデータは、最新状態ではないことや不備な点があることがあります。

▶タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。（→**162**）
- ●このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。

▶自車マークは、必ずしも正しい位置を表示するとは限りません。
- ●このシステムは、GPS情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすことはできません。

▶実際の現在地と異なる場所に自車マークが表示されている（自車マークがずれている）ことがあります。
- ●人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車マークがずれることがあります。
  ただし、地図の自車マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチング※やGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）「ナビの精度について」もあわせてご覧ください。（→**184**）

※マップマッチングとは、GPS情報などを利用して得られた現在地の情報と、今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路に自車マークを表示させるシステムです。

ナビ画面の見方と音声案内

GPSボイスナビゲーションとは

目的地を設定することによって、自動的にルートが探索され、音声と画面表示による目的地案内が行われます。

目的地案内中の現在地画面の見方

表示		機能
①	方位マーク	地図の方角を表示する。 ：ノースアップ時 ：ヘディングアップ時 ：3D時 ●地図向きの切り替えについて→「地図の向きを切り替える」（→**76**）
②	自車マーク	現在位置と車が向いている方角を表示する。
③	レーン（車線）表示	通過・分岐する交差点の車線を表示する。（地図データに情報のある交差点のみ） ●目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示。
④	名称表示	状況により次のものを表示する。（地図データに情報のある地点のみ） ●通過・分岐する交差点の名称 ●走行している道路の名称 ●通過するIC・SA・PAの名称（高速道路を走行しているときのみ） ●分岐するIC・JCTの方面名称（高速道路を走行しているときのみ）
⑤	ルート表示	目的地を設定したとき、目的地までのルートを表示する。（→**123**）
⑥	案内ポイント	目的地案内中、通過・分岐する交差点に表示する。（→**128**）
⑦	スケール表示	表示させている地図の縮尺を表示する。 ●詳しくは、「地図縮尺を切り替える」（→**75**）・「地図のスケール表示について」（→**188**）をご覧ください。
⑧	GPSマーク	人工衛星からの絶対位置情報が利用されているときに表示する。 ●GPSマークが表示されているときでも、人工衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。（→**180**）
⑨	VICSタイムスタンプ	VICS・交通情報が発信されている地域で、VICS・交通情報が提供された時刻を表示する。 ●ルート上に情報があるときは、情報に応じて、タイムスタンプの色がかわります。（→**191**）

表示		機能
⑩	到着予想時刻表示／ 目的地方向マーク	状況により次のマークを表示する。 ■到着予想時刻表示 目的地への到着予想時刻を表示する。（→**132**） ●到着予想時刻表示の切り替えについて 「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」（→**135**） ■目的地方向マーク ルートからはずれたとき、目的地の方向を表示する。
⑪	残距離表示	現在地から目的地までの距離を表示する。 ●表示されているルートを通っての距離を表示する。 （ルートからはずれたときは、直線距離を表示する。） ●残距離表示の切り替えについて 「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」（→**135**）
⑫	時計表示	●現在の時刻を表示する。（→**81**）

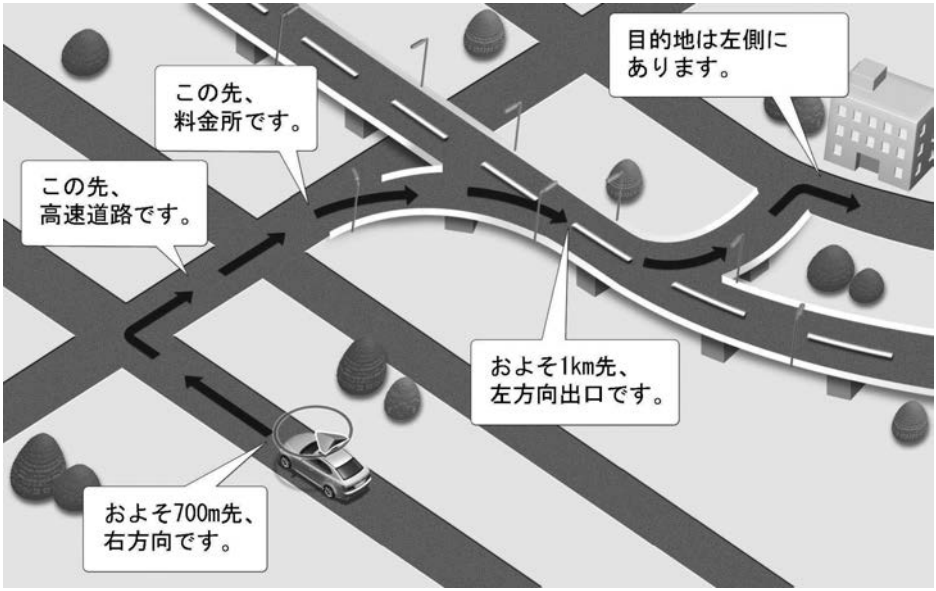
知識

▶本書で使用している地図画面は、一部の説明を除き、GPSマーク・VICSタイムスタンプが表示されていない地図画面を使用しています。

ナビ画面の見方と音声案内

》音声案内について

目的地案内中は、分岐する交差点・目的地などが近づくと、音声が出力されます。（→**126**）



地図画面を操作する

地図の表示

》現在地を表示する

地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。

現在地以外の地図表示中、または地図以外を表示中

1 画面外の **MAP** にタッチ。

■現在地画面で、画面外の **MAP** にタッチすると、画面上部に現在地付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。

知識

▶走行中は表示される道路が制限されます。（幅5.5m 未満の道路などは表示されません。）ただし、幅5.5m 未満の道路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。（→**123**）

▶初めて車載機を起動したときやバッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車マークが表示されている（自車マークがずれている）ことがあります。ただし、地図の自車マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

▶GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→**162**）

▶以下のとき路線名・路線番号は表示されません。

- 地図データに情報がないとき
- 200m 図より広域な地図を表示しているとき

緯度経度の表示

現在地の緯度や経度を確認することができます。

現在地の地図表示中

1 画面外の MAP にタッチ。

2 座標 にタッチ。

▶現在地の住所と緯度経度の座標が表示されます。

知識

▶緯度経度は、世界測地系と日本測地系の両方の座標が表示されます。

»スイッチの表示について

地図上のスイッチ類の表示を少なくすることができます。

1 ◀◀ Off にタッチ。

▶ ◀◀ Off のときに表示するスイッチ類を設定するとき
→「スイッチ表示設定を変える」（→73）

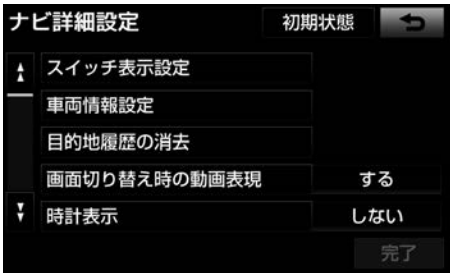
▶スイッチ類を表示するとき
→ ▶▶ On にタッチ。

スイッチ表示設定を変える

◀◀ Off にタッチしたときに、表示するスイッチ類の設定をすることができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ その他 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 スイッチ表示設定 にタッチ。



2 表示設定を変更したいスイッチにタッチし、 完了 にタッチ。

▶文字または記号が灰色になっているスイッチは ◀◀ Off にタッチしたとき表示されません。

▶初期設定の状態にもどすとき
→ 初期状態 にタッチ。

3 完了 にタッチ。（ 1 の画面）

地図を動かす（スライドタッチスクロール／ワンタッチスクロール）

スライドタッチスクロールで地図を動かす

フリックおよびスライド操作で地図を動かすことができます。

1 地図上にタッチし、スライドまたはフリック操作をする。（→**28**）

▶スライド操作のときは、指の動きに合わせて地図が動きます。

▶フリック操作をしたときは、指を払った方向に地図がスクロールします。

- スクロールする量は、払う速度により変化します。
- スクロールは、自動で止まります。スクロール中に画面にタッチしても止めることができます。

知識

▶次のときは、スライドタッチスクロールができません。

- 走行中
- 3D地図を表示しているとき

ワンタッチスクロールで地図を動かす

タッチした地点を画面の中心として、地図を動かすことができます。

1 地図上にタッチ。

▶地図左下に現在地からの直線距離が表示されます。

知識

▶走行中は安全のため、一定の距離しか移動しません。また、走行中で市街図（→**81**）を表示しているときは、地図を移動することはできません。

▶ワンタッチスクロールで地図を動かすと、走行しても地図は動かなくなります。この場合、画面外の MAP にタッチし現在地の表示にすると、地図が動くようになります。

▶地図を移動させたときは、地図向きの切り替え（→**76**）ができないことがあります。

▶3D地図を表示しているときは、タッチし続けると、地図が動く速度が速くなります。（このとき、⊕が黄色になります。）

地図スクロール時の地名表示について

地図のスクロールが止まったとき、画面上部に画面中心付近の地名・付近の路線名・路線番号を表示させることができます。

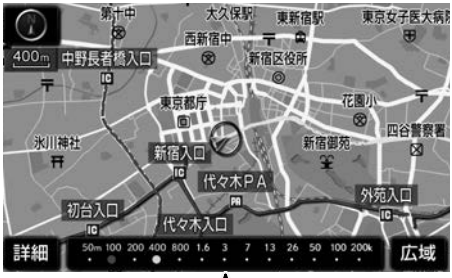
知識

- ▶地図の移動をやめると、約6秒後自動的に消去されます。
- ▶以下のときは、路線名・路線番号は表示されません。
  - ●地図データに情報のないとき
  - ●200m図より広域な地図を表示しているとき

》地図縮尺を切り替える

地図を1/2048 万図～1/5千図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。

広域：地図の範囲を広くする
詳細：地図の範囲を狭くする



スケールバー

- ▶13段階に切り替えることができます。（→188）
- ▶タッチするごとに、1段階ずつ切り替わります。
- ▶ **広域** または **詳細** にタッチしたあと、スケールバーの数字にタッチすると、縮尺が切り替わります。
- ▶ **広域** または **詳細** を約1秒以上タッチし続けると、縮尺を無段階に切り替えることができます。希望の縮尺になったら手をはなします。

知識

- ▶走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、またはスケールバーの数字にタッチして縮尺をかえることはできません。

縮尺切替メッセージの表示について

縮尺切替中に『市街図を表示します』などのメッセージが画面に表示されます。

■縮尺切替メッセージ表示のする／しないを設定できます。（→**165**）

知識

▶縮尺切替メッセージ表示を「しない」に設定したときは、以下のメッセージは表示されなくなります。

- ●『施設情報 VICS・交通情報は広域の地図には表示されません』
- ●『施設情報は 800m図より広域の地図には表示されません』
- ●『VICS・交通情報は 1.6km図より広域の地図には表示されません』
- ●『市街図を表示します』

地図の向きを切り替える

表示させている地図の向きを切り替えることができます。

▶ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図を表示する。

▶ヘディングアップ表示

車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示する。

▶3D表示

立体的な地図を表示する。

1 、 または にタッチ。

▶タッチするごとに、ノースアップ表示・ヘディングアップ表示・3D表示が切り替わります。

知識

▶3D表示に切り替えているときは、車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。

▶インテリアマップ表示中（→**94**）は3D表示は選択できません。

見下ろす角度を調整する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ 地図表示設定 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 3D地図表示設定 にタッチ。

2 [ ] または [ ] にタッチ。
[ ]：角度を上げる
[ ]：角度を下げる

3 調整が終わったら、 セット にタッチ。

3D表示の地図を回転する

1 地図上にタッチ。

2 地図を回転する。
[ ]：時計まわり
[ ]：反時計まわり

知識

▶現在地画面にすると、もとの表示状態（回転前の状態）に復帰します。

地図の文字サイズの設定を変える

地図上に表示される地名などの文字サイズを変更することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ 地図表示設定 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 地図の文字サイズ変更 にタッチ。

2 大 、 中 または 小 にタッチし、 完了 にタッチ。

》画面を左右2分割して表示する(2画面表示)

画面を左右に2分割して表示させることができます。

1 表示変更 にタッチ。

2 地図表示 にタッチ。

3 地図 2 画面 にタッチ。

▶解除するとき
→ 地図 1 画面 にタッチ。

知識

▶左画面の操作は、1画面表示のときと同じです。
▶2画面表示にさせているときは、左画面のみスライドタッチスクロール／ワンタッチスクロールで地図を動かすことができます。

右画面を地図画面から設定する

1 右画面の地図上にタッチ。

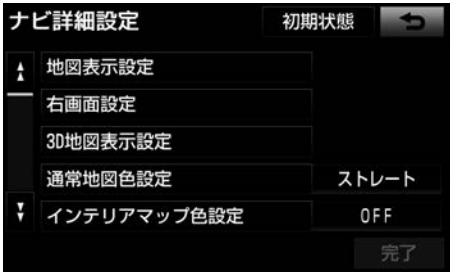
2 右画面の設定をする。

作動表示灯

右画面を設定画面から設定する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ 地図表示設定 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 右画面設定 にタッチ。



2 右画面の設定をし、 完了 にタッチ。

3 完了 にタッチ。(1の画面)

■右画面設定画面から設定を変更する

▶地図縮尺の切り替え（→**75**）

→ 詳細 または 広域 にタッチ。

▶地図向きの切り替え（→**76**）

→ 、 または にタッチ。

●2 画面表示画面でも、切り替えることができます。

▶施設の表示（→**82**）

▶左画面に施設の記号を表示させているとき、右画面でも施設の記号を表示させることができます。

→ 周辺施設表示 にタッチ。

●施設が表示されているときは、作動表示灯が点灯します。

▶VICS・交通情報の表示（→**190**）

▶左画面にVICS・交通情報を表示させているとき、右画面でもVICS・交通情報を表示させることができます。

→ VICS 表示 にタッチ。

●VICS・交通情報が表示されているときは、作動表示灯が点灯します。

知識

▶施設の表示、VICS･交通情報の表示は、左画面と同じ表示設定で、右画面にも表示されます。

》画面を左右2分割して表示する（地図/オーディオ）

地図画面の右側にオーディオ画面を表示させることができます。

1 表示変更 にタッチ。

2 地図表示 にタッチ。

3 地図＆オーディオ にタッチ。

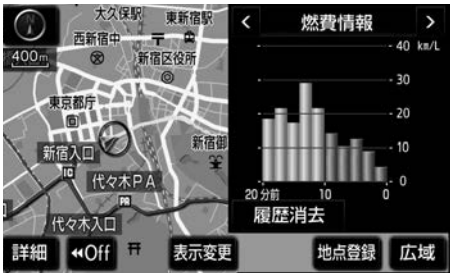
▶解除するとき

→ 地図1画面 にタッチ。

▶右画面には、放送局情報や、楽曲情報が表示されます。オーディオ操作については、3章オーディオ＆ビジュアルをご覧ください。

画面を左右2分割して表示する（地図/エコ情報）

地図画面の右側にエコ情報画面を表示させることができます。



1 表示変更 にタッチ。

2 地図表示 にタッチ。

3 地図＆エコ情報 にタッチ。

▶解除するとき
→ 地図1画面 にタッチ。

▶右画面の ＞ または ＜ にタッチすると、エコ運転評価・燃費情報に表示を切り替えることができます。

地図の表示色の設定を変える

地図色を切り替える（5種類）ことができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ 地図表示設定 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 地図色設定 にタッチ。

2 希望の地図色にタッチし、 完了 にタッチ。

自車マークを切り替える

地図上に表示される自車マークを切り替える（5種類）ことができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ 地図表示設定 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 自車マーク変更 にタッチ。

2 表示するマークを選択し、 完了 にタッチ。

時計表示を切り替える

地図上に現在時刻を表示させることができます。

▶時計表示のする／しないを設定できます。（→**166**）

知識

▶時計表示の時刻はGPS電波を利用して自動調整します。（操作することはできません。）

市街図を表示する

地図データに市街図の情報がある地域では、市街図表示に切り替えることができます。

1/5 千図表示中（→**75**）

1 市街図 にタッチ。

▶市街図表示には1/5千市街図と1/2500市街図があります。
広域 または 詳細 にタッチして切り替えます。

知識

▶市街図のデータがある地域のみ、1/5千図を表示すると、「市街図」が表示され、市街図表示に切り替えることができます。（市街図がない地域に地図または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。）
▶1/2500市街図にすると（一方通行）を表示します。

市街図の表示を解除する

1 1/5千市街図表示中、広域にタッチ。

施設の内容を表示する

1 施設にタッチ。

2 にタッチして、内容を表示する施設がある建物に地図を動かし、施設情報にタッチ。

▶選んだ建物の階数・施設の件数が表示されます。
▶選んだ建物に1つしか施設がないときは、その施設の内容が表示されます。

3 施設名称にタッチ。

知識
▶地図データに情報のない建物は、内容が表示されません。

地図表示画面を設定する

》地図上に施設記号を表示する

地図上に施設の記号を表示させることができます。

知識
▶地図データに情報のない施設は、表示されません。
▶1/8万図より詳細な地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）
▶表示することができる施設は、または⊕から半径約10km以内にある施設のみです。（最大200件まで）

地図画面から施設記号を表示する

1 表示変更にタッチ。

2 周辺施設にタッチ。

3 施設のジャンルにタッチ。

▶5つまで選択することができます。
▶表示されている以外のジャンルを選択するとき
→ 全ジャンル にタッチ。
▶ 全ジャンル にタッチしたとき
→施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。
▶表示を解除するとき
→ 表示解除 または選択済みの施設のジャンルにタッチ。

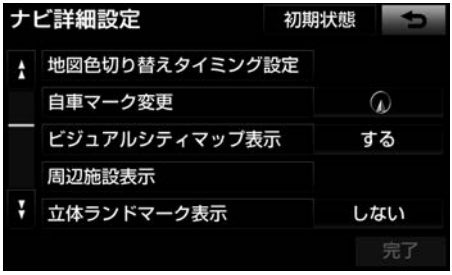
知識

▶ G情報マーク表示 は、G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに使用することができます。（→506）

設定・編集画面から施設記号を表示する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ 地図表示設定 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 周辺施設表示 にタッチ。



2 施設のジャンルを選択し、 完了 にタッチ。

▶施設のジャンルの選択方法は、「地図画面から施設記号を表示する」（→82）の手順3と同様です。

3 完了 にタッチ。（1の画面）

施設記号の表示を消去する

周辺施設画面（→82）または 周辺施設表示設定画面（→83）

個別に消去する

1 選択済みの施設のジャンルにタッチ。

すべて消去する

1 表示解除 にタッチ。

近くの施設を検索する

地図上に施設の記号を表示させているときに、▲または✛の位置の近くにある施設の名称と▲または✛からの直線距離・方向を表示させることができます。

地図表示中⇒ 表示変更 ⇒ 周辺施設 ⇒ 周辺施設画面

1 施設検索 にタッチ。

2 施設名称にタッチ。

▶選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設の名称と現在地からの距離が表示されます。
▶表示されている矢印は、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを示しています。
●スライドタッチスクロール／ワンタッチスクロールで地図を動かしたとき、矢印は表示されません。

3 情報にタッチ。

▶施設の内容が表示されます。（→113）

▶ ソート にタッチすると、表示する順序を切り替えることができます。

スイッチ	並べ方
距離順	ⓘまたは⊕から近い施設の順
種類順	施設の記号の種類順

知識

▶検索することができる施設は、ⓘまたは⊕から半径約10km以内にある施設のみです。（最大200件まで）

▶施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

ルート・距離を考慮したリストを表示する

目的地が設定されているとき、距離・方向をルート表示に連動したものにすることができます。

地図表示中⇒ 表示変更 ⇒ 周辺施設 ⇒ 施設検索 ⇒周辺施設検索画面

1 ルート沿い考慮にタッチ。

作動表示灯

▶設定しているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右、後ろのどちらの方向にあるかを表示します。

▶ルートを考慮したリストを表示しているときは、作動表示灯が点灯します。

知識

▶表示していた地図にルートが表示されていないときは、ルートを考慮したリストは表示されません。

▶表示することができる施設は、ルート沿いにある施設のみです。

走行中に呼び出すジャンルの設定を変更する

走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ その他 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 周辺施設　走行中呼出ジャンル にタッチ。

2 変更したい施設のジャンルにタッチ。

▶初期設定の状態にもどすとき
→ 初期状態 にタッチ。

3 走行中呼出ジャンルに登録したい施設のジャンルにタッチして、さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。

4 完了 にタッチ。

5 完了 にタッチ。（1の画面）

実際と同じ道幅で表示する（ビジュアルシティマップ）

道路の幅を実際の道路幅の比率と同じように表示させることができます。

■ビジュアルシティマップ表示のする／しないを設定できます。（→164）

立体的な施設マークを表示する（立体ランドマーク）

地図上に立体的な施設マーク（立体ランドマーク）を表示させることができます。

■立体ランドマーク表示のする／しないを設定できます。（→164）

知識

▶地図データに情報のない施設は、表示されません。
▶1/8万図より詳細な地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）

立体ランドマークの施設情報を表示する

1 立体ランドマークにタッチ。

▶名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 情報にタッチ。

▶施設の内容が表示されます。（→**113**）

》一時停止交差点を案内する

一時停止交差点に近づくと、地図右上に▼が表示され、音声案内されます。

▶AKB48 Team 8 のメンバーの音声で案内されます。（→**4**）

■一時停止案内のする／しないを設定できます。（→**167**）

⚠警告

▶一時停止案内はあくまでも補助機能です。
案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知識

▶以下のようなときは、一時停止案内が行われない場合があります。
- ●地図データに情報のない地点
- ●自車位置が正確に特定できないとき
- ●2014年11月時点の東京23区・政令指定都市（横浜市、大阪市、名古屋市など）・中核市（宇都宮市、倉敷市、鹿児島市など）における片側2車線以上の道路に進入する道路以外※

※2015年12月時点のものであり、変更される場合があります。

- ●進入した道路の一時停止交差点までの距離が短いとき

▶以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
- ●一時停止交差点が連続するとき
- ●他のナビ音声案内などと重なるとき

▶以下のようなときは、誤って一時停止案内を行う場合があります。
- ●自車位置が正確に特定できないとき
- ●地図データと実際の道路状態が変わったとき（信号機付き交差点に変わったなど）

》道路形状を案内する

踏切・合流道路・急カーブ・レーン数減少※の道路形状案内地点に近づくと、地図右上に案内マークが表示され、音声案内されます。踏切案内マークは地図上にも表示されます。

※都市高速道路走行中のみ案内されます。

■踏切案内のする／しないを設定できます。（→167）

■合流案内のする／しないを設定できます。（→167）

■カーブ案内のする／しないを設定できます。（→167）

■レーン案内のする／しないを設定できます。（→167）

道路形状案内マークについて

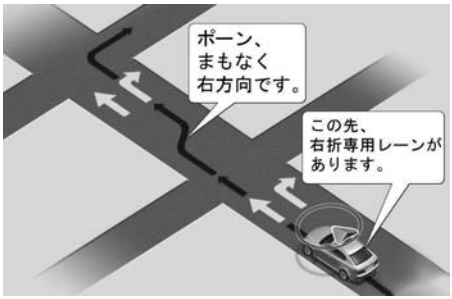
形　状		案内マーク
踏切		
合流道路		
急カーブ		
レーン	レーン数減少	
	右折・左折専用	なし

右折・左折専用レーン案内の例

▶直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくと「この先右折（左折）専用レーンがあります」と音声案内されます。

▶目的地案内中で、右折（左折）する交差点では右折・左折専用レーン案内はされません。

●この場合は「ポーンまもなく右方向（左方向）です」と音声案内されます。



⚠警告

▶道路形状案内はあくまでも補助機能です。
案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知 識

▶地図データに情報のない地点では、道路形状案内は行われません。
▶以下のようなときは、道路形状案内が行われない場合があります。
- ●目的地案内開始直後
- ●再探索直後
- ●目的地周辺

▶現在地から道路形状案内地点までの距離が短い、道路形状案内地点近くで分岐が連続するなど、周辺の道路状況によっても、案内が行われない場合があります。
▶道路形状案内は、遅れたり早くなることがあります。
▶次の道路形状案内マークが表示されている地点が短いときは、続けて道路形状案内が行われます。

》事故多発地点を案内する

交通事故が多発している地点を案内させることができます。

■事故多発地点案内のする／しないを設定できます。（→167）

一般道路上での案内マークについて

交通事故が多発している地点に、◆が表示されます。

▶1/5千図～1/8万図の地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）

高速道路上での案内マークについて

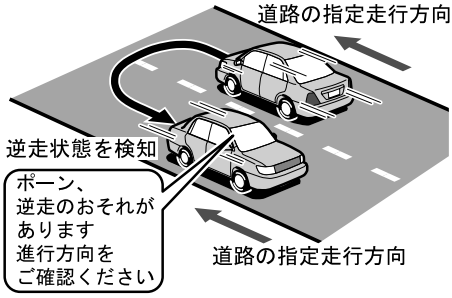
交通事故が多発している地点に近づくと、地図右上に⚠が表示され、音声案内されます。

⚠警 告

▶事故多発地点案内はあくまでも補助機能です。
案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

»逆走注意案内をする

サービス対象道路※にて、逆走状態を検知し、画面表示と音声で案内を行うことができます。



▶逆走を検知した場合、「ポーン、逆走の恐れがあります。進行方向をご確認ください。」と音声案内されます。

※サービス対象道路は、都市間高速道路・都市高速道路・一部の有料道路の本線およびIC・JCT・SA・PA施設です。

■逆走注意案内のする/しないを設定できます。（→167）

⚠警告

▶逆走注意案内はあくまでも補助機能です。
案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知識

▶以下のようなときは、逆走注意案内が行なわれない場合があります。
- ●サービス対象道路以外を走行している場合
- ●「本線、または本線に繋がる区間でのUターン、SA・PA進入路からの逆走」以外の方法で逆走する場合（一般道から高速道出口へ進入し逆走する場合など）
- ●ナビゲーション、またはナビゲーションの各種センサが故障している場合
- ●ナビゲーションが、サービス対象道路を走行中であることを特定できていない場合
- ●地図データに情報のない道路を走行している場合
- ●急激な回転をした場合
- ●自車位置補正、方位補正が行われた直後
- ●地図更新が行われた直後
- ●料金所付近を走行している場合
- ●本線への合流区間が短い場合
- ●スマートIC付きSA・PA、その他特定のSA・PAである場合
- ●SA・PA内で交通規制に従わない走行を行った場合（SA・PA内での一方通行違反等）

▶以下のようなときは、誤って逆走注意案内が行なわれる場合があります。
- ●地図データに情報のない道路を走行しているときにUターン動作をした場合
- ●自車位置マークの位置が正しくない場合
- ●料金所手前などのUターンが禁止されている場所で、逆走とはならないUターンを行った場合
- ●重大事故発生時などの警察・道路管理会社の誘導によりUターンを行った場合

学校の周辺であることを案内する

学校に近づくと、地図右上に🏫が表示され、音声案内されます。

▶AKB48 Team 8 のメンバーの音声で案内されます。(→**4**)

■学校存在案内のする／しないを設定できます。(→**167**)

案内できる学校について

全国の小学校・中学校・養護学校（聾学校・盲学校含む）・外国人学校※の小学校・中学校。

※専有校舎物件のみ。

⚠警告

▶学校存在案内はあくまでも補助機能です。
案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知識

▶以下のようなときは、学校存在案内が行われない場合があります。
- ●地図データに情報のない地点
- ●土曜日、日曜日
- ●午後7 時～午前7 時
- ●自宅登録時の自宅周辺
- ●一部の有料道路や自動車専用道路を走行中

▶以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
- ●案内表示中に別の学校に近づいたとき
- ●他のナビ音声案内などと重なるとき

ITSスポットサービス（DSRC）安全運転支援案内

見通しの悪いカーブ先の渋滞や合流車の接近等を、高速道路等に設置されたITSスポットサービス（DSRC）路側無線装置から受信して、音声と画面で案内させることができます。

■ITSスポット安全運転支援案内のする／しないを設定することができます。(→**167**)

→ITSスポットサービス（DSRC）安全運転支援案内は、ITSスポット対応DSRCユニットを装着しているときに行われます。ITSスポット対応DSRCユニットについては、ITSスポット対応DSRCユニットに同梱の取扱書をご覧ください。

代表例として、以下のような情報が提供されます。

合流支援情報提供について

合流してくる車両の存在を、合流部の手前で音声や画面表示で案内します。

ポーン　左から合流車、注意

前方障害物情報提供について

見通しの悪いカーブの先の停止車両や渋滞情報をカーブへの進入前に音声や画面表示で案内します。

ポーン　この先渋滞、追突注意

⚠警告

▶ITSスポットサービス（DSRC）安全運転支援案内はあくまでも補助機能です。
案内を過信せず、常に道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知識

▶以下のようなときは、ITSスポットサービス（DSRC）安全運転支援案内が行われない場合があります。
- ●アンテナ付近に障害物があるとき
- ●大型車と並んで走行しているとき
- ●他のナビ音声案内、画面表示などと重なるとき
- ●低速度で走行しているとき
- ●自車位置が正確に特定できないとき
- ●ITSスポットサービス（DSRC）路側無線装置が稼動していないとき

▶表示させている画面により、画面表示がされないことがあります。

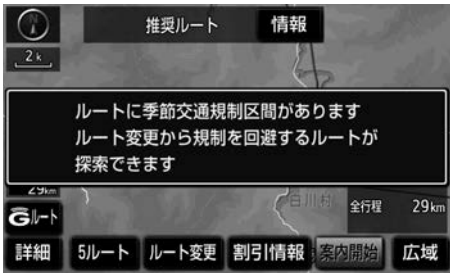
▶音声や画面表示は実際のITSスポットサービス（DSRC）路側無線装置から提供されるものと異なることがあります。

▶ITSスポットサービス（DSRC）安全運転支援案内（合流支援情報提供および前方障害物情報提供等）の表示時間は調整することができません。

▶ITSスポットサービス（DSRC）安全運転支援案内（合流支援情報提供および前方障害物情報提供等）情報については、「VICS について問い合わせをする」（→**203**）をご覧ください。

季節規制区間を表示する

長期間に渡り規制される区間（冬期通行止めになる道路など）を含むルートが探索されたときは、全ルート図表示画面にルートが ——（橙色）で表示されます。また、このとき、画面にメッセージを表示させることができます。



■季節規制メッセージ表示のする／しないを設定できます。（→**166**）

■季節規制区間を迂回するルートを探索したいとき
→「季節規制区間の迂回ルートを探索する」（→**144**）

知識

▶地図データに情報のない規制区間では、ルートの色はかわらず、メッセージも表示されません。

走行した経路を表示する（走行軌跡）

走行した道路を約1000km分保存し、軌跡を表示することができます。

走行軌跡

地図表示中⇒ 表示変更 ⇒
表示変更画面

1 走行軌跡表示 にタッチ。

知識

▶保存できる距離を超えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存しなおします。

▶1/2500 図 ～1/512 万図で表示することができます。

走行軌跡を消去する

地図表示中⇒ 表示変更 ⇒
表示変更画面

1 走行軌跡解除 にタッチ。

2 はい にタッチ。

知識

▶走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

》季節名所を表示する（シーズンレジャーランドマーク）

シーズンレジャーランドマーク（桜の名所や紅葉の名所）を時期に合わせて表示させることができます。

内　容	マーク
桜の名所	
紅葉の名所	

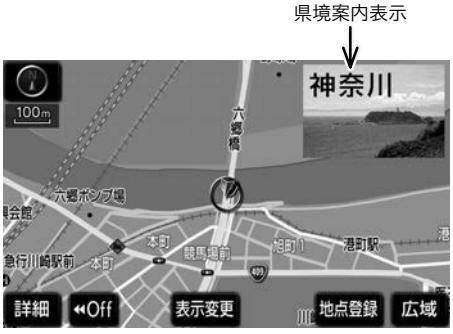
■シーズンレジャーランドマーク表示のする／しないを設定できます。（→**164**）

知識

▶地図データに情報のない名所は、表示されません。
▶1/8万図より詳細な地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）
▶マークが表示される時期は、名所ごとに異なります。

県境案内を表示する

都道府県境を通過したとき、地図右上にその都道府県のマークが表示され、音声案内されます。



▶AKB48 Team 8 のメンバーの音声で案内されます。(→**4**)

■県境案内のする／しないを設定できます。(→**165**)

知識

▶県境案内は、遅れたり早くなることがあります。

画面切り替え時に動画表現をする

画面の切り替わるスイッチにタッチしたときや、画面外の **MAP** にタッチしたとき、アニメーションのように表現されて画面を表示することができます。

■画面切り替え時の動画表現のする／しないを設定できます。(→**166**)

知識

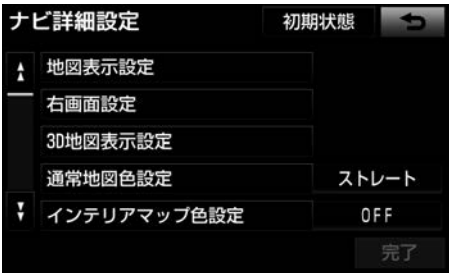
▶動画表現することのできない画面もあります。

インテリアマップを表示する

地図色を車室内のインテリアの色に合わせて、切り替える（4種類）ことができます。

画面外の **MENU** ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ 地図表示設定 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 インテリアマップ色設定 にタッチ。



2 希望のインテリア色にタッチし、 完了 にタッチ。

知識

▶インテリアマップ色を設定した状態で目的地案内を開始すると、自動で通常の地図色に切り替わります。目的地案内中もインテリアマップを表示するように設定することができます。(→**164**) ただし、インテリアマップでの目的地案内中は、一部の案内表示ができなくなります。

▶インテリアマップ表示中は3D表示(→**76**)は選択できません。

》動物メータを表示する

走行中の速度に合わせて、動物の画像が表示されます。

▶現在の速度により登場する動物が切り替わります。

スマートフォンに専用アプリをダウンロードすると、スマートフォン側では、動物が動画で表示されます。
(→343)

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (情報)⇒情報画面

1 動物メータ にタッチ。

》給油ガイドナビを表示する

車のメーターの残燃料警告ランプ点灯に合わせて、現在地周辺のガソリンスタンドのアイコンを地図画面上に表示することができます。

■給油ガイドナビのする／しないを設定することができます。(→164)

知識

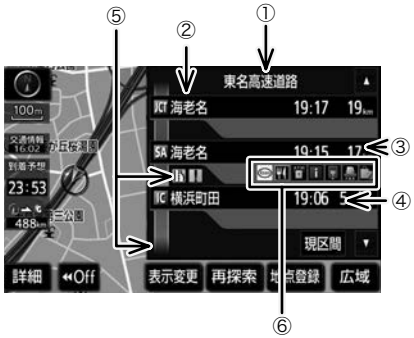
▶給油ガイドナビ機能の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

高速道路・都市高速道路を表示する

》ハイウェイモードについて

高速道路（都市高速を除く）にはいると、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。
目的地案内中は、都市高速や有料道路にはいっても、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

1 ▲、▼または施設名称（IC・SA・PA）にタッチ。



▶選ばれる施設が切り替わります。

▶施設を選んだとき、 現区間 にタッチすると、現在地から最寄りの施設が選ばれます。

表示		機能
①	道路名称表示	最寄りまたは選んだ施設の道路の名称を表示。
②	施設名称表示	施設の名称を表示。（目的地案内をさせていないときは、最大10カ所まで）
③	距離表示	現在地からの距離を表示。
④	通過予想時刻表示	通過予想時刻を表示。
⑤	VICS 記号・表示 （→**206**）	VICS・交通情報を受信したとき表示。 ●「VICS・交通情報の表示設定」（→**192**）で、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報を表示できます。
⑥	設備マーク表示	施設（SA・PAのみ）にある設備を、ガソリンスタンドを除き最大6つまで表示。 ●ガソリンスタンドは先頭に表示されます。 ●6つ以上の設備があるときは、表示されない設備マークがあります。

記号	内容
ー※	ガソリンスタンド
	レストラン
	ドラッグストア
	仮眠休憩施設
	お風呂
	キャッシュコーナー
	ハイウェイ情報ターミナル
	郵便ポスト
	FAX サービス
	ショッピングコーナー
	休憩所
	スナックコーナー
	トイレ
	ハイウェイオアシス
	スマートIC（ETC専用 インターチェンジ）

※固有のロゴマークが表示されます。

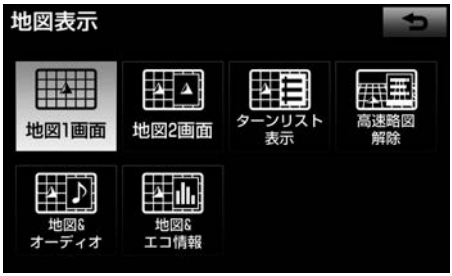
知識

▶反対車線の情報は表示されません。
▶通過予想時刻は設定した平均車速（→**133**）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
▶SA・PAにはいるなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモード表示が解除されることがあります。
▶目的地案内中のとき、出口IC・SA・PAまたは分岐するJCTの手前では、高速分岐案内画面（→**97**）が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。JCTのときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに復帰します。

ハイウェイモード表示を解除する

地図表示中⇒ 表示変更 ⇒ 地図表示 ⇒ 地図表示画面

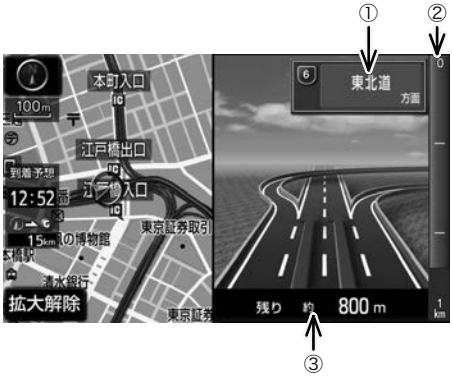
1 高速略図解除 にタッチ。



▶ハイウェイモードにもどすとき
→ 高速略図表示 にタッチ。

高速分岐案内を表示する

目的地案内中の地図表示画面で、現在地がルート上にあり、高速道路を走行しているとき、分岐点（出口IC・SA・PA・JCT）が近づくと、高速分岐案内画面を表示させることができます。



表示		機能
①	分岐点名称表示	IC の出口名称、SA・PA 名称または JCT の方面名称を表示。
②	残距離表示	分岐点までの距離を表示。（分岐点に近づくとともに ■ が短くなります。）
③	残距離デジタル表示	分岐点までの距離が数字で表示されます。

知識

▶地図データに情報のない分岐点では、高速分岐案内画面は表示されません。また、高速分岐案内画面が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
▶分岐点名称表示、車線数が実際の分岐点と異なることがあります。
▶以下のようなときは、高速分岐案内が行われない場合があります。
- ●目的地案内開始直後
- ●目的地周辺

▶高速分岐案内画面は、遅れたり早くなることがあります。
▶次の分岐点が近いときは、続けて高速分岐案内画面が表示されます。

高速分岐案内画面を解除する

1 拡大解除 にタッチ。

▶高速分岐案内画面にもどすとき
→画面外の MAP にタッチ。

音声の設定を変更する

》音量設定を変更する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 音量設定 にタッチ。

4 設定したい音量にタッチし、 完了 にタッチ。

▶音声をOFF にするとき
→ 消音 にタッチ。

高速時、自動的に音量を大きくする

車速が約80km/h以上になると、設定した音量が自動的に1段階上がるようにすることができます。（車速が約70km/h以下になると、もとの音量に復帰します。）

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 音量設定 ⇒音量設定画面

1 高速時の自動音量切替 にタッチ。

2 完了 にタッチ 。

▶自動で1段階上がる設定にしているときは、作動表示灯が点灯します。

ハートフル音声を発声する

通常の目的地案内中の音声案内とは、異なった音声を出力させることができます。

ハートフル音声の例

▶自宅を目的地に設定して、目的地に到着したとき
「お帰りなさい。ご案内は○○○○でした。また選んでくださいね。」※

▶ナビゲーションを起動したとき
「AKB48 Team 8 ○○代表の○○○○です。私が一生懸命ナビします。一緒に楽しいドライブにしようね。」※

▶特定の日にナビゲーションを起動したとき
「今日は4月3日Team 8 結成記念日です。これからも頑張るので、応援宜しくお願いします。」※

※AKB48 Team 8 のメンバーの音声で案内されます。(→**4**)

■ハートフル音声のする／しないを設定できます。(→**165**)

知識

▶状況などにより異なった音声が出力されたり、他のナビ音声案内などと重なったときは、出力されないことがあります。

地図を呼び出す

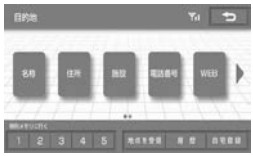
》地図を検索する

目的地の設定・目的地の追加・メモリ地点の登録・迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときには、設定・登録する場所を、さまざまな方法により地図を呼び出し、表示させることができます。

▶表示された画面で、地図の呼び出し方法を選びます。呼び出し方法の特徴については、表（→**101**）をご覧ください。

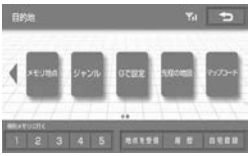
目的地の設定のとき

画面外の MENU ⇒ ナビ ⇒目的地画面



その他の方法

戻る



目的地の追加のとき

ルート変更画面（→**138**）⇒
目的地・通過目的地の 追加 ⇒
目的地追加画面（→**139**）

その他の方法

戻る

▶目的地の設定と追加画面では、つぎの表にある方法で地図を表示することができます。

項目（スイッチ）	機能	ページ
名称	名称で検索した施設がある地点の地図を表示する。入力した地名がある地域の地図を表示する。	104
住所	地名、番地で指定した地点または地域の地図を表示する。	108
施設	さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示する。	108
電話番号	電話番号で検索した施設がある地点の地図を表示する。入力した電話番号が使用されている地域の地図を表示する。	109
WEB	車載機から直接インターネットWEB検索を行う。 ●G-BOOKオンラインサービスを利用しているときのみ。（→501）	—
メモリ地点	メモリ地点にタッチすると、その地点の地図を表示する。 ●メモリ地点を登録しているときのみ。（→145）	—
ジャンル	現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示する。	110
Gで設定	ドライブプランやGメモリを目的地に設定する。 ●G-BOOKオンラインサービスを利用しているときのみ。（→499）	—
先程の地図	地図を呼び出す画面にする前にご覧になっていた地図を表示する。	—
マップコード	入力したマップコードが使用されている地域の地図を表示する。	111
特別メモリに行く 1 / 2 / 3 / 4 / 5	特別メモリ地点を目的地としてルート探索を開始する。 ●特別メモリ地点を登録しているときのみ。（→147） ●目的地の設定を行うときのみ。	—
特別メモリ周辺 1 / 2 / 3 / 4 / 5	特別メモリ地点周辺の地図を表示する。 ●特別メモリ地点を登録しているときのみ。（→147） ●目的地の追加を行うときのみ。	—
地点を受信※	携帯電話を利用して、目的地情報を受信する。 ●Bluetooth携帯電話を車載機に登録しているときのみ。（→440）	111
履歴	目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点の地図を表示する。 ●目的地履歴が登録されているときのみ。（→144） 前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示する。 ●一度目的地案内を行ったときのみ。	112
自宅に帰る	自宅を目的地としてルート探索を開始する。 ●自宅を登録していない場合は、ここから登録することができる。（→146） ●目的地の設定を行うときのみ。	—
自宅周辺	自宅周辺の地図を表示する。 ●自宅を登録しているときのみ。（→146） ●目的地の追加を行うときのみ。	—

※携帯連携機能のサービスは終了しています。

目的地の設定・追加以外のとき※

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メモリ地点登録・編集 ⇒ 自宅 ⇒ 登録 ⇒自宅登録画面

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メモリ地点登録・編集 ⇒ 特別メモリ ⇒ 登録 ⇒
特別メモリ登録画面

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メモリ地点登録・編集 ⇒ メモリ地点 ⇒ 登録 ⇒
メモリ地点登録画面

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メモリ地点登録・編集 ⇒ 迂回メモリ ⇒ 登録 ⇒
迂回メモリ登録画面

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メンテナンス ⇒ 項目設定 ⇒ 販売店設定 ⇒
販売店設定画面

※画面はメモリ地点の登録時のものです。 迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときも表示される項目は同じです。

▶目的地の設定と追加以外の地図呼び出し画面では、つぎの表にある方法で地図を表示することができます。

項目（スイッチ）	機能	ページ
現在地周辺	現在地周辺の地図を表示する。	—
目的地履歴	目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点の地図を表示する。 ●目的地履歴が登録されているときのみ。（→**144**） 前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示する。 ●一度目的地案内を行ったときのみ。	**112**
名称	名称で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した地名がある地域の地図を表示する。	**104**
住所	地名、番地で指定した地点または地域の地図を表示する。	**108**
施設	さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示する。	**108**
電話番号	電話番号で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した電話番号が使用されている地域の地図を表示する。	**109**
WEB	車載機から直接インターネットWEB検索を行う。 ●G-BOOKオンラインサービスを利用しているときのみ。（→**501**）	—
メモリ地点	メモリ地点にタッチすると、その地点の地図を表示する。 ●メモリ地点を登録しているときのみ。（→**145**）	—
ジャンル	現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示する。	**110**
先程の地図	地図を呼び出す画面にする前にご覧になっていた地図を表示する。	—
マップコード	入力したマップコードが使用されている地域の地図を表示する。	**111**
特別メモリ周辺	特別メモリ地点周辺の地図を表示する。 ●特別メモリ地点を登録しているときのみ。（→**147**）	—

》名称で地図を検索する

施設名称または地名を入力し、地図を呼び出すことができます。
また全国リスト画面（→**105**）に表示された件数が多い場合は、エリア（→**106**）・ジャンル（→**107**）を指定することにより件数を絞り込むことができます。

知識

▶入力中に検索先の候補が５件以下になり、約10秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。

名称の読みで検索する

■ひらがな入力

地図の呼び出し画面（→**100**）⇒
名称 ⇒名称／読み検索画面

1 名称を入力し、検索 にタッチ 。

▶入力するごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。漢字・カタカナ・英数字・記号で入力するとき
→ 漢字入力 にタッチ。
●入力方法について
→「名称の文字入力で検索する」（→**104**）
▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。
▶検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→**105**）

名称の文字入力で検索する

名称読み入力に比べ、検索する施設名称または地名の件数を絞り込むことができます。

▶ 読み入力 にタッチすると、入力していた文字は消去され、「ひらがな入力」（→**104**）の画面にもどります。
▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。

地図の呼び出し画面（→**100**）⇒
名称 ⇒ 漢字入力 ⇒
名称／文字検索画面

■ひらがな・漢字入力

1 かな にタッチし、入力画面を切り替える。

2 名称を入力し、 変換 にタッチ。

▶入力したままの状態で確定したいとき
→ 無変換 にタッチ。

3 入力したい熟語にタッチ。

▶変換範囲を修正するとき
→ ＜ または ＞ にタッチ。
▶そのままの状態でよいとき
→ 全確定 にタッチ。

4 検索 にタッチ。（2 の画面）

▶検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→**105**）

■カタカナ、英数字・記号入力

1 カナ または 英数字 にタッチし、入力画面を切り替える。

2 名称を入力し、 検索 にタッチ。

▲カタカナ入力時

▲英数字・記号入力時

▶検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→**105**）

全国リストから検索する

地図の呼び出し画面（→**100**）⇒ 名称 ⇒ （名称入力） ⇒ 検索 ⇒ 全国リスト画面

1 表示させる施設名称または地名にタッチ。

▶選択した施設の地図が表示されます。

▶エリア（→**106**）またはジャンル（→**107**）を指定することにより、リストに表示されている施設名称または地名を絞り込むことができます。

▶同じ施設名称、または施設名称に複数の店舗（チェーン店など）があるときは、まとめてリストに表示されます。この場合、施設名称の右側に検索された施設の件数が表示されます。

▶まとめて表示されたリストにタッチしたとき

→施設名称にタッチ。

●施設名称のリストは、以下の２種類の表示方法があります。 ソート にタッチすると、表示する順序を切り替えることができます。

スイッチ	並べ方
距離順※	から近い施設または地名の順
名称順	50音順

※検索された施設名称または地名の件数が多い場合は、距離順に表示できない場合があります。

エリア別に絞り込む

エリアを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

1 エリアで絞る にタッチ。

2 エリアの指定方法を選択する。

▶次の3通りの方法で、エリアを指定することができます。

スイッチ	項目	ページ
住所	住所で絞りこむ	106
地域	地域で絞りこむ	106
周辺	周辺で絞りこむ	107

■住所選択時

全国リスト画面（→105）⇒
エリアで絞る ⇒住所⇒
住所リスト画面

1 都道府県名にタッチ。

▶リスト画面にもどすとき
→ 全エリア にタッチ。

2 市区町村名にタッチ。

▶都道府県を指定してリスト画面を表示するとき
→ ○○全域 にタッチ。

■地域選択時

全国リスト画面（→105）⇒
エリアで絞る ⇒地域⇒
地域リスト画面

1 地域名にタッチ。

▶リスト画面にもどすとき
→ 全エリア にタッチ。

■周辺選択時

全国リスト画面（→105）⇒
エリアで絞る ⇒周辺⇒
周辺リスト画面

1 現在地周辺 、 先程の地図 または 目的地周辺 にタッチ。

▶リスト画面にもどすとき
→ 全エリア にタッチ。
▶目的地を複数設定してある場合、
目的地周辺 にタッチしたとき
→目的地にタッチ。

施設のジャンル別に絞り込む

ジャンルを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

1 ジャンルで絞る にタッチ。

2 施設のジャンル→さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。

▶リスト画面にもどすとき
→ 全ジャンル にタッチ。
▶地名を入力したときは、 その他
→ 住所 の順にタッチすると、地名のリストが表示されます。

知識

▶施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

住所で地図を検索する

地図の呼び出し画面（→100）⇒
住所 ⇒住所検索画面

1 都道府県名→市区町村名→町名→丁目（字）の順にタッチ。

▶ ○○主要部 にタッチすると、広域図が表示されます。

2 番地指定 にタッチ。

3 番地を入力し、 検索 にタッチ。

▶入力した番地に、
- ●該当する住所があるときは、その住所付近の地図が表示されます。
- ●該当する住所がないときは、その丁目（字）の広域図が表示されます。

▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。

施設で地図を検索する

地図の呼び出し画面（→100）⇒
施設 ⇒施設検索画面

1 施設のジャンルにタッチ。

▶表示されている以外のジャンルを表示するとき
→ その他 にタッチ。

▶ その他 にタッチしたとき
→施設のジャンルにタッチ。

2 都道府県名（路線名）にタッチ。

▶さらに市区町村名（または路線名・販売会社名）が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名（または路線名・販売会社名）にタッチします。

▶施設のジャンルによっては、全国施設リストがあります。 このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。
全国の○○ にタッチすると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が50 音順に表示されます。

3 施設名称にタッチ。

電話番号で地図を検索する

地図の呼び出し画面（→100）⇒
電話番号 ⇒電話番号検索画面

1 電話番号を入力し、 検索 にタッチ。

▶市外局番から入力します。
▶入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
▶入力した番号が以下のとき、市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- ●該当する施設がないとき
- ●個人住宅などのとき

▶間違えたとき→ 修正 にタッチ。
▶同じ電話番号で複数の地点があるとき→施設名称にタッチ。

知識

▶同じ名前の施設名称が、複数表示されることがあります。
▶施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
- ●デパートの美術館・アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
- ●一般情報誌などではホール等の電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地の地図が表示されます。

▶施設の電話番号や所在地、名前などは1年間で数万件が変化します。この点に留意してご利用ください。
▶地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される電話番号は途中で切れていることや省略されていることがあります。
▶収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。 記憶できる件数をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

≫ジャンルで地図を検索する

現在地または目的地周辺など施設を検索するエリアを変更し、変更したエリア周辺の施設を検索することができます。

地図の呼び出し画面（→100）⇒ ジャンル ⇒ジャンル検索画面

1 施設のジャンル→さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチし、 検索 にタッチ。

▶5つまで選択することができます。
▶間違えたとき
→ 選択解除 または選択済みの施設のジャンルにタッチ。

2 施設名称にタッチ。

▶ ソート にタッチすると、表示する順序を切り替えることができます。

スイッチ	並べ方
距離順	⌂または⊕から近い施設の順
種類順	施設の記号の種類順

知識

▶ ルート沿い考慮 にタッチすると、ルート沿いの施設のみリストに表示されます。（→84）

検索するエリアを変更する

施設を検索するエリアを変更することができます。

地図の呼び出し画面（→100）⇒ ジャンル ⇒ジャンル検索画面

1 エリア にタッチ。

2 施設を検索したい地域にタッチ。

▶ 住所指定 にタッチすると、住所から施設を検索したい地域を選択することができます。
●選択方法について
→「住所で地図を検索する」（→108）手順 1 へ。

3 セット にタッチ。

マップコードで地図を検索する

マップコード※とは、特定の位置の位置データをコード化し、1～13桁の番号でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。

※「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。

地図の呼び出し画面（→100）⇒
マップコード ⇒
マップコード検索画面

1 マップコードを入力し、検索にタッチ。

▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。

知識

▶マップコードについては、以下のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。
http://www.e-mapcode.com
▶マップコードは、メモリ地点を登録すると、地点編集画面に表示されます。（→145）

携帯電話で地図を検索する

携帯連携機能のサービスは終了しています。

Bluetooth携帯電話で検索した施設の位置情報や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の情報を車載機へ送信して、その場所の地図を呼び出すことができます。本機能を使用するためには、専用アプリを携帯電話にダウンロードする必要があります。車載機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、次の方法でご確認ください。

・各携帯電話会社へのお問い合わせ
・携帯電話のパンフレット
・専用カタログ
・トヨタのホームページ

⚠警告

▶運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

地図の呼び出し画面（→100）⇒
地点を受信 ⇒地点を受信画面

1 携帯電話から位置情報を送信する。

▶通信を中止したいとき
→ 中止 にタッチ。
▶位置情報を取得するとメッセージが表示されます。

知識

- ▶車載機に登録されたBluetooth携帯電話のみ使用することができます。(→**440**)
- ▶同乗者が携帯電話を操作する場合、ハンズフリー(→**441**)に接続中の携帯電話から走行中は地点を受信することはできません。
- ▶送信中にエンジンスイッチをOFF(LOCK)にした場合、送信が中止されます。その場合、エンジンスイッチをACC、またはONにして再度操作します。
- ▶送信中に車載機を操作したり、他の画面に切り替わった場合、送信が中止されます。
- ▶データ送信中は、他のBluetooth機器の接続が切断されます。その場合、送信が終了すると、再接続されます。(機種により、再接続できないことがあります。)
- ▶表示される地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。

»履歴で地図を検索する

地図の呼び出し画面(→**100**)⇒ 履歴 ⇒履歴検索画面

1 希望の目的地履歴にタッチ。

▶ 前回出発地 にタッチすると、前回目的地案内させたときの出発地点の地図が表示されます。

履歴を消去する

記録された目的地履歴を消去することができます。

1 履歴消去 にタッチ。

2 地点名称にタッチ。

▶すべての目的地を選択するとき
→ 全選択 にタッチ

3 消去 にタッチ。

4 はい にタッチ。

知識

- ▶自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。
- ▶「携帯電話で地図を検索する」(→**111**)、「スマートフォン／ナビ連携機能」(→**334**)で設定した目的地は、履歴に異なる名称で登録されていることがあります。

検索した地図を操作する

ピンポイント検索について

地図を呼び出したとき、施設によっては、ピンポイント検索されます。

▲ピンポイント検索されたとき

▲ピンポイント検索されなかったとき

知識

▶検索された施設に、詳細な情報があるときは、検索された施設の地点に📍が表示されます。

▶携帯電話で地図を呼び出した場合、［↩］が表示されません。

地図の位置を変更する

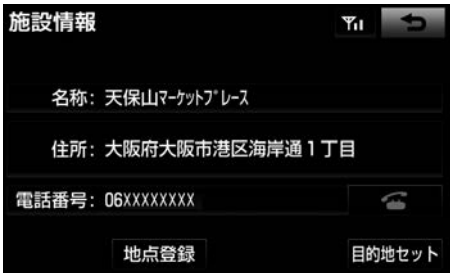
1 🏠にタッチして、地図を動かす。

施設の内容を表示する

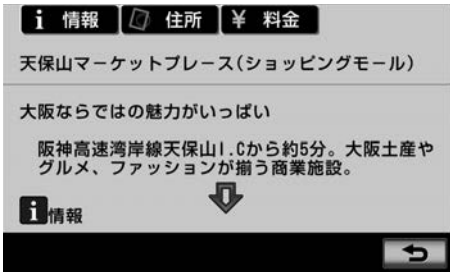
1 情報 にタッチ。

▶呼び出した地図の地点により、表示される画面が異なります。

▶簡易情報表示



▶情報付き施設表示



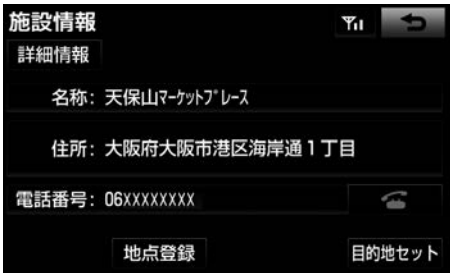
▶画面をスクロールするとき
→🏠 にタッチ。

▶ ○○ （ 住所 ・ 写真 など）にタッチすると、それぞれの情報が書かれている部分に画面を移動します。

知識

▶施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

▶携帯電話から受信した情報の施設表示



▶詳細な情報が表示したいとき
→ 詳細情報 にタッチ。

知識

▶詳細情報は、コンテンツにより表示できない場合があります。

提携駐車場を検索する

検索された施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

1 提携P にタッチ。

▶提携駐車場のリストが表示されます。
▶ 提携P にタッチしても、駐車場が検索されないことがあります。

2 駐車場名称にタッチ。

▶選択した駐車場の地図が表示されます。
▶専用駐車場は P（青色）、提携駐車場は P（緑色）で表示されます。

知識

▶地図データに情報のない駐車場は、検索されません。
▶施設によっては、駐車場が検索されない施設もあります。
▶検索される駐車場は、設定した車両情報（→**133**）により異なります。また、車両寸法が設定されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。

住所で絞り込む

住所一覧から検索する

次のときに、検索することができます。
(1)「名称で地図を検索する」（→**104**）のリスト画面で、地名にタッチしたとき
(2)「電話番号で地図を検索する」（→**109**）で、該当する施設がなかったとき

1 住所一覧 にタッチ。

2 地名にタッチ。

▶選択した地名の地図が表示されます。
▶詳細がわからないとき
→ ○○主要部 にタッチし、広域図を表示。

周辺住所から検索する

次のときに、検索することができます。

(1)「住所一覧から検索する」（→**114**）で、該当する住所がなかったとき

(2)「住所で地図を検索する」（→**108**）で、該当する住所がなかったとき

▶メッセージが表示されますので、**了解** にタッチしてください。

1 **周辺住所** にタッチ。

2 番地にタッチ。

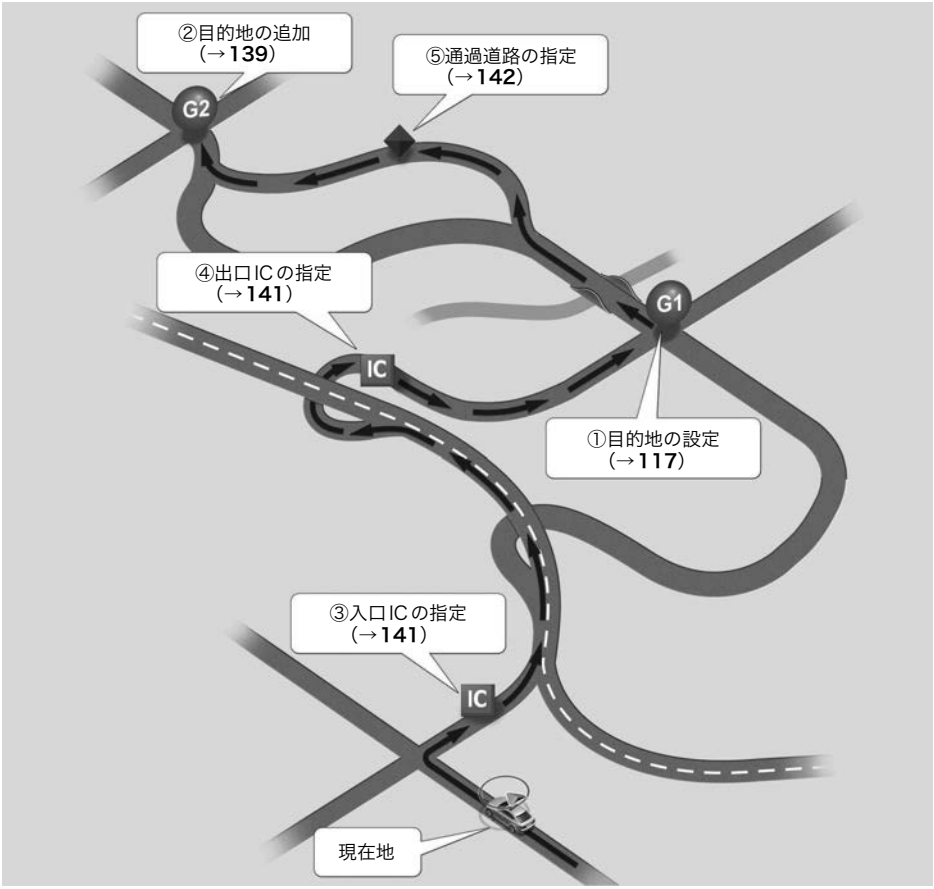
03 目的地までの案内

目的地案内

》目的地案内について

目的地案内では、目的地の設定のしかた、目的地への案内のしかた、ルートの変更のしかたについて説明しています。

▶まずはじめに、
①**目的地を設定**します。
▶目的地をもう1カ所追加したいときは、
②**目的地の追加**をご覧ください。
▶希望のルートでなかったときは、
③**入口ICの指定**・④**出口ICの指定**・⑤**通過道路の指定**をご覧ください。
■ルート変更は、他にも方法があります。(→**138**～**143**)



目的地を設定してルートを探索する

》目的地の設定について

知識

▶1/8万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
▶目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。（最大100カ所まで）100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。（→**144**）

目的地画面から目的地を設定する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 ナビ にタッチ。

3 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示する。（→**100**、**113**）

4 目的地セット にタッチ。

▶⊕の位置に目的地がG記号で表示され、ルート探索が開始されます。（→**119**）

■設定した目的地を消去するとき
→「目的地を消去する」（→**140**）

■すでに目的地が設定されているとき
→次のいずれかにタッチ。
新規目的地 :新しく目的地を設定する
追加目的地 :目的地を追加する※
※以降の設定方法について
→「目的地を追加する」（→**139**）手順4へ。

■「地図画面から目的地を設定する」（→**117**）で目的地を設定した場合は、一番初めの目的地になり、ルート探索を開始します。

地図画面から目的地を設定する

現在、表示させている地図に目的地を設定することができます。

1 地図上にタッチし、目的地セット にタッチ。

2 ⊕にタッチして、目的地を設定する位置に地図を動かし、目的地セット にタッチ。

▶⊕の位置に目的地がG記号で表示され、ルート探索が開始されます。（→**119**）

携帯電話から目的地を設定する

携帯連携機能のサービスは終了しています。

Bluetooth携帯電話で検索した施設の位置情報や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の情報を車載機へ送信して、目的地を設定することができます。
本機能を使用するためには、専用アプリを携帯電話にダウンロードする必要があります。車載機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、次の方法でご確認ください。
・各携帯電話会社へのお問い合わせ
・携帯電話のパンフレット
・専用カタログ
・トヨタのホームページ

⚠警告

▶運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 インフォ にタッチ。

▶情報画面が表示されたとき
→BTナビ にタッチ。

3 地点を受信 にタッチ。

4 携帯電話から位置情報を送信する。

▶通信を中止したいとき
→ 中止 にタッチ。

▶位置情報を取得するとメッセージが表示されます。

5 目的地セット にタッチ。

▶⊕の位置に目的地がG記号で表示され、ルート探索が開始されます。（→**119**）

知識

▶車載機に登録されたBluetooth携帯電話のみ使用することができます。（→**440**）

スマートフォン／ナビ連携機能を使って目的地を設定する

スマートフォンの専用アプリを使って検索した施設の位置情報や受信メールに含まれている地点情報を車載機へ送信して、目的地を設定することができます。詳細は「スマートフォン／ナビ連携機能」（→**334**）をご覧ください。

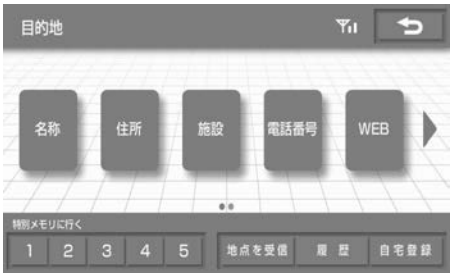
自宅を目的地に設定する

画面外の MENU ⇒目的地画面

1 自宅に帰る にタッチ。

自宅が登録されていないときは

1 自宅登録 にタッチ。



2 自宅の登録方法を選択する。

▶次の3 通りの方法で、地図を呼び出すことができます。

機能	ページ
現在地周辺	—
目的地履歴	112
住所指定	108

3 セット にタッチ。

4 自宅に帰る にタッチ。（目的地画面）

ルート探索について

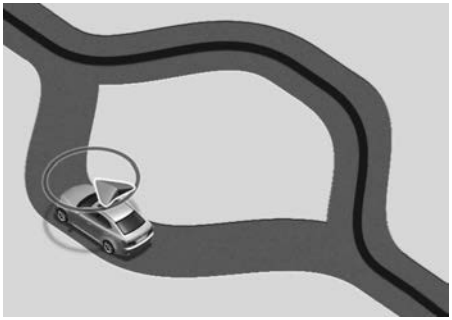
目的地の設定が終了すると、ルート探索が開始されます。

知 識

▶ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても、探索は続けられています。
▶目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
▶ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。
▶高速道路や有料道路のIC・SA・PA内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道路から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（→136）を行ってください。

≫ルート学習について

ルート探索時に、いつも通る道を考慮したルートで案内させることができます。
目的地案内中に、ルートとは異なる道路を走行した場合にそのルートを学習します。
何度か同じように走行し、学習が完了すると次のルート探索時に学習したルートで案内させることができます。



▶ルート学習のする／しないを設定できます。（→166）

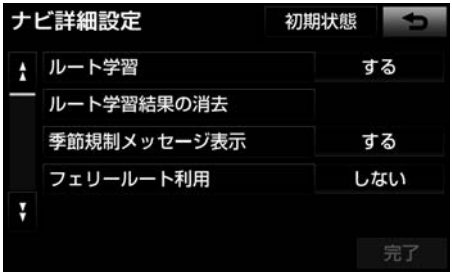
知識

- ▶ルート学習する区間に、一部でも幅5.5m未満の道路が含まれている場合は、ルート学習をすることができません。（自宅登録時の自宅周辺を除く）
- ▶学習した道が使われない場合もあります。
- ▶自車マークが実際の道路と異なる場所に表示されているときは、ルート学習ができない場合があります。（高速道路、またはバイパスのような高架道路と並行している道路がある場合など。）
- ▶ルート学習は、ルート探索時の推奨ルートに反映されます。
- ▶地図データを更新した場合、道路の改良、新規開通などの変化により、ルート学習が反映されない場合があります。

ルート学習結果を消去する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ ルート系設定 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 ルート学習結果の消去 にタッチ。



2 はい にタッチ。

»ルート検索後の全ルート図表示について

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。

▶全ルート図が表示されたあと、画面外の MAP にタッチ、または走行を開始して約3秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。（→**125**）

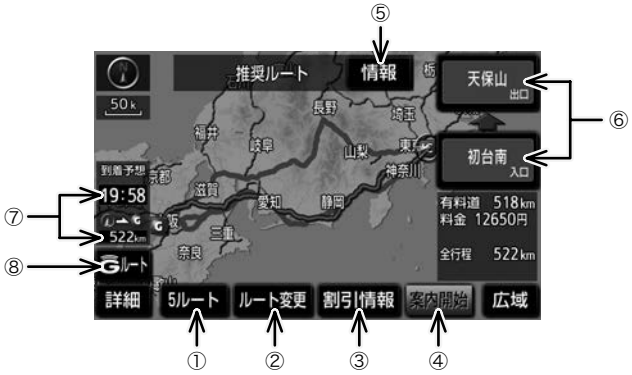
画面の表示について

表示はすべて最終の目的地までのものです。

表　示		機　能
①	IC名称表示	一番最初に一般道路から有料道路に入るICの名称が下に、一番最後に有料道路から一般道路に出るICの名称が上に表示される。
②	有料道路距離表示	目的地までに通るすべての有料道路の距離を表示する。 （有料道路を通らないときは、利用する主な道路の種類が表示されます。）
③	料金案内	目的地までに通るすべての有料道路の料金を表示する。 （割引は考慮されません。また、有料道路を通らないときは、利用する主な道路の距離が表示されます。） ●目的地案内開始後に全ルート図表示画面を表示したときは、現在地から目的地までに通る残りの有料道路の料金を表示する。
④	距離表示	目的地までの距離を表示する。
⑤	ICマーク	一番最初に一般道路から有料道路に入るICと、一番最後に有料道路から一般道路に出るICの位置に表示する。
⑥	到着予想時刻表示	目的地への到着予想時刻を表示する。（→**132**） ●ルートからはずれたときは、目的地方向マークを表示します。
⑦	残距離表示	表示されているルートの自車位置から目的地までの距離を表示する。 ●ルートからはずれたときは、目的地までの直線距離を表示します。

タッチスイッチについて

全ルート図表示画面で、次のことができます。



	スイッチ	機　能
①	5 ルート（→124）	別のルートを表示して選択する。 ●目的地案内開始後は表示されません。
②	ルート変更（→138）	ルート変更画面を表示する。
③	割引情報 （→552）	ETC割引情報を表示する。 ●G-BOOKを利用しているときに使用することができます。
④	案内開始 目的地案内中は、 案内に戻る （→125）	目的地案内またはデモンストレーションを開始する。 目的地案内中は、現在地画面にもどる。
⑤	情報 （→123）	案内道路情報を表示する。
⑥	IC 名称 （→141）	出入口ICを指定する。
⑦	到着予想時刻・ 残距離表示 （→135）	各目的地までの到着予想時刻・残距離に切り替える。（目的地を複数設定しているとき）
⑧	G ルート ／ 元ルート （→547）	G-BOOKセンターから交通情報を入手してルート検索する。 ●G-BOOKを利用されているときに使用することができます。

知 識

▶探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
▶料金は設定した車両情報（→133）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
▶到着予想時刻は設定した平均車速（→133）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
▶交通規制（常時進入禁止、時間による進入禁止など）区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所に×が表示されることがあります。
▶地図データには中央分離帯の情報が収録されていないものがあります。そのため、探索されるルートは中央分離帯を考慮したものではないことがあります。
▶目的地案内開始後にも全ルート図表示画面を表示することができます。（→134）

ルートの表示について

▶ルートの表示色は、次の4種類あります。

表示色	内容
▶青色 (▬)	目的地を1カ所、または複数設定しているときの現区間（次の目的地まで）の表示
▶白色 (═)	目的地を複数設定しているときの現区間（次の目的地まで）以外の表示
▶水色 (▬)	幅5.5m未満の道路表示 (→**123**)
▶橙色 (▬)	季節規制区間表示 (→**92**)

■幅5.5m未満の道路表示

現在地または目的地周辺では、幅5.5m未満の道路を通るルートも探索します。

知識

▶交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。

ルート情報を表示する（案内道路情報）

ルート探索終了後、ルート情報（道路名称・距離・料金・通過予想時刻）を表示させることができます。

1 情報にタッチ。

2 ルート情報画面が表示される。

▶ETC割引情報を表示したいとき
→ 割引情報 にタッチ。（→**552**）

▶入口IC・出口IC・JCT・目的地・道路の種別の変わり目などでルートを分割して表示します。

▶分割されたそれぞれのルートは、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。

●現在地及び目的地周辺の地図を表示するとき
→ 地図 にタッチ。

▶現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に⊙が表示されます。

知 識

▶ 割引情報 は、G-BOOKを利用しているときに使用することができます。
▶現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。
▶料金は設定した車両情報（→**133**）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
▶通過予想時刻は設定した平均車速（→**133**）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

5つのルートを表示する

5つのルートから希望のルートを選ぶことができます。

1 5ルート にタッチ。

▶5つのルートが5色に色分けされて表示されます。
▶燃費を設定している場合、最もエコなルートにアイコンが表示されます。（→**176**）

2 表示したいルート名称にタッチ。

▶選択したルートの全ルート図表示画面が表示されます。

スイッチ	内　容
推奨	一般的なルートで案内できます。
有料優先	有料道路を優先して案内できます。
一般優先	一般道路を優先して案内できます。
距離優先	距離の短いルートで案内できます。
別ルート	他の４つのルートとは別のルートで案内できます。

知 識

▶以下のときは、5ルートを表示できません。
- 目的地を複数設定しているとき
- 通過する地点（IC・通過道路）を指定しているとき
- 目的地案内開始後

5つのルートの詳細情報を表示する

5つのルートの目的地までの距離・有料道路の距離・料金・所要時間を確認することができます。

全ルート図表示画面（→121）⇒ 5ルート ⇒5ルート表示画面

1 全行程一覧 にタッチ。

2 全行程一覧表画面が表示される。

▶ルート名称にタッチすると、タッチしたルートの全ルート図表示画面が表示されます。

知識

▶料金は設定した車両情報（→133）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。

▶所要時間は設定した平均車速（→133）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

目的地案内の開始

》目的地案内を開始する

全ルート図表示画面（→121）

1 案内開始 にタッチ。

▶全ルート図が表示されたあと、画面外の MAP にタッチ、または走行を開始して約3秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。

デモンストレーション（デモ）を見る

ルート探索終了後、目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモを見ることができます。

全ルート図表示画面（→121）

1 案内開始 に約3秒以上タッチ。

▶デモを終了するとき
→画面外の MAP にタッチ。
●デモ中に走行したときも、デモが終了し、目的地案内が開始されます。

知識
▶ルート探索終了後、目的地案内を開始したあとは、デモを見ることはできません。

目的地案内を中止する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 案内中止 にタッチ。

▶中止した目的地案内を再開するとき
→画面外の MENU → 設定
→ 案内再開 の順にタッチ。

知識
▶目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。

目的地への案内について

音声案内について

目的地案内中の音声案内の例

■分岐交差点手前
700m手前
「ポーン およそ700m先 ○○を右方向です。」
300m手前
「ポーン およそ300m先 ○○を右方向です。」
100m手前
「ポーン まもなく右方向です。」
交差点直前
「右に曲がってね。」※
※AKB48 Team 8 のメンバーの音声で案内されます。（→4）

ポーン まもなく右方向です。

▶○○（道路名称や交差点名称、目印など）は、情報のある地点のみ案内されます。
▶信号機案内の例
2014年11月時点の東京23区・政令指定都市（横浜市、大阪市、名古屋市など）・中核市（宇都宮市、倉敷市、鹿児島市など）における片側3車線以上の道路を走行中に音声案内されます 。※
※2015年12月時点のものであり、変更される場合があります。
「ポーン およそ300m先 次の信号を右方向です。」
「ポーン 次の信号を右方向です。」

■有料道路への進入時
「ポーン まもなく右方向です その先 高速道路です。」
「ポーン この先 料金所です。」

■連続車線変更案内時
連続車線変更案内（→**130**）を表示したときに音声案内されます。
「ポーン すぐに左に車線変更が必要です。」

■幅5.5m未満の道路への進入時
「実際の交通規制や道幅に注意して走行してください。」

■首都高速の車線変更案内時
1km手前
「およそ1km先、右（左）方向○○方面です。」
「右（左）側1車線へ移動が必要です。」
500m手前
「まもなく右（左）方向、○○方面です。」
「この先、すぐに右（左）にレーン移動が必要です。」

■首都高速の車線変更禁止区間案内時
車線変更禁止区間の端から1km手前
「およそ1km先、右（左）方向○○方面です。」
車線変更禁止区間の端から500m手前
「まもなく右（左）方向、○○方面です。」

目的地周辺に到着したときの音声案内の例

■目的地の手前
「ポーン まもなく目的地です。」

■目的地の直前
「目的地は右（左）側です。一緒にドライブできてすごく楽しかったよ。ありがとう。」※
※AKB48 Team 8 のメンバーの音声で案内されます。（→**4**）
音声案内はあくまでも参考としてください。
■画面外の MAP にタッチすると、分岐交差点までの距離に応じた音声案内が出力されます。

知識

- ▶音声案内の例は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- ▶自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。
- ▶地図データに情報のある地点で案内されます。
- ▶音声案内の音量は調節することができます。（→**98**）
- ▶信号機案内は、以下のようなとき出力されない場合があります。
  - ●信号機のある交差点を走行しているとき
  - ●分岐する交差点までの距離が短いとき
  - ●分岐する交差点までの間に別の信号機があるとき
  - ●2014年11月時点の東京23区・政令指定都市（横浜市、大阪市、名古屋市など）・中核市（宇都宮市、倉敷市、鹿児島市など）以外※

※2015年12月時点のものであり、変更される場合があります。

幅5.5ｍ未満の道路での音声案内について

目的地周辺では、幅5.5ｍ未満の道路（細街路）を通るルートも音声案内を行います。

■細街路での音声案内のする／しないを設定できます。（→**165**）

知 識

▶実際の入り口（玄関、駐車場など）と異なる場所に案内される場合があります。

▶出発地点が幅5.5m未満の道路にある場合、幅5.5m以上の道路までは、音声案内を行いません。

▶交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが案内されることがあります。

充電喚起案内

▶対象車種のみ

自宅を目的地に設定しているとき（→**119**）

自宅に到着したときに、車両側のメーター内に表示される駆動用電池残量が4 以下になると、音声案内します。

■充電喚起案内のする／しないを設定できます。（→**165**）

知 識

▶充電喚起案内をするには自宅の登録が必要です。（→**146**）

▶充電喚起案内の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

他モードでの音声案内について

ナビ画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときでも、音声案内を出力させることができます。

■他モード時の案内のする／しないを設定できます。（→**165**）

知 識

▶音声案内が出力されていないときも、目的地案内は継続して行われます。

交差点案内について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくと、レーンリスト図（→**128**）または交差点拡大図（→**129**）に切り替わります。また、ターンリスト図（→**131**）を表示させることもできます。

レーン（車線）リスト図を表示する

分岐する交差点の手前（約700m以内）では、レーンリスト図（走行する交差点の名称とレーン表示）を最大4 つまで表示させることができます。

▲レーンリスト

知 識

▶レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約300m手前では、交差点拡大図（→**129**）が自動的に表示されます。

▲高精度レーンリスト

知識

▶実際の車線状況に応じたレーンリスト（右側・左側車線の増減を画面にそのまま反映したもの）が表示されます。

■高精度レーンリストを表示できる 地域について

2014年11月時点の東京23区・政令指定都市（横浜市、大阪市、名古屋市など）・中核市（宇都宮市、倉敷市、鹿児島市など）における片側3車線以上の道路※

※2015年12月時点のものであり、変更される場合があります。

■レーン（車線）リスト図表示を解除する

1 レーン解除 にタッチ。

▶レーンリスト図にもどすとき
→ レーン表示 にタッチ。

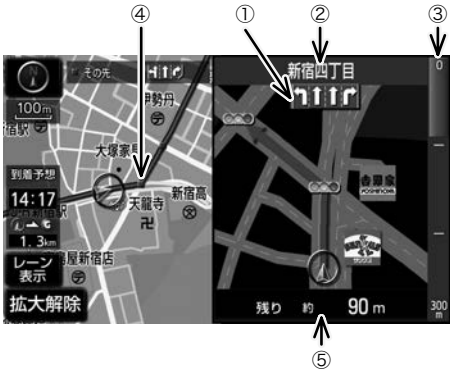
警告

▶レーン案内はあくまでも補助機能です。
案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

交差点拡大図を表示する

交差点が近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点が近づく（約300m以内）と、交差点拡大図を表示させることができます。

▲分岐しない交差点



▲分岐する交差点（交差点拡大図）

表示		機能
①	レーン（車線）表示	通過・分岐する交差点の車線が表示されます。 ●走行を推奨する車線が青色で表示されます。
②	交差点名称表示	通過・分岐する交差点の名称が表示されます。
③	残距離表示	交差点までの距離がバーで表示されます。 ●交差点に近づくとともに■が短くなります。
④	案内ポイント	通過・分岐する交差点に表示されます。
⑤	残距離デジタル表示	交差点までの距離が数字で表示されます。

知識

▶地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は行われません。
▶レーン表示・交差点名称表示が実際の交差点と異なることがあります。
▶目的地案内開始直後は、交差点案内が行われない場合があります。
▶交差点拡大図表示は、遅れたり早くなることがあります。
▶次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。
▶交差点拡大図が表示されているとき、レーン表示・交差点名称表示は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。

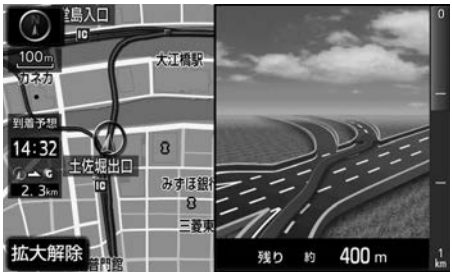
3D交差点拡大図を表示する

交差点拡大図を立体的（3D）に表示させることができます。

■3D交差点拡大図のする／しないを設定できます。（→**165**）

連続車線変更を案内する

分岐する交差点までの距離が短く、複数車線変更が必要な場合に表示されます。

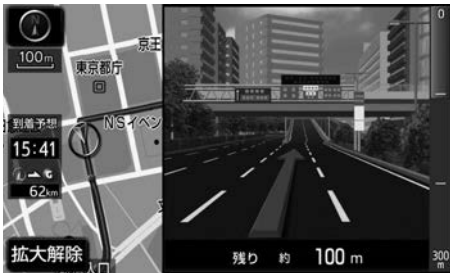


知識

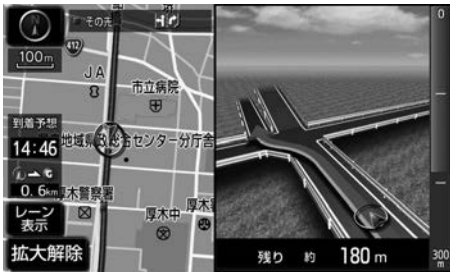
▶地図データに情報のある地点で表示します。

立体的な拡大図を表示する

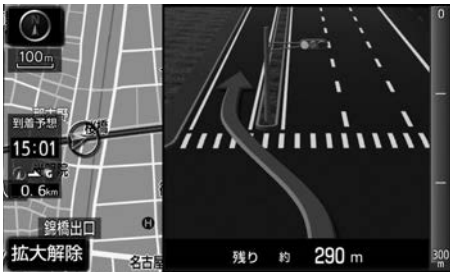
目的地案内中の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。



▲都市高速IC 入口



▲立体交差点



▲側道案内

▶地図データに情報のある地点（都市高速IC 入口、立体交差点、側道案内）で表示します。

拡大図表示を解除する

1 拡大解除 にタッチ。

▶拡大図にもどすとき
→画面外の MAP にタッチ。

ターンリスト図を表示する

分岐する交差点・IC・JCT などの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号を表示させることができます。

■ターンリスト図の自動表示のする／しないを設定できます。（→164）

■ターンリスト自動表示を「しない」に設定していても、 表示変更 からターンリスト図を表示することができます。

表示		機能
①	案内ポイント	分岐する交差点・IC・JCT 名称が表示されます。 現在地から次に分岐する交差点・IC・JCT までは、現在走行中の路線名が表示されます。
②	距離表示	案内ポイント区間の距離、案内ポイント通過後の路線番号が表示されます。
③	案内方向	案内ポイントでの案内する方向が表示されます。

知識

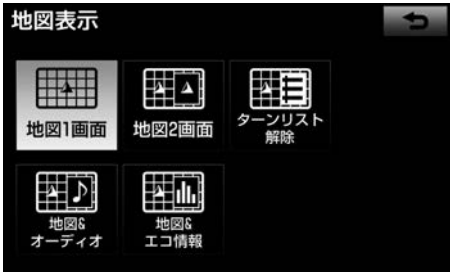
▶一般道路走行中は、ターンリスト図を表示させていても交差点の約700m手前では、レーンリスト図（→**128**）・交差点の約300m手前では、交差点拡大図（→**129**）が自動的に表示されます。（レーンリスト自動表示・交差点拡大図自動表示を「しない」に設定している時は切り替わりません。）

▶地図データに情報のない交差点・IC・JCT名称、路線名、路線番号は表示されません。

■ターンリスト図表示を解除する

地図表示中⇒ 表示変更 ⇒ 地図表示 ⇒地図表示画面

1 ターンリスト解除 にタッチ。



▶ターンリスト図にもどすとき
→ ターンリスト表示 にタッチ。

》到着予想時刻を表示する

全ルート図表示画面（→**121**）と目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、地図左下に到着予想時刻を表示させることができます。

到着予想時刻表示

知識

▶到着予想時刻は設定した平均車速（→**133**）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

▶ルートからはずれたときは、目的地方向マーク（◉）になります。

到着予想時刻表示の設定

到着予想時刻の表示（アナログ/デジタル）を設定することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ 案内表示設定 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 到着予想時刻表示 にタッチ。

2 デジタル または アナログ にタッチ。

3 完了 にタッチ。

手動で平均車速の設定を変更する

次の画面を表示したときの、時刻・時間を計算する基準である平均車速を設定することができます。

表示	ページ
現在地画面の到着予想時刻	—
全ルート図表示画面の到着予想時刻	121
ハイウェイモードの通過予想時刻	95
ルート情報の通過予想時刻	123
全行程一覧表の所要時間	125

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ 案内表示設定 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 到着予想時刻用速度設定 にタッチ。

2 手動 にタッチ。

▶自動で平均速度の設定を行うとき
→ 自動 にタッチ。

3 それぞれの道路の速度を設定し、完了 にタッチ。

▶速度を上げるときは ＞ 、下げるときは ＜ にタッチ。

▶ 初期状態 にタッチすると、初期設定の状態（高速道路80km/ h ・有料道路60km/ h ・一般道路30km/ h ）にもどります。

4 完了 にタッチ。（1 の画面）

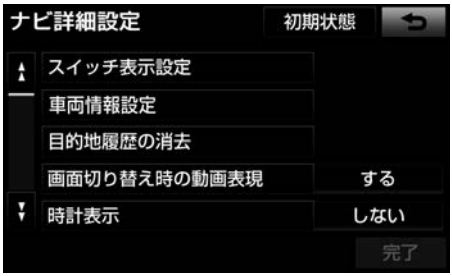
》車両情報の設定をする

次の画面を表示したときの、料金の計算、および提携駐車場（→114）を検索させるときの基準である車両情報を設定することができます。

表示	ページ
全ルート図表示画面の料金案内	121
ルート情報の料金案内	123
全行程一覧表の料金案内	125

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ その他 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 車両情報設定 にタッチ。



2 全長 、 全幅 または 全高 にタッチ。
＞ ：寸法を大きくする
＜ ：寸法を小さくする

3 ナンバー にタッチ。

▶ ＞ または ＜ にタッチして、ナンバープレートの分類番号を選択します。

4 完了 にタッチ。

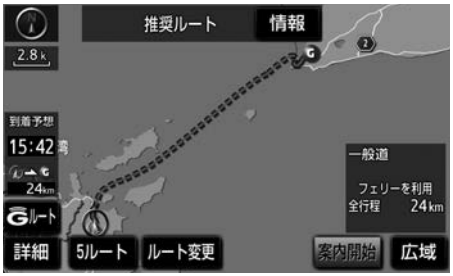
5 完了 にタッチ。（1 の画面）

知識

▶目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。
▶車両寸法については、車検証をご覧ください。
▶ 初期状態 にタッチすると、初期設定の状態（寸法が設定されていない状態）にもどります。

»フェリー航路の案内について

フェリーの航路は ------（破線）で表示されます。



▶フェリールート利用のする／しないを設定できます。（→166）
▶フェリーターミナルまで音声案内が出力されます。
▶フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

ルート案内中の操作

»全ルート図を表示する

地図表示中⇒ 表示変更 ⇒
表示変更画面

1 全ルート にタッチ。

▶全ルート図表示画面について
→「ルート検索後の全ルート図表示について」（→121）

全ルート図表示縮尺を切り替える

目的地を設定しているときに、現在地から目的地までの全ルート図の縮尺を、現在地が地図表示画面の中心になるように切り替えることができます。

1 広域 または 詳細 にタッチ。

2 [ ] にタッチ。

知識

▶現在地と目的地の位置によっては、全ルートを表示できないことがあります。

》到着予想時刻・残距離表示を切り替える

目的地を複数設定しているとき、切り替えることができます。

1 到着予想時刻・残距離表示にタッチ。

到着予想時刻・残距離表示

▶目的地が2カ所のときは、タッチするごとに各目的地までの到着予想時刻・残距離表示に切り替わります。

2 表示させたい目的地までの到着予想時刻・残距離表示にタッチ。

知識

▶状況により目的地までの表示が異なります。
- ●現在地がルート上にあるとき
  →到着予想時刻と表示されているルートを通っての距離
- ●ルートからはずれたとき
  →目的地の方向と直線距離

ルートを再探索する

》ルートを自動で再探索する

ルートからはずれたときに、自動的に再探索※します。
再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。
※現在地と次の目的地の間にIC・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているIC・通過道路の間で、ルートが探索されます。

知識

▶自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ道路を走行していると判断されたときのみ行われます。

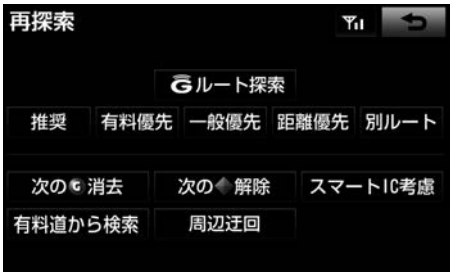
≫ルートの再探索方法を選ぶ

目的地案内中（ルートからはずれたときも含む）の現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索をすることができます。再探索されるルートは、選んだ探索条件により異なります。

画面外の MAP ⇒現在地画面

1 再探索 にタッチ。

2 再探索する項目にタッチ。



- 次の消去 にタッチすると、現在地の次の目的地を消去して、再探索をすることができます。
- 次の解除 にタッチすると現在地の次の通過道路、 指定IC解除 にタッチするとICの指定を解除して、再探索をすることができます。
- 通常のルート探索では、スマートICを通らないルートが探索されます。
- スマート IC 考慮 にタッチすると、目的地周辺や現在地周辺に適当なスマートICがある場合は、スマートICを通るルートが探索されます。適当なスマートICがない場合は、通常のICを通るルートが探索されます。
- Gルート探索 ・ 取得中止 は、G-BOOKを利用されているときに使用することができます。詳しくは、「ルート案内中に手動で取得する」（→**547**）をご覧ください。

探索条件（タッチスイッチ）	機　能
推奨	現在地から次の目的地※3の間で、一般的なルートを探索する。
有料優先	現在地から次の目的地※3の間で、有料道路を優先してルートを探索する。
一般優先	現在地から次の目的地※3の間で、一般道路を優先してルートを探索する。
距離優先	現在地から次の目的地※3の間で、距離の短いルートを探索する。
別ルート	現在地から次の目的地※3の間で、選ばれているルートとは別のルートを探索する。
周辺迂回※1	現在地周辺で、探索されたルートの迂回路を探索する。（探索されたルートが工事中で通れないときなどに使用します。） ●目的地案内開始前にはできません。
有料道から探索／一般道から探索※2	有料道路と並行している一般道路を走行中に、有料道路の方がルート表示されている、またはその逆のときに、もう一方の道路からルートを探索する。 ●目的地案内開始前にはできません。
Gルート探索／取得中止	G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに使用することができます。 （→**547**）

※1　ルートからはずれたときは表示されません。
※2　有料道路と一般道路が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは表示されません。
※3　現在地と次の目的地の間にIC・通過道路を指定しているときは、現在地から指定されているIC・通過道路の間で、ルートを探索します。

知識

▶「○○優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。遠まわりになるようなときは、**有料優先**にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、**一般優先**にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。

▶道路形状により再探索されないことや、条件を変更しても同じルートが探索されることがあります。

▶ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへもどるルートではなく、設定している目的地または指定しているIC・通過道路に向かうルートが再探索されます。

ルートを変更する

》ルート変更画面を表示する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒設定画面

または

全ルート図表示画面（→121）

1 ルート変更 にタッチ。

2 ルート変更画面が表示される。

▶ルート変更画面では、次のことができます。

機能	ページ
探索条件の変更	138
目的地の追加	139
目的地の並び替え	139
目的地の消去	140
出入口IC の指定・解除	141
通過道路の指定	142
通過道路の修正	143
通過道路指定の解除	143
季節規制区間の迂回ルート探索	144

▶ 探索開始 にタッチすると、スマートICを通らないルートが探索されます。

▶ スマート IC 考慮 にタッチすると、目的地周辺や現在地周辺に適当なスマートICがある場合は、スマートICを通るルートが探索されます。適当なスマートIC がない場合は、通常のICを通るルートが探索されます。

》探索条件を変更する

目的地を複数設定、または通過道路を指定しているときは、それぞれの区間で探索条件を選択することができます。

ルート変更画面（→138）

1 探索条件変更 にタッチ。

2 それぞれの区間の探索条件（ルート名称）にタッチし、 探索開始 にタッチ。

知識

▶探索条件の特徴について
→「ルートの再探索方法を選ぶ」（→136）

▶最初の目的地までの区間のみ、「別ルート」が表示されます。

目的地を追加する

目的地を設定したあと、さらに追加して目的地を設定することができます。

ルート変更画面（→138）

1 目的地・通過目的地の 追加 にタッチ。

2 地図の呼び出し方法を選び、追加したい地点の地図を表示する。（→100、113）

3 目的地セット にタッチ。

▶の位置に目的地が記号で表示されます。

▶ここまで（1〜3）の操作は、目的地の設定と同じ方法で追加することもできます。（→117）

4 目的地を設定する区間の 設定 にタッチ。

5 ルート変更画面にもどったとき

→ 探索開始 にタッチ。

▶さらに追加して目的地を設定するとき

→ 追加 にタッチ。（2の画面へ）

知識

▶5カ所まで追加することができます。

▶1/8万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。

▶目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。記憶できる件数をこえると、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地を選択して消去することもできます。（→144）

▶IC・通過道路（→141）を指定しているときは、目的地を追加すると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

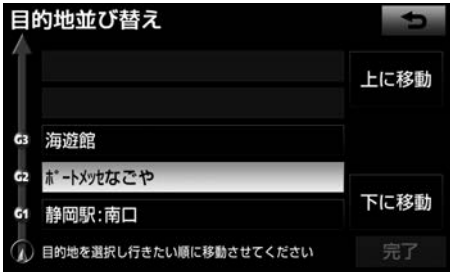
目的地への順番を並び替える

ルート変更画面（→138）

1 目的地・通過目的地の 並び替え にタッチ。

▶IC・通過道路（→141）を指定しているときは、メッセージが表示されます。はい にタッチすると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

2 順番を変更したい目的地にタッチ。



▶ 上に移動 ：選択した目的地を上に移動します。（順番は後ろに下がります。）

▶ 下に移動 ：選択した目的地を下に移動します。（順番は前に上がります。）

3 完了 にタッチ。

4 ルート変更画面にもどったとき

→ 探索開始 にタッチ。

》目的地を消去する

次の3通りの方法で、目的地を消去することができます。

消去方法	ページ
ルート変更画面から消去する	140
目的地画面から消去する	141
地図画面から消去する	141

知 識

▶すべての目的地を消去すると、目的地案内を再開させることはできません。目的地案内を行わせるには再度、目的地を設定してください。

▶複数目的地を設定し、IC・通過道路（→141）を指定しているときは、目的地を消去すると、指定されている地点によってIC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

ルート変更画面から目的地を消去する

ルート変更画面（→138）

1 目的地・通過目的地の 消去 にタッチ。

▶1カ所のみ設定されていたとき

→手順 4 へ。

2 消去したい目的地にタッチ。

▶すべての目的地を選択するとき

→ 全選択 にタッチ。

3 消去 にタッチ。

4 はい にタッチ。

5 ルート変更画面にもどったとき

→ 探索開始 にタッチ。

目的地画面から目的地を消去する

画面外の MENU ⇒目的地画面

1 目的地消去 にタッチ。

▶「ルート変更画面から目的地を消去する」（→140）手順 2 へ。

▶1カ所のみ設定されていたとき
→「ルート変更画面から目的地を消去する」（→140）手順 4 へ。

地図画面から目的地を消去する

1 地図上の消去したい目的地にタッチ。

2 情報 にタッチ。

3 消去 にタッチ。

▶「ルート変更画面から目的地を消去する」（→140）手順 4 へ。

»出入口IC（インターチェンジ）を指定する

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている出口IC・入口ICを1カ所ずつ指定することができます。

全ルート図表示画面（→121）
またはルート変更画面（→138）

1 変更するIC名称表示にタッチ。

2 次のいずれかの操作をする。

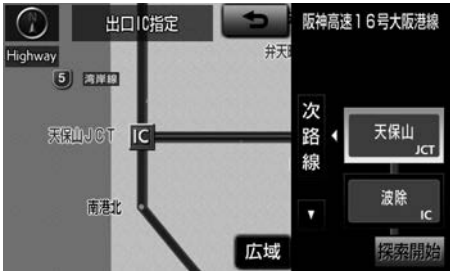
左画面で指定する

1 指定したいIC付近に地図を動かし、探索開始 にタッチ。

2 ルート変更画面にもどったとき
→ 探索開始 にタッチ。

右画面で指定する

1 ▲、▼ または 次路線 にタッチしてICを切り替え、指定したいIC名称
→ 探索開始 の順にタッチ。



▶ 次路線 はJCTがあり、分岐するときのみ表示されます。

2 ルート変更画面にもどったとき
→ 探索開始 にタッチ。

知識

▶スマートIC（ETC専用インターチェンジ）を選択することもできます。このとき、ETC車載器の有無、規制情報などは考慮されませんので、事前にご確認の上、注意して走行してください。

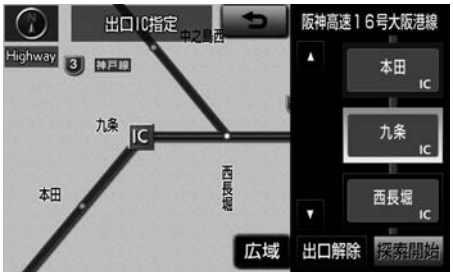
ICの指定を解除する

全ルート図表示画面（→121）⇒
IC名称表示 ⇒
出口（入口）IC指定画面

または

全ルート変更画面（→121）⇒
IC名称表示 ⇒
出口（入口）IC指定画面

1 出口解除 または 入口解除 にタッチ。



»通過する道路を指定する

目的地を設定したあと、通過する道路を指定することができます。

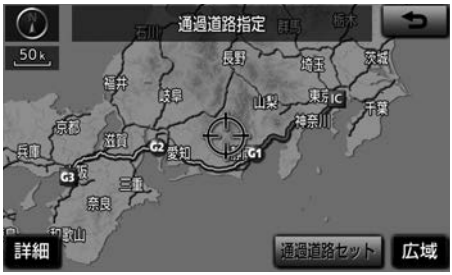
知識

▶2カ所まで指定することができます。
▶IC を指定しているとき（→141）、通過道路を指定すると、指定されている地点によって、指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

ルート変更画面（→138）

1 通過点（通過道路指定）の 指定 にタッチ。

2 通過道路を指定する位置に地図を動かし、 通過道路セット にタッチ。



3 セット にタッチ。

▶通過道路が◆記号で指定されます。
▶希望の通過道路でないとき
→ 次候補 にタッチ。

4 目的地を複数設定しているとき、またはIC・通過道路を指定しているとき

→通過道路を指定する区間の 設定 にタッチ。

5 探索開始 にタッチ。

知識

▶表示されている地図に道路情報が少ないときは、 次候補 にタッチしても、道路が選べないことがあります。

通過する道路を修正する

ルート変更画面（→138）

1 通過点（通過道路指定）の 修正 にタッチ。

▶1カ所のみ指定されていたとき
→手順 3 へ。

2 道路または地名にタッチ。

3 通過道路を指定する位置に地図を動かし、 通過道路セット にタッチ。

4 セット にタッチ。

▶通過道路が◆記号で指定されます。
▶希望の通過道路でないとき
→ 次候補 にタッチ。

5 ルート変更画面にもどったとき
→ 探索開始 にタッチ。

知識

▶表示されている地図に道路情報が少ないときは、 次候補 にタッチしても、道路が選べないことがあります。

通過する道路指定を解除する

ルート変更画面（→138）

1 通過点（通過道路指定）の 解除 にタッチ。

▶1カ所のみ指定されていたとき
→手順 3 へ。

2 道路または地名にタッチ。

▶すべての通過道路指定を解除するとき
→ 全解除 にタッチ。

3 はい にタッチ。

4 ルート変更画面にもどったとき
→ 探索開始 にタッチ。

季節規制区間の迂回ルートを探索する

ルート変更画面（→138）

1 季節規制区間の迂回ルート探索を開始するとき

→ 季節規制回避 にタッチ。

▶季節規制区間を通るルートを探索させるとき

→ 季節規制通過 にタッチ。

知識

▶ 季節規制回避 または 季節規制通過 は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。

▶規制区間を通らないと目的地に行けないようなとき（規制区間内に目的地・通過道路が設定・指定されているときなど）は、 季節規制回避 にタッチしても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

目的地履歴を消去する

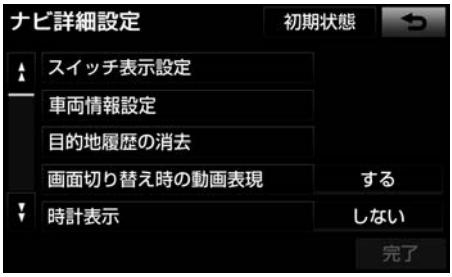
》目的地履歴を消去する

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。（最大100カ所まで）100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地を選択して消去することもできます。

ナビ詳細設定画面で履歴を消去する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ その他 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 目的地履歴の消去 にタッチ。



2 地点名称にタッチ。

▶すべての目的地履歴を選択するとき

→ 全選択 にタッチ。

3 消去 にタッチ。

4 はい にタッチ。

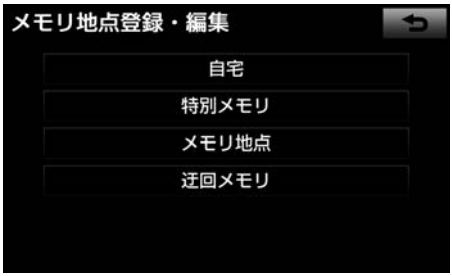
▶地図呼び出し画面からも履歴を消去することができます。（→112）

地点の登録

メモリ地点を登録する

地点の登録について

検索した地点を車載機に登録することができます。
地点を登録しておくと、
(1) 地図にマークで表示されます。
(2) 近づいたときに音が鳴るようにすることができます。
(3) 目的地の設定のときなどに、メモリ地点に登録しておけば、簡単な操作で地図を呼び出すことやルート探索を開始することができます。（→**100**）



▶以下の方法で地点の登録・編集をすることができます。

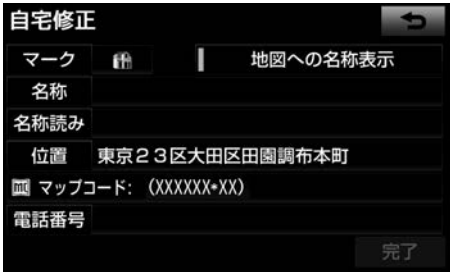
項目		機能
①	自宅	自宅の登録と編集を行います。（→**146**）
②	特別メモリ	特別メモリの登録と編集を行います。（→**147**）
③	メモリ地点	メモリ地点の登録と編集を行います。（→**145**）
④	迂回メモリ	迂回メモリの登録と編集を行います。（→**150**）
⑤	メモリ地点移行	メモリ地点の読み込みや取出しを行います。（→**158**）

知識

▶1/8万図より詳細な地図で登録することができます。（現在地画面（地図画面）から登録するときを除く）
▶登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号も同様に表示されることがあります。
▶WEB検索（→**501**）で登録した地点は車載機から移動することができません。（メモリ地点の送信や取り出しなど）

地点編集画面について

登録した地点の、名前・位置・電話番号などの情報が表示されます。
これらの情報は、登録後に追加・修正することが可能です。



▲自宅

▲特別メモリ

▲メモリ地点

▲迂回メモリ

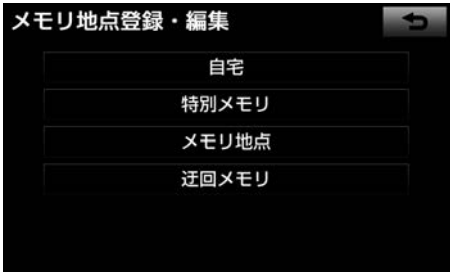
自宅を登録する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 メモリ地点登録・編集 にタッチ。

4 自宅 にタッチ。



5 登録 にタッチ。

6 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。（→100、113）

7 セット にタッチ。

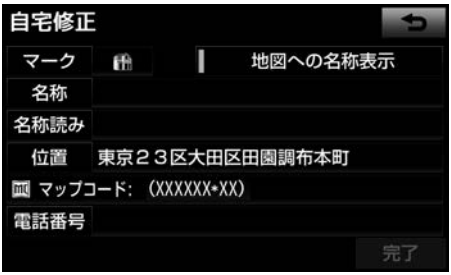
8 完了 にタッチ。

自宅を修正する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メモリ地点登録・編集 ⇒ 自宅 ⇒ 自宅編集画面

1 修正 にタッチ。

2 自宅編集画面で各項目を修正する。



▶修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
マーク	152
名称	153
地図への名称表示	153
名称読み	154
位置	154
電話番号	155

3 完了 にタッチ。

》自宅を消去する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メモリ地点登録・編集 ⇒ 自宅 ⇒ 自宅編集画面

1 消去 にタッチ。

2 はい にタッチ。

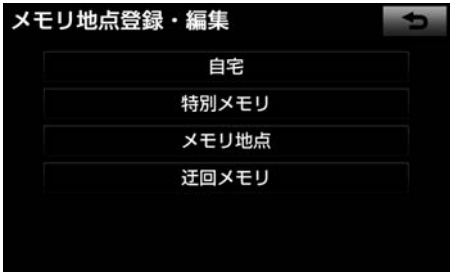
》特別メモリを登録する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 メモリ地点登録・編集 タッチ。

4 特別メモリ にタッチ。



5 登録 にタッチ。

6 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。（→100、113）

7 セット にタッチ。

8 未登録の番号にタッチ。

▶特別メモリを置き換えたいとき
→置き換えたい特別メモリにタッチし、はい にタッチ。

9 完了 にタッチ。

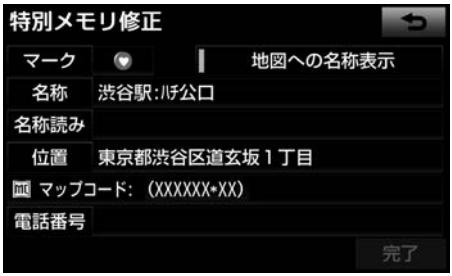
》特別メモリを修正する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メモリ地点登録・編集 ⇒ 特別メモリ ⇒ 特別メモリ編集画面

1 修正 にタッチ。

2 修正したい特別メモリにタッチ。

3 特別メモリ編集画面で各項目を修正する。



▶修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
マーク	152
名称	153
地図への名称表示	153
名称読み	154
位置	154
電話番号	155

4 完了にタッチ。

特別メモリを消去する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メモリ地点登録・編集 ⇒ 特別メモリ ⇒ 特別メモリ編集画面

1 消去にタッチ。

2 消去したい特別メモリにタッチ。

▶すべての特別メモリを選択するとき
→ 全選択にタッチ。

3 消去にタッチ。

4 はいにタッチ。

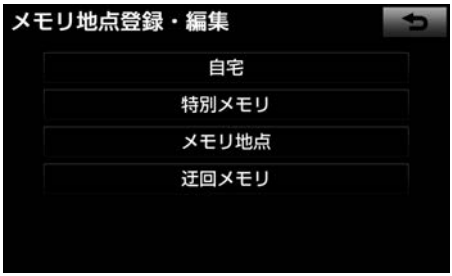
メモリ地点を登録する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定にタッチ。

3 メモリ地点登録・編集にタッチ。

4 メモリ地点にタッチ。



5 登録にタッチ。

6 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。（→100、113）

7 セットにタッチ。

8 完了にタッチ。

知識

▶高速道路を走行中（現在地）に”［地点登録］にタッチすると マーク（進行方向の方向付音声付メモリ地点）で登録されます。

》メモリ地点を修正する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メモリ地点登録・編集 ⇒ メモリ地点 ⇒ メモリ地点編集画面

1 修正 にタッチ。

2 修正したいメモリ地点にタッチ。

▶ グループで絞る にタッチすると、メモリ地点を指定したグループで絞り込むことができます。
●絞り込みを解除したいとき
→ 絞り込み解除 にタッチ。

▶メモリ地点のリストは、以下の2種類の表示方法があります。 ソート にタッチすると、表示する順序を切り替えることができます。

スイッチ	並べ方
マーク順	マークの種類別
登録順	メモリ地点の登録順

3 メモリ地点編集画面で各項目を修正する。

▶修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
マーク	152
名称	153
地図への名称表示	153
名称読み	154
位置	154
電話番号	155
グループ	157

4 完了 にタッチ。

》メモリ地点を消去する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メモリ地点登録・編集 ⇒ メモリ地点 ⇒ メモリ地点編集画面

1 消去 にタッチ。

2 消去したいメモリ地点にタッチ。

▶すべてのメモリ地点を選択するとき
→ 全選択 にタッチ。

3 消去 にタッチ。

4 はい にタッチ。

》迂回メモリを登録する

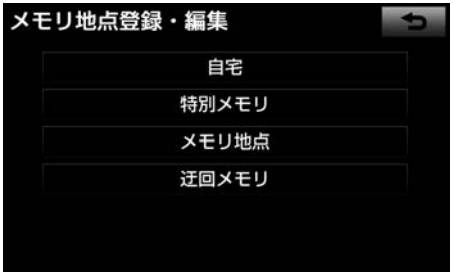
迂回メモリ地点を登録しておくと、ルート探索させるとき、登録した地点（エリア）を迂回するルートを探索させることができます。工事や事故による通行止め・渋滞地点がわかっているときなどに便利です。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 メモリ地点登録・編集 にタッチ。

4 迂回メモリ にタッチ。



5 登録 にタッチ。

6 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。（→100、113）

7 セット にタッチ。

8 迂回範囲を設定し、 セット にタッチ。
▲ ：迂回範囲を広くする
▼ ：迂回範囲を狭くする

▶ ▲ と ▼ の間にある数値は迂回させる範囲の一辺の距離になります。

9 完了 にタッチ。

知識

▶1/8万図より詳細な地図で登録することができます。

▶迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。

▶登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称も同時に表示されることがあります。

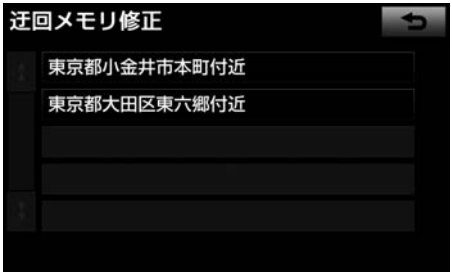
▶迂回範囲を最小にすると、✖（迂回メモリ地点）に切り替えることができます。高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることができません。迂回したいときは、迂回メモリ地点の中心を道路上に設定してください。

》迂回メモリを修正する

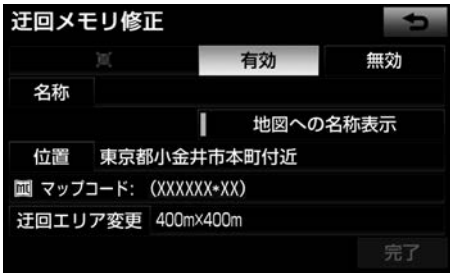
画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メモリ地点登録・編集 ⇒ 迂回メモリ ⇒ 迂回メモリ編集画面

1 修正 にタッチ。

2 修正したい迂回メモリにタッチ。



3 迂回メモリ編集画面で各項目を修正する。



▶修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
迂回メモリの有効/無効	155
名称	153
地図への名称表示	153
位置	154
迂回エリアの変更	156

▶迂回メモリ地点は専用のマークで表示され、マークを変更することはできません。

4 完了 にタッチ。

迂回メモリを消去する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メモリ地点登録・編集 ⇒ 迂回メモリ ⇒ 迂回メモリ編集画面

1 消去 にタッチ。

2 消去したい迂回メモリ地点にタッチ。

▶全ての迂回メモリを選択するとき
→ 全選択 にタッチ。

3 消去 にタッチ。

4 はい にタッチ。

》登録地点の情報を修正する

登録した自宅・特別メモリ・メモリ地点・迂回メモリは、地点編集画面から修正することができます。

マークを変更する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 メモリ地点登録・編集 にタッチ。

4 自宅 、 特別メモリ 、 メモリ地点 または 迂回メモリ にタッチ。

5 修正 にタッチ。

▶ 特別メモリ または メモリ地点 にタッチしたとき
→マークを変更したい地点にタッチ。

6 マーク にタッチ。

7 マーク１ 、 マーク２ 、 マーク３ または 音声付 にタッチし、希望のマークを選ぶ。

▶マークが不要なとき
→ マーク３ の マーク無し にタッチ。

8 完了 にタッチ。

■地点付近で音が鳴るようにする
音声付マークを設定した地点の約500m付近に近づくと音が鳴ります。

1 地点編集画面の マーク にタッチ。

2 音声付 にタッチし、希望の音を選ぶ。

▶地点に近づいた時に鳴る音を確認するとき
→ 音確認 にタッチ。

■設定した方向から地点に近づいたとき音が鳴るようにする
指定した方向から地点の約500m付近に近づくと音が鳴ります。

1 地点編集画面の マーク にタッチ。

2 音声付 にタッチ。

3 方向付メモリ にタッチ。

4 方向を指定し、 セット にタッチ。
[ ]：反時計回り
[ ]：時計回り

名称を入力する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 メモリ地点登録・編集 にタッチ。

4 自宅 、 特別メモリ 、 メモリ地点 または 迂回メモリ にタッチ。

5 修正 にタッチ。

▶ 特別メモリ 、 メモリ地点 または 迂回メモリ にタッチしたとき
→名称を入力したい地点にタッチ。

6 名称 にタッチ。

▶迂回メモリは、ボタンの位置が異なります。

7 ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力する。

▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。

8 完了 にタッチ。

名称を表示する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 メモリ地点登録・編集 にタッチ。

4 自宅 、 特別メモリ 、 メモリ地点 または 迂回メモリ にタッチ。

5 修正 にタッチ。

▶ 特別メモリ 、 メモリ地点 または 迂回メモリ にタッチしたとき
→名称を表示したい地点にタッチ。

6 地図への名称表示 にタッチ。

▶名称が表示されているときは、作動表示灯が点灯します。

▶解除するとき
→ 地図への名称表示 にタッチ。

▶迂回メモリは、ボタンの位置が異なります。

7 完了 にタッチ。

知識

▶1/8万図より詳細な地図で名称を表示することができます。

名称読みを入力する

名称読みを入力しておくと、音声操作で地図を呼び出すことができます。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 メモリ地点登録・編集 にタッチ。

4 自宅 、 特別メモリ または メモリ地点 にタッチ。

5 修正 にタッチ。

▶ 特別メモリ または メモリ地点 にタッチしたとき
→名称読みを入力したい地点にタッチ。

6 名称読み にタッチ。

7 ソフトウェアキーボードを使用して名称読みを入力する。

▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。

8 完了 にタッチ。

位置を修正する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 メモリ地点登録・編集 にタッチ。

4 自宅 、 特別メモリ 、 メモリ地点 または 迂回メモリ にタッチ。

5 修正 にタッチ。

▶ 特別メモリ 、 メモリ地点 または 迂回メモリ にタッチしたとき
→位置を修正したい地点にタッチ。

6 位置 にタッチ。

▶迂回メモリは、ボタンの位置が異なります。

7 にタッチして地点の位置を修正し、 セット にタッチ。

8 完了 にタッチ。

▶マップコードも、修正後の位置に変更されます。

電話番号を入力する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 メモリ地点登録・編集 にタッチ。

4 自宅 、 特別メモリ または メモリ地点 にタッチ。

5 修正 にタッチ。

▶ 特別メモリ または メモリ地点 にタッチしたとき
→電話番号を入力したい地点にタッチ。

6 電話番号 にタッチ。

7 電話番号を入力し、 完了 にタッチ。

▶市外局番から入力します。
▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。

8 完了 にタッチ。

▶電話番号を入力しておくと、電話番号で地図を呼び出すことができます。
(→109)

迂回エリアの有効/無効を切り替える

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 メモリ地点登録・編集 にタッチ。

4 迂回メモリ にタッチ。

5 修正 にタッチ。

6 有効/無効を切り替えたい迂回メモリにタッチ。

7 有効 または 無効 にタッチ。
有効 ：迂回メモリを有効にする
無効 ：迂回メモリを無効にする

8 完了 にタッチ。

迂回エリアの変更

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 メモリ地点登録・編集 にタッチ。

4 迂回メモリ にタッチ。

5 修正 にタッチ。

6 迂回範囲を修正したい迂回メモリにタッチ。

7 迂回エリア変更 にタッチ。

8 迂回範囲を設定し、セット にタッチ。
▲ ：迂回範囲を広くする
▼ ：迂回範囲を狭くする

9 完了 にタッチ。

»グループで絞り込む

メモリ地点は、指定したグループで絞り込むことができます。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 メモリ地点登録・編集 にタッチ。

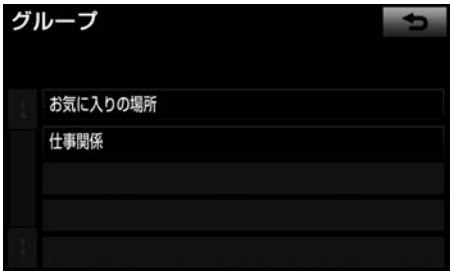
4 メモリ地点 にタッチ。

5 修正 にタッチ。

▶ 消去 にタッチしても、同じ手順で絞り込みを行うことができます。

6 グループで絞る にタッチ。

7 絞り込みたいグループにタッチ。



▶絞り込みを解除したいとき
→ 絞り込み解除 にタッチ。

■地図呼び出し画面のメモリ地点検索でも、グループで絞り込むことができます。（→100）

グループを指定する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メモリ地点登録・編集 ⇒ メモリ地点 ⇒ メモリ地点編集画面

1 修正 にタッチ。

2 グループを指定したい地点にタッチ。

3 グループ にタッチ。

4 指定したいグループにタッチ。

▶新しいグループを作成したいとき
→ 新規グループ作成 にタッチ。
▶グループ名を修正したいとき
→ グループ名修正 にタッチ。
▶グループを削除したいとき
→ グループ削除 にタッチ。
▶グループ指定をしないとき
→ グループなし にタッチ。

5 完了 にタッチ。

グループを作成・修正する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メモリ地点登録・編集 ⇒ メモリ地点 ⇒ メモリ地点編集画面

1 修正 にタッチ。

2 グループを新規作成または修正したい地点にタッチ。

3 グループ にタッチ。

4 新規グループ作成 にタッチ。

▶グループ名を修正したいとき
→修正したいグループ名にタッチして
グループ名修正 にタッチ。

5 ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力する。

▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。

6 完了 にタッチ。

グループを削除する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メモリ地点登録・編集 ⇒ メモリ地点 ⇒ メモリ地点編集画面

1 修正 にタッチ。

▶ 消去 にタッチしても、同じ手順で新規グループ作成を行うことができます。

2 登録されている地点のいずれかにタッチ。

3 グループ にタッチ。

4 グループ削除 にタッチ。

5 削除したいグループにタッチし、削除 にタッチ。

▶すべてのグループを選択するとき
→ 全選択 にタッチ。

6 はい にタッチ。

メモリ地点の取り込み・取り出し

》メモリ地点の取り込みと取り出しについて

車載機で登録したメモリ地点を、取り出したり、取り込んだりすることができます。
車載機からメモリ地点を取り出すときには、パスワードの設定が必要になります。

知識
▶WEB検索（→**501**）で登録したメモリ地点は、取り出すことができません。

》パスワードの設定

パスワードを設定する

データの読み込みで使用するパスワードを設定すると、メモリ地点のデータを保存することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メモリ地点登録・編集 ⇒ メモリ地点の種類を選択⇒ メモリ地点移行 ⇒メモリ地点移行画面

1 パスワードの 設定 にタッチ。

2 数字4桁のパスワードを入力し、[完了]にタッチ。

▶すでにパスワードが設定されているとき
→既存のパスワードを入力後、新しいパスワードを入力。
▶間違えたとき
→[修正]にタッチ。

3 もう一度パスワードを入力し、[完了]にタッチ。

知識
▶設定したパスワードは、SDメモリーカードからメモリ地点を読み込むときに必要です。忘れないよう控えておいてください。

パスワードを初期化する

パスワードを忘れた場合、パスワードの初期化が必要です。初期化すると、車載機に登録しているメモリ地点も消去されますのでご注意ください。

画面外の MENU ⇒ [設定] ⇒ [メモリ地点登録・編集] ⇒ メモリ地点の種類を選択⇒ [メモリ地点移行] ⇒メモリ地点移行画面

1 パスワードの[初期化]にタッチ。

2 [はい]にタッチ。

3 [はい]にタッチ。

》メモリ地点の取り込み

メディアに保存したメモリ地点の情報を、車載機に取り込むことができます。

1 メモリ地点の情報を保管したメディアを挿入する。

2 画面外の MENU にタッチ。

3 [設定]にタッチ。

4 [メモリ地点登録・編集]にタッチ。

5 [自宅]、[特別メモリ]、[メモリ地点]または[迂回メモリ]にタッチ。

6 [メモリ地点移行]にタッチ。

7 読み込みの SD または CD-R にタッチ。

8 パスワードを入力し、 完了 にタッチ。

▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。

9 はい にタッチ。

10 了解 にタッチ。

知識

▶メモリ地点を移すには、保存するときに入力したパスワードが必要です。
▶メモリ地点を移すと、車載機に登録しているメモリ地点のデータは全て消去され、SDメモリーカードやCD-R/RWに保存したメモリ地点、迂回メモリのデータに置き替えられます。
▶SDメモリーカードからメモリ地点を移すと、SDメモリーカードに保存していたメモリ地点のデータは全て消去されます。
▶SDメモリーカードの誤消去防止スイッチがLOCKの状態になっている場合、誤消去防止スイッチのLOCKを解除してから操作します。

》メモリ地点の取り出し

車載機で登録したメモリ地点をSDメモリカードに保存することができます。

1 メモリ地点の情報を保管するSDメモリーカードを挿入する。

2 画面外の MENU にタッチ。

3 設定 にタッチ。

4 メモリ地点登録・編集 にタッチ。

5 自宅 、 特別メモリ 、 メモリ地点 または 迂回メモリ にタッチ。

6 メモリ地点移行 にタッチ。

7 保存の SD にタッチ。

8 パスワードを入力し、 完了 にタッチ。

▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。

9 はい にタッチ。

10 了解 にタッチ。

▶登録している全てのメモリ地点が保存されます。

知識

▶メモリ地点を保存する前に、パスワードを設定してください。（→**158**）
▶メモリ地点をSDメモリーカードに保存すると、車載機に登録しているメモリ地点は全て消去されます。また、パスワードも初期化されます。
▶すでにメモリ地点のデータを保存しているSDメモリーカードを使用した場合、上書き保存となり、保存していたデータは消去されます。消去したデータは保証できませんので注意して保存してください。
▶SDメモリーカードにデータを保存中はエンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。データが破損する恐れがあります。
▶車両のエンジンスイッチをOFF（LOCK）にするなどして保存、読み込みが中断した場合、再度操作します。
▶メモリ地点移行画面（ア の画面）で画面外のスイッチを押しても、操作することができません。[⮌]にタッチして、メモリ地点画面から操作します。

ナビを使いこなす

補正が必要なとき

》補正について

地図上の自車マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）
GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

》現在地を修正する

実際の現在地と異なる場所に自車マークが表示されている（自車マークがずれている）とき、自車マークの位置と向いている方向を修正することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ その他 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 ナビ補正にタッチ。

2 現在地修正にタッチ。

3 にタッチして現在地を修正し、セットにタッチ。

4 方向を修正し、セットにタッチ。
[ ]：反時計まわり
[ ]：時計まわり

知識
▶1/8万図より詳細な地図で補正することができます。

》距離を補正する

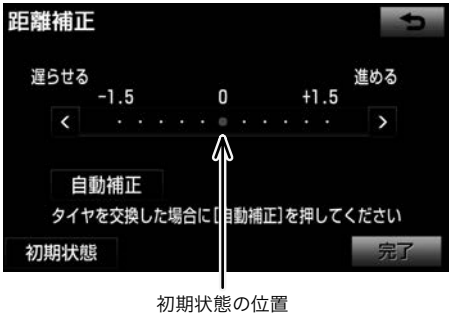
走行中、地図上の自車マークの進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき、自車マークの進み方を修正することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ その他 ⇒ ナビ補正 ⇒ナビ補正画面

1 距離補正にタッチ。

2 補正をし、完了にタッチ。

▶実際より遅く進むとき
→ ＞ （進める）にタッチ。
▶実際より早く進むとき
→ ＜ （遅らせる）にタッチ。



初期状態の位置

▶ 自動補正にタッチすると、GPS情報を利用しながら、しばらく走行し、自動的に補正を行います。

▶ 初期状態 にタッチすると、自車マークを適切な位置に表示できるように自動で補正します。（●（黄色）の位置が初期状態（0の位置）にもどります。）

知識

▶タイヤ交換を行ったときや車載機を別のお車に取り付けたときは自動補正を行ってください。
▶自動補正モード中ではないときも、距離補正の学習機能を持っているため、自車マークの進み方が走行状態により、変化することがあります。
▶自動補正モード中は、操作をすることはできません。

ナビ詳細設定一覧

》ナビの詳細を設定する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 ナビ詳細設定 にタッチ。

4 設定したい項目にタッチ。

5 各項目を設定する。

▶詳しくは、次の表をご覧ください。
●初期設定の状態にもどすとき
→ 初期状態 にタッチ。

6 完了 にタッチ。

》地図表示設定をする

項目（スイッチ）	機能	ページ
地図表示設定	地図表示設定を変更する。	52
右画面設定	右画面の表示設定を変更する。	78
3D地図表示設定	3D表示したときの視点を変更する。	77
通常地図色設定	地図表示色を変更する。 ストレート ナチュラル ビジブル クリア カラフル	80
地図の文字サイズ変更	地図に表示される地名などの文字サイズを変更する。 大 中 小	77
地図色切り替えタイミング	昼画表示と夜画表示を切り替えるタイミングを変更する。	48
インテリアマップ色設定	インテリアマップの表示色を変更する。 ロイヤルベージュ スポーティーブラック クールホワイト カフェブラウン OFF	94
インテリアマップの自動切り替え	ON ：目的地案内開始時に自動で通常の地図色に切り替える。 OFF ：目的地案内開始時に自動で通常の地図色に切り替えない。	94
自車マーク変更	地図に表示される自車マークを変更する。 [] [] [] [] []	80
ビジュアルシティマップ表示	する ：ビジュアルシティマップを表示する。 しない ：ビジュアルシティマップを表示しない。	85
周辺施設表示	地図上に表示する施設の記号を変更する。	82
立体ランドマーク表示	する ：立体ランドマークを表示する。 しない ：立体ランドマークを表示しない。	85
シーズンレジャーランドマーク表示	する ：シーズンレジャーランドマークを表示する。 しない ：シーズンレジャーランドマークを表示しない。	93

》自動表示切替設定をする

項目（スイッチ）	機能	ページ
ターンリスト自動表示	する ：ターンリスト図を自動的に表示する。 しない ：ターンリスト図を自動的に表示しない。	131
給油ガイドナビ※	する ：給油ガイドナビを表示する。 しない ：給油ガイドナビを表示しない。	95

※給油ガイドナビの対象車種については、販売店にお問い合わせください。

案内表示設定をする

項目（スイッチ）	機能	ページ
縮尺切替メッセージ表示	する ：縮尺切替メッセージを表示する。 しない ：縮尺切替メッセージを表示しない。	76
県境案内	する ：県境案内をする。 しない ：県境案内をしない。	94
3D交差点拡大図	する ：交差点拡大図を立体的（3D）に表示する。 しない ：交差点拡大図を立体的（3D）に表示しない。	130
到着予想時刻用速度設定	自動 ：所要時間を計算する基準である平均車速を自動で設定する。 手動 ：平均車速を手動で設定する。	133
到着予想時刻表示	アナログ ：到着予想時刻をアナログ表示にする。 デジタル ：到着予想時刻をデジタル表示にする。	132
G情報マーク連動サービス※1	する ：サービスを利用する。 しない ：サービスを利用しない。	554
充電喚起案内※2	する ：充電喚起案内をする。 しない ：充電喚起案内をしない。	128

※1　G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに操作することができます。
※2　充電喚起案内の対象車種については、販売店にお問い合わせください。

音声設定をする

項目（スイッチ）	機能	ページ
VICS渋滞・規制音声自動発声	する ：VICS・交通情報を音声案内する。 しない ：VICS・交通情報を音声案内しない。	193
細街路での音声案内	する ：幅5.5m未満の道路での音声案内をする。 しない ：幅5.5m未満の道路での音声案内をしない。	128
他モード時の案内	する ：ナビゲーション以外の画面でも、音声による目的地案内をする。 しない ：他モードに切り替えたとき、音声案内をしない。	128
ハートフル音声	する ：ハートフル音声を出力する。 しない ：ハートフル音声を出力しない。	99
エコドライブインフォメーション	する ：エコドライブのアドバイスを音声案内する。 しない ：エコドライブのアドバイスを音声案内しない。	179

ルート系設定をする

項目（スイッチ）	機能	ページ
ルート学習	する ：ルート学習する。 しない ：ルート学習しない。	120
ルート学習結果の消去	ルート学習していたルートを消去する。	120
季節規制メッセージ表示	する ：季節規制メッセージを表示する。 しない ：季節規制メッセージを表示しない。	92
フェリールート利用	する ：フェリーを使用するルートを探索する。 しない ：フェリーを使用するルートを探索しない。	134
渋滞考慮探索※1	する ：渋滞を考慮してルート探索する。 しない ：渋滞を考慮してルート探索しない。	199
新旧ルート比較表示※1	する ：新旧ルートを比較表示する。 しない ：新旧ルートを比較表示しない。	199
プローブ交通情報自動取得※2	する ：プローブ交通情報を自動取得する。 しない ：プローブ交通情報を自動取得しない。	546

※1　ビーコンユニットを装着したとき、またはG-BOOKオンラインサービスを利用されているときに操作することができます。
※2　G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに操作することができます。

その他の設定をする

項目（スイッチ）	機能	ページ
スイッチ表示設定	◀◀ Off にタッチしたときに表示させたいスイッチ類を変更する。	73
車両情報設定※	料金の計算、および提携駐車場を検索するときの基準である車両情報を変更する。	133
目的地履歴の消去	目的地履歴を消去する。	144
画面切り替えの動画表現	する ：画面切り替え時を動画で表現する。 しない ：画面切り替え時を動画で表現しない。	94
時計表示	する ：地図画面に時計を表示する。 しない ：地図画面に時計を表示しない。	81
ナビ補正	現在地の修正または距離を補正する。	162
VICS/ITSスポット設定	VICS 、およびITSスポットサービス（DSRC）自動割込情報表示の設定、自動割込表示時間を変更する。	197
周辺施設 走行中呼出ジャンル	走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更する。	85
QUICK SETUP	QUICK SETUP の設定や設定した内容を修正する。	56

※目的地が設定されているときは操作することができません。

安全・快適走行設定一覧

》安全・快適走行の設定をする

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 運転支援 にタッチ。

4 安全・快適走行設定 にタッチ。

5 各項目を設定する。

▶詳しくは、次の表をご覧ください。

6 完了 にタッチ。

項目（スイッチ）	機能	ページ
一時停止案内	する ：一時停止案内をする。 しない ：一時停止案内をしない。	86
逆走注意案内	する ：逆走注意案内をする。 しない ：逆走注意案内をしない。	89
踏切案内	する ：踏切案内をする。 しない ：踏切案内をしない。	87
合流案内	する ：合流案内をする。 しない ：合流案内をしない。	87
ITSスポット安全運転支援案内※	する ：ITSスポットサービス（DSRC）による安全運転支援案内をする。 しない ：ITSスポットサービス（DSRC）による安全運転支援案内をしない。	90
カーブ案内	する ：カーブ案内をする。 しない ：カーブ案内をしない。	87
レーン案内	する ：レーン案内をする。 しない ：レーン案内をしない。	87
事故多発地点案内	する ：事故多発地点案内をする。 しない ：事故多発地点案内をしない。	88
学校存在案内	する ：学校存在案内をする。 しない ：学校存在案内をしない。	90

※ITSスポット対応DSRCユニットを装着したときに操作することができます。

メンテナンス機能について

》メンテナンス機能とは

メンテナンス機能とは、GPS（→**180**）のカレンダー機能と車速信号を利用して、オイルなどの消耗部品の交換時期・各種点検時期などのイベント時期の案内を行う機能です。

知 識

▶メンテナンス機能の内容・時期の設定については、お買い上げの販売店にご相談ください。

▶車の使用状況により、設定した時期と実際に案内が行われる時期は誤差が生じることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離は誤差が生じることがあります。

》メンテナンスの項目を設定する

メンテナンスを知らせる時期/距離を設定する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 メンテナンス にタッチ。

4 項目設定 にタッチ。

5 設定する項目にタッチ。

▶ （任意入力項目）にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。（→**169**）

▶すでに設定されている任意入力項目にタッチしたときは、6 の画面が表示されます。

▶未設定の項目は （白色）、すでに設定されている項目は （青色）、メンテナンス案内が行われる時期の項目は （橙色）で表示されます。

6 お知らせ日 または お知らせ距離 にタッチ。

▶日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。

7 日付・距離を入力し、完了 に タッチ。

▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。

▶「日付入力画面」で、一桁の日付を入力するときは、年 ・ 月 ・ 日 にタッチして入力することができます。

●2 ～ 9 月と4 ～ 9 日は 月 ・ 日 にタッチして入力する必要はありません。〈例〉2016年 5 月 2 日と入力するとき 1 ・ 6 ・ 0 ・ 5 ・ 0 ・ 2 または 1 ・ 6 ・ 5 ・ 2 ・ 日 の順にタッチします。

8 完了 にタッチ。

知 識

▶メンテナンス時期の設定をしても、自動通知（メンテナンス案内）の設定をしないと、メンテナンス案内は行われません。（→**171**）

任意入力項目を設定する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
メンテナンス ⇒ 項目設定 ⇒
メンテナンス画面

1 （任意入力項目）にタッチ。

2 設定するマークにタッチ。

3 ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力し、完了 にタッチ。

▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。

4 お知らせ日、またはお知らせ距離を設定する。（→168）

5 完了 にタッチ。

メンテナンスの案内について

設定をした日をすぎる、または設定した距離を走行すると、ナビ画面が表示される（立ち上がる）とき、同時に4 つまで案内されます。

■メンテナンス案内の自動通知を設定できます。（→171）

▶5つ以上の項目があるときは、✱が表示されます。

●任意入力項目のときは、入力した名称を表示します。

▶ 次回表示しない にタッチすると、次にナビ画面が立ち上がるときは、案内されません。

»メンテナンスの設定を変更する

メンテナンス設定を個別に消去する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
メンテナンス ⇒ 項目設定 ⇒
メンテナンス画面

1 設定を消去する項目にタッチ。

2 設定消去 にタッチ。

3 はい にタッチ。

■すべて消去するとき
→「メンテナンス設定をすべて消去する」（→171）

メンテナンス設定を個別に更新する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
メンテナンス ⇒ 項目設定 ⇒
メンテナンス画面

1 設定を更新する項目にタッチ。

2 自動更新 にタッチ。

3 はい にタッチ。

▶距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。

4 完了 にタッチ。（2の画面）

▶すべて更新するとき
→「メンテナンス設定をすべて更新する」（→171）

知識

▶新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日と現在の日、または案内する予定だった日から自動的に計算され、変更されます。（項目により、計算方法は異なります。）

自動通知（メンテナンス案内）の設定をする

メンテナンス時期に案内が自動で通知されるよう設定することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メンテナンス ⇒ 項目設定 ⇒ メンテナンス画面

1 自動通知 にタッチ。

▶メンテナンス案内が自動通知されるときは、作動表示灯が点灯します。

メンテナンス設定をすべて消去する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メンテナンス ⇒ 項目設定 ⇒ メンテナンス画面

1 設定全消去 にタッチ。

2 はい にタッチ。

▶個別に消去するとき
→「メンテナンス設定を個別に消去する」（→170）

メンテナンス設定をすべて更新する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メンテナンス ⇒ 項目設定 ⇒ メンテナンス画面

1 自動全更新 にタッチ。

2 はい にタッチ。

■個別に更新するとき
→「メンテナンス設定を個別に更新する」（→170）

》販売店の設定をする

販売店を設定する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メンテナンス ⇒ 項目設定 ⇒ メンテナンス画面

1 販売店設定 にタッチ。

2 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示する。（→100、113）

3 セット にタッチ。

▶⊕の位置に販売店が設定されます。

▶「施設で地図を検索する」(→108)で販売店を呼び出し、地図が表示されたら、このまま地図を動かさずに セット にタッチすると、販売店名・電話番号が自動的に入力されます。

4 完了 にタッチ。

販売店の情報を修正・入力する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メンテナンス ⇒ 項目設定 ⇒ 販売店設定 ⇒販売店設定画面

1 修正・入力をする。

▶修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
販売店名	153
スタッフ名前	153
位置	154
電話番号	155

▶ 販売店に行く にタッチすると、販売店の地図が表示されます。

2 完了 にタッチ。(1の画面)

販売店を消去する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ メンテナンス ⇒ 項目設定 ⇒ 販売店設定 ⇒販売店設定画面

1 販売店の消去 にタッチ。

2 はい にタッチ。

》車両警告灯表示について

車両の異常時に警告灯名や警告内容をナビ画面に表示することができます。
車両警告灯の自動通知の設定をすることができます。(→173)

知識

▶車両警告灯表示の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

▶車両警告表示は、メーター内のすべての警告灯を表示するものではありません。

》車両警告灯の表示

自動で表示する

車両警告灯の自動通知設定をしているときは、メーター内の警告灯が点灯したとき、自動で警告灯をナビ画面に表示することができます。

1 表示されている警告灯にタッチ。

▶警告灯名や警告内容が表示されます。
●表示を解除するとき
→ OK にタッチ。

手動で表示する

車両警告灯の自動通知設定をしていないときは、次の手順で表示することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
メンテナンス ⇒
メンテナンス設定画面

1 車両警告表示 にタッチ。

2 表示されている警告灯にタッチ。

▶警告灯名や警告内容が表示されます。

自動通知の設定

メーター内の警告灯が点灯したときに自動でその警告灯がナビ画面に表示されるように設定することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
メンテナンス ⇒
メンテナンス設定画面

1 車両警告表示 にタッチ。

2 自動通知 にタッチ。

▶車両警告灯表示の自動通知が設定されているときはスイッチの作動表示灯が点灯します。
●自動通知の設定を解除するとき
→メッセージの内容を確認し、 OK にタッチ。

エコ機能

エコ機能について

エコ機能とは、燃料消費量の少ないルートにアイコンを表示したり、運転内容をエコな観点で評価したりすることで、環境にやさしい運転をサポートする機能です。

燃費の計算

給油した量と給油した時点での走行距離から、燃費が計算されます。
また、燃費の履歴から平均燃費が計算されます。燃費の履歴は後から編集することができます。

知識

- ▶満タンに給油しない場合、燃費が正確に計算されません。
- ▶燃費が自動計算される車種の場合、エコ情報画面には 区間燃費 が表示（→178）され、 燃費履歴 は表示されません。対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

給油量の入力

ガソリンスタンド給油時に給油量を入力すると、それまでの燃費が計算されます。燃費の計算が終了すると、走行距離はリセット（0km）されます。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 インフォ にタッチ。

▶G-BOOK画面やBTナビ画面が表示されたとき
→情報にタッチ。

3 エコ情報 にタッチ。

4 燃費履歴 にタッチ。

5 データ入力 にタッチ。

6 給油量入力 にタッチ。

▶前回給油時に給油量を入力しなかった場合、給油量を入力しても正しい燃費は計算されません。その場合、給油後、 走行距離リセット →はい の順にタッチして走行距離をリセットし、次回給油時に改めて給油量を入力してください。

7 給油量を入力し、 完了 にタッチ。

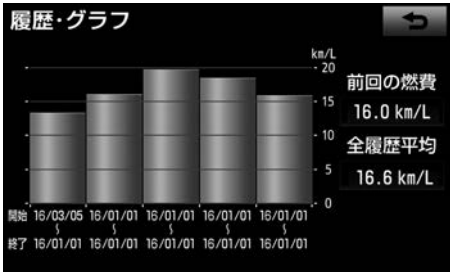
▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。

知識

- ▶走行距離の表示は、0.0km から 999.9km になります。
- ▶入力できる給油量は、最大99.9L、最小0.1Lです。
- ▶小数点と小数点以下の数値を入力しないで 完了 にタッチしたときは、小数点以下の数値は0になります。

履歴とグラフの表示

平均燃費や燃費の履歴を表示させることができます。



画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (情報) ⇒ エコ情報 ⇒ 燃費履歴 ⇒ 燃費履歴画面

1 履歴・グラフ にタッチ。

▶前回の燃費と 全履歴 の平均燃費が数値で表示されます。

▶過去５回分の燃費がグラフで表示されます。

知 識

▶グラフの表示は、最大40km/Lになります。

▶数値の表示は、最大99.9km/L、最小0.1km/Lになります。

履歴の編集

計算された燃費は、履歴に最大100件まで保存されます。過去の燃費の確認や給油量、走行距離などの修正をすることができます。

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (情報) ⇒ エコ情報 ⇒ 燃費履歴 ⇒ 燃費履歴画面

1 履歴一覧 にタッチ。

2 編集したい履歴（期間）を選択する。

3 修正・入力をする。

▶前の履歴（期間）を表示したいとき
→ ◀◀前へ にタッチ。

▶次の履歴（期間）を表示したいとき
→ 次へ▶▶ にタッチ。

▶修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
開始日の編集	168
終了日の編集	168
走行距離の編集	168
給油量の編集	174

履歴の削除

履歴が100件をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な履歴を選択して消去することもできます。

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (情報)⇒ エコ情報 ⇒ 燃費履歴 ⇒ 燃費履歴画面

1 履歴一覧 にタッチ。

2 削除したい履歴（期間）を選択する。

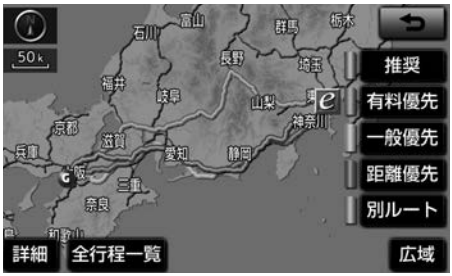
▶全ての履歴を消去したいとき
→ 全消去 にタッチ。

3 本履歴を削除 にタッチ。

4 はい にタッチ。

»ルート案内時の燃費設定

燃費を設定すると、目的地を設定したときの５ルート同時表示のルートごとに燃料消費量を推定し、最もエコなルートにアイコンを表示することができます。



1 画面外の MENU にタッチ。

2 インフォ にタッチ。

▶BTナビ画面が表示されたとき
→ 情報 にタッチ。

3 エコ情報 にタッチ。

4 燃費設定 にタッチ。

5 一般道燃費 または 高速道路燃費 にタッチ。

6 燃費を設定し、完了にタッチ。

▶燃費を上げたいとき
→ ＞ にタッチ。
▶燃費を下げたいとき
→ ＜ にタッチ。

7 完了にタッチ。（4の画面）

知識
▶フェリー航路は、燃料消費量の対象になりません。
▶入力できる燃費設定は、0.1km/L～99.9km/Lの範囲です。

»エコ情報の表示

運転内容をエコの観点で評価した結果やアドバイスを表示することができます。また、過去20分間の燃費を確認することもできます。

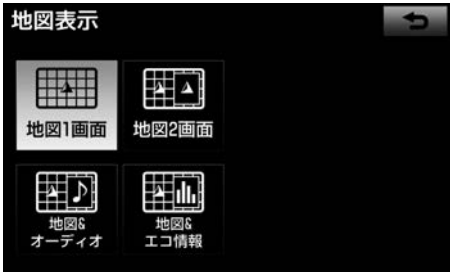
エコ運転評価の表示

全体のドライブ時間のうち、エコ運転ができた時間の割合を計算し、評価結果を表示します。

■最新評価の表示

地図表示中⇒ 表示変更 ⇒ 地図表示 ⇒ 地図表示画面

1 地図＆エコ情報にタッチ。



▶エコ運転評価は5段階で表示されます。
▶評価に合わせて、エコ運転に関するアドバイスが表示されます。

知識
▶評価を行うのに十分な走行時間が経過していない場合は、「判定中」というメッセージが表示されます。

■評価履歴の表示

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (情報) ⇒ エコ情報 ⇒ エコナビ情報画面

1 エコ運転評価履歴にタッチ。

▶今日と過去9回のエコ運転評価結果が、グラフで表示されます。評価は1日単位で記録されます。

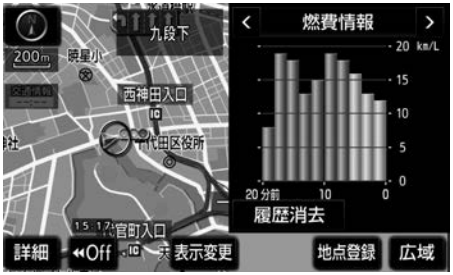
▶評価履歴を消去したいとき
→ 履歴消去 → はい の順にタッチ。

燃費情報の表示

地図表示中⇒ 表示変更 ⇒ 地図表示 ⇒ 地図＆エコ情報 ⇒エコ運転評価画面

1 ＞ にタッチ。

▶過去20分間の燃費が 2分単位の グラフで表示されます。



▶履歴グラフを消去したいとき
→ 履歴消去 → はい の順にタッチ。
▶エコ運転評価画面に戻すとき
→ ＜ にタッチ。

知識
▶燃費情報表示の対象車種については、販売店にお問い合わせください

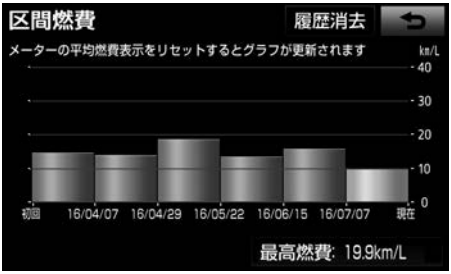
区間燃費の表示

メーターの燃費表示をリセットするごとの燃費情報を最大６個までグラフで表示します。

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (情報) ⇒ エコ情報 ⇒ エコナビ情報画面

1 区間燃費 にタッチ。

▶区間燃費画面が表示されます。



▶履歴を消去したいとき
→ 履歴消去 → はい の順にタッチ。
▶最高燃費とは、区間燃費の履歴を消去してから現在までの過去最高の区間燃費です。
▶航続可能距離は、メーターから通知された数値が表示されます。

知識
▶燃費が自動計算されない車種の場合、エコ情報画面には 燃費履歴 が表示（→**174**）され、 区間燃費 は表示されません。対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
▶メーターの燃費表示や航続可能距離については、車両の取扱書をご覧ください。

»エコドライブインフォメーションの設定

エコな運転に役立つアドバイスを音声で案内させることができます。
<エコドライブインフォメーション音声の例>

▶気持ちにゆとりを持った運転がエコドライブに繋がります。
▶エアコンの設定温度を控えめにすることで燃費がよくなります。
▶空ぶかしを行うと多くの燃料を浪費します。

■エコドライブインフォメーションのする／しないを設定できます。(→165)

知識

▶エコドライブインフォメーションの音声は一般的なものであり、運転環境やご使用の車により該当しないことがあります。
▶ハートフル音声 (→99) とエコドライブインフォメーションの音声が重複した場合、ハートフル音声が優先されます。その場合、エコドライブインフォメーションは、次回エンジンスイッチをACC、またはONにしたときに発話されます。

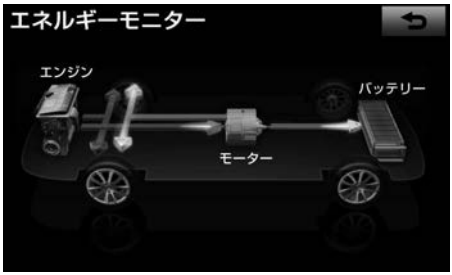
»エネルギーモニターの表示

ハイブリッドシステムの状態を、画面に表示することができます。

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (情報) ⇒ エコ情報 ⇒ エコナビ情報画面

1 エネルギーモニター にタッチ。

▶エネルギーモニター画面が表示されます。



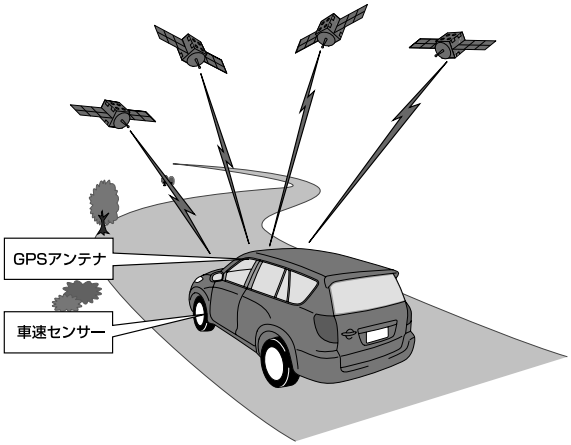
知識

▶エネルギーモニター表示の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

GPS について

》GPSとは

GPS（Global Positioning System：汎地球測位システム）は、米国が開発・運用しているシステムで、通常4個以上、場合により3個の人工衛星を利用して、利用者の現在位置（緯度・経度など）を知ることができるものです。 このシステムは、GPS情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して、ナビゲーションを行っています。



》GPS情報を利用できないとき

以下のようなときは、GPS情報を利用できないことがあります。

- ▶ビル・トラック・トンネルなどで人工衛星の電波が遮断されるとき
- ▶GPSアンテナの上に物を置くなどして電波が遮断されるとき
- ▶人工衛星が電波を出していないとき（米国の追跡管制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。）
- ▶デジタル式携帯電話（1.5GHz）をGPSアンテナ付近で使用したとき

》システムの特性上、避けられないズレ

このシステムは、GPS情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。
この誤差は、補正などによってなくすことはできません。

知っておいていただきたいこと

》こんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原　因	処　置
自宅が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、**自宅周辺** にタッチしたため。	自宅を登録してからお使いください。（→**146**）
特別メモリ地点が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ周辺 **1** ～ **5** または特別メモリに行く **1** ～ **5** にタッチしたため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。（→**147**）
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する施設の地点が特定できません 周辺の地図を表示します	検索された施設の正確な所在地が特定できず、所在地の住所を代表する地点を表示したため。	実際の施設の所在地をご確認ください。
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	1/8万図より広域の地図で、目的地・メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。（現在地画面（地図画面）から地点登録するときを除く）	目的地・メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図（1/8 万図以下）で行ってください。
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、河川などが近くにあるため。	**はい** にタッチしたあと、地図を道路付近に移動して、**セット** にタッチし、目的地を設定してください。 表示されている位置に目的地を設定するときは、**いいえ** にタッチしてください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。（→**145**）
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点（自宅・特別メモリ地点含む）400カ所・Gメモリ地点100カ所登録しているときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。（→**149**）

メッセージ	原　因	処　置
セットで◆を乗降ICに設定します 次候補で別の出入口を探します	指定したICに出口（入口）が複数あるため。	希望の出口（入口）のときは、**セット**にタッチしてください。 希望の出口（入口）でないときは、**次候補**にタッチしてください。
指定したICは時間規制によりご利用できない場合があります IC指定を続けますか？	指定したICに時間規制があるため。	指定を続けるとき、**はい**にタッチしてください。 指定をやめるとき、**いいえ**にタッチしてください。
指定された出入口ICは規制があります ご注意下さい	時間規制のあるICを利用時間内に通過できないおそれがあるため。	指定している前後のICから乗降してください。
○○○○上に目的地を設定しますか？ [高速道路、有料道路など]	高速道路、有料道路上などで目的地を設定しようとしたため。	そのまま設定するときは、**設定する**にタッチしてください。 別の道路に設定するときは、**他の道路**にタッチしてください。
指定された区間の前後に乗降ICまたは通過道路が決定済みです 指定を解除しますか？	乗降ICまたは通過道路を指定してある前後に目的地を追加しようとしたため。	乗降ICまたは通過道路の指定を解除して目的地の追加を続けるときは、**はい**にタッチしてください。 乗降ICまたは通過道路の指定を解除せず目的地の追加を続けるときは、**いいえ**にタッチしてください。
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。
該当する施設がありません	施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	条件を変更して、再度検索してください。

》故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症　状	考えられること	処　置
走行しても地図が動かない。 自車マークが表示されない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。（→**72**）
GPSマークが表示されない。	GPS情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がない所へ移動するか、GPSアンテナの受信を妨げるものを取り除いてください。
音声案内が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。（→**126**）
	案内の音量が小さく（音声OFFに）なっていませんか。	音量を大きくしてください。（→**98**）
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか。	コントラスト、明るさを調整してください。（→**47**）
実際の現在地と異なる場所に自車マークが表示されている。 （自車マークがずれている。）	人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車マークがずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。） GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→**162**）

≫ナビの精度について

次のようなときは、故障ではありません。

知識

▶このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。
▶タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。（→**162**）

■以下のような車両の状態（走行場所や運転条件）のときは、実際の現在地と異なる場所に自車マークが表示されている（自車マークがずれている）ことがあります。

▶角度の小さなＹ字路を走行しているとき、他方の道に自車マークが表示されることがあります。
▶隣の道路に自車マークが表示されることがあります。
▶市街図を表示させているとき、自車マークやルート表示が反対車線や道路以外の場所に表示されることがあります。
▶市街図から市街図以外の縮尺の地図に切り替えたとき、ほかの道路に自車マークが表示されることがあります。
▶フェリー、車両運搬車などで移動したあと、自車マークが移動前の位置になっていることがあります。
▶自車マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行したとき。
▶バッテリーターミナルを脱着したあと。
▶らせん状の道路を走行しているとき。
▶勾配の急な山岳等を走行しているときや急カーブを走行しているとき。
▶地下駐車場や立体駐車場などでの切り返しや、ターンテーブルで回転をしたあと、一般道路に出たとき。
▶渋滞・交差点の手前などで、発進・停止を繰り返したときや徐行運転時。
▶砂、砂利、雪道などのすべりやすい道路を走行しているとき。
▶タイヤチェーンを装着して走行しているとき。
▶タイヤを交換したとき（とくに応急用タイヤ、スタッドレスタイヤ使用時）。
▶指定サイズ以外のタイヤを使用したとき。
▶タイヤの空気圧が４輪とも指定の空気圧でないとき。
▶摩耗したタイヤに交換したとき（２シーズン目以降のスタッドレスタイヤなど）。
▶ビルの近くを走行したとき。
▶ルーフキャリヤを取りつけたとき。
▶高速走行中、長距離のルート探索を行ったとき。

以上のようなときでも、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

■探索条件や走行場所により、以下のように適切な目的地案内が行われないことがあります。

▶直線道路走行中に、直進の案内が行われることがあります。
▶交差点で曲がるのに、案内が行われないことがあります。
▶案内が行われない交差点があります。
▶Uターン禁止の場所で、Uターンするルートの案内が行われることがあります。
▶実際には通行できない道（進入禁止の道路、工事中の道路、道幅が狭い道路など）の案内が行われることがあります。
▶目的地までの道路がなかったり、細い道路しかないときは、目的地から離れた所までしか目的地案内が行われないことがあります。
▶ルートからはずれたとき（手前の交差点などで曲がったときなど）、音声案内が誤って出力されることがあります。
▶実際の現在地と異なる場所に自車マークが表示されている場合、誤った案内をすることがあります。

■ルート再探索時、以下のようなことがあります。

▶再探索時のルートの表示が、次の右左折までに間に合わないことがあります。
▶高速走行時の再探索時間が長いことがあります。
▶再探索時に、ルートが遠まわり（大まわり）になることがあります。
▶通過するはずの目的地を通らずに最終の目的地に向かうとき、再探索すると、通過するはずの目的地へもどるルートが表示されることがあります。
▶再探索しても、ルートがかわらないことがあります。
▶ルートが探索されないことがあります。

06 データ情報を確認する

地図について

地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。
なお、このGPSボイスナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、一般財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。

知識

- ▶地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- ▶幅が3m未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が3m未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

地図データの更新について

地図データは、次の方法で更新することができます。

▶全更新：最新版地図ソフトを購入いただき、全ての地図データを更新します。詳しくは、トヨタ販売店にご相談ください。

※最新版地図ソフトの発行は、予告なく終了することがあります。

▶差分更新：通信またはCD-R/DVD-Rを使用して、部分的に地図データを更新します。詳しくは、「マップオンデマンド」（→**530**）をご覧ください。

知識

- ▶全更新するときは、それまでの差分更新のデータと比較し、古い情報のみ更新され、最新の情報はそのまま保存されます。

地図データの情報を見る

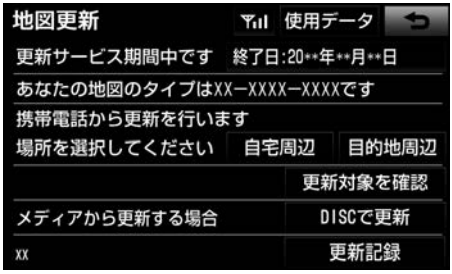
ハードディスクに収録されているデータベースなどの情報は、使用データ画面で確認できます。

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ 地図更新 ⇒地図更新画面

または

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 地図更新 ⇒地図更新画面

1 使用データ にタッチ。



知識

▶使用データ画面に表示される 地図更新 は、全更新（→**186**）時に使用するスイッチです。
全更新については、お買い上げの販売店にご相談ください。

》地図データベースについて

いかなる形式においても、著作権者に無断でこの地図の全部、または一部を複製し、利用することを固く禁じます。 この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図、5万分の1地形図、2万5千分の1地形図、1万分の1地形図及び数値地図50mメッシュ（標高）を使用しました。（測量法 第30条に基づく成果使用承認 平26情使第523-001号）
この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。 この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法 第44条に基づく成果使用承認 12-040T）
©2007 一般財団法人 日本デジタル道路地図協会
©アイシン・エィ・ダブリュ（株）&
ZENRIN CO.,LTD. &
（株）トヨタマップマスター

■交通規制データの出典について
この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、（株）トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

■道路交通規制の優先について
このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

■交通事故多発地点について
この地図に使用している事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータをもとに作成しました。

■統計交通情報について
統計交通情報データは、JARTIC/VICS及び独自で収集した交通情報を基にトヨタメディアサービス株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

■Gルート探索について
Gルート探索は、JARTIC/VICSの情報、プローブコミュニケーション交通情報を基にトヨタメディアサービス株式会社が作成したデータを使用しています。

■渋滞考慮探索について
渋滞考慮探索は、JARTIC/VICSの情報、プローブコミュニケーション交通情報を基にアイシン・エィ・ダブリュ株式会社が作成したデータを使用しています。

■渋滞考慮探索機能（交通情報予測機能）について
渋滞考慮探索機能（交通情報予測機能）はアイシン・エィ・ダブリュ株式会社の提供です。

地図のスケール表示について

地図左上に表示される100m の——の長さが約100mであり、表示されている地図が1/1万縮尺であることを示しています。

▶地図の縮尺の切り替えについて
→「地図縮尺を切り替える」（→**75**）

スケール表示	縮 尺
25m	1/2500
50m	1/5 千
100m	1/1 万
200m	1/2 万
400m	1/4 万
800m	1/8 万
1.6k	1/16 万
3k	1/32 万
7k	1/64 万
13k	1/128 万
26k	1/256 万
50k	1/512 万
100k	1/1024 万
200k	1/2048 万

知 識

▶1/2500図は市街図表示（→**81**）に切り替えたとき、表示することができます。

地図記号・表示について

表 示	内 容
(紫色)	高速道路 （都市高速道路・有料道路を含む）
	国道、主要道、都道府県道、その他の道路
	トンネルまたは整備計画区間 （各道路で表示色は異なります。）
	私鉄
	JR
	水域
	都道府県界
	緑地
	駅舎・敷地

知 識

▶ビジュアルシティマップ表示（→**85**）にすると、道路の幅を実際の道路幅の比率と同じように表示させることができます。

▶道路の表示色は地図の表示色（→**80**）の設定によって異なります。

記号	内容
	官公庁
	都道府県庁
	市役所・東京23 区役所
	町村役場・東京以外の区役所
	警察署
	消防署
	郵便局
	IC（インターチェンジ）
	SA（サービスエリア）
	PA（パーキングエリア）
	スマートIC (ETC専用インターチェンジ)
	信号機
	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
	学校
	幼稚園
	病院・医院
	電力会社・発電所
	電話局
	銀行・信用金庫・農協
	デパートなど
	ホテル・旅館など
	ビル
	工場
	灯台
	神社
	寺院
	教会
	霊園・墓地

記号	内容
	城・城跡
	名所・観光地など
	ゴルフ場
	スキー場
	海水浴場
	アイススケート場
	マリーナ・ヨットハーバー
	陸上競技場・体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	山
	その他の施設
	通常の踏み切り
	ボトルネック踏み切り※
	トヨタ販売店・トヨタ共販店
	ダイハツ販売会社
	ネッツ店
	トヨタL & F

※列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。

知識

- ▶地図データに収録されているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省の資料を参考に作成してあります。
- ▶表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設が代表して1つのマークで表示されることがあります。

VICS・交通情報を使う

VICS・交通情報の表示について

》VICS・交通情報を表示する

地図上にVICS・交通情報（VICS記号・表示）を表示することができます。（→**206**）

VICS・交通情報の表示例

▲通常の地図

▲ハイウェイモード

	渋滞情報の表示例		
	渋滞	混雑	空き道
現況情報	（赤色）	（橙色）	（水色）
統計情報	（赤色）	（橙色）	（水色）

▶VICS・交通情報には、現況情報と統計情報があります。

現況情報について

現況情報は次の情報です。

■現況VICS情報
VICSセンターから提供される現況の情報

■現況交通情報
▶G-BOOKオンラインサービス 利用時
G-BOOKセンターから提供されるプローブコミュニケーション交通情報（→**545**）

■統計情報
過去の交通情報を統計処理した情報

知識

- ▶統計情報は、地図データに収録されています。現況情報が受信できないときでも、日時・時間帯に応じた情報を表示できます。
- ▶現況情報は、1/16万図より詳細な地図で表示することができます。VICS記号によっては、1/16万図では表示できない記号もあります。
- ▶統計情報は、1/8万図より詳細な地図で表示することができます。
- ▶現況交通情報は、Gルート探索（→**545**）すると取得することができます。
- ▶現況情報と統計情報を同時に表示する設定にしている場合は、現況情報を優先して表示します。
- ▶現況交通情報・統計情報は表示されない地点があります。また、地図差分更新（→**530**）などにより今まで表示されていた地点でも、表示されなくなることがあります。
- ▶提供される現況交通情報・統計情報は、実際の交通状況と異なる場合がありますので、あくまでも参考としてください。
- ▶表示する地図の種類によっては、VICS・交通情報を表示させることができない場合があります。

»タイムスタンプについて

タイムスタンプにタッチすると、渋滞・規制音声案内を出力することができます。（→**194**）

タイムスタンプ

時刻表示について

知識

- ▶現況情報が提供された時刻を示しています。（現況情報が受信された時刻ではありません。）
- ▶現況情報が継続して受信されないと、約30分後に自動的に消去され、--:-- の表示になります。
  現況情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が --:-- になります。
- ▶エンジンスイッチをACCまたはONにした直後など、現況情報が受信されるまでは、--:-- の表示になります。

色について

目的地案内中で現在地がルート上にあるとき、ルート上（約10km以内）に現況情報があると色がかわります。

スイッチ	内容
赤色（渋滞）	渋滞情報
橙色（混雑）	混雑情報
黄色（規制）	交通規制情報

文字表示について

現況VICS 情報を受信すると「VICS」、現況交通情報を受信すると「交通情報」と表示します。

知 識

- ▶現況VICS情報・現況交通情報の両方が受信されていないときは、「交通情報」が灰色になります。
- ▶1/32万図より広域な地図では「交通情報」と表示します。
- ▶エンジンスイッチをACCまたはONにした直後など、現況情報が受信されるまでは「交通情報」と表示します。
- ▶現況VICS情報と現況交通情報を同時に表示できるときは、「VICS」と表示します。

》VICS 記号の内容を表示する

1 規制情報の記号、または駐車場情報の記号にタッチ。

知 識

- ▶VICS記号によっては、内容が表示されないVICS記号もあります。

》VICS・交通情報の表示設定

VICS・交通情報を表示する

地図表示中⇒ 表示変更 ⇒
表示変更画面

1 VICS・交通情報 にタッチ。

2 VICS・交通情報を表示する道路を選択する。

スイッチ	内容
全て	高速道路・一般道路に表示
高速道のみ	高速道路のみに表示
一般道のみ ※	一般道路のみに表示
非表示	交通情報を表示しない

※ハイウェイモード（→**95**）では、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報を表示できます。

▶VICS・交通情報を表示したときは、タイムスタンプが表示されます。

表示するVICS・交通情報を選択する

地図表示中⇒ 表示変更 ⇒
VICS・交通情報 ⇒
VICS・交通情報画面

1 表示設定 にタッチ。

2 表示するVICS・交通情報を選択し、完了 にタッチ。

スイッチ	内容
渋滞・混雑 ※	渋滞・混雑している道路の表示
空き道 ※	空いている道路の表示
規制情報	事象・規制がある道路の表示
駐車場	駐車場情報の表示

※渋滞・混雑、空き道は統計情報を表示することができます。また、現況情報と統計情報を同時に表示することもできます。ただし、同じ地点に両方の情報があるときは、現況情報を優先して表示します。

▶作動表示灯が点灯している項目が表示されます。

VICS・交通情報を活用する

》渋滞・規制音声案内について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約10km以内）の現況情報を音声案内させることができます。

音声案内の例

■VICS 表示がある地点
「およそ1km先 渋滞があります」

■VICS 記号のある地点
「およそ5km先 電気工事のため 車線規制中です」

音声案内はあくまでも参考としてください。

▶VICS渋滞・規制音声自動発声のする／しないを設定できます。（→**165**）

知 識

▶音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。

▶自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

渋滞・規制音声案内を再出力する

一度出力された渋滞・規制音声案内を再度出力させることができます。

1 タイムスタンプにタッチ。

タイムスタンプ

▶一度音声案内が出力されるとタイムスタンプがスイッチになり操作することができます。

知識

▶VICS渋滞・規制音声自動発声を「しない」に設定していても、タイムスタンプがタッチスイッチになっていれば、タッチすると渋滞・規制音声案内を出力させることができます。

»VICS 図形情報・文字情報を表示する

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒（情報）⇒情報画面

1 VICS にタッチ。

2 FM図形 または FM文字 にタッチ。

3 情報の番号（1・2・3…）にタッチ。

▶文字情報または図形情報に切り替えるとき
→ 文字 または 図形 にタッチ。

4 ▲、▼ または 自動送り にタッチ。

▶前回情報を表示させたときに「自動送り」を選択していると、情報を表示すると同時に自動送りが開始されます。
▶情報のページを送るとき
→ ▲ または ▼ にタッチ。
▶ 自動送り にタッチすると、情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。 走行中は自動送りできません。
▶情報の自動送りを中止するとき
→ 停止 にタッチ。

▶自動送り中に ▲ または ▼ にタッチして、情報を送ったときは、自動送りは中止されます。
▶文字情報または図形情報に切り替えるとき
→ 文字 または 図形 にタッチ。
▶ 目次 にタッチすると、3 の画面が表示されます。

»割込情報（ビーコン即時案内）を表示する

▶販売店装着オプションのビーコンユニットを装着したとき
ビーコンからの現況VICS情報が受信されたとき、VICS文字情報または図形情報を自動的に表示させることができます。

知識
▶ビーコンユニットを装着していない場合でも、緊急情報が受信されたときは、割込情報が表示されます。

割込情報の表示例

割込情報を切り替えるとき

1 ▲ または ▼ にタッチ。

▶文字情報または図形情報に切り替えるとき
→ 文字 または 図形 にタッチ。
▶ 表示消 にタッチする、または約15秒以上操作しなかったときは、もとの画面にもどります。
表示時間は調整することができます。
(→198)

知識
▶表示させている画面により、割込情報が表示されないことがあります。

ITSスポット対応DSRC ユニット★装着時に追加で受けられる割込情報

▶ITSスポット対応DSRCユニットを装着している場合、VICS文字情報・図形情報以外に、以下のサービスが受けられます。
▶画面内容はあくまでも参考です。本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
▶ITSスポット対応DSRCユニットについては、ITSスポット対応DSRCユニットに同梱の取扱書をご覧ください。

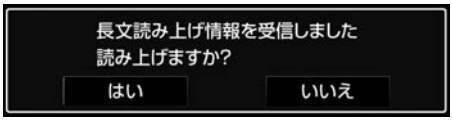
★印はオプションです。

■前方状況情報提供サービス
進行方向先の交通状況を画面と音声、または音声で案内します。

■電子標識情報提供サービス
標識の画像を表示することで、自動車専用道路などへ入ったことを案内します。

■長文読上げサービス
ハイウェイラジオなどの情報を音声で案内します。
「現在の首都高速４号線上り方向の情報をお知らせします。・・・・・」

読上げ情報を案内するとき



1 はい にタッチ。

- ▶読上げ中、 中止 にタッチすると、読上げを中止します。
- ▶読上げ情報は、2 回読上げると終了します。
- ▶約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面にもどります。
- ▶再度読上げ情報を聞くときは、「割込情報を呼び出す」（→**196**）をご覧ください。

割込情報を呼び出す

割込情報の表示を「しない」に設定しているときに、受信された割込情報を表示させることができます。
また、一度表示された割込情報を再度表示させることもできます。

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒（ 情報 ）⇒ VICS ⇒VICS 画面

1 VICS呼出、またはITSスポット呼出の 割込情報 にタッチ。

2 ▲または▼にタッチして、割込情報を切り替える。

▶画面は、図形情報を使用しています。文字情報（ITSスポット呼出のときは、表示情報、読上げ情報）を表示したときも操作方法は同じです。

▶VICS呼出：文字情報または図形情報に切り替えるとき

→ 文字 または 図形 にタッチ。

▶ITSスポット呼出：表示情報または読上げ情報に切り替えるとき

→ 表示情報 または 読上げ情報 にタッチ。

知識

▶提供時刻より約30分以上経過した割込情報は、表示させることができません。

▶ITSスポット呼出の 割込情報 はITSスポット対応DSRCユニットを装着している場合に表示されます。

割込情報の表示設定を変更する

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ その他 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 VICS/ITS スポット設定 にタッチ。

2 割込設定をし、 完了 にタッチ。

3 完了 にタッチ。（1の画面）

自動割込を設定する

自動割込のする／しないを設定できます。

1 各項目の **する** または **しない** にタッチ。

割込設定	内容
VICS注意警戒情報自動割込	注意警戒情報の表示
VICS文字情報自動割込	文字情報の表示
VICS図形情報自動割込	図形情報の表示
ITSスポット表示情報自動割込	ITSスポットサービス（DSRC）情報の表示
ITSスポット読上げ情報自動割込	ITSスポットサービス（DSRC）読上げ情報（長文読上げ情報）確認画面の表示

2 **完了** にタッチ。

知識

▶自動割込情報を「しない」に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報または図形情報が表示されます。

自動割込表示時間を調整する

割込情報の表示時間を調整できます。

1 **自動割込みの表示時間** にタッチ。

▶長くするとき
→ **＋** にタッチ。

▶短くするとき
→ **－** にタッチ。

2 **完了** にタッチ。

ITSスポットサービス（DSRC）走行情報アップリンクの設定を変更する

ITSスポットサービス(DSRC)走行情報アップリンクのする／しないを設定できます。

1 **する** または **しない** にタッチ。

知識

▶ITSスポット走行情報アップリンクを「する」に設定した場合、走行履歴などの情報（走行位置の履歴や車両に関する情報など）をITSスポット対応DSRCユニットを通じて、ITSスポットサービス（DSRC）の路側無線装置へ送ることができます。

▶詳しくは、「道路管理者等からのお知らせとお願い」（→**204**）をご覧ください。

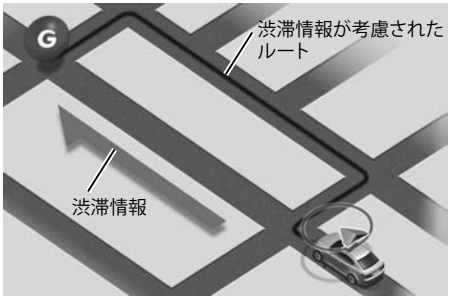
»渋滞を考慮して探索する

▶販売店装着オプションのビーコンユニットを装着したとき

ビーコンからの現況VICS情報が受信されたとき、受信された渋滞・規制情報が考慮されたルート探索ができます。

▶G-BOOKオンラインサービス利用時

渋滞予測情報が取得されたときは、取得された渋滞・規制情報が考慮されたルート探索ができます。（→**545**）



知識

▶現在地から約10km以内の渋滞・規制情報が考慮されます。したがって、遠方の渋滞・規制情報は考慮されません。

渋滞考慮探索の設定を変更する

渋滞考慮探索のする／しないを設定できます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ ルート系設定 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 渋滞考慮探索 にタッチ。

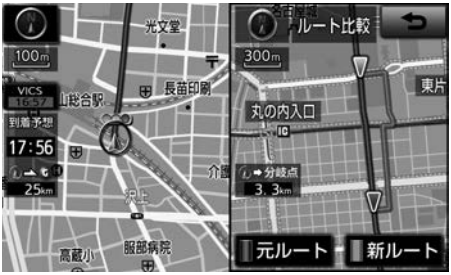
2 する または しない にタッチ。

3 完了 にタッチ。

》新旧ルートを比較して表示する

ビーコン※またはG-BOOKセンターから提供される現況情報が受信され、渋滞・規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、右画面に新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示します。

※ビーコンを受信するには販売店装着オプションのビーコンユニットが必要です。



■新旧ルート比較表示（→**200**）を「する」に設定したとき、新旧ルート比較表示ができます。

新ルートで案内するとき

1 新ルート にタッチ。

▶約10秒以上操作しなかったときも、新ルートで案内します。

元ルートで案内するとき

1 元ルート または［⮌］にタッチ。

新旧ルート比較表示の設定を変更する

新旧ルート比較表示のする／しないを設定できます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ ルート系設定 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 新旧ルート比較表示 にタッチ。

2 する または しない にタッチ。

3 完了 にタッチ。

知識

▶新旧ルート比較表示を「しない」に設定していても、渋滞考慮探索（→**198**）を「する」に設定していて、渋滞を考慮したルートが新たに見つかったときは自動的に新しいルートで案内します。

▶新旧ルート比較表示では、VICS・交通情報の表示設定（→**192**）に関わらず渋滞情報が表示されます。
ただし、地図の縮尺によっては表示されないことがあります。（→**75**）

VICS 放送局を選択する

》放送局を選択する

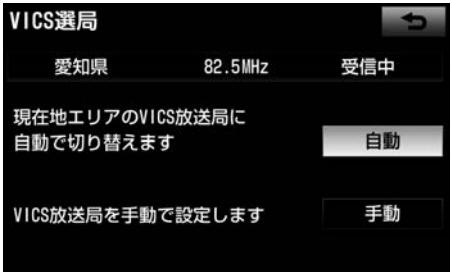
現況VICS情報を提供しているFM 放送局を選ぶことができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ その他 ⇒ ナビ詳細設定画面

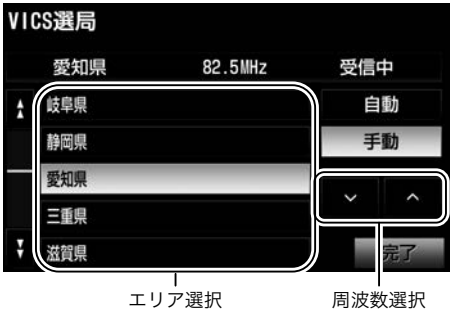
1 VICS /ITS スポット設定 にタッチ。

2 VICS 選局 にタッチ。

▶表示される画面は、前回選択していたモード（自動選択または手動選択）により異なります。



▲自動選択時



▲手動選択時

■通常は、「自動」にしておいてください。「自動」で受信されないときのみ、「手動」で放送局または放送エリアを選択してください。

知識

▶新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。

》自動で放送局を選択する

現在地がある都道府県の、VICS提供FM放送局が受信され、現在地を移動すると、自動的に放送局が切り替わります。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ その他 ⇒ VICS/ITSスポット設定 ⇒ VICS選局 ⇒VICS選局画面

1 自動 にタッチ。

》手動で放送局を選択する

▶エリア選択
選んだ都道府県のVICS提供FM放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

▶周波数選択
選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ その他 ⇒ VICS/ITSスポット設定 ⇒ VICS選局 ⇒VICS選局画面

1 手動 にタッチ。

2 エリア選択時は、受信させる放送局のある都道府県名にタッチ。
周波数選択時は、∧ または ∨ にタッチして、放送局の周波数を選ぶ。

▶放送局の電波が受信されると、「受信中」が表示されます。

3 完了 にタッチ。

VICSの概要

VICSについて

VICS(Vehicle Information and Communication System:道路交通情報通信システム)は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICSリンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会・公益財団法人日本交通管理技術協会が有しています。
VICS、およびこの機器に付与された VICS のロゴマークは一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICSの用語について

より有効にVICSを利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

緊急情報について

津波情報などの緊急の伝達が必要とされる情報を受信すると、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

交通情報関連の用語について

▶渋滞：交通の流れが非常に悪い状態を示します。
▶混雑：交通の流れがやや悪い状態を示します。

駐車場・SA・PA 関連の用語について

▶空車：駐車場（SA・PA）の利用が可能な状態を示します。
▶混雑：駐車場（SA・PA）において、利用率が高い状態を示します。
▶満車：駐車場（SA・PA）において、ほぼ満車の状態を示します。
▶不明：駐車場（SA・PA）の情報がない状態を示します。
▶閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態を示します。

VICSセンター著作権について

1. お客様は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人UTMS協会および一般財団法人道路新産業開発機構が所有しまたは管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外のVICS技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが所有しまたは管理することに同意する。
2. お客様は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人UTMS協会および一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの共通ネットワーク仕様書以外のVICS技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

VICSについて問い合わせをする

トヨタ販売店への問い合わせについて

▶VICS車載機、ITSスポット対応DSRCユニットの調子・機能・使用方法・その他に関するもの
▶VICS情報の表示に関するもの
▶VICSのサービスエリアに関するもの
▶その他上記に類するもの

VICSセンターへの問い合わせについて

▶VICS文字情報・VICS図形情報に関するもの
▶ITSスポット安全運転支援案内に関するもの
▶VICSの概念・事業計画（サービスエリアの計画）に関するもの
▶運用管理室
▶電話番号（受け付け時間…9：30 ～ 17：45、土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）
▶0570－00－8831（全国共通）※
▶※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
▶※PHS、IP電話等からはご利用できません。
▶FAX番号（受け付け時間…24 時間）
▶03－3562－1719（全国共通）

知識

▶VICSについては、以下のホームページでもご覧いただけます。
URL: http://www.vics.or.jp/
▶ITSスポットサービス（DSRC）については、以下のホームページでもご覧いただけます。
URL: http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html

道路管理者等からのお知らせとお願い

■プローブ情報の利用及び取り扱いについて

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社及び広島高速道路公社（以下、「道路管理者」と言います。）は、ITSスポット対応DSRC対応カーナビ※1からプローブ情報を収集する場合における情報の利用や取り扱いについて、次の通りお知らせします。

プローブ情報をご提供いただくことで、より精度の高い道路交通情報などをドライバーの方々に提供することなどが可能となり、道路がより使いやすくなると期待されます。また、交通事故の削減や道路渋滞の緩和など環境負荷低減の取り組みに活用する予定です。

※1： 製品により、ITS車載器、DSRCユニット、DSRC車載器等と呼ばれていることがあります。

1. プローブ情報

(1) ここで「プローブ情報」とは、ITSスポット対応カーナビに記録された走行位置の履歴などの情報で、道路管理者が管理するITSスポット(DSRC路側無線装置)※2と無線通信を行うことによりITSスポット対応カーナビから収集される情報を言います。なお、このプローブ情報から車両又は個人を特定することはできません。プローブ情報として収集する情報は次の通りです。

- ITSスポット対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカ､型番等)、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカ、型番等））
- 車両に関する情報※3
- 走行位置の履歴※4
- 急な車両の動きの履歴※4

※2：道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定等を結んだ者が管理するITSスポットを含みます。

※3：車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報の一部です。なお、この情報に、車台番号や、自動車登録番号又は車両番号の4桁の一連番号は含まれないため、車両又は個人を特定することはできません。（例：「品川500 あ1234」では「1234」の部分は含まれません。）

※4：走行開始地点や走行終了地点などの個人情報にかかわる情報は、収集されません。

2. プローブ情報の利用目的

(1) 道路管理者は、プローブ情報を道路交通情報や安全運転支援情報の提供などドライバーへのサービス、道路に関する調査・研究、道路管理の目的に利用します。※5

※5： 例えば、収集した走行位置の履歴を統計的に処理することで、区間の走行所要時間や、渋滞の影響を高い精度で把握し、ドライバーに情報提供することができます。また、急な車両の動きを統計的に処理することで、道路上の障害物の検知や、走行に注意が必要な箇所を把握し、ドライバーに情報提供することが考えられます。

(2) 道路管理者等は、(1)の目的以外でプローブ情報を利用しません。

3. プローブ情報の収集

(1) 道路管理者等は、道路管理者等が管理するITSスポット※2によって、プローブ情報を収集する場合があります。

(2) ITSスポット対応カーナビ利用者は、設定により、1. (1) で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択することができます。※6選択の方法については、「ITSスポットサービス(DSRC)走行情報アップリンクの設定を変更する」(→**198**) をご覧ください。

※6： カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションは該当しません。

(3) ITSスポット対応カーナビ利用者は、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供することで、これを利用した様々な追加サービスの提供を受けられる場合があります。

4. プローブ情報の第三者への提供

(1) 道路管理者等は、2. (1) の目的のため、プローブ情報を統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学等の研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

(2) 道路管理者等は、ITSスポット対応カーナビ、ITS スポットの関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、プローブ情報又はこれを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーに提供する場合があります。

(3) 道路管理者等は、(1) 及び (2) 以外でプローブ情報を第三者に提供しません。

5. プローブ情報の取り扱い

(1) 道路管理者は、プローブ情報を安全に管理し、情報の漏えい等の防止に努めます。

(2) 道路管理者は、プローブ情報が不要となった時点で、当該プローブ情報を消去します。

(3) 道路管理者は、プローブ情報の提供先における情報の安全管理について、提供先を適切に指導します。

VICS 記号・表示について

表 示	道路の種類
（黒色）※	通行止めの区間
（赤色）	渋滞している道路
（橙色）	混雑している道路
（水色）	すいている道路

※夜画のときは白色で表示されます。

記 号	駐車場・SA・PA 情報
（青色）	駐車場（空車）
（橙色）	駐車場（混雑）
（赤色）	駐車場（満車）
（黒色）	駐車場（不明）
	駐車場（閉鎖）
（青色）	SA・PA（空車）
（橙色）	SA・PA（混雑）
（赤色）	SA・PA（満車）
（黒色）	SA・PA（不明）
	SA・PA（閉鎖）

記 号	規制情報
	事故
	故障車
	路上障害
（青色）	注意
（黒色）	地震警戒宣言
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行

記 号	規制情報
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め
	入口規制
	出口規制
	速度規制
	イベント

知 識

▶表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数のVICS・交通情報が代表して１つの記号で表示されることがあります。

携帯連携

携帯連携機能のサービスは終了しています。

携帯連携について

携帯連携とは

携帯電話で表示している地点情報を車載機へ送信したり、車載機で設定されている現在地や目的地の地点情報を携帯電話へ送信することができる機能です。

⚠警告

▶運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

知識

▶携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書を参照してください。
▶データの送信中にエンジンスイッチをOFF(LOCK) にした場合、送信が中止されます。その場合、エンジンスイッチをACC、またはONにして再度操作します。
▶データの送信中に車載機を操作したり、他の画面に切り替わった場合、送信が中止されます。
▶データ送信中は、他のBluetooth機器の接続が切断されます。その場合、送信が終了すると、再接続されます。(機種により、再接続に時間がかかることや再接続できないことがあります。)

情報を携帯電話へ送信する

現在地の地点情報を車載機から携帯電話へ送信することができます。目的地が設定されている場合は、目的地までのすべての地点情報を転送することができます。
本機能を使用するためには、専用アプリを携帯電話にダウンロードする必要があります。車載機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、次の方法でご確認ください。

▶各携帯電話会社へのお問い合わせ
▶携帯電話のパンフレット
▶専用カタログ
▶トヨタのホームページ

1 画面外の MENU にタッチ。

2 インフォ にタッチ。

▶情報画面が表示されたとき
→BTナビ にタッチ。

3 地点を送信 にタッチ。

4 携帯電話を操作して、データ受信ができる状態にする。

▶携帯電話の操作は、地点を送信画面が表示されているときに行います。

5 送信 にタッチ。

▶通信を中止したいとき
→ 中止 にタッチ。
▶位置情報を送信するとメッセージが表示され、現在地画面が表示されます。

知識
▶ハンズフリー（→**434**）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。
▶WEB検索（→**501**）で登録した地点情報は、送信することができません。

情報を車載機へ送信する

車載機に登録されている携帯電話で表示している地点情報を、携帯電話から本機へ送信することができます。
本機能を使用するためには、専用アプリを携帯電話にダウンロードする必要があります。車載機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、次の方法でご確認ください。
▶各携帯電話会社へのお問い合わせ
▶携帯電話のパンフレット
▶専用カタログ
▶トヨタのホームページ

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (BTナビ)⇒BTナビ画面

1 地点を受信 にタッチ。

2 携帯電話から位置情報を送信する。

▶通信を中止したいとき
→ 中止 にタッチ。
▶位置情報を取得するとメッセージが表示され、検索された地図が表示されます。（→**113**）

知識
▶車載機に登録されたBluetooth携帯電話のみ使用することができます。（→**440**）
▶同乗者が携帯電話を操作する場合、ハンズフリー（→**434**）に接続中の携帯電話から走行中は地点を受信することはできません。

オーディオ＆ビジュアル

01. はじめに 212
基本操作をする 212
音量調節バー、トラックバーについて 212
オーディオの電源をONする/OFFする 214
操作画面を表示する 214
モードを切り替える 214
音量を調節する 215
音質を調整する 216
02. ラジオを聞く 219
ラジオを操作する 219
ラジオを聞く 219
放送局を選ぶ 220
放送局を記憶する 221
エリアスイッチについて 222
交通情報放送を受信する 222
03. ディスクを再生する 223
音楽CDを聞く 223
CDを聞く 224
再生を一時停止する 224
聞きたい曲を選ぶ 224
早送り、早戻しする 225
同じ曲を繰り返し聞く 225
曲の順番をランダムに聞く 225
MP3/WMAディスクを聞く 226
MP3/WMAディスクを再生する 227
再生を一時停止する 227
聞きたいフォルダを選ぶ 227
聞きたい曲（ファイル）を選ぶ 228
早送り、早戻しする 228
同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く 229
同じフォルダを繰り返し聞く 229
フォルダの中からランダムに聞く 229
MP3/WMAについて 230
DVD（DVDビデオ、DVD-VR）を見る 231
DVDを再生する 232
映像を一時停止する 233
映像を止める 233
早送り、早戻しする 233
スロー再生する 234
静止画を切り替える 234
見たい場所を選ぶ 234
メニュー画面を操作する 235
音声を切り替える 236
字幕を切り替える 236
アングルを切り替える 237
音声モードを切り替える 237
再生モードを切り替える 237
ディスクで指定された位置まで戻って見る 237
画面モードを切り替える 238
画質を調整する 238
プレーヤーの設定をする 238
知っておいていただきたいこと 245
DVDビデオについて 245
04. SDメモリーカードを再生する 249
SDオーディオを操作する 249
SDオーディオを聞く 250
再生を一時停止する 250
聞きたい曲（ファイル）を選ぶ 250
フォルダを切り替える 251
早送り、早戻しする 251
同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く 251
同じフォルダを繰り返し聞く 251
フォルダの中からランダムに聞く 252
全フォルダの中からランダムに聞く 252
MP3/WMAについて 252
05. HDDオーディオを聞く 253
お使いになる前に 253
HDDオーディオの概要 253
データベースについて 253
データベースのバージョンを確認する 256
データベースを更新する 256
HDDオーディオに録音する 257
録音についての注意 257
録音する 257
録音を中止する 258
録音の設定を変更する 258
HDDオーディオを聞く 260
HDDオーディオを再生する 261
聞きたいアルバムを選ぶ 261
聞きたい曲（トラック）を選ぶ 263
早送り、早戻しする 263
同じ曲（トラック）を繰り返し聞く 264
同じアルバムを繰り返し聞く 264
アルバムの中からランダムに聞く 264
全アルバムの中からランダムに聞く 264

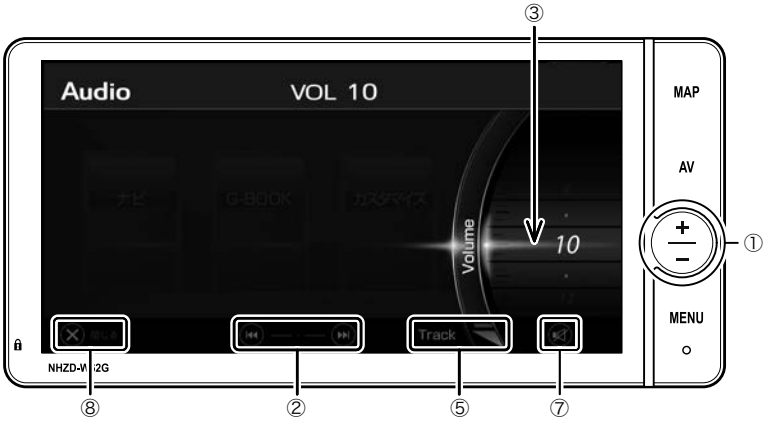
HDDオーディオを編集する 265
サウンドライブラリ編集メニュー画面について 265
お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成する 266
マイベストを編集する 266
アルバム情報を編集する 268
アルバムを削除する 272
曲（トラック）を削除する 273
HDD空き容量を確認する（詳細情報の表示） 273
06. デジタルテレビを見る 274
地上デジタルテレビの操作について 274
miniB-CASカード 276
miniB-CASカードの出し入れ 277
初回起動時の設定をする 278
地上デジタルテレビを見る 280
チャンネルを選ぶ 281
番組を選ぶ 281
プリセットモードを切り替える 282
EPG(電子番組表)を見る 283
各種設定を切り替える 284
テレビ放送の受信方法を設定する 284
放送局（系列局／中継局）サーチを設定する 285
データ放送を見る 286
データ放送を操作する 286
映像を切り替える 288
緊急警報放送（EWS)について 290
地域の設定をする 290
受信したお知らせメッセージを見る 292
miniB-CASカードの情報を見る 292
miniB-CASカードの動作確認をする 292
知っておいていただきたいこと 293
こんなメッセージが表示されたとき 293
故障とお考えになる前に 294
07. USBメモリを再生する 295
はじめに 295
USBメモリを操作する 296
再生する 296
聞きたいフォルダ（アルバム）を選ぶ 297
聞きたい曲（ファイル）を選ぶ 297
早送り、早戻しする 298
同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く 298
同じフォルダを繰り返し聞く 298
フォルダの中からランダムに聞く 299
全フォルダの中からランダムに聞く 299
MP3/WMAについて 299
08. iPodを再生する 301
はじめに 301
iPodを操作する 303
再生する 303
プレイモードを選ぶ 304
再生したいファイルを選ぶ 304
早送り、早戻しする 305
同じ曲（トラック）を繰り返し聞く 306
アルバムの中からランダムに聞く 306
全アルバムの中からランダムに聞く 306
iPodの設定を変更する 307
カバーアート表示の設定を変更する 307
ビデオ音声入力の設定を変更する 307
画質を調整する 307
画面モードを切り替える 308
09. VTRを見る 309
VTRの操作 309
VTRを再生する 310
VTRモードを切り替える 310
画面モードを切り替える 310
画質を調整する 310
10. Bluetoothオーディオを聞く 311
Bluetoothオーディオについて 311
各種表示について 311
Bluetooth接続状態表示について 312
Bluetoothオーディオを操作する 313
Bluetoothオーディオを聞く 314
一時停止する 314
聞きたいアルバムを選ぶ 314
聞きたい曲（トラック）を選ぶ 315
早送り、早戻しする 316
同じ曲（トラック）を繰り返し聞く 316
同じアルバムを繰り返し聞く 316
アルバムの中からランダムに聞く 317
全アルバムの中からランダムに聞く 317
Bluetoothオーディオの設定を変更する 317
ポータブル機を登録する 317
ポータブル機を接続する 319
使用するポータブル機を選択する 321
ポータブル機の詳細情報を表示する 323

車載機のBluetooth設定を変更する 324
ポータブル機の登録を削除する 325
11. 後席ディスプレイを操作する 326
リモコンでの操作 326
後席ディスプレイについて 326
オーディオ共通の操作をする 327
再生中の曲を操作する 329
ラジオ・デジタルテレビを操作する 330
DVDプレーヤーを操作する 331
iPodの映像を操作する 332

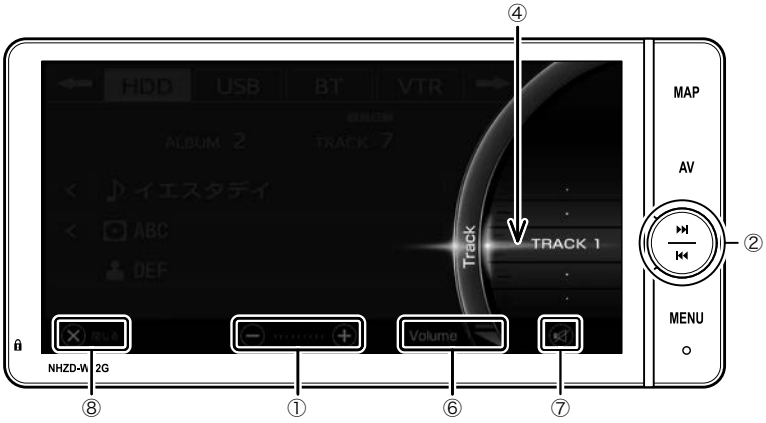
基本操作をする

》音量調節バー、トラックバーについて

照明が減光した状態から画面外の＋／－または⏭／⏮にタッチすると、照明がトーンアップして音量調節バーまたはトラックバーが表示されます。



▲音量調節バー



▲トラックバー

音量調節バーまたはトラックバーが表示された状態で下記の操作が可能になります。

スイッチ	名称	機能	ページ
①※1	音量調節スイッチ	タッチするごとに、音量が変わります。 タッチし続けると、音量が変わり続けます。	215
②※1	選局／選曲 早送り／早戻しスイッチ	CD、MP3／WMA、SDメモリーカード、HDDオーディオ、Bluetoothオーディオ、iPodミュージック、USBメモリを再生している場合 タッチすると、次の曲や再生中の曲の頭（繰り返し押すと前の曲）に切り替わります。 タッチし続けると、曲が早送りや早戻しされます。	224 225 227 228 250 251 261 263 297 298 304 305 315 316
		DVD、iPodビデオを再生している場合 タッチすると、次のチャプターや再生中のチャプターの頭（繰り返し押すと前のチャプター）に切り替わります。 タッチし続けると、映像が早送りや早戻しされます。	233 234 304 305
		ラジオ、TVを受信している場合 タッチするごとに、周波数が切り替わります。 "ピッ"と音がするまでタッチすると、受信中の周波数に一番近い放送局が自動で選局されます。	220 281
③	音量調節バー	タッチまたはスライドすると、音量が変わります。	215
④	トラックバー	CD、MP3／WMA、SDメモリーカード、HDDオーディオ、Bluetoothオーディオ、iPodミュージック、USBメモリを再生している場合 タッチまたはスライドすると、選曲できます。	224 228 250 263 297 304 315
		DVD、iPodビデオを再生している場合 タッチまたはスライドすると、チャプターを切り替えます。	234 304
		ラジオ、TVを受信している場合 タッチまたはスライドすると、選局できます。	220 281
⑤	トラックバー切り替えスイッチ	トラックバーに切り替えます。 画面外の を に切り替えます。	—
⑥	音量調節バー切り替えスイッチ	音量調節バーに切り替えます。 画面外の を に切り替えます。	—
⑦	ミュートスイッチ	ミュート（消音）します。	—
⑧※2	閉じるスイッチ	音量調節バー、トラックバーを閉じます。	—

※1　画面外のスイッチは、照明がトーンアップした状態で操作できます。
※2　音量調節バー、トラックバーの消去は、それぞれのバー以外の画面にタッチ、または画面外のスイッチにタッチしても消去することができます。また、音量調節バー、トラックバーの自動消去は、共通設定のトラックバー自動消去（→**55**）で **しない** に設定することができます。

オーディオの電源をONする/OFFする

1 画面外の AV にタッチし続ける。

▶スイッチにタッチし続けるごとに、電源がONとOFFに切り替わります。

知識

▶オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、故障ではありません。

操作画面を表示する

1 画面外の AV にタッチ。

▶選択されているモードの操作画面が表示されます。

▶操作画面を表示したとき、約20秒以上操作しないと自動的に操作画面を表示する前の画面に戻りますが、自動的に画面が切り替わらないように設定することもできます。（→51）

モードを切り替える

画面外のスイッチで切り替える

操作画面を表示しているとき、画面外のスイッチで切り替えることができます。

1 画面外の AV にタッチ。

▶スイッチにタッチするごとに、以下の順にモードが切り替わります。
AM→FM→Apps→DISC→HDD→USB（iPod）→BT→VTR→TV→SD→AM

画面内のスイッチで切り替える

操作画面を表示しているとき、画面内のスイッチで選択することができます。

1 画面外の AV にタッチ。

2 希望のモードを選択する。

▶ ➡ または ⬅ にタッチして、切り替えたいオーディオモードのスイッチを表示させます。

スイッチ	内容
AM	AMラジオを受信する
FM	FMラジオを受信する
Apps	smart G-BOOK ARPEGGiOの音声を聞く
DISC	CDまたはDVDを再生する
HDD	HDDオーディオを再生する
USB（iPod）	USBメモリを再生する（iPodを再生する）
BT	ポータブルオーディオプレーヤーを再生する
VTR	VTR機器を再生する
TV	デジタルテレビを受信する
SD	SDメモリーカードを再生する

知識

▶次のようなときは、スイッチを操作しても選択することができません。
- ●メディアが挿入されていないとき（DVDプレーヤーモード、SDオーディオモード）
- ●再生するデータのない（録音されていない）とき（HDDオーディオモード）
- ●USBメモリが販売店装着オプションのiPod対応USB/VTRアダプターに接続されていないとき（USBメモリモード）
- ●スマートフォンが未登録のとき（Appsモード）
- ●スマートフォン連携が無効のとき（Appsモード）
- ●smart G-BOOK ARPEGGiOの音声モードが有効になっていないとき（Appsモード）
- ●smart G-BOOK ARPEGGiOで一度も音楽を再生したことがないとき（Appsモード）

▶iPodはiPodが販売店装着オプションのiPod対応USB/VTRアダプターに接続されていないと表示されません。

▶VTRは販売店装着オプションのiPod対応USB/VTRアダプターが接続されていないと表示されません。

》音量を調節する

⚠注意

▶安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

画面外のスイッチで操作する

1 画面外の＋または－にタッチ。

▶大きくするとき→＋にタッチ。
▶小さくするとき→－にタッチ。
▶タッチし続けると音量が変わり続けます。

音量調節バーで操作する

音量調節バー表示中（→212）

1 聞きたい音量まで音量調節バーにタッチまたはスライド。

トラックバーで操作する

トラックバー表示中（→212）

1 ＋または－にタッチ。

▶大きくするとき
→＋にタッチ。
▶小さくするとき
→－にタッチ。
▶タッチし続けると音量が変わり続けます。

》音質を調整する

イコライザや音量バランスなどを調整することにより、お好みの音響空間を創り出すことができます。

イコライザカーブを変更する

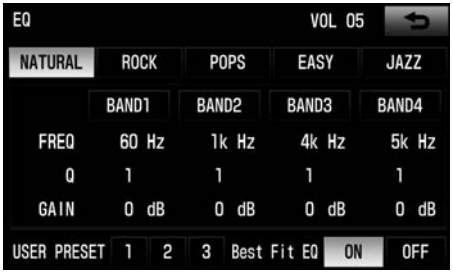
あらかじめ設定されているイコライザカーブを調整したり、お好みのイコライザカーブを作成することもできます。

1 画面外の AV にタッチ。

2 音設定 にタッチ。

3 EQ にタッチ。

4 お好みのイコライザ設定スイッチにタッチ。



- NATURAL …自然でフラットな音を再現します。
- ROCK …スピーディーで力強い音を再現します。
- POPS …中高音域をメインにリズミカルな音を再現します。
- EASY …中高音域をベースにした味わい深い音を再現します。
- JAZZ …ジャズ演奏にあった音を再現します。
- 修正したい周波数 BAND1 ～ BAND4 にタッチして、◀、または ▶ をタッチすると、周波数帯域のレベルを微調整することができます。
- 調整後、USER PRESET 1 ～ 3 のいずれかを“ピーッ”と音がするまでタッチすると、調整したイコライザカーブを記憶することができます。
- Best Fit EQ を ON にすると、リアルタイムで最適な音質補正をして、鮮やかなボーカルを再生することができます。

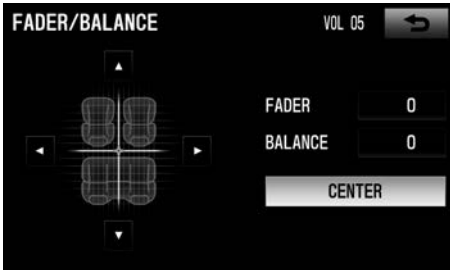
音量のバランスを調整する

前後、左右の音量バランスを調整し、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

画面外の AV ⇒ 音設定 ⇒音設定画面

1 FADER/BALANCE にタッチ。

2 音場の中心にしたいポイントをタッチ。



▶ ▲、▼、◀、▶ のいずれかをタッチすると、ポイントを微調整することができます。

▶ CENTER にタッチすると、ポイント位置をリセットすることができます。

知識

▶微調整時に ▲、▼、◀、▶ のいずれかにタッチし続けると、“ピー”と音がして連続的に変化しますが、センター値で停止します。再度、▲、▼、◀、▶ のいずれかにタッチすると、微調整することができます。

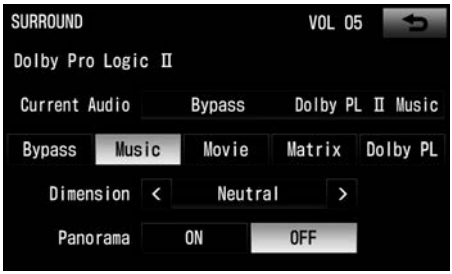
サラウンド設定をする

2チャンネルで録音された音楽信号にプロロジック処理を行い、Dolby Pro Logic Ⅱサラウンドとして楽しむことができます。

画面外の AV ⇒ 音設定 ⇒音設定画面

1 SURROUND にタッチ。

2 お好みのサラウンド設定スイッチにタッチ。



▶ Bypass …初期設定に戻します。
▶ Music …音楽に適した再生をします。
▶ Movie …映画に適した再生をします。
▶ Matrix …4 チャンネルステレオ信号を適当な割合で合成し、別信号に変換して再生します。
▶ Dolby PL …従来のプロロジックと同等の再生モードで、ドルビー・サラウンドの録音イメージを忠実に再生します。
▶Dimension
音場イメージの中心に、フロント側またはサラウンド (リア) 側のどちらかにシフトして、再生するソフトによって生じる、フロントとサラウンドのレベル差を調整します。
◀ または ▶ にタッチして調整してください。
▶Panorama
フロント音場の広がりが弱く、サラウンド効果が薄いと感じられる場合には、ON にタッチします。
解除するとき
→ OFF にタッチ。

音質を向上する

最適なリスニング音で心地よい音楽を楽しむために、３つの機能を用意しました。

画面外の AV ⇒ 音設定 ⇒音設定画面

1 音質向上 にタッチ。

2 お好みの設定スイッチの ON にタッチ。

▶ 圧縮音源復元 …圧縮によって失われた音を復元し、リアリティ感のある、明るくリズミカルな音を再生します。
▶ Supreme …WMA や MP3 などの圧縮によって失われた高音域を補完し、広がりのある原音に近い音を再生します。
▶ ASL …車速に連動して音量を自動的に調節し、走行中でも快適な音量で再生します。
▶解除するとき
→ OFF にタッチ。

ラジオを聞く

ラジオを操作する

ラジオを聞いているときに、画面外の AV にタッチすると、操作画面が表示されます 。

▶エンジンスイッチがACCまたはONのときに使用することができます。

知識

▶画面外のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

ラジオを聞く

1 画面外の AV にタッチ。

2 AM または FM にタッチ。

知識

▶走行中、受信状態は刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。

▶放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。

放送局を選ぶ

プリセットスイッチから選ぶ

ラジオ操作画面表示中（→219）

1 希望の放送局が記憶されているプリセットスイッチにタッチ。

▶プリセットスイッチに放送局を記憶させたいときや、記憶されている放送局を変更したいとき
→「放送局を記憶する」（→221）

■トラックバーで選ぶ

トラックバー表示中（→212）

1 トラックバーにタッチまたはスライド。

手動で選ぶ

■画面外のスイッチで選ぶ

知識
▶画面外のスイッチが±のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。（→212）

1 画面外の⏭または⏮にタッチ。

▶周波数を高い方へ選択するとき
→⏭にタッチ。
▶周波数を低い方へ選択するとき
→⏮にタッチ。

■音量調節バーで選ぶ

音量調節バー表示中（→212）

1 ⏭または⏮にタッチ。

▶周波数を高い方へ選択するとき
→⏭にタッチ。
▶周波数を低い方へ選択するとき
→⏮にタッチ。

自動で選ぶ

受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近い周波数を自動で選択します。

■画面外のスイッチで選ぶ

知識
▶画面外のスイッチが±のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。（→212）

1 画面外の⏭または⏮に2回“ピッ”と音がするまでタッチし続ける。

▶周波数を高い方へ選択するとき
→⏭にタッチ。
▶周波数を低い方へ選択するとき
→⏮にタッチ。
●途中で止めるとき→再度スイッチにタッチ。

■音量調節バーで選ぶ

音量調節バー表示中（→212）

1 ⏭または⏮に2回“ピッ”と音がするまでタッチし続ける。

▶周波数を高い方へ選択するとき
→⏭にタッチ。
▶周波数を低い方へ選択するとき
→⏮にタッチ。
●途中で止めるとき→再度スイッチにタッチ。

知識
▶地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で選択できないことがあります。

»放送局を記憶する

プリセットスイッチに周波数をあらかじめ記憶させておくことにより、ワンタッチで選局することができます。
自宅付近などで日頃よくお聞きになる放送局を記憶させておくと便利です。

手動で放送局を記憶する

ラジオ操作画面表示中（→219）

1 記憶したい放送局の周波数を選択する。（→220）

2 記憶させたいプリセットスイッチに“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

▶記憶された周波数がプリセットスイッチに表示されます。

自動で放送局を記憶する

自動で受信可能な周波数を、一時的にプリセットスイッチに記憶させることができます。
旅先などで放送局の周波数がわからないときなどに便利です。

ラジオ操作画面表示中（→219）

1 AUTO.P に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

▶画面に「AUTO.P」の表示が出ます。
▶周波数の記憶操作が終了すると、“ピッピッ”と音がして記憶した中で一番低い周波数を受信します。
▶記憶された周波数がプリセットスイッチに表示されます。
▶解除するとき→再度 AUTO.P にタッチ。

AUTOスイッチで記憶させた周波数を変更する

ラジオ操作画面表示中（→219）

1 記憶したい放送局の周波数を選択する。（→220）

2 変更したい周波数が記憶されているプリセットスイッチに“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

▶記憶された周波数がプリセットスイッチに表示されます。

知識
▶自動で周波数を記憶させても、AUTO.P にタッチする前（「AUTO.P」の表示が出ていないとき）に記憶させた周波数は消去されません。
▶受信感度の良い周波数を低い順に6局まで自動的に記憶します。受信周波数が6局未満のときは、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
▶地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。
▶同じ放送局からの受信でも、画面外の⏭または⏮、音量調節バーの⏭または⏮スイッチで選択し、記憶させた周波数と AUTO.P スイッチで記憶させた周波数は一致しないことがあります。
▶ AUTO.P スイッチによる周波数の記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶される周波数が異なることがあります。

エリアスイッチについて

あらかじめナビがエリアごとに記憶している放送局を表示させることができます。(GPSの自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名と周波数がプリセットスイッチに表示されます。)
旅先などで放送局の周波数がわからないときなどに便利です。

ラジオ操作画面表示中 (→219)

1 エリア にタッチ。

▶画面に「エリア.P」の表示が出ます。
▶解除するとき→再度 エリア にタッチ。

知識

▶プリセットスイッチにタッチし続けても、周波数を記憶させることはできません。
▶AM放送の場合、昼画表示と夜画表示で、表示される周波数・放送局名が異なることがあります。

交通情報放送を受信する

交通情報放送を行っている地域で、あらかじめ記憶されている交通情報放送局を受信することができます。

ラジオ操作画面表示中 (→219)

1 交通情報 にタッチ。

▶解除するとき→オーディオモードのスイッチにタッチ。

知識

▶1620kHzと1629kHzがセットされています。
▶ 交通情報 にタッチして、ラジオを受信しているときは、画面外の⏭または⏮、音量調節バーの⏩または⏪スイッチを操作しても、周波数は切り替わりません。

ディスクを再生する

音楽CDを聞く

車載機で使用できる音楽CD については、「車載機で使用できるメディア／データについて」（→**593**）をご覧ください。

CDを聞いているときに、画面外の AV にタッチすると、CD操作画面が表示されます。

▶エンジンスイッチがACCまたはONのときに使用することができます。

知識

▶画面外のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

CDを聞く

CDが挿入されていないとき

1 CDを挿入する。（→30）

CDが挿入されているとき

1 画面外のAVにタッチ。

2 DISCにタッチ。

▶録音開始にタッチすると、現在再生中のCD をHDDオーディオに録音します。（→257）

▶CDを再生したとき、自動的に録音を開始するように設定することもできます。（→257）

知識

▶再生しているCDにアーティスト名などの情報が収録されていなくても、本機のデータベースに該当する情報がある場合は表示されます。

▶ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

再生を一時停止する

CD操作画面表示中（→223）

1 ⏸にタッチ。

▶再生を再開するとき
→▶にタッチ。

聞きたい曲を選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

知識

▶画面外のスイッチが±のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。（→212）

1 画面外の⏭または⏮にタッチ。

▶うしろにあるとき
→⏭にタッチ。

▶前にあるとき
→⏮にタッチ。

音量調節バーで選ぶ

音量調節バー表示中（→212）

1 ⏩または⏪にタッチ。

▶うしろにあるとき
→⏩にタッチ。

▶前にあるとき
→⏪にタッチ。

トラックバーで選ぶ

トラックバー表示中（→212）

1 トラックバーにタッチまたはスライド。

操作画面で選ぶ

CD操作画面表示中（→223）

1 ＞または＜にタッチ。

▶うしろにあるとき
→＞にタッチ。

▶前にあるとき
→＜にタッチ。

リスト画面で選ぶ

CD操作画面表示中（→223）

1 曲名にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。

録音済みアイコン

知識
▶ハードディスクに録音されている曲には録音済みアイコンが表示されます。

早送り、早戻しする

画面外のスイッチで操作する

知識
▶画面外のスイッチが のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。（→212）

1 画面外の または にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→ にタッチし続ける。
▶早戻しするとき
→ にタッチし続ける。
▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

知識
▶録音中は、早送り・早戻しできません。

音量調節バーで操作する

音量調節バー表示中（→212）

1 または にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→ にタッチし続ける。
▶早戻しするとき
→ にタッチし続ける。
▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じ曲を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

CD操作画面表示中（→223）

1 RPT にタッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「RPT」が表示されます。
▶解除するとき→再度 RPT にタッチ。

知識
▶録音中は、 RPT スイッチは操作できません。

曲の順番をランダムに聞く

ランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

CD操作画面表示中（→223）

1 RAND にタッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「RAND」が表示されます。
▶解除するとき→再度 RAND にタッチ。

知識
▶録音中は、 RAND スイッチは操作できません。

MP3/WMAディスクを聞く

車載機で使用できるMP3/WMA 音楽データについては、「車載機で使用できるメディア／データについて」（→**593**）をご覧ください。

MP3/WMAディスクを聞いているときに、画面外の AV にタッチすると、MP3/WMA操作画面が表示されます。

▶エンジンスイッチがACCまたはONのときに使用することができます。

知 識

▶画面外のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

MP3/WMAディスクを再生する

ディスクが挿入されていないとき

1 ディスクを挿入する。（→30）

ディスクが挿入されているとき

1 画面外の AV にタッチ。

2 DISC にタッチ。

知識

▶ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

再生を一時停止する

MP3/WMA操作画面表示中
（→226）

1 ⏸ にタッチ。

▶再生を再開するとき
→ ▶ にタッチ。

聞きたいフォルダを選ぶ

操作画面で選ぶ

MP3/WMA操作画面表示中
（→226）

1 フォルダ名の ＞ または ＜ にタッチ。

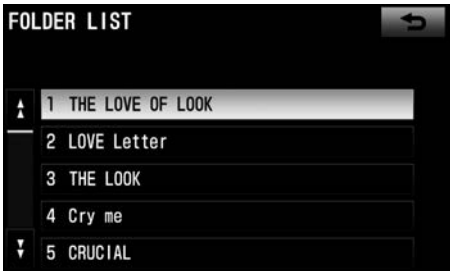
▶うしろにあるとき
→ ＞ にタッチ。
▶前にあるとき
→ ＜ にタッチ。

リスト画面で選ぶ

MP3/WMA操作画面表示中
（→226）

1 フォルダ名にタッチ。

2 聞きたいフォルダにタッチ。



聞きたい曲（ファイル）を選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

知識

▶画面外のスイッチが ± のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。（→212）

1 画面外の ⏭ または ⏮ にタッチ。

▶うしろにあるとき
→ ⏭ にタッチ。
▶前にあるとき
→ ⏮ にタッチ。

音量調節バーで選ぶ

音量調節バー表示中（→212）

1 ⏩ または ⏪ にタッチ。

▶うしろにあるとき
→ ⏩ にタッチ。
▶前にあるとき
→ ⏪ にタッチ。

トラックバーで選ぶ

トラックバー表示中（→212）

1 トラックバーにタッチまたはスライド。

操作画面で選ぶ

MP3/WMA操作画面表示中（→226）

1 曲名の ＞ または ＜ にタッチ。

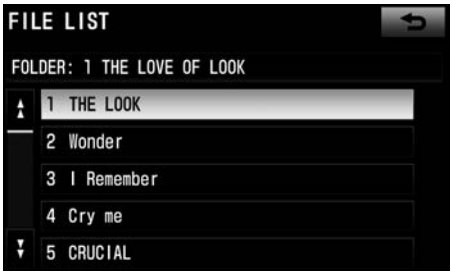
▶うしろにあるとき
→ ＞ にタッチ。
▶前にあるとき
→ ＜ にタッチ。

リスト画面で選ぶ

MP3/WMA操作画面表示中（→226）

1 曲名にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。



早送り、早戻しする

画面外のスイッチで操作する

知識

▶画面外のスイッチが ± のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。（→212）

1 画面外の ⏭ または ⏮ にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→ ⏭ にタッチし続ける。
▶早戻しするとき
→ ⏮ にタッチし続ける。
▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

音量調節バーで操作する

音量調節バー表示中（→212）

1 ⏭または⏮にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→⏭にタッチし続ける。
▶早戻しするとき
→⏮にタッチし続ける。
▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

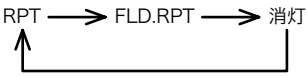
》同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

MP3/WMA操作画面表示中（→226）

1 RPT にタッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「RPT」が表示されます。
▶解除するとき
→ RPT に2回タッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。



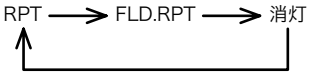
》同じフォルダを繰り返し聞く

選択しているフォルダを繰り返し再生することができます。

MP3/WMA操作画面表示中（→226）

1 RPT に2回タッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「FLD.RPT」が表示されます。
▶解除するとき→再度 RPT にタッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。



》フォルダの中からランダムに聞く

選択しているフォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

MP3/WMA操作画面表示中（→226）

1 RAND にタッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「RAND」が表示されます。
▶解除するとき→ RAND にタッチ。

》MP3/WMAについて

MP3（MPEG Audio LAYER3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。 MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。
WMA（Windows Media Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。

MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMAファイルを再生します。
ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
音楽データとMP3またはWMA形式のデータが混在しているディスクは、音楽データのみを再生します。

⚠注意

▶MP3/WMA以外のファイルに“.mp3”/“.wma”の拡張子をつけると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに“.mp3”/“.wma”の拡張子をつけないでください。

知識

▶CD-RWを消去して使用する場合、完全に消去したことを確認してから使用してください。（消去方法はライティングソフトで異なります。また、クイックおよび高速消去は使用できません。）
▶パケットライト記録ディスクには対応していません。（例えば、DirectCDなどで作成したディスクには対応していません。）
▶MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。（VBRのFAST UP/DOWN動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。）
▶Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

DVD（DVDビデオ、DVD-VR）を見る

この項目では、DVDビデオ（ビデオフォーマットで記録したDVD-R/RW含む）・DVD-VR（ビデオレコーディングフォーマットで記録したDVD-R/RW）の操作方法を説明しています。
車載機で使用できるDVDについては、「車載機で使用できるメディア／データについて」（→**593**）をご覧ください。
DVDを操作する画面には、操作画面と各種切替画面があります。目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

▶画面外のスイッチは、操作画面や各種切替画面が表示されていないときでも操作することができます。

▶画面のスイッチにタッチしたとき、画面に⃠が表示されたときは、ディスクがその操作を禁止していることを示していますので、その操作を行うことはできません。

▶安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみディスクの映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

▶ディスクの映像が表示されないとき
→画面外の AV にタッチ。（→**232**）

操作画面

ディスクを再生しているとき（音声のみを聞いているときを含む）に、画面外の AV にタッチ、またはディスクの映像をご覧になっているときに画面にタッチすると表示されます。

▶ 全画面 にタッチすると映像を全画面で表示します。

▶ メニュー 、 トップメニュー 、 選択 は、DVDビデオ再生時のみ表示されます。

知識

▶画面外のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

各種切替画面

操作画面で、 各種切替 にタッチすると表示されます。
全画面 にタッチすると映像を全画面で表示します。

▲DVDビデオ再生時

》DVDを再生する

ディスクが挿入されていないとき

1 ディスクを挿入する。（→**30**）

ディスクが挿入されているとき

1 画面外の AV にタッチ。

2 DISC にタッチ。

知識

▶ディスクを挿入する、またはディスクが挿入されているときにDVDモードにすると、ディスク読込み中の画面が表示され、その後再生をはじめます。

メニュー画面が表示されたとき

▶DVDビデオ

1 ⬆、⬇、⬅または➡にタッチして、メニュー項目を選択し、 決定 にタッチ。

▲メニュー表示の画面例

▶ディスクによっては、メニュー項目を直接タッチして選択できるものもあります。
▶選択したメニュー項目が再生されます。

知識

▶オートスタートの設定（→**241**）がされているときは、走行を開始すると自動的に再生されます。
▶表示されるメニュー項目や操作方法はディスクによって異なります。再生させているディスクに添付の取扱説明書をご覧ください。（画面は一例です。）

暗証番号入力画面が表示されたとき

▶DVDビデオ

1 暗証番号を入力し、 完了 にタッチ 。

▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。

■暗証番号については「視聴制限レベルを設定する」（→**241**）をご覧ください。

⚠警告

▶DVDビデオでは、迫力のある効果音を得るために、通常の会話シーンの音量を小さくして録音されているものがあります。このようなディスクで、会話シーンのときに音量調整を行うと、効果音のシーンやDVDビデオ以外のモードにしたとき、音量が大きすぎることがありますので、注意してください。 音量が大きすぎると運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

知識

▶ディスクに傷がついていたり、内部が結露しているときは、画面の一部が表示されなくなることがあります。
▶ディスクによっては読込み中の画面の表示時間が長い場合があります。
▶メニュー項目の画面など音声が収録されていない場面があります。そのような場面では、音声が出力されない状態が継続されますので、一度、映像を確認して、再生などの操作を行ってください。

》映像を一時停止する

DVD操作画面表示中（→**231**）

1 ⏸ にタッチ。

▶通常再生するとき
→ ▶ にタッチ。

》映像を止める

DVD操作画面表示中（→**231**）

1 ■ にタッチ。

▶通常再生するとき
→ ▶ にタッチ。

》早送り、早戻しする

操作画面で操作する

DVD操作画面表示中（→**231**）

1 ▶▶ または ◀◀ にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→ ▶▶ にタッチし続ける。
▶早戻しするとき
→ ◀◀ にタッチし続ける。
▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

画面外のスイッチで操作する

▶DVDビデオ

知識

▶画面外のスイッチが ± のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。（→212）

1 画面外の ⏭ または ⏮ にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→ ⏭ にタッチし続ける。
▶早戻しするとき
→ ⏮ にタッチし続ける。
▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

音量調節バーで操作する

▶DVDビデオ

音量調節バー表示中（→212）

1 ⏩ または ⏪ にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→ ⏩ にタッチし続ける。
▶早戻しするとき
→ ⏪ にタッチし続ける。
▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

»スロー再生する

DVD操作画面表示中（→231）

1 ⏸ にタッチ。

2 ▶▶ にタッチ。

▶スイッチにタッチしている間、スロー再生されます。

»静止画を切り替える

▶DVD-VR

DVD操作画面（→231）⇒
各種切替 ⇒各種切替画面

1 ページ送り にタッチ。

»見たい場所を選ぶ

タイトルを選ぶ

DVD操作画面（→231）⇒
各種切替 ⇒各種切替画面

1 サーチ にタッチ。

2 タイトル番号を入力する。

▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。

3 完了 にタッチ。

チャプターを選ぶ

知識
▶ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

■画面外のスイッチで操作する

知識
▶画面外のスイッチが＋－のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。(→212)

1 画面外の⏭または⏮にタッチ。
▶うしろにあるとき
→⏭にタッチ。
▶前にあるとき
→⏮にタッチ。

■音量調節バーで操作する

音量調節バー表示中（→212）

1 ⏩または⏪にタッチ。
▶うしろにあるとき
→⏩にタッチ。
▶前にあるとき
→⏪にタッチ。

■トラックバーで操作する

トラックバー表示中（→212）

1 トラックバーにタッチまたはスライド。

プログラム（プレイリスト）を選ぶ

▶DVD-VR

知識
▶ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

■画面外のスイッチで操作する

知識
▶画面外のスイッチが＋－のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。(→212)

1 画面外の⏭または⏮にタッチし続ける。
▶うしろにあるとき
→⏭にタッチし続ける。
▶前にあるとき
→⏮にタッチし続ける。

■音量調節バーで操作する

音量調節バー表示中（→212）

1 ⏩または⏪にタッチし続ける。
▶うしろにあるとき
→⏩にタッチし続ける。
▶前にあるとき
→⏪にタッチし続ける。

»メニュー画面を操作する

▶DVDビデオ
ディスク独自のメニュー項目を操作することができます。

DVD操作画面表示中（→231）

1 メニュー または トップメニュー にタッチ。
▶メニュー画面を表示中に、操作スイッチが表示されていないとき
→ 選択 にタッチ。

2 ↓、↑、←または→にタッチして、メニュー項目を選択し、決定にタッチ。

▲メニュー表示の画面例

▶ディスクによっては、メニュー項目を直接タッチして選択できるものもあります。
▶選択したメニュー項目が再生されます。

知 識
▶表示されるメニュー項目や操作方法はディスクによって異なります。再生させているディスクに添付の取扱説明書をご覧ください。（この画面は一例です。）

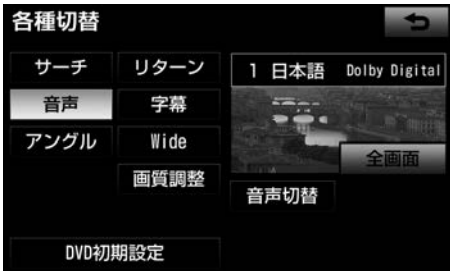
》音声を切り替える

音声が複数収録されているディスクの場合、音声を切り替えることができます。

DVD操作画面（→231）⇒
各種切替 ⇒各種切替画面

1 音声にタッチ。

2 音声切替にタッチ。



▶タッチするごとに、音声言語が切り替わります。

知 識
▶現在選択中の音声はDVDビデオ再生時のみ表示されます。

》字幕を切り替える

字幕が複数収録されているディスクの場合、字幕を切り替えることができます。

DVD操作画面（→231）⇒
各種切替 ⇒各種切替画面

1 字幕にタッチ。

2 字幕切替にタッチ。

▶タッチするごとに、字幕言語が切り替わります。
▶字幕消しにタッチすると 、字幕を表示 させないようにすることができます。
▶再び表示するとき
→再度 字幕消し にタッチ。

知 識
▶字幕消しおよび現在選択中の字幕はDVDビデオ再生時のみ表示されます。

»アングルを切り替える

▶DVDビデオ
複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、カメラアングルを切り替えることができます。複数のアングルが収録されているときは、マルチアングルマーク（→**240**）が表示されます。

DVD操作画面（→**231**）⇒
各種切替 ⇒各種切替画面

1 アングル にタッチ。

2 アングル切替 にタッチ。

▶タッチするごとに、アングルが切り替わります。

»音声モードを切り替える

▶DVD-VR
音声多重で収録されているディスクの場合、主音声/副音声を切り替えることができます。

DVD操作画面（→**231**）⇒
各種切替 ⇒各種切替画面

1 主/副 にタッチ。

▶タッチするごとに、以下の順に切り替わります。

主音声 → 副音声 → 主・副音声

»再生モードを切り替える

▶DVD-VR
ディスク内にプレイリストが作成されているときにプレイリストを再生することができます。

DVD操作画面（→**231**）⇒
各種切替 ⇒各種切替画面

1 再生モード にタッチ。

2 プレイリスト にタッチ。

▶プログラムを再生するとき
→ プログラム にタッチ。

知識
▶ディスク内にプレイリストがないときは 再生モード は表示されません。

»ディスクで指定された位置まで戻って見る

▶DVDビデオ
ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生されます。

DVD操作画面（→**231**）⇒
各種切替 ⇒各種切替画面

1 リターン にタッチ。

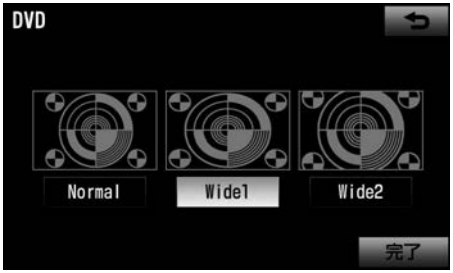
知識
▶ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

》画面モードを切り替える

DVD操作画面（→231）⇒
各種切替 ⇒各種切替画面

1 Wide にタッチ。

2 Normal 、 Wide 1 または Wide 2 にタッチ。



3 完了 にタッチ。

■画面の表示については「画面モードについて」（→49）をご覧ください。

》画質を調整する

DVD操作画面（→231）⇒
各種切替 ⇒各種切替画面

1 画質調整 にタッチ。

■画質の調整については「画質を調整する」（→47）をご覧ください。

》プレーヤーの設定をする

あらかじめお好みの設定にしておけば、ディスクを再生するたびに設定する必要がありません。

DVD操作画面（→231）⇒
各種切替 ⇒各種切替画面

1 DVD初期設定 にタッチ。

2 各項目を設定する。

▲初期設定画面

項目	ページ
音声言語の設定※	239
字幕言語の設定※	239
ソフトメニュー言語の設定※	240
マルチアングルマーク表示の設定※	240
視聴制限レベルの設定※	241
オートスタートの設定※	241
音声ダイナミックレンジの設定	241
映像出力切替の設定	242

※DVD-VRには反映されません。

3 設定が終わったら、 完了 にタッチ。

▶ 初期状態 にタッチすると、視聴制限以外の項目が初期設定の状態にもどります。（→244）

音声言語を設定する

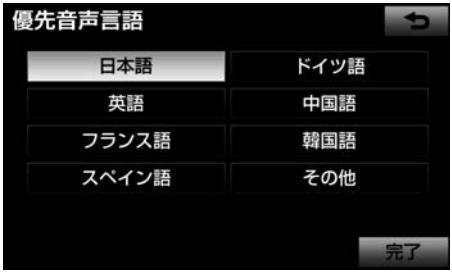
▶DVDビデオ

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます。

DVD操作画面（→231）⇒
各種切替 ⇒ DVD初期設定 ⇒
初期設定画面

1 音声にタッチ。

2 出力させる音声言語にタッチ。



▶ その他にタッチしたとき
→「言語コードを入力する」（→242）

3 完了にタッチ。

字幕言語を設定する

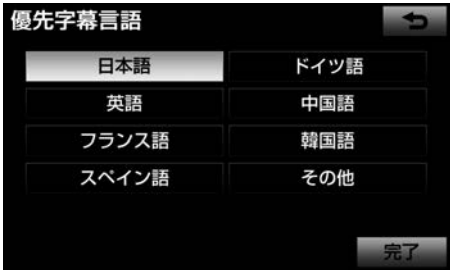
▶DVDビデオ

優先して表示したい字幕の言語を設定することができます。

DVD操作画面（→231）⇒
各種切替 ⇒ DVD初期設定 ⇒
初期設定画面

1 字幕にタッチ。

2 表示させる字幕言語にタッチ。



▶ その他にタッチしたとき
→「言語コードを入力する」（→242）

3 完了にタッチ。

ソフトメニュー言語を設定する

▶DVDビデオ

ディスク独自のメニュー項目に表示される言語を設定することができます。

DVD操作画面（→**231**）⇒ 各種切替 ⇒ DVD初期設定 ⇒ 初期設定画面

1 ソフトメニュー にタッチ。

2 表示させるソフトメニュー言語にタッチ。

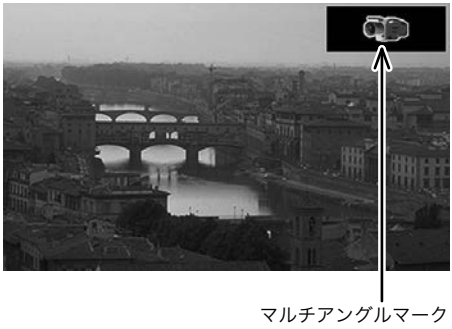
▶ その他 にタッチしたとき
→「言語コードを入力する」（→**242**）

3 完了 にタッチ。

マルチアングルマーク表示の設定をする

▶DVDビデオ

マルチアングル（→**247**）で記憶されているディスクを再生させているときに表示されるマルチアングルマークを「表示」または「非表示」に切り替えることができます。



DVD操作画面（→**231**）⇒ 各種切替 ⇒ DVD初期設定 ⇒ 初期設定画面

1 マルチアングルマーク にタッチ。

2 表示 または 非表示 にタッチ。

視聴制限レベルを設定する

▶DVD ビデオ

■視聴制限レベル（→**247**）の設定をする ことができます。

DVD 操作画面（→**231**）⇒ 各種切替 ⇒ DVD 初期設定 ⇒ 初期設定画面

1 視聴制限 にタッチ。

2 暗証番号を入力する。

▶暗証番号が未設定のとき（「ーーーー」が表示されているとき）は、入力した番号が暗証番号として登録されます。

▶間違えたとき→ 修正 にタッチ。

3 完了 にタッチ。

4 設定したい視聴制限レベルにタッチ。

5 完了 にタッチ。

▶暗証番号入力時、 修正 に連続して 10 回タッチすると、暗証番号を初期化（未設定の状態に）することができます。

オートスタートの設定をする

▶DVD ビデオ

メニュー画面表示中に走行を開始したとき、選択されているメニュー項目を自動的に再生するように設定することができます。

DVD 操作画面（→**231**）⇒ 各種切替 ⇒ DVD 初期設定 ⇒ 初期設定画面

1 オートスタート にタッチ。

2 ON または OFF にタッチ。

知 識

▶ディスクにより自動的に再生することができないことがあります。

音声ダイナミックレンジの設定をする

音声の最大値と最小値の比を設定することができます。

DVD 操作画面（→**231**）⇒ 各種切替 ⇒ DVD 初期設定 ⇒ 初期設定画面

1 音声ダイナミックレンジ にタッチ。

2 MAX 、 STD または MIN にタッチ。

MAX ：最大ダイナミックレンジ
STD ：標準ダイナミックレンジ
MIN ：最小ダイナミックレンジ

映像出力切替の設定をする

DVDの再生画面に合わせて画面サイズを切り替えることができます。

DVD操作画面（→231）⇒
各種切替 ⇒ DVD初期設定 ⇒
初期設定画面

1 映像出力切替にタッチ。

▶タッチするごとに、以下の順に切り替わります。

2 16：9（ワイド）、
4：3（レターボックス）または
4：3（パンスキャン）にタッチ。

16：9 （ワイド）	通常のワイドサイズで表示されます。4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合、左右両端が黒表示、または左右に伸びて表示されます。
4：3 （レターボックス）	上下両端が黒く表示された映像です。4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合、画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。
4：3 （パンスキャン）	左右両端がカットされた映像です。4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合、画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。

知識

▶後席ディスプレイなどの別のディスプレイを接続した場合、車載機で設定した画面サイズにより、後席ディスプレイで表示されるサイズは異なります。

注意

▶お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

言語コードを入力する

音声言語・字幕言語・ソフトメニュー言語の初期設定で、その他にタッチしたときは、言語コードを入力することにより、言語を選択することができます。

DVD操作画面（→231）⇒
各種切替 ⇒ DVD初期設定 ⇒ 音声 ⇒
（字幕、ソフトメニュー）⇒
その他 ⇒言語コード入力画面

1 言語コードを入力する。

▲「字幕言語」のコード入力画面

▶間違えたとき
→修正にタッチ。

2 完了にタッチ。

■言語コード一覧

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0520	エストニア語	1214	リンガラ語	1911	スロバック語
0514	英語	0521	バスク語	1215	ラオス語	1912	スロベニア語
0618	フランス語	0601	ペルシア語	1220	リトアニア語	1913	サモア語
0405	ドイツ語	0609	フィンランド語	1222	ラトビア語	1914	ショナ語
0920	イタリア語	0610	フィジー語	1307	マダガスカル語	1915	ソマリ語
0519	スペイン語	0615	フェロー語	1309	マオリ語	1917	アルバニア語
1412	オランダ語	0625	フリジア語	1311	マケドニア語	1918	セルビア語
1821	ロシア語	0701	アイルランド語	1312	マラヤーラム語	1919	シスワティ語
2608	中国語	0704	スコットランドゲール語	1314	モンゴル語	1920	セストゥ語
1115	韓国語	0712	ガルシア語	1315	モルダビア語	1921	スンダ語
0512	ギリシャ語	0714	グアラニ語	1318	マラータ語	1922	スウェーデン語
0101	アファル語	0721	グジャラート語	1319	マライ語	1923	スワヒリ語
0102	アブバジア語	0801	ハウサ語	1320	マルタ語	2001	タミル語
0106	アフラカーンス語	0809	ヒンディー語	1325	ビルマ語	2005	テルグ語
0113	アムハラ語	0818	クロアチア語	1401	ナウル語	2007	タジク語
0118	アラビア語	0821	ハンガリー語	1405	ネパール語	2008	タイ語
0119	アッサム語	0825	アルメニア語	1415	ノルウェー語	2009	チグリス語
0125	アイマラ語	0901	国際語	1503	プロバンス語	2011	ツルキ語
0126	アゼルバイジャン語	0905	Interlingue	1513	オロモ語	2012	タガログ語
0201	バシキール語	0911	イヌピアック語	1518	オリヤー語	2014	セツワナ語
0205	ベラルーシ語	0914	インドネシア語	1601	パンジャブ語	2015	トンガ語
0207	ブルガリア語	0919	アイスランド語	1612	ポーランド語	2018	トルコ語
0208	ビハーリー語	0923	ヘブライ語	1619	アフガニスタン語	2019	ツォンガ語
0209	ビスラマ語	1009	イディッシュ語	1620	ポルトガル語	2020	タタール語
0214	ベンガル語	1023	ジャワ語	1721	ケチュア語	2023	トウィ語
0215	チベット語	1101	グルジア語	1813	レートロマン語	2111	ウクライナ語
0218	ブルトン語	1111	カザフ語	1814	キルンディ語	2118	ウルドゥー語
0301	カタロニア語	1112	グリーンランド語	1815	ルーマニア語	2126	ウズベク語
0315	コルシカ語	1113	カンボジア語	1823	キニヤルワンダ語	2209	ベトナム語
0319	チェコ語	1114	カンナダ語	1901	サンスクリット語	2215	ポラピュク語
0325	ウェールズ語	1119	カシミール語	1904	シンド語	2315	ウォルフ語
0401	デンマーク語	1121	クルド語	1907	サンド語	2408	コーサ語
0426	ブータン語	1125	キルギス語	1908	セルボアクロアチア語	2515	ユルバ語
0515	エスペラント語	1201	ラテン語	1909	セイロン語	2621	ズールー語

プレーヤーの設定を初期化する

各項目の設定を初期設定の状態にもどすことができます。

DVD操作画面（→231）⇒
各種切替 ⇒ DVD初期設定 ⇒
初期設定画面

1 初期状態にタッチ。

2 はいにタッチ。

▶視聴制限以外の項目が初期設定の状態にもどります。

知っておいていただきたいこと

⚠注 意

▶本機は、Roviコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはRoviコーポレーションの許諾が必要であり、Roviコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。
“This product incorporates copyright protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights. Use of this copyright protection technology must be authorized by Rovi Corporation, and is intended for home and other limited viewing uses only unless otherwise authorized by Rovi Corporation. Reverse engineering or disassembly is prohibited.”

》DVDビデオについて

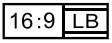
DVDビデオではディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。このDVDプレーヤーでは、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに添付の取扱説明書もあわせてご覧ください。

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）

ディスクには、表示させることができるプレーヤーの地域（国）を表す地域番号が表示されているものがあります。
地域番号が表示されているディスクでは、その表示の中に「2」（日本を示す番号）が含まれていない、または「ALL」（全世界向け）と表示されていないディスクは、このDVDプレーヤーで再生させることができません。
このようなディスクを再生させようとしたときは、「リージョンコードエラー」というメッセージが画面に表示されます。
また、地域番号の表示がないディスクでも地域が制限されていることがありますので、その場合は、このDVDプレーヤーで再生させることができないことがあります。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、下記のものがあります。

マーク		意　味
NTSC		カラーテレビの方式。
		音声のトラック数。 ●数字が収録されている音声数。
		字幕の言語数。 ●数字が収録されている言語数。
		アングルの数。 ●数字が収録されているアングル数。
		選択することができる画面モード。 ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面。
		再生可能な地域番号。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号。 （「2」は日本を示します。）

ディスクの構成

ディスクに記憶されている映像や曲はいくつにも区切られています。

【例】

DVDビデオ

タイトル1		タイトル2			タイトル3
チャプター1	チャプター2	チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター1

■タイトル

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りの一番大きい単位。通常は、映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトでは、アルバム1枚（あるいは1曲）にあたります。それぞれのタイトルに順につけられた番号をいいます。

■チャプター

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位。1つのタイトルは、複数のチャプターで構成され、それぞれのチャプターに順につけられた番号をいいます。

知 識

▶ディスクによっては、再生中にタイトル番号、チャプター番号、再生時間が表示されないものもあります。

DVDビデオの用語

より正しく有効にDVDビデオを利用していただくために、次の用語の説明をご一読ください。

■DVDビデオ

動画の記憶されているDVDビデオでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである「MPEG2」(エムペグ2)が採用され、映像データが平均約1/40に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCMのほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。
さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

■視聴制限

「国ごとの規制レベルに合わせ、その国の視聴制限に対応し、ディスクの再生を制限する。」というDVDビデオの機能の1つです。視聴制限は、ディスクによって異なり、全く再生されないことや、過激な場面を飛ばしたり、別の場面に差し替えて再生されることがあります。

- ▶レベル1：子ども向けのディスクのみを再生させることができます。
  (一般向けと成人向けのディスクを再生させることはできません。)
- ▶レベル2～7：子ども向けと一般向けのディスクのみを再生させることができます。
  (成人向けのディスクを再生させることはできません。)
- ▶レベル8：すべてのディスクを再生させることができます。

■マルチアングル

DVDビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル（カメラの位置）で記憶させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

■マルチランゲージ（多言語）

DVDビデオの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選択することができます。

音声について

このDVDプレーヤーでは、ディスク再生時の音声は、リニアPCM・パックドPCM・ドルビーデジタル・DTS・MPEGオーディオに対応しており、ほかのデコード方式には対応していません。

■ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を最大6chに分解して記録、再生する（ウーハーchは通常0.1chで表現するため、5.1ch）完全ディスクリート（分割）方式です。

■サンプリング周波数、量子化ビット

アナログ信号をデジタル信号に変換する時、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法が取られています。
1秒間に区切る回数を表わしたのが、サンプリング周波数でその時のデータ量の大きさが量子化ビット数です。
これらの数値が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

■リニアPCM

音楽CDに用いられている信号記録方式です。
音楽CDでは44.1kHz／16bitで記録されているのに対し、DVDビデオでは 48kHz／16bit～96kHz／24bit、DVDオーディオでは44.1kHz／16bit～192kHz／24bitで記録されているので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

SDメモリーカードを再生する

SDオーディオを操作する

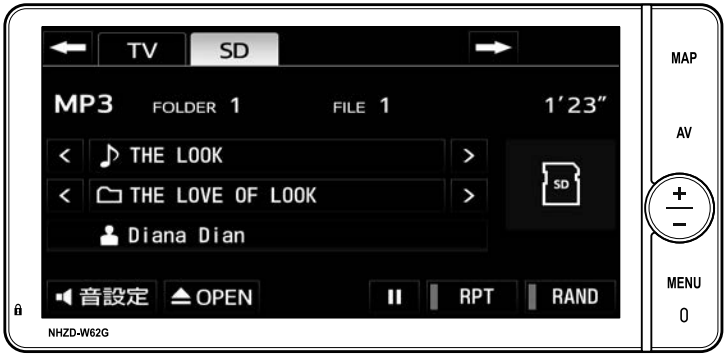
本機は、SDメモリーカードに記録された音楽ファイル（MP3、WMA）を再生することができます。

車載機で使用できるSD メモリーカードや音楽ファイルについては、「車載機で使用できるメディア／データについて」（→**593**）をご覧ください。

本機では、SDメモリーカード内の８階層まで再生することが可能です。以降の階層に格納されたフォルダのファイルは再生しません。また、一つのフォルダに入る曲数は255曲までです。

SDオーディオを聞いているときに、画面外の AV にタッチすると、操作画面が表示されます。

▶エンジンスイッチがACCまたはONのときに使用することができます。



知識

▶画面外のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

SDオーディオを聞く

1 SDメモリーカードを挿入する。（→30）

2 画面外の AV にタッチ。

3 SD にタッチ。

再生を一時停止する

SD操作画面表示中（→249）

1 ⏸ にタッチ。

▶再生を再開するとき→ ▶ にタッチ。

聞きたい曲（ファイル）を選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

知識

▶画面外のスイッチが ± のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。（→212）

1 画面外の ⏭ または ⏮ にタッチ 。

▶うしろにあるとき
→ ⏭ にタッチ。

▶前にあるとき
→ ⏮ にタッチ。

音量調節バーで選ぶ

音量調節バー表示中（→212）

1 ⏭ または ⏮ にタッチ。

▶うしろにあるとき
→ ⏭ にタッチ。

▶前にあるとき
→ ⏮ にタッチ。

トラックバーで選ぶ

トラックバー表示中（→212）

1 トラックバーにタッチまたはスライド。

操作画面で選ぶ

SD操作画面表示中（→249）

1 曲名の ＞ または ＜ にタッチ。

▶うしろにあるとき→ ＞ にタッチ。
▶前にあるとき→ ＜ にタッチ。

リスト画面で選ぶ

SD操作画面表示中（→249）

1 曲名にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。

フォルダ画面で選ぶ

SD操作画面表示中（→249）

1 フォルダ名にタッチ。

2 聞きたいフォルダにタッチ。

3 聞きたい曲にタッチ。

4 OK にタッチ。

フォルダを切り替える

SD操作画面表示中（→249）

1 フォルダ名の ＞ または ＜ にタッチ。

▶うしろにあるとき→ ＞ にタッチ。
▶前にあるとき→ ＜ にタッチ。

早送り、早戻しする

画面外のスイッチで操作する

知識

▶画面外のスイッチが のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。（→212）

1 画面外の または にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→ にタッチし続ける。
▶早戻しするとき
→ にタッチし続ける。
▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

音量調節バーで操作する

音量調節バー表示中（→212）

1 または にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→ にタッチし続ける。
▶早戻しするとき
→ にタッチし続ける。
▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

SD操作画面表示中（→249）

1 RPT にタッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「RPT」が表示されます。
▶解除するとき→ RPT に２回タッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RPT → FLD.RPT → 消灯

同じフォルダを繰り返し聞く

選択しているフォルダを繰り返し再生することができます。

SD操作画面表示中（→249）

1 RPT に2回タッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「FLD.RPT」が表示されます。
▶解除するとき→ RPT にタッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RPT → FLD.RPT → 消灯

フォルダの中からランダムに聞く

選択しているフォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

SD操作画面表示中（→249）

1 RAND にタッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「RAND」が表示されます。
▶解除するとき→ RAND に2回タッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RAND → FLD.RAND → 消灯

全フォルダの中からランダムに聞く

全フォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

SD操作画面表示中（→249）

1 RAND に2回タッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「FLD.RAND」が表示されます。
▶解除するとき→ RAND にタッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RAND → FLD.RAND → 消灯

MP3/WMAについて

MP3（MPEG Audio LAYER3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。
WMA（Windows Media Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。

MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが収録されているSDメモリカードを接続すると、最初にSDメモリカード内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMAファイルを再生します。SDメモリカード内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
音楽データとMP3またはWMA形式のデータが混在しているSDメモリーカードは、音楽データのみを再生します。

注意

▶MP3/WMA以外のファイルに“.mp3”/“.wma”の拡張子をつけると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに“.mp3”/“.wma”の拡張子をつけないでください。

知識

▶MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。（VBRのFAST UP/DOWN動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。）
▶Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

HDDオーディオを聞く

お使いになる前に

》HDDオーディオの概要

音楽CDを内蔵のハードディスクに録音することができます。また、録音したアルバムにアルバム名やアーティスト名、ジャンル名などの情報を自動で付けるので、聞きたいアルバムをアルバム名やアーティスト名、ジャンルなどから簡単に探し出し再生することができます。

▶SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、音楽CDなどをデジタル録音したCD-Rなどから録音することはできません。

▶HDDオーディオには、最大3000曲※録音することができます。

※録音時間や録音音質、ハードディスクの空き容量によって、3000曲録音できないことがあります。
より多くの曲を録音するには、次の操作をする必要があります。

●録音音質を「普通」に設定して録音する。（→**258**）

》データベースについて

CDアルバムを再生または録音した場合、ハードディスクに収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名を検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteメディアデータベースを使用しています。

Gracenote® メディアデータベースについて

▶音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧下さい。

▶Gracenote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ: copyright©2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright©2000-present Gracenote. 製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS, Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および“Powered by Gracenote” ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenoteの登録商標または商標です。

知識

▶自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
▶「Gracenoteメディアデータベース」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

Gracenote® メディアデータベースのご利用について

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote,Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」とする)を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」とする)などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする)から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。
お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote,Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。
Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。
copyright © 2000 to present Gracenote

»データベースのバージョンを確認する

ハードディスクに収録されているタイトルデータベースのバージョン情報を表示することができます。

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (情報) ⇒ データ管理 ⇒ データ管理画面

1 バージョン情報にタッチ。

»データベースを更新する

本機のデータベース（Gracenote メディアデータベース）は、提供されたデータによって更新することができます。新譜のタイトル情報がハードディスクに収録されているデータベースにないときに、更新を行ってください。Gracenoteメディアデータベースの更新時期やデータの提供については、下記のダウンロードサイトをご覧ください。

▶ ダウンロードサイト：http://toyota.jp/dop/navi/update/cddb.html

CDDBタイトルデータベースの更新サービスは、2020年6月終了予定です。

更新操作は必ずお車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態で行ってください。

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (情報) ⇒ データ管理 ⇒ データ管理画面

1 更新データが書き込まれたSDメモリーカードまたはCD-R/RWを挿入する。（→**30**）

2 SDで更新 または CDで更新 にタッチ。

3 はい にタッチ。

▶データベースの更新を開始します。

▶更新中は本機の操作をしたり、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。

4 更新が終わったら、SDメモリーカードまたはCD-R/RWを取り出す。（→**31**）

知識

▶CDの録音中は、データベースの更新を行えません。

▶更新にかかる時間はバージョンにより異なります。

HDDオーディオに録音する

》録音についての注意

知識

▶本機の故障、誤作動または不具合により録音されなかった録音内容、および消失した録音データについては保証できません。
▶お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

》録音する

1 録音したいCDを挿入する。（→**30**）

2 画面外の **AV** にタッチ。

3 **録音開始** にタッチ。

▶再生しているCDの録音を開始します。

自動で録音する

CDを再生すると同時に、自動的に録音を開始することができます。

1 録音設定の自動録音を「する」に設定する。（→**259**）

2 録音したいCDを挿入する。

▶再生と同時に、自動的に録音を開始します。

曲を選んで録音する

希望の曲だけを選んで録音することができます。

1 録音設定の自動録音を「しない」、選んで録音を「する」に設定する。（→**259**）

2 録音したいCDを挿入する。（→**30**）

3 画面外の **AV** にタッチ。

4 **録音開始** にタッチ。

5 録音したい曲にタッチ。

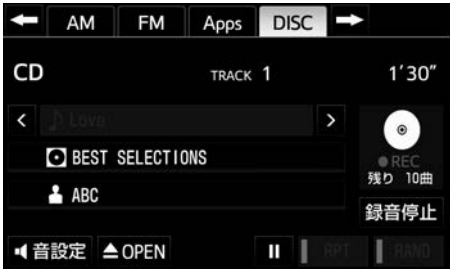
▶走行中は曲を選択することはできません。
▶リストにあるすべての曲を録音するとき
→ **全選択** にタッチ。
▶選択を解除するとき
→選択されている曲にタッチ。
▶すべての選択を解除するとき
→ **全解除** にタッチ。

6 **完了** にタッチ。

》録音を中止する

1 画面外の AV にタッチ。

2 録音停止 にタッチ。



知識

- ▶通常の速さで再生しながら、最大4倍の速さで録音するため、再生している曲と録音している曲は異なります。
- ▶録音中は、操作画面に「●REC」と表示されます。
- ▶録音中は、 RPT 、 RAND 、曲名の各スイッチは操作できません。また、早送り・早戻しもできません。 選曲は、録音済みの曲に対して操作できます。
- ▶CD以外のモードに切り替えても、録音は継続されます。ただし以下のときは、録音を中止または中断し、録音途中の曲を削除します。
  - ●エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしたとき
  - ●オーディオの電源をOFFにしたとき
  - ●CDを取り出したとき
  - ●録音した曲数が3000曲になったとき
  - ●HDDの容量がいっぱいになったとき
- ▶CDを録音しながら再生しているときに、録音が終了すると、CDの再生が一瞬途切れる場合があります。

》録音の設定を変更する

CDの再生と同時に録音を開始する「自動録音」と、希望の曲を選んで録音する「選んで録音」の切り替えや録音音質を切り替えることができます。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 オーディオ にタッチ。

4 CD⇒HDD録音設定 にタッチ。

5 録音音質、録音方法を選択します。

6 設定が終わったら、 完了 にタッチ。

録音音質を切り替える

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ オーディオ ⇒ CD⇒HDD録音設定 ⇒ CD録音設定画面

1 録音音質 にタッチ。

2 高音質 または 普通 にタッチ。
高音質 ：高音質
普通 ：標準音質

自動録音を設定する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
オーディオ ⇒ CD⇒HDD録音設定 ⇒
CD録音設定画面

1 自動録音にタッチ。

2 するまたはしないにタッチ。

曲を選んで録音を設定する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
オーディオ ⇒ CD⇒HDD録音設定 ⇒
CD録音設定画面

1 自動録音を「しない」に設定する。
（→259）

2 選んで録音にタッチ。

3 するまたはしないにタッチ。

知識

▶走行中および録音中は、録音設定をすることができません。

HDDオーディオを聞く

HDDオーディオを聞いているときに、画面外の AV にタッチすると、HDDオーディオ操作画面が表示されます。

▶エンジンスイッチがACCまたはONのときに使用することができます。

知識

▶本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

»HDDオーディオを再生する

1 画面外の AV にタッチ。

2 HDD にタッチ。

知識

▶録音したCDの情報がデータベースにない場合、アーティスト名には「NO DATA」、アルバムタイトルには録音した日時、トラックタイトルにはTRACK1、TRACK2…と表示されます。

»聞きたいアルバムを選ぶ

操作画面で選ぶ

HDDオーディオ操作画面表示中
（→260）

1 アルバム名の ＞ または ＜ にタッチ。

▶うしろにあるとき
→ ＞ にタッチ。
▶前にあるとき
→ ＜ にタッチ。

リスト画面で選ぶ

HDDオーディオ操作画面表示中
（→260）

1 アルバム名にタッチ。

2 アルバムリスト画面で、聞きたいアルバムを選択する。

▲録音日順のリスト画面

3 トラックリスト画面で、聞きたいトラックを選択する。

4 完了 にタッチ。

■アルバムリスト画面について

アルバムリストはアーティストやジャンルでグループ分けして表示したり、録音日順に表示することができます。また、お気に入りの楽曲集を作成しているときはマイベストから表示、選択します。

	アルバムリスト画面
アーティスト	
録音日順	
ジャンル	
マイベスト	

知識

▶ マイベスト は、オリジナルの楽曲集が作成されていないときは選べません。（→266）

▶アルバムはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストの表示方法（ アーティスト 、 録音日順 、 ジャンル ）を変更すると再生順が変わります。

»聞きたい曲（トラック）を選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

知識

▶画面外のスイッチが のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。（→212）

1 画面外の または にタッチ 。

▶うしろにあるとき
→ にタッチ。

▶前にあるとき
→ にタッチ。

音量調節バーで選ぶ

音量調節バー表示中（→212）

1 または にタッチ。

▶うしろにあるとき
→ にタッチ。

▶前にあるとき
→ にタッチ。

トラックバーで選ぶ

トラックバー表示中（→212）

1 トラックバーにタッチまたはスライド。

操作画面で選ぶ

HDDオーディオ操作画面表示中（→260）

1 曲名の ＞ または ＜ にタッチ。

▶うしろにあるとき
→ ＞ にタッチ。

▶前にあるとき
→ ＜ にタッチ。

リスト画面で選ぶ

HDDオーディオ操作画面表示中（→260）

1 曲名にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。

音飛びアイコン

知識

▶録音中に音飛びが発生したときはそのトラックの録音をやり直しますが、再び音飛びが発生したときはそのままの状態で録音されます。音飛び状態のまま録音されたトラックには、音飛び録音アイコンが表示されます。

»早送り、早戻しする

画面外のスイッチで操作する

知識

▶画面外のスイッチが のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。（→212）

1 画面外の または にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→ にタッチし続ける。

▶早戻しするとき
→ にタッチし続ける。

▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

音量調節バーで操作する

音量調節バー表示中（→212）

1 ⏩または⏪にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→⏩にタッチし続ける。
▶早戻しするとき
→⏪にタッチし続ける。
▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

》同じ曲（トラック）を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

HDDオーディオ操作画面表示中（→260）

1 RPTにタッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「RPT」が表示されます。
▶解除するとき
→再度 RPT に2回タッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RPT → ALB.RPT → 消灯

》同じアルバムを繰り返し聞く

選択しているアルバムを繰り返し再生することができます。

HDDオーディオ操作画面表示中（→260）

1 RPTに2回タッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し「ALB.RPT」が表示されます。
▶解除するとき→再度 RPT にタッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RPT → ALB.RPT → 消灯

》アルバムの中からランダムに聞く

選択しているアルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

HDDオーディオ操作画面表示中（→260）

1 RANDにタッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「RAND」が表示されます。
▶解除するとき
→再度 RAND に2回タッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RAND → ALB.RAND → 消灯

》全アルバムの中からランダムに聞く

全アルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

HDDオーディオ操作画面表示中（→260）

1 RANDに2回タッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「ALB.RAND」が表示されます。
▶解除するとき→再度 RAND にタッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RAND → ALB.RAND → 消灯

HDDオーディオを編集する

HDDオーディオに録音すると、アーティスト名やジャンルなどの情報を自動で付与しグループ分けしますが、お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成することもできます。また、アルバム情報の編集などをすることができます。

»サウンドライブラリ編集メニュー画面について

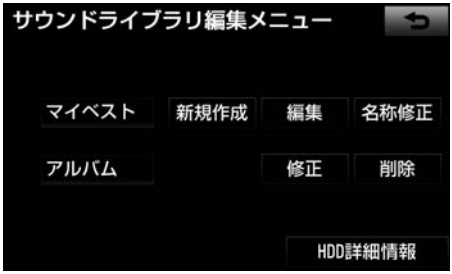
HDDオーディオの編集をするときは、サウンドライブラリ編集メニュー画面から行います。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 オーディオ にタッチ。

4 サウンドライブラリ編集 にタッチ。



▲サウンドライブラリ編集メニュー画面

▶サウンドライブラリ編集メニュー画面から以下のことができます。

項目	ページ
マイベストの作成	266
マイベストの編集	266
●トラックの追加	267
●トラックの並び替え	268
●トラックの削除	268
●マイベストの削除	268
マイベストの名称修正	266
アルバム情報の編集	268
●アルバムタイトル、アルバム読み修正	269
●アーティスト名、アーティスト読み修正	269
●ジャンル修正	270
●トラックタイトル、トラック読み修正	271
●タイトル情報の再取得	271
●トラックの削除	273
アルバムの削除	272
HDD詳細情報の表示	273

知識

▶走行中および録音中は、HDDオーディオの編集をすることができません。

»お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成する

お気に入りの曲を集めた楽曲集（マイベスト）を作成することができます。作成した楽曲集は、アルバムリスト画面のマイベストから簡単に呼び出すことができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
オーディオ ⇒
サウンドライブラリ編集 ⇒
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの 新規作成 にタッチ。

2 マイベストの名称を入力する。

▶ソフトウェアキーボードで入力します。

3 完了 にタッチ。

4 登録したい曲の含まれているアルバムのアーティストを選択する。

▶アルバムはアーティストで絞り込む他に、次の方法で選択することができます。
●録音日順のリストから選択するとき
→録音日順 にタッチ。
●ジャンルで絞り込み選択するとき
→ジャンル にタッチ。
●マイベストから選択するとき
→マイベスト にタッチ。

5 登録したい曲の含まれているアルバムを選択する。

6 登録したい曲にタッチ。

▶リストにあるすべての曲を登録するとき
→ 全選択 にタッチ。
▶選択を解除するとき
→選択されている曲にタッチ。
▶すべての選択を解除するとき
→ 全解除 にタッチ。

7 登録 にタッチ。

8 完了 にタッチ。

▶続けて曲を追加するとき
→ 追加 にタッチ。（手順4へ）
●同様の手順で追加できます。

知識
▶同じ名称は重複して登録できません。
▶マイベストは999個作成できます。また、1つのマイベストには99曲まで登録できます。

»マイベストを編集する

マイベストの名称を修正したり、曲の追加や順番の並べ替え、削除をすることができます。また、マイベスト自体を削除することができます。

マイベストの名称を修正する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
オーディオ ⇒
サウンドライブラリ編集 ⇒
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの 名称修正 にタッチ。

2 修正したいマイベストにタッチ。

3 名称を入力する。

▶ソフトウェアキーボードで入力します。

4 完了 にタッチ。

知識

▶同じ名称は重複して登録できません。

曲を追加する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ オーディオ ⇒ サウンドライブラリ編集 ⇒ サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの 編集 にタッチ。

2 曲を追加したいマイベストにタッチ。

3 トラックを追加 にタッチ。

4 追加したい曲が含まれているアルバムのアーティストを選択する。

▶アルバムはアーティストで絞り込む他に、次の方法で選択することができます。

- ●録音日順のリストから選択するとき
  →録音日順 にタッチ。
- ●ジャンルで絞り込み選択するとき
  →ジャンル にタッチ。
- ●マイベストから選択するとき
  →マイベスト にタッチ。

5 追加したい曲が含まれているアルバムを選択する。

6 追加したい曲にタッチ。

▶すべての曲を追加するとき
→ 全選択 にタッチ。

▶選択を解除するとき
→選択されている曲にタッチ。

▶すべての選択を解除するとき
→ 全解除 にタッチ。

7 登録 にタッチ。

8 完了 にタッチ。

▶続けて曲を追加するとき
→ 追加 にタッチ。（手順 4 へ）

▶同様の手順で追加できます。

知識

▶1つのマイベストには99曲まで登録できます。

曲を並べ替える

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
オーディオ ⇒
サウンドライブラリ編集 ⇒
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの 編集 にタッチ。

2 並べ替えをしたいマイベストにタッチ。

3 トラックを並び替え にタッチ。

4 移動したい曲にタッチ。

5 移動したい場所の 挿入 にタッチ。

6 完了 にタッチ。

曲を削除する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
オーディオ ⇒
サウンドライブラリ編集 ⇒
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの 編集 にタッチ。

2 消去したい曲の含まれているマイベストにタッチ。

3 トラックを削除 にタッチ。

4 削除したい曲にタッチ。

▶すべての曲を削除するとき
→ 全選択 にタッチ。
▶選択を解除するとき
→選択されている曲にタッチ。
▶すべての選択を解除するとき
→ 全解除 にタッチ。

5 削除 にタッチ。

6 はい にタッチ。

マイベストを削除する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
オーディオ ⇒
サウンドライブラリ編集 ⇒
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの 編集 にタッチ。

2 消去したいマイベストにタッチ。

3 このマイベストを削除 にタッチ。

4 はい にタッチ。

》アルバム情報を編集する

アルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名などを変更することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
オーディオ ⇒
サウンドライブラリ編集 ⇒
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 アルバムの 修正 にタッチ。

2 編集したいアルバムのアーティストを選択する。

▶アルバムはアーティストで絞り込む他に、次の方法で選択することができます。
- ●録音日順のリストから選択するとき
→ 録音日順 にタッチ。
- ●ジャンルで絞り込み選択するとき
→ ジャンル にタッチ。

3 編集したいアルバムを選択する。

▲アルバム修正画面

アルバムタイトル、アルバム読みを変更する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
オーディオ ⇒
サウンドライブラリ編集 ⇒
アルバムの 修正 ⇒
アルバムを選択⇒アルバム修正画面

1 アルバム または アルバム読み にタッチ。

2 アルバムまたはアルバム読みを入力する。

▶ソフトウェアキーボードで入力します。

3 完了 にタッチ。

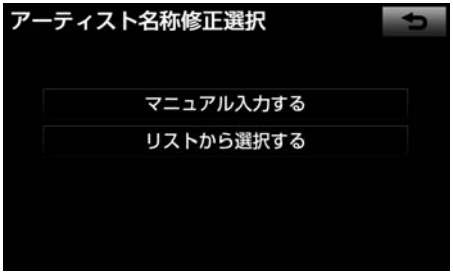
知識
▶読みは半角カタカナのみ入力できます。

アーティスト名を変更する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
オーディオ ⇒
サウンドライブラリ編集 ⇒
アルバムの 修正 ⇒アルバムを選択⇒
アルバム修正画面

1 アルバムアーティスト にタッチ。

2 編集方法を選択する。



■マニュアル入力するときは

1 マニュアル入力する にタッチ。

2 アーティスト名を入力する。

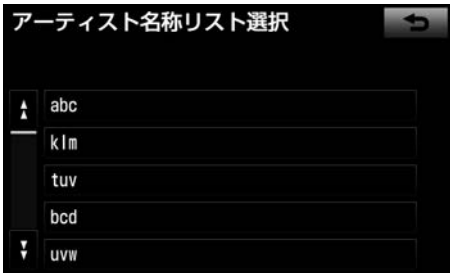
▶ソフトウェアキーボードで入力します。

3 完了 にタッチ。

■リストから選ぶときは

1 リストから選択する にタッチ。

2 アーティスト名にタッチ。



知識

▶リストに表示されるアーティストはすでに登録されているアーティストのみです。

アーティスト読みを変更する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ オーディオ ⇒ サウンドライブラリ編集 ⇒ アルバムの 修正 ⇒アルバムを選択⇒ アルバム修正画面

1 アルバムアーティスト読み にタッチ。

2 アーティスト読みを入力する。

▶ソフトウェアキーボードで入力します。

3 完了 にタッチ。

知識

▶読みは半角カタカナのみ入力できます。

ジャンルを変更する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ オーディオ ⇒ サウンドライブラリ編集 ⇒ アルバムの 修正 ⇒アルバムを選択⇒ アルバム修正画面

1 ジャンル にタッチ。

2 ジャンルにタッチ。

3 完了 にタッチ。

トラックタイトル、トラック読みを変更する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
オーディオ ⇒
サウンドライブラリ編集 ⇒
アルバムの 修正 ⇒アルバムを選択⇒
アルバム修正画面

1 トラック名を修正 にタッチ。

2 修正したいトラックにタッチ。

3 トラック または トラック読み にタッチ。

4 トラックまたはトラック読みを入力する。

▶ソフトウェアキーボードで入力します。

5 完了 にタッチ。

知識

▶読みは半角カタカナのみ入力できます。

タイトル情報を再取得する

録音時に本機のデータベースから付与されたタイトル情報が、録音に使用したCDのタイトル情報と違っているときには、再度、データベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
オーディオ ⇒
サウンドライブラリ編集 ⇒
アルバムの 修正 ⇒アルバムを選択⇒
アルバム修正画面

1 HDDで検索 にタッチ。

▶CDタイトル検索画面が表示されます。

▶ Gで検索 は、G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに使用することができます。G-BOOKオンラインサービスを利用すると、最新のCDタイトル情報をG-BOOKセンター経由でGracenote メディアデータベースから取得することができます。（→**555**）

2 複数候補があるときは、タイトルにタッチ。

▶CDタイトル検索画面が表示されます。

3 登録 にタッチ。

知 識

▶再生している曲の録音に使用したCDのタイトル情報とは、全く異なる候補が表示されることがあります。登録の前に、必ずタイトル情報を確認してください。

▶CDタイトル検索画面は、CDタイトルを検索しているときに表示されます。

●検索が終わると自動的に画面が切り替わります。

●中止するとき
→ 中止 にタッチ。

»アルバムを削除する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
オーディオ ⇒
サウンドライブラリ編集 ⇒
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 アルバムの 削除 にタッチ。

2 削除したいアルバムのアーティストを選択する。

▶アルバムはアーティストで絞り込む他に、次の方法で選択することができます。

●録音日順のリストから選択するとき
→ 録音日順 にタッチ。

●ジャンルで絞り込み選択するとき
→ ジャンル にタッチ。

3 削除したいアルバムを選択する。

4 このアルバムを削除 にタッチ。

5 はい にタッチ。

知 識

▶削除するアルバム内の曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

»曲（トラック）を削除する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
オーディオ ⇒
サウンドライブラリ編集 ⇒
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 アルバムの 削除 にタッチ。

2 削除したい曲の含まれているアルバムのアーティストを選択する。

▶アルバムはアーティストで絞り込む他に、次の方法で選択することができます。
●録音日順のリストから選択するとき
→ 録音日順 にタッチ。
●ジャンルで絞り込み選択するとき
→ ジャンル にタッチ。

3 削除したい曲の含まれているアルバムを選択する。

4 トラックを削除 にタッチ。

5 削除したい曲にタッチ。

▶すべての曲を削除するとき
→ 全選択 にタッチ。
▶選択を解除するとき
→選択されている曲にタッチ。
▶すべての選択を解除するとき
→ 全解除 にタッチ。

6 削除 にタッチ。

7 はい にタッチ。

知識

▶削除する曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

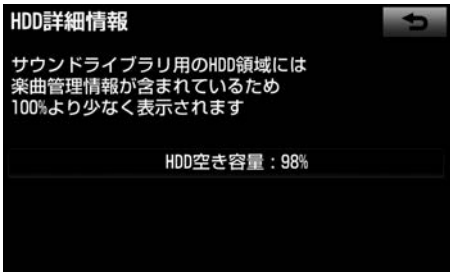
»HDD空き容量を確認する（詳細情報の表示）

データベースのバージョン情報やHDDの空き容量を確認することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
オーディオ ⇒
サウンドライブラリ編集 ⇒
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 HDD詳細情報 にタッチ。

▶HDD詳細情報画面が表示されます。



▲HDD詳細情報画面

06 デジタルテレビを見る

地上デジタルテレビの操作について

地上デジタルテレビの操作は、おもに操作画面と放送局リスト画面から行います。
目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

▶安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ地上デジタルテレビ放送をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

▶地上デジタルテレビ放送が表示されないとき
→画面外の AV にタッチ。（→280）

知識

▶画面外のスイッチは、操作画面や放送局リスト画面が表示されていないときでも操作することができます。

▶デジタルテレビの画面表示などは、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

搭載ブラウザについて

ACCESS™

NetFront® Browser DTV Profile

本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
© 2011 ACCESS Co., Ltd. All rights reserved.
本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

操作画面について

地上デジタルテレビをご覧になっているとき（音声のみを聞いているときを含む）に、画面外の AV にタッチ、または映像をご覧になっているときに画面にタッチすると表示されます。

▶ 全画面 または映像にタッチすると操作画面が解除されます。

■アンテナインジケータ

電波の受信状態を表示します。

表示					
レベル	受信不可	受信状態が悪い ◀		▶ 受信状態が良い	

チャンネルリスト画面

操作画面で、 放送局リスト にタッチすると表示されます。

プリセットスイッチ

▶放送局名は車載機内のデータを使用して表示しています。データと実際の受信状態が一致しない場合、放送を受信できても放送局名が表示されないことがあります。また、放送局名を表示できても放送を受信できない場合があります。

知 識

▶プリセットスイッチにチャンネルを記憶した地域から移動した場合に、放送局名とチャンネル番号が一致しない場合があります。

》miniB-CASカード

miniB-CASカードは、デジタル放送番組の著作権保護などに利用するカードです。地上デジタルテレビ放送を受信するときは、必ずminiB-CASカードを車載機に挿入してください。（→**277**）

▶miniB-CASカードの動作確認について
→「miniB-CASカードの動作確認をする」（→**292**）

取り扱いの注意事項

より詳しい情報は、B-CAS社のホームページ（http://www.b-cas.co.jp）をご覧ください。

▶使用許諾契約約款をお読みのうえ、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを車載機に正しく挿入してください。

▶miniB-CASカードの説明書をよくお読みのうえ、お使いください。

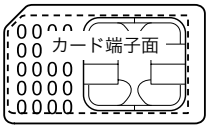
▶使用許諾契約約款をお読みのうえ、お使いください。

▶miniB-CASカードを挿入しないと、デジタル放送を視聴することができません。（ワンセグ放送は視聴することができます。）

▶重いものをのせないでください。

▶水をかけたり、濡れた手で触らないでください。

▶カード端子面には手を触れないでください。



▶カード端子面を手で触れた場合、手に付着している目に見えない異物が端子面に付着し、カードの読み取り不良が発生する恐れがあります。

▶端子面に触れてしまい、カードの読み取り不良が発生した場合には、工業用アルコール（純度の高いエタノール）を染み込ませた綿棒で、端子面全体を直線でなぞるように、まんべんなく拭き取ってください。拭き取り後も同様の症状が発生する場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。
▶分解、改造はしないでください。
▶折り曲げたり、変形させたりしないでください。
▶高温になるところにカードを放置しないでください。
▶バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。

miniB-CAS カードの交換・廃棄

miniB-CAS カードの所有権は株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。カードの故障や車載機の廃棄などにより miniB-CAS カードの交換、廃棄が必要になったときは株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターに連絡して交換、返却の手続きをしてください。
電話番号　0570-000-250
受付時間　AM10:00 ～ PM8:00
（年中無休）

》miniB-CASカードの出し入れ

⚠警告

▶miniB-CASカードを取り出している場合、カードを乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと窒息、またはけがの恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠注意

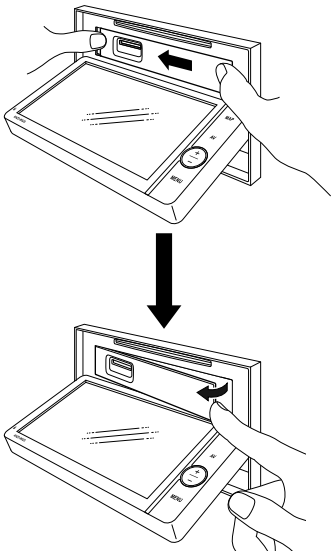
▶miniB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や損傷の原因となります。
▶miniB-CASカードは、指先で押して“カチッ”と音がするまで差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、受信不良などの原因になります。
▶miniB-CASカードを抜き差しするときなどに、落として紛失しないように注意してください。
▶miniB-CASカードを抜き差ししたときは、３秒以上経ってからminiB-CASカードの動作確認を行ってください。
▶ご使用中はminiB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

miniB-CASカードの入れかた

1 ディスプレイを開ける。（→30）

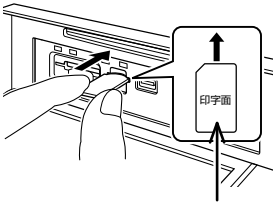
2 カバーを取りはずす。

▶SDメモリーカードが入っている場合、SDメモリーカードを取り出してからカバーをはずしてください。



3 miniB-CASカードを挿入する。

▶mini-B-CASカードを差し込むときは、切り欠きを左側に、ラベル貼付面を上に、IC側を下にして挿入してください。
▶mini-B-CASカードを差し込むときは、カード側面を挟むように持って、端子面に指が触れないように注意してください。
▶miniB-CAS カードを差し込むときは、指などがディスプレイに触れないように注意してください。画面外のいずれかのスイッチにタッチすると、ディスプレイが閉じます。
▶miniB-CAS カードは“カチッ”と音がするまで差し込んでください。



miniB-CAS カードは印字面を上、端子面を下にしてください。

4 カバーを取り付けて、ディスプレイを閉じる。(→**30**)

▶miniB-CAS カードを挿入した後、正常に動作しているか必ず確認してください。(→**292**)

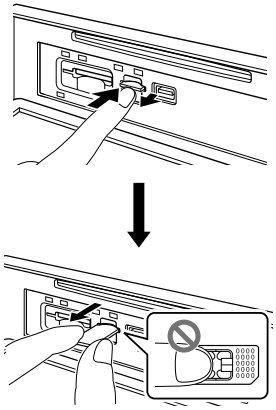
miniB-CASカードの出しかた

1 ディスプレイを開ける。(→**30**)

2 カバーを取りはずす。

3 カードロックを解除して取り出す。

▶miniB-CAS カードを取り出すときは、端子面に指が被らないようにつまみ、半分まで引き出してください。その後カードの側面を挟むように持って引き出してください。
▶miniB-CAS カードを取り出すときは、指などがディスプレイに触れないように注意してください。画面外のいずれかのスイッチにタッチすると、ディスプレイが閉じます。
▶miniB-CAS カードは水平方向に引きだしてください。



4 カバーを取り付けて、ディスプレイを閉じる。(→**30**)

»初回起動時の設定をする

地上デジタルテレビの機能を初めて使用する場合は、プリセットスイッチにチャンネルを記憶します。

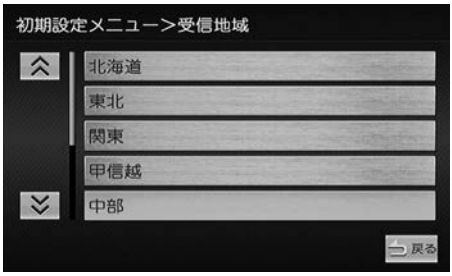
1 画面外の AV にタッチ。

2 TV にタッチ。

3 郵便番号を入力し、決定にタッチ。

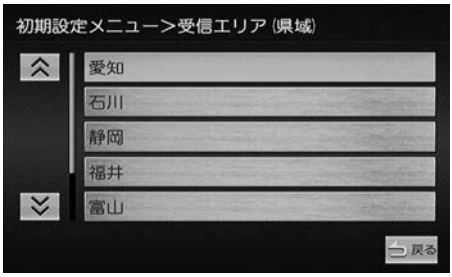
▶間違えたとき
→修正にタッチ。

4 地域を選択する。

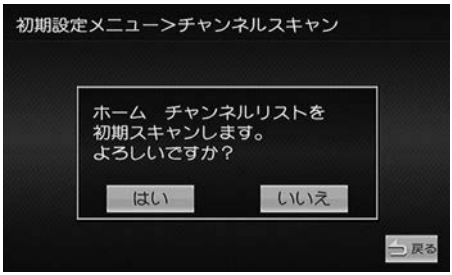


▶東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの方
→沖縄地方・その他の島部にタッチ。

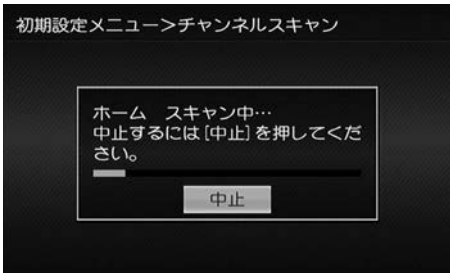
5 都道府県を選択する。



6 はいにタッチ。



▶チャンネルスキャン画面が表示され、自動で放送局の受信が始まります。

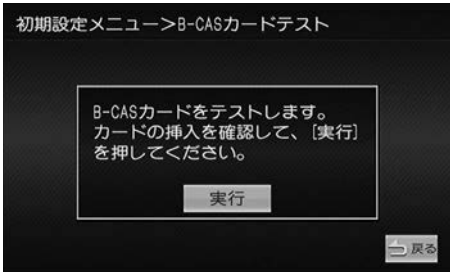


▶受信を中止したいとき
→中止にタッチ。

7 決定にタッチ。

▶最大36局まで受信し、受信した放送局のうち12局がプリセットスイッチに表示されます。

8 実行にタッチ。



▶B-CASカードテスト画面が表示され、カードテストが始まります。

9 終了にタッチ。

知識

▶プリセットスイッチに表示されなかった放送局を記憶したい、またはプリセットスイッチの順番を変更したい場合は、プリセットスイッチの内容を変更することができます。（→**281**）
▶受信する地域により、放送局を表示するまで約5分程度かかる場合があります。
▶引越しなどでお住まいの地域や都道府県が変わった場合は、再度設定することができます。（→**290**）
▶入力した郵便番号の地域のデータを入手することができます。

》地上デジタルテレビを見る

1 画面外の AV にタッチ。

2 TV にタッチ。

知識

▶車載機での地上デジタルテレビ放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。 この関係の主な例を次に説明します。
- ●電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
- ●ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
- ●電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなることがあります。
- ●トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- ●一部の地域において、テレビやラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。

▶本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。また、双方向通信には対応していません。
▶地上デジタルテレビ放送では、5.1chをAAC方式で圧縮した番組（AAC5.1ch放送）を放送していることがあります。車載機はAAC5.1ch放送には対応していません。AAC5.1ch放送を受信した場合、2ch再生となります。
▶販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続している場合、走行中でも後席で地上デジタルテレビ放送をご覧になることができます。

»チャンネルを選ぶ

プリセットスイッチから選ぶ

デジタルテレビ操作画面表示中（→275）またはチャンネルリスト画面表示中（→276）

1 希望のチャンネルが記憶されているプリセットスイッチにタッチ。

▶プリセットスイッチにチャンネルを記憶させたいときや、記憶されているチャンネルを変更したいとき
→「チャンネルリストで選ぶ」（→281）

手動で選ぶ

知識

▶画面外のスイッチが ± のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。（→212）

■画面外のスイッチで選ぶ

1 画面外の ⏭ または ⏮ にタッチ。

▶チャンネルを大きい方へ選択するとき
→ ⏭ にタッチ。

▶チャンネルを小さい方へ選択するとき
→ ⏮ にタッチ。

■音量調節バーで選ぶ

音量調節バー表示中（→212）

1 ⏭ または ⏮ にタッチ。

▶チャンネルを大きい方へ選択するとき
→ ⏭ にタッチ。

▶チャンネルを小さい方へ選択するとき
→ ⏮ にタッチ。

■トラックバーで選ぶ

トラックバー表示中（→212）

1 トラックバーにタッチまたはスライド。

チャンネルリストから選ぶ

チャンネルリスト画面表示中（→276）

1 見たい放送局にタッチ。

»番組を選ぶ

チャンネルリストで選ぶ

デジタルテレビ操作画面表示中（→275）

1 放送局リスト にタッチ。

2 編集 にタッチ。

3 番組を変更したい放送局にタッチ。

4 ＞ または ＜ にタッチ。

▶サービス番号を変更します。

5 戻る にタッチ。

サービスリストで選ぶ

デジタルテレビ操作画面表示中（→275）

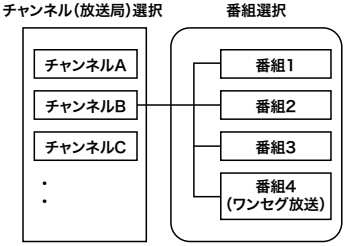
1 メニュー にタッチ。

2 サービスリスト にタッチ。

3 見たい番組にタッチ

知識

▶ワンセグ放送のサービス番号は、611～728に割り当てられています。
▶ご覧になっているチャンネルがワンセグ放送をおこなっていない場合、ワンセグ放送に切り替えることができません。
▶受信モードが自動切替に設定されている場合、通常の地上デジタルテレビ放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切り替えても自動で通常の地上デジタルテレビ放送にもどります。（→**284**）
▶地上デジタルテレビ放送では１つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。 違うチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択した後、番組を切り替えてください。
▶１つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。



プリセットモードを切り替える

プリセットモードには、ホーム、おでかけ、エリアの３種類があり、それぞれのプリセットモードごとにチャンネルを記憶／表示することができます。
▶デジタルテレビ操作画面に選択したプリセットモード名が表示されます。

デジタルテレビ操作画面表示中
（→**275**）

1 メニュー にタッチ。

2 プリセットモード にタッチ。

3 プリセットモードを選択する。

ホーム	ホームプリセットで記憶したチャンネル（→**291**）が表示されます。普段ご覧になるときは、このモードを使用します。
おでかけ	旅先などでこのモードを使用すると、ホームとは別にプリセットスイッチにチャンネルを記憶することができます。自宅周辺に帰ってきたときは、ホームに戻すことができます。
エリア	自分がいる地域の放送局が分からなくなったとき、このモードを使用すると、その地域で放送されているチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。

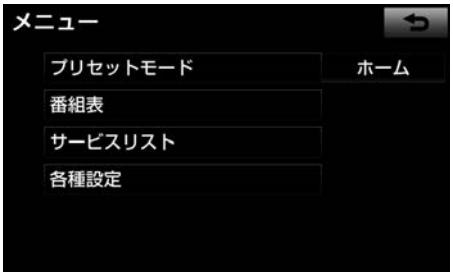
》EPG(電子番組表)を見る

EPGとは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で番組をさがすことができます。

デジタルテレビ操作画面表示中
(→275)

1 メニュー にタッチ。

2 番組表 にタッチ。



▶TV番組表画面（テーブル表示）が表示されます。

▶ 切替 にタッチすると、選択している局のTV番組表画面（リスト表示）が表示されます。

▲TV番組表画面（リスト表示）

知識

▶TV番組表画面で現在放送されている番組にタッチするとチャンネルを切り替えることができます。

見たい番組を探す（別の番組表に切り替える）

表示している番組表を別の番組表に切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面（→275）
⇒ メニュー ⇒ 番組表 ⇒
番組表画面

■日付を切り替える

1 日付切り替えスイッチの 翌日 または 前日 にタッチ。

▶翌日の番組表を表示するとき
→ 翌日 にタッチ。

▶前日の番組表を表示するとき
→ 前日 にタッチ。

■時間帯を切り替える

1 ∨ または ∧ にタッチ。

▶次の放送時間帯の番組を表示するとき
→ ∨ にタッチ。

▶前の放送時間帯の番組を表示するとき
→ ∧ にタッチ。

■チャンネルを切り替える

1 ＞ または ＜ にタッチ。

▶ｃｈを大きい方へ選択するとき
→ ＞ にタッチ。

▶ｃｈを小さい方へ選択するとき
→ ＜ にタッチ。

番組の情報を見る

デジタルテレビ操作画面（→275）
⇒ メニュー ⇒ 番組表 ⇒
番組表画面

1 情報が見たい番組にタッチ。

▶番組の情報が表示されます。

知識
▶現在放送されている番組にタッチするとチャンネルが切り替わり、情報が表示されません。
▶ ∨ 、 ∧ 、 ＜ または ＞ でカーソルを番組にあわせて 詳細 にタッチしても表示されます。

》各種設定を切り替える

地上デジタルテレビ放送の設定を切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中
（→275）

1 メニュー にタッチ。

2 各種設定 にタッチ。

▶設定メニュー画面が表示されます。

》テレビ放送の受信方法を設定する

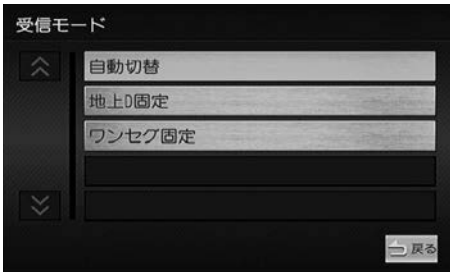
地上デジタルテレビ放送の受信方法を周囲の環境に合わせて設定することができます。

設定メニュー画面表示中（→284）

1 受信 にタッチ。

2 受信モード にタッチ。

3 希望の受信方法を選択する。



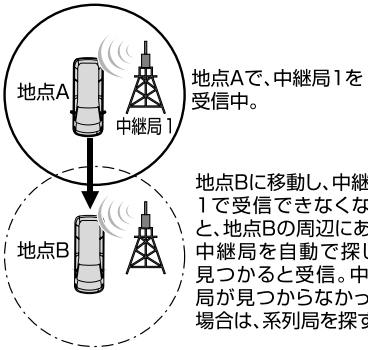
自動切替	通常の地上デジタルテレビ放送（12セグ）が周囲の環境により受信できなくなると、自動でワンセグ放送の受信に切り替わります。通常の地上デジタルテレビ放送（12セグ）が受信可能になると、自動でもとに戻ります。
地上D固定	周囲の環境に関係なく、常に通常の地上デジタルテレビ放送（12セグ）のみ受信します。
ワンセグ固定	周囲の環境に関係なく、常にワンセグ放送のみ受信します。

知識

- ワンセグ放送を受信しているときは、画面左上に「ワンセグ」と表示されます。
- 自動で切り替わった番組が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- 自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- ワンセグ放送を実施していない放送局をご覧になっている場合、受信方法を自動切替にしていても、ワンセグ放送に切り替わりません。

放送局（系列局／中継局）サーチを設定する

現在受信しているチャンネルが受信できなくなった場合、その系列局や中継局を自動で探し受信できるように設定することができます。



知識

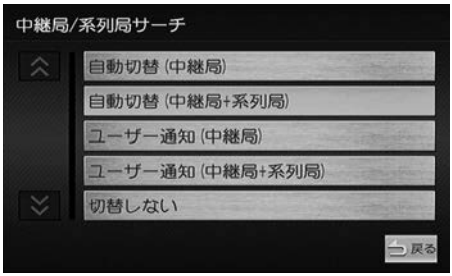
- 放送局のサーチ中は、映像および音声が出力されず、「中継局を探しています」のメッセージが表示されます。

設定メニュー画面表示中（→284）

1 受信にタッチ。

2 中継局/系列局サーチにタッチ。

3 設定方法を選択する。



系列局＋中継局	受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局を探します。中継局が見つからなかった場合は、系列局を探します。
中継局	受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局を探します。
切替しない	放送局のサーチを行いません。

知 識

▶放送局のサーチ中、後席ディスプレイに異なる映像が表示される場合がありますが、故障ではありません。
▶プリセットモードで「エリア」を選択（→**282**）しているときは、放送局サーチでチャンネルが切り替わってもプリセットスイッチは更新されません。
▶系列局を受信した場合、切り替わった番組がご覧になっていた番組と異なることがあります。

»データ放送を見る

データ放送とはデジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組の内容と関係ないニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見ることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中
（→**275**）

1 d操作 にタッチ。

2 d にタッチ。

▶データ放送画面が表示されます。

知 識

▶本機はワンセグ放送のデータ放送には対応していません。
▶データ放送を受信可能な場合、デジタルテレビ操作画面に「d」が表示されます。

»データ放送を操作する

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタン、カーソル、10キー（テンキー）などで操作します。操作方法は受信したデータ放送により異なります。

知 識

▶データ放送の操作は、画面に表示される指示の順におこなってください。
▶データ放送には双方向サービス（クイズやテレビショッピングなどに視聴者がリアルタイムで参加できるサービス）をおこなっている番組がありますが、本機は対応していません。

データ放送操作画面を表示する

データ放送を操作するときは、データ放送操作画面を表示して行います。

データ放送画面表示中（→286）

1 画面外の AV または映像（画面）にタッチ。

2 d操作 にタッチ。

▶データ放送操作画面が表示されます。
▶スイッチを消すとき
→ 消去 にタッチ。
▶データ放送画面を解除するとき
→ d にタッチ。

色ボタン、カーソルで操作する

データ放送を操作するときに、色ボタンとカーソルを使用します。

データ放送操作画面表示中（→287）

1 色ボタンまたはカーソル（△、▽、◁ または ▷）にタッチ。

▶ 移動 にタッチするごとに、操作スイッチの位置が左右に切り替わります。

2 カーソル（△、▽、◁ または ▷）を操作して選択するときは、決定 にタッチ。

10キー（テンキー）で操作する

数字を入力するときに使用します。

データ放送操作画面表示中（→287）

1 10キー にタッチ。

2 数字を入力する。

▶ 移動 にタッチするごとに、操作スイッチの位置が左右に切り替わります。

3 決定 にタッチ。

▶色ボタン・カーソルを表示したいとき
→ 操作 にタッチ。

前の画面に戻る

データ放送画面を、ひとつ前に表示させていた画面に戻したいときに使用します。

データ放送操作画面表示中（→287）

1 戻る にタッチ。

映像を切り替える

ご覧になっている番組が複数の映像を提供している場合、お好みに合わせて映像を切り替えることができます。

設定メニュー画面表示中（→284）

1 視聴 にタッチ。

2 映像 にタッチ。

3 希望の映像方法を選択する。

知識

▶映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。

音声を切り替える

ご覧になっている番組が複数の音声を提供している場合、お好みに合わせて音声を切り替えることができます。

設定メニュー画面表示中（→284）

1 視聴 にタッチ。

2 音声 にタッチ。

3 希望の音声を選択する。

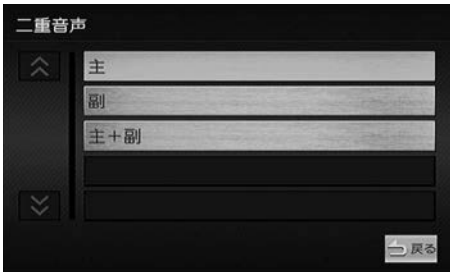
音声多重放送の音声モードを切り替える

設定メニュー画面表示中（→284）

1 視聴にタッチ。

2 二重音声にタッチ。

3 希望の音声モードを選択する。



知識

▶副音声または主／副音声を選択している場合、受信状態によって主音声・副音声がひんぱんに切り替わることがあります。

字幕を切り替える

ご覧になっている番組が複数の字幕を提供している場合、お好みに合わせて字幕を切り替えることができます。

設定メニュー画面表示中（→284）

1 視聴にタッチ。

2 字幕言語にタッチ。

3 希望の言語を選択する。

文字スーパーを切り替える

地上デジタルテレビ放送では、映像や音声などとは別に、放送と独立した文字スーパー（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）をおこなっています。

設定メニュー画面表示中（→284）

1 視聴にタッチ。

2 文字スーパーにタッチ。

3 希望の言語を選択する。

画面モードを切り替える

デジタルテレビ操作画面表示中（→275）

1 各種切替にタッチ。

2 Normalまたは Wideにタッチ。

3 完了にタッチ。

■画面の表示については「画面モードについて」（→49）をご覧ください。

緊急警報放送（EWS）について

緊急警報放送(EWS:Emergency Warning System)は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送を受信した場合、メッセージが表示されます。 OK にタッチすると緊急警報放送が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとの番組にもどります。

地域の設定をする

地上デジタルテレビ放送の受信設定を変更できます。

郵便番号を設定する

設定メニュー画面表示中（→284）

1 郵便番号にタッチ。

2 郵便番号を入力する。

▶間違えたとき→ 修正にタッチ。

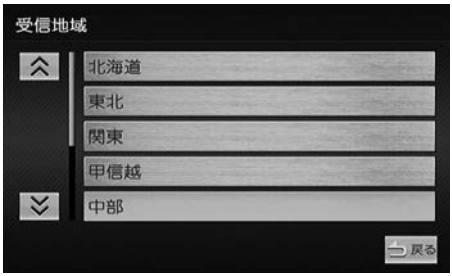
3 決定にタッチ。

受信地域を設定する

設定メニュー画面表示中（→284）

1 受信地域にタッチ。

2 地域を選択する。

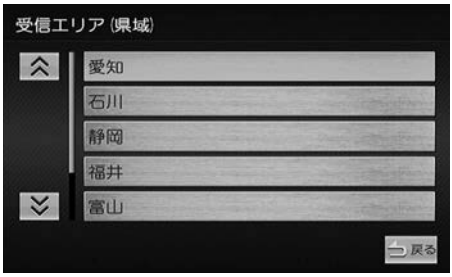


受信エリアを設定する

設定メニュー画面表示中（→284）

1 受信エリア（県域）にタッチ。

2 県名を選択する。



ホームプリセットの設定

ご使用になる地域で受信できる放送局（チャンネル）を自動で受信して、プリセットスイッチに記憶させることができます。ホームプリセットの設定には、新たに記憶させる初期スキャンと、現在記憶されているプリセットスイッチに新たに受信できる放送局（チャンネル）を追加させる再スキャンの2種類があります。

知識

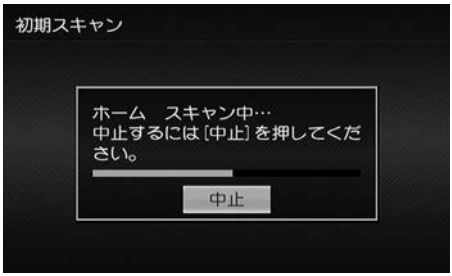
▶最大36局まで受信し、受信した放送局のうち12局がプリセットスイッチに表示されます。

■初期スキャンをする

設定メニュー画面表示中（→284）

1 初期スキャンにタッチ。

2 OKにタッチ。



▶中止するとき→中止にタッチ。

3 決定にタッチ。

■再スキャンをする

設定メニュー画面表示中（→284）

1 再スキャンにタッチ。

2 地域を選択する。

▶中止するとき→中止にタッチ。

3 決定にタッチ。

》受信したお知らせメッセージを見る

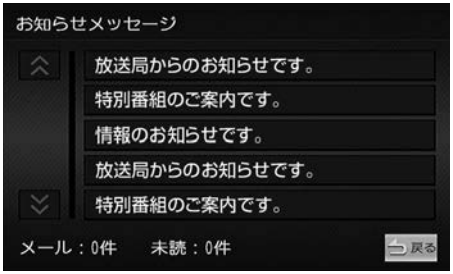
放送局から受信したお知らせメッセージを見ることができます。

設定メニュー画面表示中（→284）

1 機器にタッチ。

2 お知らせメッセージにタッチ。

3 見たいメッセージにタッチ。



》miniB-CASカードの情報を見る

設定メニュー画面表示中（→284）

1 B-CASにタッチ。

2 B-CASカードIDにタッチ。

▶B-CASカードID画面が表示されます。

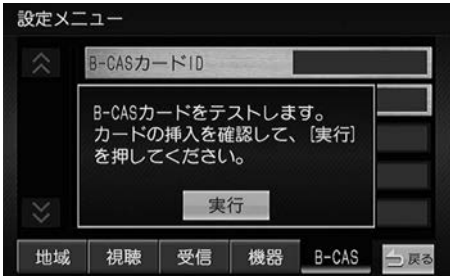
》miniB-CASカードの動作確認をする

設定メニュー画面表示中（→284）

1 B-CASにタッチ。

2 B-CASカードテストにタッチ。

3 実行にタッチ。



4 確認にタッチ。

知識

▶異常を検出したときは、miniB-CASカードの抜き差しを行ってください。抜き差しにて読み取れない場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。

知っておいていただきたいこと

》こんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原　因	処　置
正常に動作しませんでした 正しく装着されていないか、 故障しています 販売店へお問い合わせ下さい	miniB-CAS カードの動作確認（→ **292**）で、異常を検出したため。カードの読み取り不良が考えられます。	miniB-CAS カードの抜き差しを行ってください。抜き差しにて読み取れない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
B-CASカードが 読めませんでした カードをお確かめください	miniB-CAS カードとの通信で異常を検出したため。カードの読み取り不良が考えられます。	miniB-CAS カードの動作確認を行ってください。（→ **292**） 異常を検出したときは、miniB-CAS カードの抜き差しを行ってください。抜き差しにて読み取れない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	miniB-CASカードを挿入していないため。	miniB-CASカードを挿入してください。
	使用できないminiB-CASカードが挿入されているため。（エラーコード: A1FF、A102）	
	miniB-CASカードを交換する必要があるため。 （エラーコード:6400）	miniB-CASカードを交換してください。
	miniB-CASカード内のセキュリティ情報が改ざんされているおそれがあるため。 （エラーコード:A104）	
	有効な条件を満たしていないminiB-CASカードが挿入されているため。（エラーコード: EC01、EC02）	
放送を受信できません	地上デジタル放送の受信エリア外にいるため。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
	チャンネルを記憶した地域と異なる場所にいるため。	初期スキャン（→**291**）、またはプリセットモードの切り替え（→**282**）をしてください。
データを受信できませんでした	データ放送を正常に受信できなかったため。	もう一度、操作し直してください。
データを表示できませんでした	本機で対応していないデータを受信したため。	故障ではありません。

》故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、次の表に基づき、まず確認してください。

症　状	考えられること	処　置
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送の受信エリア外で使用していませんか。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
映像は出るが、音が出ない。	音量が小さくなっていませんか。	音量を大きくしてください。 (→**215**)
映像が止まって、音が出ない。	地上デジタル放送の受信状態が良くない。	受信エリア内でも環境により受信できない場合があります。 (→**280**) 受信できる場所に移動してください。

知 識

▶処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

USBメモリを再生する★

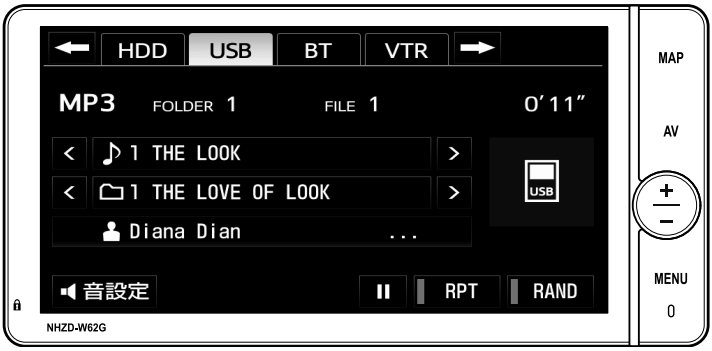
はじめに

販売店装着オプションのiPod対応USB/VTRアダプターに接続したUSBメモリを再生することができます。

車載機で使用できるUSBメモリやUSBメモリに記録できる音楽データについては、「車載機で使用できるメディア／データについて」（→ **593**）をご覧ください。

再生しているときに、画面外の **AV** にタッチすると、USBメモリ操作画面が表示されます。

▶エンジンスイッチがACCまたはONのときに使用することができます。



★印はオプションです。

⚠注意

▶車載機でUSBメモリを使用しているときにUSBメモリのデータが消失しても、消失したデータについては補償できません。
▶USBメモリを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
▶USBメモリが接続されているときに、USBメモリの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。
▶USBメモリの差込口にUSBメモリ以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
▶USBモード中は、USBメモリを取りはずさないでください。USBメモリ内のデータが破損するおそれがあります。
▶グローブボックス内などでUSBメモリを直接接続した場合、USBメモリ本体と車内部分が干渉し、USBメモリが破損するおそれがあります。その場合は、同梱のUSBメモリ接続用ケーブルを使用してください。

知識

▶USBを車載機に接続するときは、販売店装着オプションのiPod対応USB/VTRアダプター以外は使用しないでください。正しく動作しない場合があります。
▶本機は市販のUSBハブやマルチカードリーダ、外付けのハードディスク、USB端子付オーディオポータブル機には対応していません。
▶USBメモリ以外（USB扇風機やUSBクリーナーなど）は接続しないでください。接続して使用すると、ノイズなどが発生する場合があります。
▶USBメモリを接続しているときに車載機が過電流を検知すると、「異常検知でUSB停止中です」のメッセージが表示され、オーディオの電源がOFFになります。再度USBメモリを再生するときは、一度エンジンスイッチをOFF（LOCK）にし、再度エンジンスイッチをACCまたはONにしてください。

USBメモリを操作する

》再生する

1 USBメモリを接続する。

▶USBメモリの接続・取りはずし方法の詳細は、販売店装着オプションのiPod対応USB/VTR アダプターに同梱の取扱書を参照してください。

2 画面外の AV にタッチ。

3 USB にタッチ。

知識

▶車載機とUSBメモリを接続しても、自動でUSBモードに切り替わりません。
▶車載機にUSBメモリを接続すると、車載機で表示されるリストの順番がUSBメモリと異なることがあります。
▶USBモード中にUSB端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
▶USBメモリが接続されている状態で、他モードよりUSBモードに切り替えたとき、最初のファイルが再生されます。もし、同じUSBメモリ（内容が変更されていないもの）が再び差し込まれたときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。

聞きたいフォルダ（アルバム）を選ぶ

操作画面で選ぶ

USBメモリ操作画面表示中（→295）

1 フォルダ（アルバム）名の［＞］または［＜］にタッチ。

▶うしろにあるとき
→フォルダ（アルバム）名の［＞］にタッチ。
▶前にあるとき
→フォルダ（アルバム）名の［＜］にタッチ。

リスト画面で選ぶ

USBメモリ操作画面表示中（→295）

1 フォルダ（アルバム）名にタッチ。

2 フォルダ選択画面で、聞きたいフォルダを選択する。

▶聞きたいフォルダは、以下の方法で選択することもできます。
●アーティストのリストから選択するとき
→［アーティスト］にタッチ。
●アルバムのリストから選択するとき
→［アルバム］にタッチ。

3 ファイル選択画面で、聞きたいファイルを選択する。

4 ［完了］にタッチ。

知識
▶選択したフォルダの中がさらにフォルダの場合、そのフォルダの選曲リスト画面が表示されます。

聞きたい曲（ファイル）を選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

知識
▶画面外のスイッチが（＋／－）のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。（→212）

1 画面外の（⏭）または（⏮）にタッチ。

▶うしろにあるとき
→（⏭）にタッチ。
▶前にあるとき
→（⏮）にタッチ。

音量調節バーで選ぶ

音量調節バー表示中（→212）

1 （⏩）または（⏪）にタッチ。

▶うしろにあるとき
→（⏩）にタッチ。
▶前にあるとき
→（⏪）にタッチ。

トラックバーで選ぶ

トラックバー表示中（→212）

1 トラックバーにタッチまたはスライド。

操作画面で選ぶ

USBメモリ操作画面表示中（→295）

1 ファイル（トラック）名の［＞］または［＜］にタッチ。

▶うしろにあるとき
→ファイル(トラック)名の ＞ にタッチ。
▶前にあるとき
→ファイル（トラック）名の ＜ にタッチ。

リスト画面で選ぶ

USBメモリ操作画面表示中（→295）

1 ファイル（トラック）名にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。

早送り、早戻しする

画面外のスイッチで操作する

知識

▶画面外のスイッチが ＋/－ のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。（→212）

1 画面外の ⏭ または ⏮ にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→ ⏭ にタッチし続ける。
▶早戻しするとき
→ ⏮ にタッチし続ける。
▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

音量調節バーで操作する

音量調節バー表示中（→212）

1 ⏭ または ⏮ にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→ ⏭ にタッチし続ける。
▶早戻しするとき
→ ⏮ にタッチし続ける。
▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

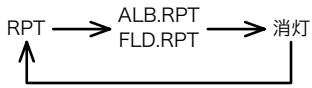
同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

USBメモリ操作画面表示中（→295）

1 RPT にタッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「RPT」が表示されます。
▶解除するとき→ RPT に２回タッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。



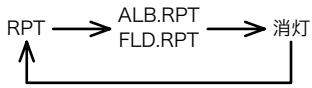
同じフォルダを繰り返し聞く

選択しているフォルダを繰り返し再生することができます。

USBメモリ操作画面表示中（→295）

1 RPT に2回タッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「ALB.RPT」または「FLD.RPT」が表示されます。
▶解除するとき→再度 RPT にタッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。



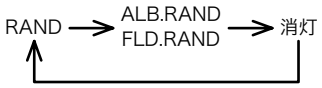
フォルダの中からランダムに聞く

選択しているフォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

USBメモリ操作画面表示中（→295）

1 RAND にタッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「RAND」が表示されます。
▶解除するとき→ RAND に2回タッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。



全フォルダの中からランダムに聞く

▶全フォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

USBメモリ操作画面表示中（→295）

1 RAND に2回タッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「ALB.RAND」または「FLD.RAND」が表示されます。
▶解除するとき→再度 RAND にタッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

MP3/WMAについて

MP3（MPEG Audio LAYER3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10 のサイズに圧縮することができます。
WMA（Windows Media Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。
使用できるMP3/WMAファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには次のことに注意してください。

MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが収録されているUSBメモリを接続すると、最初にUSBメモリ内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMAファイルを再生します。
USBメモリ内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
音楽データとMP3またはWMA形式のデータが混在しているUSBメモリは、音楽データのみを再生します。

⚠注意

▶MP3/WMA以外のファイルに“.mp3”/“.wma”の拡張子をつけると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに“.mp3”/“.wma”の拡張子をつけないでください。

知識

▶MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。（VBRのFAST UP/DOWN動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。）

▶Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

iPodを再生する★

はじめに

販売店装着オプションのiPod対応USB/VTRアダプターに接続したiPod®を再生することができます。

車載機で使用できるiPodについては、「車載機で使用できるメディア／データについて」（→**593**）をご覧ください。

再生しているときに、画面外の **AV** にタッチすると、表示されます。

▶エンジンスイッチがACCまたはONのときに使用することができます。

▶iPodビデオ再生時に **全画面** または映像にタッチすると操作画面が解除されます。

★印はオプションです。

⚠警告

▶安全のため、運転者は運転中にiPodを操作しないでください。

⚠注意

▶車載機でiPodを使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータについては補償できません。
▶iPodを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
▶iPodが接続されているときに、iPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。
▶iPod端末の差込口にiPod端末以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
▶iPodモード中は、iPodを取りはずさないでください。iPod内のデータが破損するおそれがあります。
▶iPodミュージック・ビデオ再生中のiPhoneでスマートフォン連携機能（→**334**）を使用した場合、動作が不安定になる可能性があります。

知識

▶iPodを車載機に接続するときは、販売店装着オプションのiPod対応USB/VTRアダプター以外は使用しないでください。正しく動作しない場合があります。
▶iPodを接続しているときに車載機が過電流を検知すると、「異常検知でUSB停止中です」のメッセージが表示され、オーディオの電源がOFFになります。再度iPodを再生するときは、一度エンジンスイッチをOFF（LOCK）にし、再度エンジンスイッチをACCまたはONにしてください。

各種切替画面について

▶iPodビデオ

操作画面で、**各種切替**にタッチすると表示されます。

全画面にタッチすると映像を全画面で表示します。

▲iPodビデオ再生時

iPodを操作する

》再生する

1 iPodを接続する。

▶iPodの接続・取りはずし方法の詳細は、iPod対応USB/VTRアダプターに同梱の取扱書を参照してください。

▶iPodの電源が入らない場合は、電源を入れます。

2 画面外の AV にタッチ。

3 iPod にタッチ。

知識

▶車載機とiPod を接続しても、自動でiPodモードに切り替わりません。

▶iPodを車載機に接続している間はiPodによる操作をすることができません。

▶iPodの電源をOFF にしたまま接続すると、充電済マークが表示されることがあります。

▶エンジンスイッチがACCまたはONになっている場合、接続したiPodのバッテリが充電されます。ただし、電池残量によりiPodが起動するまでに時間がかかる場合があります。

▶iPodが操作不能になった場合、iPodの接続をはずし、iPodをリセットしてから再度接続してください。iPodのリセット方法については、iPodの取扱説明書を参照してください。

▶iPodと販売店装着オプションのiPod対応USB/VTR アダプターが正しく接続されていないと、iPodの電源がONにならない場合や車載機に認識されない場合があります。この場合は、一度iPodを取りはずし、再度接続してください。

▶iPod本体に「接続を解除できます。」が表示されますが、再生中は、iPod保護のため、iPodを取りはずさないでください。

▶iPodモード中にiPod端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。

▶iPodが接続されている状態で、他モードよりiPodモードに切り替えたとき、前回、最後に再生していたファイルから再生されます。

»プレイモードを選ぶ

iPodミュージック操作画面表示中（→301）、またはiPodビデオ操作画面表示中（→302）

1 ビデオ または ミュージック にタッチ。

▲iPodミュージック操作画面

▲iPodビデオ操作画面

»再生したいファイルを選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

知識
▶画面外のスイッチが ± のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。（→212）

1 画面外の ⏭ または ⏮ にタッチ。

▶うしろにあるとき
→⏭にタッチ。
▶前にあるとき
→⏮にタッチ。

音量調節バーで選ぶ

音量調節バー表示中（→212）

1 ⏭ または ⏮ にタッチ。

▶うしろにあるとき
→⏭にタッチ。
▶前にあるとき
→⏮にタッチ。

トラックバーで選ぶ

トラックバー表示中（→212）

1 トラックバーにタッチまたはスライド。

操作画面で選ぶ

iPodミュージック操作画面表示中（→301）

1 トラック名の ＞ または ＜ にタッチ。

▶うしろにあるとき
→トラック名の ＞ にタッチ。
▶前にあるとき
→トラック名の ＜ にタッチ。

リスト画面で選ぶ

▶iPodミュージック再生時

iPodミュージック操作画面表示中（→301）

1 トラック名にタッチ。

2 聞きたい曲（トラック）にタッチ。

▶iPodビデオ再生時

iPodビデオ操作画面表示中（→302）

1 ファイル名にタッチ。

2 見たいファイルにタッチ。

選択リスト画面で選ぶ

▶iPodミュージック再生時

iPodミュージック操作画面表示中（→301）

1 選曲にタッチ。

2 カテゴリ選択リスト画面で、プレイモードを選択する。

▶iPodビデオ再生

iPodビデオ操作画面表示中（→302）

1 フォルダ（アルバム）名にタッチ。

2 カテゴリ選択リスト画面で、プレイモードを選択する。

知識

▶カテゴリはiPod本体に登録されているもののみ表示されます。

早送り、早戻しする

画面外のスイッチで操作する

知識

▶画面外のスイッチが＋／－のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。（→212）

1 画面外の⏭または⏮にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→⏭にタッチし続ける。
▶早戻しするとき
→⏮にタッチし続ける。
▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

音量調節バーで操作する

音量調節バー表示中（→212）

1 ⏭または⏮にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→⏭にタッチし続ける。
▶早戻しするとき
→⏮にタッチし続ける。
▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

操作画面で操作する

iPodビデオ 操作画面表示中（→302）

1 ▶▶または◀◀にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→▶▶にタッチし続ける。
▶早戻しするとき
→◀◀にタッチし続ける。
▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

》同じ曲（トラック）を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

iPodミュージック操作画面表示中
（→301）

1 RPT にタッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「RPT」が表示されます。
▶解除するとき
→再度 RPT にタッチ。

》アルバムの中からランダムに聞く

選択しているアルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

iPodミュージック操作画面表示中
（→301）

1 RAND にタッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「RAND」が表示されます。
▶解除するとき
→ RAND に2回タッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

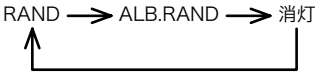
》全アルバムの中からランダムに聞く

全アルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

iPodミュージック操作画面表示中
（→301）

1 RAND に2回タッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「ALB. RAND」が表示されます。
▶解除するとき→再度 RAND にタッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。



iPodの設定を変更する

»カバーアート表示の設定を変更する

収録されている音楽ファイルにカバーアート（ジャケット写真）のデータが収録されている場合、カバーアートを表示するかしないかを選択できます。

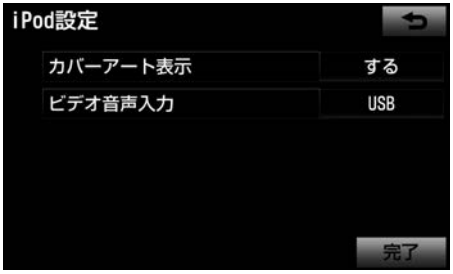
1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 オーディオ にタッチ。

4 iPod設定 にタッチ。

5 カバーアート表示 にタッチ。



6 する または しない にタッチ。

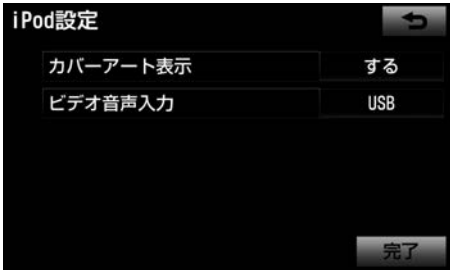
7 完了 にタッチ。

»ビデオ音声入力の設定を変更する

ビデオ音声入力の設定を変更することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ オーディオ ⇒ iPod設定 ⇒ iPod設定画面

1 ビデオ音声入力 にタッチ。



2 USB または VTR にタッチ。

3 完了 にタッチ。

»画質を調整する

iPodビデオ操作画面（→302）⇒ 各種切替 ⇒各種切替画面

1 画質調整 にタッチ。

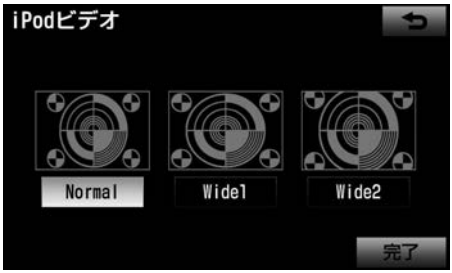
▶画質の調整については「画質を調整する」（→47）をご覧ください。

》画面モードを切り替える

iPodビデオ操作画面（→302）⇒
各種切替 ⇒各種切替画面

1 Wide にタッチ。

2 Normal 、 Wide1 または Wide2 にタッチ。



3 完了 にタッチ。

▶画面の表示については「画面モードについて」（→49）をご覧ください。

VTRを見る★

VTRの操作

販売店装着オプションのiPod対応USB/VTRアダプターで市販のVTR機器を接続すると、VTRの映像をご覧になれます。
接続・取りはずし方法の詳細は、iPod対応USB/VTRアダプターに同梱の取扱書を参照してください。
VTR機器を再生しているときに、画面外の AV にタッチ、または映像をご覧になっているときに画面にタッチすると、VTR操作画面が表示されます。

▶安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみVTRの映像をご覧になることができます。（走行中は音声のみ聞くことができます。）

▶ 全画面 または映像にタッチすると操作画面が解除されます。

★印はオプションです。

VTRを再生する

1 iPod対応USB/VTRアダプターにVTR機器の出力ケーブルを接続する。

▶VTR機器の接続・取りはずし方法の詳細は、iPod対応USB/VTRアダプターに同梱の取扱書を参照してください。

2 接続した機器の電源を入れる。

3 画面外の AV にタッチ。

4 VTR にタッチ。

知識

▶接続するVTR機器や再生するメディアによっては、映像が正しく表示されなかったり、音声が聞き取りにくくなったりする場合があります。

▶販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続している場合、走行中でも後席でビデオをご覧になることができます。

VTRモードを切り替える

2つのVTR機器を同時に接続しているときに映像を切り替えることができます。

VTR操作画面表示中（→309）

1 VTR1 または VTR2 にタッチ。

▶iPod対応USB/VTRアダプターに接続したVTR機器の映像を見るとき
→ VTR1 にタッチ。

▶販売店装着オプションのドライブレコーダーに保存された映像を見るとき
→ VTR2 にタッチ。

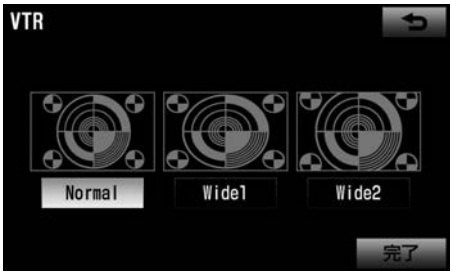
画面モードを切り替える

VTR操作画面表示中（→309）

1 各種切替 にタッチ。

2 Wide にタッチ。

3 Normal 、 Wide1 または Wide2 にタッチ。



4 設定が終わったら、 完了 にタッチ。

■画面の表示については「画面モードについて」（→49）をご覧ください。

画質を調整する

VTR操作画面表示中（→309）

1 各種切替 にタッチ。

2 画質調整 にタッチ。

■画質の調整については「画質を調整する」（→47）をご覧ください。

Bluetoothオーディオを聞く

Bluetoothオーディオについて

動作確認済のBluetoothポータブルオーディオプレーヤー※（以下「ポータブル機」）を車載機に接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。
本機に接続するポータブル機が対応していなければならない仕様については、「車載機で使用できるメディア／データについて」（→ **593**）をご覧ください。ただし、ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※携帯電話のオーディオプレーヤーを含む。
Bluetoothオーディオ対応のアダプターについては、動作確認を実施していません。
本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店または
http://toyota.jp/でご確認ください。

⚠警告

▶安全のため、運転者は運転中にポータブル機本体の操作をしないでください。

⚠注意

▶ポータブル機は車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
▶ポータブル機を車載機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。
▶車載機でBluetooth オーディオを使用しているときにポータブル機のデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。

知識

▶他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
▶Bluetooth 接続により、ポータブル機の電池が早く消耗します。

各種表示について

電池残量表示について

▶ポータブル機の電池残量の目安を表示します。

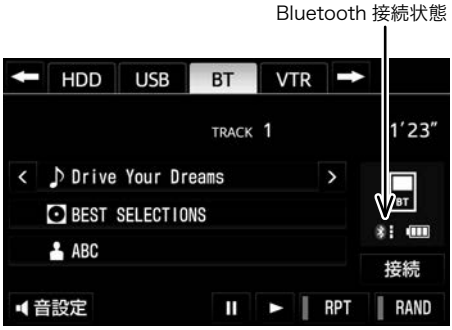
表示	
残量	無　少 ◀——▶ 多

知識

▶接続した機器によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
▶電池残量表示はポータブル機の表示と一致しないことがあります。
▶外部電源が接続されているときは残量表示は で表示されます。

》Bluetooth接続状態表示について

ポータブル機のBluetooth接続状態を表示します。



表示	接続状態
	Bluetooth接続の状態が良好であることを示しています。この状態でご使用ください。
	この状態では再生時に音質が劣化することがあります。点が3つ表示される位置まで、ポータブル機を移動してご使用ください。
	Bluetooth接続されていない状態を示しています。 この状態では使用できませんので、再度、ポータブル機の選択をご確認ください。(→**321**) ポータブル機の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。(→**317**)

知識

▶Bluetooth通信用のアンテナがディスプレイ内に内蔵されています。 次のような場所や状態でポータブル機を使用すると、Bluetooth接続状態表示の点の数が少なくなることや、Bluetooth接続ができないことがあります。
- ●ディスプレイから隠れる場所にあるとき（シートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
- ●金属製のものに接したり、覆われているとき

▶ポータブル機を使用するときは、点が3つ表示されるように、ポータブル機の場所を移動させてください。

▶ポータブル機を接続しても充電されません。

ハンズフリーと同時に使用するとき

知識

▶Bluetoothオーディオとハンズフリーで異なるBluetooth対応機器（携帯電話）を使用するときは、次のようになります。
- ●ポータブル機のBluetooth接続が切断されることがあります。
- ●ポータブル機の再生音声にノイズが発生することがあります。
- ●ポータブル機の動作が遅くなることがあります。

▶再生中にハンズフリーで使用する通信機器の選択を変更した場合、再生音声が途切れることがあります。

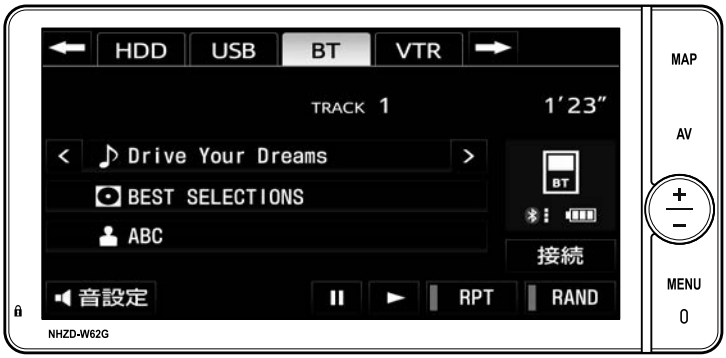
▶ハンズフリーの電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されます。
この場合、転送が終了すると再接続されます。(機種によっては、再接続できないことがあります。)

▶ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時に接続できない場合があります。

Bluetoothオーディオを操作する

ポータブル機を接続したときに、接続した機器を再生することができます。
Bluetoothオーディオを使用するためには、まず車載機にポータブル機を登録することが必要です。(→**317**)
Bluetoothオーディオモードを選択しているときに、画面外の AV にタッチすると、Bluetoothオーディオ操作画面が表示されます。

▶エンジンスイッチがACCまたはONのときに使用することができます。



知識

▶画面外のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

操作画面

接続した機器によっては、アーティスト名、アルバム名、トラック名、電池残量などの表示やアルバム名、トラック名の ＞ や ＜ などのスイッチが表示されない画面が表示されることがあります。

》Bluetoothオーディオを聞く

1 ポータブル機を登録する。（→317）

2 画面外の AV にタッチ。

3 BT にタッチ。

知 識

▶接続した機器によっては、次のような場合があります。
- ●車載機で操作できない。
- ●動作や音量が異なる。
- ●車載機とポータブル機で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
- ●再生を停止すると、接続が切断される。この場合、手動で接続してください。（→320）

▶接続状態によっては、車載機で操作できない場合があります。そのときは、接続状態表示が良好であることを確認してから再度操作してください。（→312）

》一時停止する

Bluetoothオーディオ操作画面表示中（→313）

1 ⏸ タッチ。

▶通常再生するとき→ ▶ にタッチ。

知 識

▶接続した機器によっては、一時停止時に ⏸ にタッチすることで、再生する場合があります。また、再生中に ▶ にタッチすることで、一時停止する場合があります。

》聞きたいアルバムを選ぶ

▶対応ポータブル機接続時

Bluetoothオーディオ操作画面表示中（→313）

1 アルバム名の ＞ または ＜ にタッチ。

▶うしろにあるとき
→アルバム名の ＞ にタッチ。

▶前にあるとき
→アルバム名の ＜ にタッチ。

知 識

▶接続した機器によっては機能に対応していないため、スイッチが表示されない場合があります。

»聞きたい曲（トラック）を選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

▶対応ポータブル機接続時

知識

▶画面外のスイッチが(±)のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。(→212)

1 画面外の⏭または⏮にタッチ。

▶うしろにあるとき
→⏭にタッチ。
▶前にあるとき
→⏮にタッチ。

音量調節バーで選ぶ

音量調節バー表示中（→212）

1 ⏩または⏪にタッチ。

▶うしろにあるとき
→⏩にタッチ。
▶前にあるとき
→⏪にタッチ。

トラックバーで選ぶ

トラックバー表示中（→212）

1 トラックバーにタッチまたはスライド。

操作画面で選ぶ

▶対応ポータブル機接続時

Bluetoothオーディオ操作画面表示中（→313）

1 曲名の＞または＜にタッチ。

▶うしろにあるとき
→トラック名の＞にタッチ。
▶前にあるとき
→トラック名の＜にタッチ。

知識

▶接続した機器によっては機能に対応していないため、スイッチが表示されない場合があります。

トラックリスト画面で選ぶ

▶対応ポータブル機接続時

Bluetoothオーディオ操作画面表示中（→313）

1 曲名にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。

アルバムリスト画面で選ぶ

▶対応ポータブル機接続時

Bluetoothオーディオ操作画面表示中（→313）

1 アルバム名にタッチ。

2 聞きたい曲が表示されるまでフォルダまたは曲にタッチ。

▶フォルダのリストには、■が表示されます。

3 聞きたい曲にタッチ。

知識

▶接続した機器によっては機能に対応していないため、スイッチが表示されない場合があります。

早送り、早戻しする

▶対応ポータブル機接続時

画面外のスイッチで操作する

知識

▶画面外のスイッチが＋－のときは、画面外のスイッチで直接操作できません。トラックバーに切り替えてから操作してください。（→212）

1 画面外の⏭または⏮にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→⏭にタッチし続ける。

▶早戻しするとき
→⏮にタッチし続ける。

▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

知識

▶接続した機器によっては、手を離したあとも早送り、早戻しが継続される場合があります。
この場合、再度画面外の⏭または⏮にタッチすることで、再生が再開されます。

音量調節バーで操作する

音量調節バー表示中 （→212）

1 ⏩または⏪にタッチし続ける。

▶早送りするとき
→⏩にタッチし続ける。

▶早戻しするとき
→⏪にタッチし続ける。

▶希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

知識

▶接続した機器によっては、手を離したあとも早送り、早戻しが継続される場合があります。
この場合、再度⏩または⏪にタッチすることで、再生が再開されます。

同じ曲（トラック）を繰り返し聞く

▶対応ポータブル機接続時

選択している曲を繰り返し再生することができます。

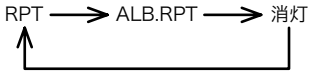
Bluetoothオーディオ操作画面表示中 （→313）

1 RPTにタッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「RPT」が表示されます。

▶解除するとき→RPTに2回タッチ。

▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。



同じアルバムを繰り返し聞く

▶対応ポータブル機接続時

選択しているアルバムを繰り返し再生することができます。

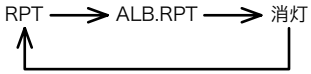
Bluetoothオーディオ操作画面表示中 （→313）

1 RPTに2回タッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「ALB.RPT」が表示されます。

▶解除するとき
→再度RPTにタッチ。

▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。



»アルバムの中からランダムに聞く

▶対応ポータブル機接続時
選択しているアルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

Bluetoothオーディオ操作画面表示中（→313）

1 RAND にタッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「RAND」が表示されます。
▶解除するとき→ RAND に2回タッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RAND → ALB.RAND → 消灯

»全アルバムの中からランダムに聞く

▶対応ポータブル機接続時
全アルバムの中からランダム（無作為）に選択し再生することができます。

Bluetoothオーディオ操作画面表示中（→313）

1 RAND に2回タッチ。

▶スイッチの作動表示灯が点灯し、「ALB. RAND」が表示されます。
▶解除するとき
→再度 RAND にタッチ。
▶タッチするごとに、以下の順に表示が切り替わります。

RAND → ALB.RAND → 消灯

Bluetoothオーディオの設定を変更する

»ポータブル機を登録する

Bluetoothオーディオを使用するためには、まず車載機にポータブル機を登録することが必要です。
次のいずれかの方法で登録することができます。
▶操作画面からの登録
▶設定画面からの登録

操作画面で登録する

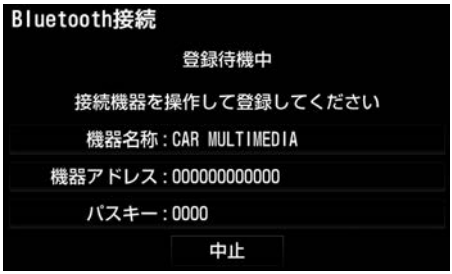
Bluetoothオーディオ操作画面表示中（→313）

1 接続 にタッチ。

▶すでに他のポータブル機が登録されているときは、ポータブル機接続画面が表示されます。 新規登録 にタッチすると、手順 3 の画面が表示されます。

2 はい にタッチ。

3 ポータブル機を登録する。



▶他のポータブル機がBluetooth接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよろしければ、「はい」にタッチします。
▶すでに5 台登録されているときは、いずれかの登録を削除してから登録してください。

▶ポータブル機側の登録操作は、必ずこのBluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。
▶中止するとき
→ 中止 にタッチ。

4 登録が完了したとき
→メッセージが表示され、ポータブル機の登録が完了する。

▶使用するポータブル機を追加する場合は、同様に登録します。

設定画面で登録する

1 画面外の MENU にタッチ。

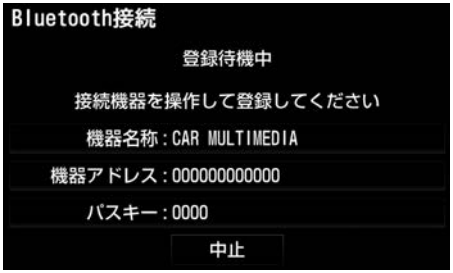
2 設定 にタッチ。

3 Bluetooth にタッチ。

4 機器登録 にタッチ。

5 新規登録 にタッチ。

6 ポータブル機を登録する。



▶他のポータブル機がBluetooth接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。
切断してよければ、 はい にタッチします。
▶すでに5台登録されているときは、いずれかの登録を削除してから登録してください。
▶ポータブル機側の登録操作は、必ずこのBluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。
▶中止するとき
→ 中止 にタッチ。

7 メッセージが表示され、ポータブル機の登録が完了する。

▶使用するポータブル機を追加する場合は、同様に登録します。

知識

▶ポータブル機によっては、パスキーの入力が必要になります。
▶パスキーとは、ポータブル機を車載機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。(→**324**)
▶登録操作と接続操作が分かれているポータブル機の場合、パスキー入力後にポータブル機からの接続操作が必要になる場合があります。
▶ポータブル機は、車載機に最大5台まで登録することができます。
▶ポータブル機側の操作については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

ポータブル機でパスキー入力できないとき

▶操作スイッチがないなど、パスキーを入力することのできないポータブル機の場合は、あらかじめ車載機のパスキーをポータブル機のパスキーに変更し1～4の操作を行ってください。
▶パスキーの変更について
→「車載機のBluetooth設定を変更する」（→**324**）

知識

▶ポータブル機のパスキーについては、ポータブル機に添付の取扱説明書をご確認ください。
▶一番新しく登録したポータブル機が車載機で使用するポータブル機として選択されます。
▶パスキーとは、ポータブル機を車載機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。（→**324**）
▶登録操作と接続操作が分かれているポータブル機の場合、パスキー入力後にポータブル機からの接続操作が必要になる場合があります。

接続失敗画面が表示されたとき

「接続ができませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。

»ポータブル機を接続する

ポータブル機の車載機への接続は、自動と手動の2通りの方法があります。

知識

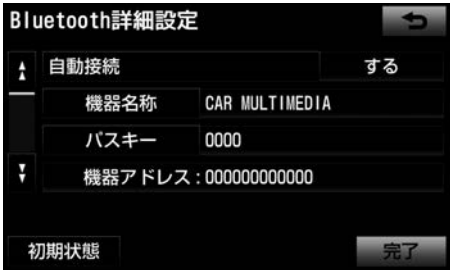
▶ポータブル機側の操作については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

自動で接続する

エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCまたはONにするたびに、車載機は登録（選択）したポータブル機と自動的にBluetooth接続します。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒ Bluetooth詳細設定 ⇒ Bluetooth詳細設定画面

1 自動接続 にタッチし、 する にタッチ。



▶解除するとき→ しない にタッチ。
▶Bluetooth接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示させることができます。（→**321**）
使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth 接続確認案内

▶通常は自動接続「する」の状態で使用してください。
▶ポータブル機はBluetooth接続可能な状態にしておいてください。

知 識

▶Bluetooth接続状態表示でも確認できます。（→**312**）

▶「接続方法を変更する」（→**324**）で「ポータブル機から接続」に設定している場合は、自動Bluetooth接続の設定はできません。

▶接続完了の表示は、エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCまたはONにした後、初めてBluetooth接続完了したときに1回のみ表示されます。

▶ポータブル機の機種によっては、次のような場合があります。

- 自動接続しない。
  この場合､手動で接続してください。（→**320**）
- エンジンスイッチがACCまたはONのときに表示部の照明がついたままになる。 この場合、ポータブル機本体で照明をOFFに設定してください。
  （設定については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。）
- 「外部からの接続」､「ポータブル機からの接続」などの切り替え設定がある場合があります。ポータブル機の設定をご確認ください。

■自動接続できなかった場合

■自動接続を開始して約35秒経過した時点で接続完了していない場合「携帯電話が接続できませんでした。携帯電話を忘れていませんか？」というメッセージが表示され、AKB48 Team 8 の音声案内が流れます。（→**4**）

■自動接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→**320**）

手動で接続する

自動接続が失敗したときや自動接続OFF状態にしているときにBluetooth接続するときは、手動でBluetooth接続操作をします。

Bluetoothオーディオ操作画面表示中（→**313**）

1 ポータブル機をBluetooth接続可能な状態にする。

2 接続 にタッチ。

3 接続したいポータブル機を選択しタッチ。

▶Bluetooth接続状態表示を確認します。良好な状態であれば使用できます。

知 識

▶ポータブル機の状態によっては、一度で接続できないことがあります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

Bluetooth接続確認を表示する

Bluetooth接続されると、接続完了の表示を画面上部に表示することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒ Bluetooth詳細設定 ⇒ Bluetooth詳細設定画面

1 ポータブル機の接続確認表示 にタッチ。

2 する にタッチ。

▶解除するとき
→ しない にタッチ。

3 完了 にタッチ。

ポータブル機から接続するとき

▶ポータブル機側からBluetooth接続をするように設定しているとき（→**324**）は、ポータブル機を操作して接続します。

▶ポータブル機側の接続操作は、必ずこのBluetoothオーディオ接続中画面を表示させて行ってください。

▶中止するとき
→ 中止 にタッチ。

Bluetooth接続の再接続について

エンジンスイッチがACCまたはONのときに、一度接続が成立したBluetooth接続がBluetoothネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。

■再接続処理は一定時間行われます。その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→**320**）ポータブル機の機種によっては、自動的に再接続しない場合があります。

■Bluetooth接続が意図的に切断された場合

ポータブル機側からBluetooth接続をOFFにするなど、一度接続が成立したBluetooth接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

▶再接続は次のいずれかの方法で行ってください。
- 手動で接続する（→**320**）
- 改めてポータブル機を選択する（→**321**）

》使用するポータブル機を選択する

一番新しく登録したポータブル機が車載機で使用する機器として選択されます。
複数のポータブル機を使用するときは、必要に応じて機器を選択します。

▶ポータブル機の登録について
→「ポータブル機を登録する」（→**317**）

操作画面で選択する

Bluetoothオーディオ操作画面表示中（→**313**）

1 接続にタッチ。

2 ポータブル機をBluetooth接続可能状態にする。

3 使用するポータブル機を選択する。

▶選択中のポータブル機は、作動表示灯が点灯します。
▶Bluetooth接続中のポータブル機は、Bluetoothマークが表示されます。
▶Bluetooth 接続中のポータブル機がある場合は、確認のメッセージが表示されます。
切断してよければ、はいにタッチします。

設定画面で選択する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒設定画面

1 ポータブル機接続にタッチ。

2 「操作画面で選択する」（→**322**）の 2 以降の操作を行う。

知識

▶ポータブル機は車載機に最大5台まで登録することができますが、車載機で使用できるのはポータブル機選択で選択されたポータブル機のみです。
▶ポータブル機側からBluetooth接続をするように設定しているとき（→**324**）は、ポータブル機を操作して接続します。（→**321**）

»ポータブル機の詳細情報を表示する

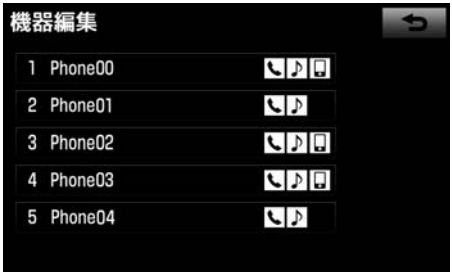
車載機に登録されているポータブル機に関する情報の表示と機器名称や、車載機との接続方法を変更することができます。

▶情報は、次の項目が表示されます。

項目	内容
機器名称	車載機に表示されるポータブル機の名称です。任意の名称に変更することができます。
機器アドレス	機器固有のアドレスで、変更することはできません。
対応プロファイル	ポータブル機が対応しているプロファイルで、変更することはできません。
接続方法	ポータブル機と車載機との接続方法で、「車載機から接続」と「ポータブル機から接続」を切り替えることができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒ 機器登録 ⇒ 編集 ⇒ 機器編集画面

1 詳細情報を表示したいポータブル機を選択しタッチ。



2 各項目を確認する。

▶この画面で、次の変更を行うことができます。

項目	ページ
機器名称の変更	323
接続方法の変更	324

3 確認および変更が終わったら、完了にタッチ。

ポータブル機の名称を変更する

車載機に表示されるポータブル機の名称を、任意の名称に変更することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒ 機器登録 ⇒ 編集 ⇒ 名称を変更したいポータブル機器名称 ⇒詳細情報画面

1 機器名称にタッチ。

2 名称を入力する。

▶ソフトウェアキーボードで入力します。

3 完了にタッチ。

知識

▶車載機で機器名称を変更しても、ポータブル機に登録されている機器名称は変更されません。

接続方法を変更する

車載機にポータブル機を接続するときの方法を選択することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒ 機器登録 ⇒ 編集 ⇒ 接続方法を変更したいポータブル機器 ⇒ 詳細情報画面

1 接続方法 にタッチ。

2 車載機から または ポータブル機から にタッチ。

3 完了 にタッチ。

知識

▶「車載機から」か「ポータブル機から」のどちらで接続すればいいかは、接続するポータブル機により異なります。接続方法についてはポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

▶接続方法を「ポータブル機から」に設定した場合、「自動で接続する」（→319）で「する」にしていても自動接続は行いません。

車載機のBluetooth設定を変更する

Bluetooth設定は、車載機に関するBluetooth設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

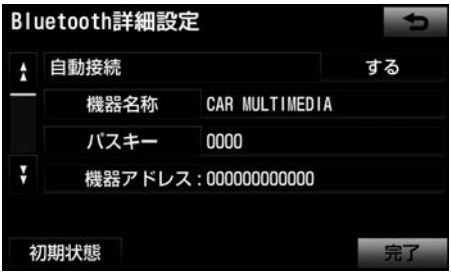
▶情報は、次の項目が表示されます。

項目	内容
機器名称	Bluetoothネットワーク内での車載機の名称です。任意の名称に変更することができます。
パスキー	ポータブル機を車載機に登録する際のパスワードです。4～8桁の任意の数字に変更することができます。
機器アドレス	車載機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。 機器名称やパスキーを他のBluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での車載機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。
対応プロファイル	車載機が対応しているプロファイルで、変更することはできません。

車載機の機器名称またはパスキーを変更する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒ Bluetooth詳細設定 ⇒ Bluetooth詳細設定画面

1 機器名称 または パスキー にタッチ。



▶この画面でBluetooth設定情報が確認できます。

2 各項目を変更する。

▶機器名称
ソフトウェアキーボードで入力する。
▶パスキー
4～8桁の範囲で任意の数字を入力し、
完了 にタッチ。
▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。

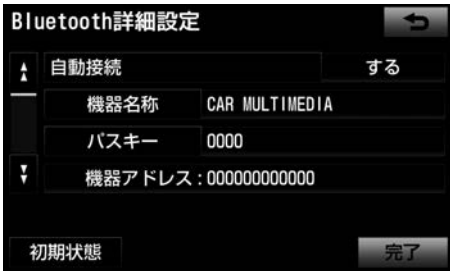
3 設定が終わったら、 完了 にタッチ。

Bluetooth設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
Bluetooth ⇒ Bluetooth詳細設定 ⇒
Bluetooth詳細設定画面

1 初期状態 にタッチ。



2 はい にタッチ。

»ポータブル機の登録を削除する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
Bluetooth ⇒ 機器登録 ⇒
機器登録画面

1 削除 にタッチ。

2 削除するポータブル機を選択し、
削除 にタッチ。

3 はい にタッチ。

▶削除するポータブル機がBluetooth接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、
はい にタッチします。

後席ディスプレイを操作する★

リモコンでの操作

》後席ディスプレイについて

販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続している場合、車載機の映像を後部座席でも楽しむことができます。
後席ディスプレイは、走行中、停車中に関わらず映像をご覧になることができます。
後席ディスプレイに付属のリモコンで映像の切り替えやオーディオの操作をすることができます。詳しい説明や、後席ディスプレイ本体の取り扱いについては後席ディスプレイ取扱書をご覧ください。

■後席ディスプレイに表示される画面
車載機に次の画面が表示されている場合、後席ディスプレイにも同じ画面が表示されます。

- ▶デジタルテレビ
- ▶DVD
- ▶VTR
- ▶iPod Video

その他のオーディオの画面が表示されている場合、黒い画面が表示されます。

⚠警告

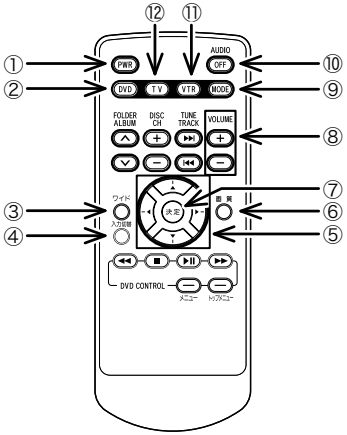
- ▶事故防止のため、リモコンの電池および絶縁シートは幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

- ▶リモコンを落としたり、衝撃をあたえないでください。
- ▶リモコンの上に重いものをのせたり、すわったりしないでください。
- ▶リモコンを分解しないでください。
- ▶リモコンの電池を交換する場合、＋極と－極を必ず正しい向きにして取り付けてください。

★印はオプションです。

オーディオ共通の操作をする

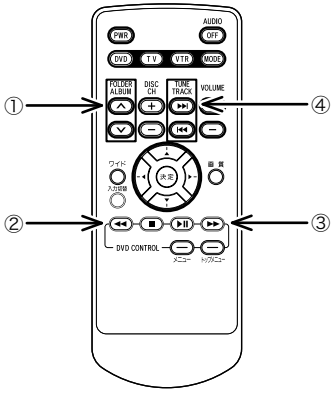


スイッチ	機　能
①電源スイッチ	押すごとに、後席ディスプレイの電源のON/OFFが切り替わります。
	1秒以上押し続けると、車両のエンジンスイッチをACC、またはONにしたときの後席ディスプレイ作動を設定することができます。1秒以上押し続けるごとに、OFF START※1とLAST　START※2が切り替わります。
②ディスクモード切り替えスイッチ	押すと、DVDプレーヤーに切り替わります。
③ワイドモード切り替えスイッチ	押すごとに、後席ディスプレイのワイドモードが、ノーマル、ワイド1、ワイド2、ワイド3の順に切り替わります。※3
	1秒以上押し続けるごとに、後席ディスプレイの背面にあるインジケータ表示のON/OFFが切り替わります。※4
④入力切り替えスイッチ※4	押すごとに、後席ディスプレイの画面モードの入力1/入力2が切り替わります。
⑤項目選択スイッチ	後席ディスプレイの画質調整画面で押すと、明るさやコントラストなどの調整項目が切り替わります。
⑥画質調整スイッチ	オーディオがDVDやデジタルテレビ、VTRの場合、または後席ディスプレイの画面モードが入力2※4の場合、押すと、後席ディスプレイの画質調整画面に切り替わります。
	1秒以上押すごとに、オートディマー機能のON/OFFが切り替わります。※5
⑦項目決定スイッチ	後席ディスプレイの画質調整画面で押すと、調整内容が決定されます。
	後席ディスプレイのワイドモードを切り替えた場合、押すと、選択したモードに決定されます。
⑧音量スイッチ	押すごとに、1ステップずつ音量が変わります。押し続けると音量が連続して変わります。
	後席ディスプレイの画面モードが入力2の場合、後席ディスプレイの音量が変わります。このとき、オーディオの音量は変わりません。※4

スイッチ	機　能
⑨オーディオモード切り替えスイッチ	スイッチを押すごとに、次の順に切り替わります。 ＦＭ→（Apps）→（DVDプレーヤー）→（HDDオーディオ）→（iPod/USB）→（Bluetoothオーディオ）→（VTR）→（デジタルテレビ）→（SDオーディオ）→AM→FM※6
	ラジオ、デジタルテレビ、VTRでは、１秒以上押し続けると、ミュートします。 再度、１秒以上押し続けると、ミュートが解除されます。 ラジオ、デジタルテレビ、VTR以外では、再生中に１秒以上押し続けると、一時停止します。 再度、１秒以上押し続けると、再生されます。
⑩オーディオOFFスイッチ	押すと、オーディオの電源がOFFになります。
⑪VTR切り替えスイッチ	押すと、VTRに切り替わります。※7
⑫TV切り替えスイッチ	押すと、デジタルテレビに切り替わります。

※1　電源OFFの状態
※2　車両のエンジンスイッチをOFF（LOCK）にする直前の状態
※3　オーディオがDVD、またはVTRの場合のみ
※4　８型後席ディスプレイのみ
※5　９型後席ディスプレイのみ
※6　再生、または視聴できない場合は切り替わりません。
※7　VTR1とVTR2との切り替えはできません。

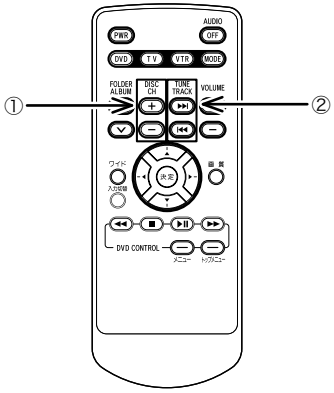
》再生中の曲を操作する



スイッチ	機　能
①※フォルダ/アルバム切り替えスイッチ（上側）	押すと、次のフォルダ/アルバムに切り替わり、フォルダ/アルバム内の先頭の曲から再生されます。
①※フォルダ/アルバム切り替えスイッチ（下側）	押すと、前のフォルダ/アルバムに切り替わり、フォルダ/アルバム内の先頭の曲から再生されます。
②早戻しスイッチ	押し続けている間、曲が早戻しされます。
③早送りスイッチ	押し続けている間、曲が早送りされます。
④選曲スイッチ（上側）	押すと、次の曲に切り替わります。 1秒以上押し続けると、押し続けている間、曲が早送りされます。
④選曲スイッチ（下側）	押すと、曲の頭出し、連続で押すと、前の曲に切り替わります。 1秒以上押し続けると、押し続けている間、曲が早戻しされます。

※MP3/WMA 、HDD オーディオ 、iPodミュージック、USB メモリ 、Bluetoothオーディオ、SDメモリーカード を再生している場合のみ

≫ラジオ・デジタルテレビを操作する



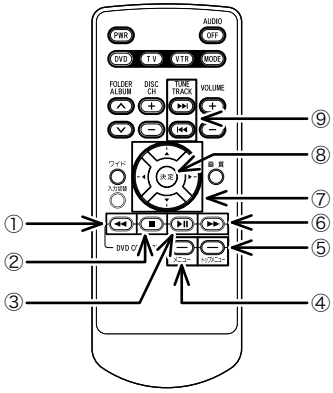
スイッチ	機　能
①放送局/チャンネル切り替えスイッチ	押すと、プリセットスイッチに記憶されている放送局やチャンネルを順に呼び出します。
②周波数切り替えスイッチ※1	押すごとに、1ステップずつ周波数が切り替わります。 1秒以上押し続けると、自動選局を開始します。
②チャンネル切り替えスイッチ※2	押すと、プリセットスイッチに記憶されているチャンネルを順に呼び出します。

※1　ラジオの場合
※2　デジタルテレビをご覧の場合

知 識

▶放送局やチャンネルを切り替える場合、あらかじめプリセットスイッチに記憶します。その場合、本体側で操作します。(→**221**、**291**)
▶ラジオの放送局を自動受信する場合、受信電波の弱い地域では、自動的に選局できないことがあります。

DVDプレーヤーを操作する

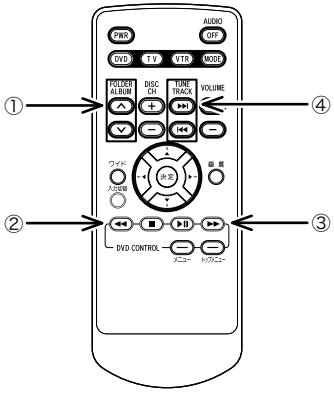


スイッチ	機　能
①早戻しスイッチ	押し続けている間、映像が早戻しされます。
②停止スイッチ	押すと、映像が停止します。
③一時停止/再生スイッチ	再生中に押すと、映像が一時停止します。 一時停止中に押すと、映像が再生されます。
④メニュースイッチ	押すと、DVDメニューが表示されます。
⑤トップメニュースイッチ	押すと、DVDトップメニューが表示されます。
⑥早送りスイッチ	押し続けている間、映像が早送りされます。
⑦項目選択スイッチ	押すと、DVDメニューやDVDトップメニューで項目が選択されます。
⑧項目決定スイッチ	押すと、DVDメニューやDVDトップメニューで選択した項目が決定されます。
⑨チャプター切り替えスイッチ（上側）	押すと、次のチャプターに切り替わります。 1秒以上押し続けると、押し続けている間、映像が早送りされます。
⑨チャプター切り替えスイッチ（下側）	押すと、チャプターの頭出し、連続で押すと前のチャプターに切り替わります。 1秒以上押し続けると、押し続けている間、映像が早戻しされます。

知識

▶自動再生されないディスクや、記録されているメニュー項目を操作しないと再生されないディスクがあります。
▶ディスク内容に従って再生されるため、操作したとおりに機能しないことがあります。

》iPodの映像を操作する



スイッチ	機　能
①フォルダ切り替えスイッチ（上側）	押すと、次のフォルダに切り替わり、フォルダ内の先頭の映像から再生されます。
①フォルダ切り替えスイッチ（下側）	押すと、前のフォルダに切り替わり、フォルダ内の先頭の映像から再生されます。
②早戻しスイッチ	押し続けている間、映像が早戻しされます。
③早送りスイッチ	押し続けている間、映像が早送りされます。
④ファイル切り替えスイッチ（上側）	押すと、次の映像に切り替わります。 1秒以上押し続けると、押し続けている間、映像が早送りされます。
④ファイル切り替えスイッチ（下側）	押すと、映像の頭出し、連続で押すと、前の映像に切り替わります。 1秒以上押し続けると、押し続けている間、映像が早戻しされます。

スマートフォン連携機能

01. スマートフォン／ナビ連携機能 334

スマートフォン／ナビ連携機能を利用する 334
- スマートフォンを登録・接続する 334
- スマートフォン連携を利用する 336
- 使用するスマートフォンを選択する 336
- 自動スマートフォン接続を設定する 337

02. smart G-BOOK ARPEGGiOを利用する 339

smart G-BOOK ARPEGGiOアプリを起動する 339

smart G-BOOK ARPEGGiOの操作について 340
- コンテンツを操作する 340
- smart G-BOOK ARPEGGiOで音楽を聞く 340

03. NaviConアプリを利用する 341

NaviConアプリを起動する 341

NaviConアプリの操作について 342

04. 動物メータアプリを利用する 343

動物メータアプリを起動する 343

動物メータアプリの表示 344

05. オーディオリモコンアプリを利用する 345

オーディオリモコンアプリを起動する 345

オーディオリモコンアプリの操作について 346

01 スマートフォン／ナビ連携機能

スマートフォン／ナビ連携機能を利用する

スマートフォンと本機を無線（Bluetooth）で接続して、専用のアプリケーションを使用することによって、地図の操作（スクロール、または縮尺の変更）や、スマートフォンの地図上で目的地の設定をすることができます。

本機能を使用するためには、専用アプリ（NaviCon等）をスマートフォンにダウンロードする必要があります。スマートフォンの設定や利用方法については、各アプリのサポートサイトのヘルプをご覧ください。また、スマートフォンアプリ単体に関するお問い合わせは、各アプリ内のお問い合わせフォームからお尋ねください。

車載機に接続するスマートフォンが対応していなければならない仕様については、「車載機で使用できるメディア／データについて」（→**593**）をご覧ください。

本機で動作確認済み機種については、お買い上げの販売店またはhttp://toyota.jp/でご確認ください。

⚠警告

▶安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

⚠注意

▶スマートフォンは車室内に放置しないでください（炎天下など、車室内が高温となる場合があります）。

▶スマートフォンを本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、接続状態が悪化することがあります。

▶Bluetooth通信が接続できないときは利用できません。

知識

▶スマートフォン/ナビ連携機能を使用するためには、スマートフォンを本機に登録する必要があります（→**334**）。

▶スマートフォン/ナビ連携機能を利用するためには、設定画面（→**336**）で「スマートフォン連携」を有効（オン）にしておく必要があります。

▶G-BOOKを利用する時は、「スマートフォン連携」を無効（オフ）にする必要があります。G-BOOK利用後に本機能を利用するためには、再度「スマートフォン連携」を有効にする必要があります。

▶iPod対応USB/VTRアダプターに接続してオーディオ・ビデオ再生中のiPhoneでスマートフォン連携機能を使用した場合、動作が不安定になる可能性があります。

▶一部機能については走行中の操作はできません。

»スマートフォンを登録・接続する

スマートフォン連携を利用するには、まず次の手順で本機に登録する必要があります。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒設定画面

1 機器登録 にタッチ。

2 **新規登録** にタッチ。

3 接続が完了したとき、メッセージが表示される。

→ **はい** にタッチすると、スマートフォン連携が利用できる状態になる。

▶スマートフォンを登録する際は、スマートフォンをBluetooth待ち受け状態にしてください。

▶スマートフォン連携接続機器が正しく登録され、スマートフォンの連携アプリが起動しているときは、**スマートフォン連携** 作動表示灯が点灯し、状態表示欄が **接続中** と表示されています。またスマートフォン上の連携アプリ画面にもオンライン等の表示がされています。

▶Android機種でスマートフォンアプリが立ち上がっていない場合、**接続待機中** と表示されます。スマートフォンアプリを起動し接続が完了すると、状態表示欄が **接続中** に変わります。

知識

▶スマートフォン側の操作については、スマートフォンの機種によって設定方法が異なりますので、スマートフォンに添付の取扱説明書をご覧ください。一例を示すと、

1）スマートフォン上の「設定」メニューから「Bluetooth設定」をオンに切り替えます。

2）Bluetoothで接続できる機器の一覧が表示されるので、本機（初期状態ではCAR MULTIMEDIAという名称）を選択します。

3）選択した機器が「接続されました」と表示されればスマートフォンの登録ができた状態になります。

▶スマートフォン連携が繋がらない（接続中、オンラインにならない）場合は、以下を確認してください。

●機器登録リスト画面でスマートフォン連携接続アイコンが表示されていない場合

・登録の際にスマートフォン連携の登録を行わなかった場合、機器リストにスマートフォン連携接続アイコンが表示されません。この状態でスマートフォン連携を使用するためには、再度Bluetooth機器登録を行ってください。

・機器リストにスマートフォン連携接続アイコンが表示されていない場合、その端末がスマートフォン連携に対応していない可能性があります。対応機種であってもアイコンが表示されない場合には、しばらく時間をおいて再度登録をし直してください。

●機器登録リスト画面でスマートフォン連携接続アイコンが表示されている場合、スマートフォン連携作動表示灯が点灯しているか確認してください。

・点灯していない場合は、**スマートフォン連携** にタッチして有効状態にしてください。

・点灯している場合は、**スマートフォン連携** にタッチして一旦無効状態にし、再度タッチして有効状態にしてください。

●スマートフォンの電源を入れ直してください。（電源のON/OFFについてはスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。）

»スマートフォン連携を利用する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒設定画面

▶スマートフォン連携作動表示灯が点灯している状態で利用できます。

▶スマートフォン連携が利用可能なときは、タッチスイッチの作動表示灯が点灯し、「接続中」と表示されます。スマートフォンを登録すると自動的に「有効」状態となりますが、手動で無効にしたり，G-BOOKと通信した後などは手動で「有効」状態に切り替える必要があります。 スマートフォン連携 にタッチするたびに、有効／無効状態を切り替えることができます。

▶「スマートフォン連携」を有効にすると、「スマートフォン連携を有効にしている間はsmart G-BOOK ARPEGGiO以外のG-BOOKサービスを利用できません。スマートフォン連携を有効にしますか？」というメッセージが表示されます。 はい にタッチするとスマートフォン連携が利用できます。この場合、ヘルプネットおよびsmart G-BOOK ARPEGGiO以外のG-BOOKの機能は利用できなくなります。

»使用するスマートフォンを選択する

スマートフォンの登録をすると、一番新しく登録したスマートフォンが本機で使用するスマートフォンとして選択されます。複数のスマートフォンを使用するときは、必要に応じてスマートフォンを選択します。

■スマートフォンの登録について
→「スマートフォンを登録・接続する」（→**334**）

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒設定画面

1 スマートフォン連携接続 にタッチ

2 使用するスマートフォンにタッチ

▶選択中のスマートフォンは、作動表示灯が点灯します。

▶Bluetooth接続中のスマートフォンは、Bluetoothマークが表示されます。

▶他のBluetooth機器が接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ はい にタッチします。

▶接続完了のメッセージが表示されたら、スマートフォン連携が使用できます。

Bluetoothの再接続について

エンジンスイッチがACCまたはONのときに、一度接続が成立したBluetooth接続がBluetoothネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。

▶再接続処理は一定時間行われます。その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→**338**)
スマートフォンの機種によっては、自動的に再接続しない場合があります。

■Bluetooth接続が意図的に切断された場合

スマートフォン側からBluetooth接続をOFFにするなど、一度接続が成立したBluetooth接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

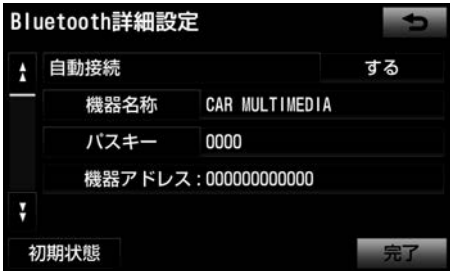
▶再接続は次のいずれかの方法で行ってください。
- 手動で接続する（→**338**）
- 改めてスマートフォンを選択する（→**336**）

》自動スマートフォン接続を設定する

エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCまたはONにするたびに、選択したスマートフォンと自動でBluetooth接続します。

画面外の MENU ⇒ 設定
⇒ Bluetooth ⇒ Bluetooth詳細設定
⇒Bluetooth詳細設定画面

1 自動接続の する にタッチ。



▶解除するとき
→ しない にタッチ。

▶通常は自動接続「する」の状態で使用してください。

▶Bluetooth接続されると、接続完了の表示を画面上部に表示させることができます。(→**472**)

知識

▶接続完了の表示は、エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCまたはONにした後、初めてスマートフォンをBluetooth接続完了したときに1回のみ表示されます。(ヘルプネット動作後に再接続した場合は表示されません。)

■自動接続できなかった場合

自動接続できなかった場合は、手動で接続します。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒設定画面

1 スマートフォン連携接続 にタッチ。

2 使用するスマートフォンにタッチ。

3 Bluetooth接続画面が表示される案内に従ってスマートフォン本体を操作する。

4 接続が完了したとき、メッセージが表示される。

smart G-BOOK ARPEGGiOを利用する

smart G-BOOK ARPEGGiOは、スマートフォン上のコンテンツをナビに表示させ、ナビから操作することができるサービスです。
smart G-BOOK ARPEGGiOのサービスを利用するには、事前にスマートフォン用smart G-BOOK ARPEGGiOアプリをダウンロードする必要があります。

知識

- ▶専用アプリ（smart G-BOOK ARPEGGiO）起動時の操作方法は、smart G-BOOK ARPEGGiOアプリ内のヘルプ、サポートサイトのヘルプをご覧ください。
- ▶本アプリは、（株）デンソーが提供します。

smart G-BOOK ARPEGGiOアプリは、アプリストア（App StoreまたはGoogle Play）またはサポートサイトからダウンロードできます。
http://www.denso.co.jp/ja/products/aftermarket/info/download/12navi.html

smart G-BOOK ARPEGGiOのサポートサイト
http://www.d-arpeggio.com/gbook/pc/

smart G-BOOK ARPEGGiOアプリを起動する

⚠警告

- ▶安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

ご利用方法の詳細はこちら（→**574**）

1 スマートフォンでsmart G-BOOK ARPEGGiOアプリを起動する。

（画面は予告なく変更する場合があります。）

2 画面外の MENU にタッチ。

3 Apps にタッチ。

▶smart G-BOOK ARPEGGiO画面が表示されます。

(画面は予告なく変更する場合があります。)

▶接続が完了すると、スマートフォン画面は接続中画面に切り替わります。

▶接続に失敗したときは、メッセージが表示されます。画面の案内に従ってやり直してください。

smart G-BOOK ARPEGGiOの操作について

》コンテンツを操作する

画面外の MENU ⇒ Apps
⇒smart G-BOOK ARPEGGiO画面

1 使用するコンテンツにタッチ。

知識

▶smart G-BOOK ARPEGGiOの詳細については、「11章 smart G-BOOK ARPEGGiO」をご覧ください。(→**570**)

▶コンテンツの操作については、各コンテンツ内のヘルプ、サポートサイトのヘルプをご覧ください。

》smart G-BOOK ARPEGGiOで音楽を聞く

smart G-BOOK ARPEGGiOの音楽を聞いているときに、画面外の AV にタッチすると、操作画面が表示されます。

1 画面外の AV にタッチ。

2 Apps にタッチ。

▶Apps画面が表示され、音楽を聞くことができます。

NaviConアプリを利用する

NaviConアプリを起動する

⚠警告

▶安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

1 iPhone／Android携帯を操作して、専用アプリ（NaviCon）を起動する。

※本画像はiPhone携帯です。

▶NaviConアプリが起動し、本機との接続が完了すると、接続インジケータが「オンライン」と表示されるとともに、スマートフォンと本機の画面上に同じ位置の地図が表示されます。（ナビ画面の状態によっては、ナビ画面に地図表示がされない場合があります。）

▶Android版アプリをご利用の場合は、アプリ起動後に接続先の選択が必要になる場合があります。詳細はアプリのヘルプをご覧ください。

知識

▶専用アプリ（NaviCon）起動時の操作方法は、NaviConアプリ内のヘルプ、サポートサイトのヘルプをご覧ください。

▶本アプリは、（株）デンソーが提供します。

▶NaviCon®は、株式会社デンソーの登録商標です。

NaviConアプリは以下からダウンロードできます。

▶iOS版：AppStore
https://itunes.apple.com/jp/app/navicon-odekakesapoto/id368186022?mt=8

▶Android版：GooglePlay
https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.denso.navicon.view

NaviConのサポートサイト
http://navicon.com/

NaviConアプリの操作について

⚠警告

▶安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

⚠注意

▶車両走行中にはアプリの操作が制限されます。

スマートフォンを操作することによって、本機の下記操作を行うことができます。

▶地図のスクロール
▶地図の縮尺変更
▶目的地の設定
▶外部連携アプリからの連携操作
（グルメ検索アプリなどで選んだお店位置をNaviCon経由で本機に設定できます。）

スマートフォンの操作と同期して、本機も操作されます。

知識

▶ナビ画面の状態によってはNaviConアプリの操作と連携して動作しない場合があります。（地図表示中でない場合など）
▶スマートフォンの地図操作やアプリの操作については、NaviConアプリ内のヘルプ、サポートサイトのヘルプをご覧ください。

動物メータアプリを利用する

動物メータアプリを起動する

⚠警告

▶安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

1 iPhone／Android携帯を操作して、専用アプリ（動物メータ）を起動する。

▶動物メータアプリが起動し、本機との接続が完了すると、接続インジケータが「オンライン」と表示されるとともに、スマートフォン画面上に動物画像が表示されます。

▶Android版アプリをご利用の場合は、アプリ起動後に接続先の選択が必要になる場合があります。詳細はアプリのヘルプをご覧ください。

知識

▶専用アプリ（動物メータ）起動時の操作方法は、動物メータアプリ内のヘルプ、サポートサイトのヘルプをご覧ください。

▶本アプリは、（株）デンソーが提供します。

動物メータアプリは以下からダウンロードできます。
http://www.denso.co.jp/ja/products/aftermarket/info/download/12navi.html

動物メータのサポートサイト
http://www.denso.co.jp/ja/products/aftermarket/info/animalmeter/index.html

動物メータアプリの表示

⚠警告

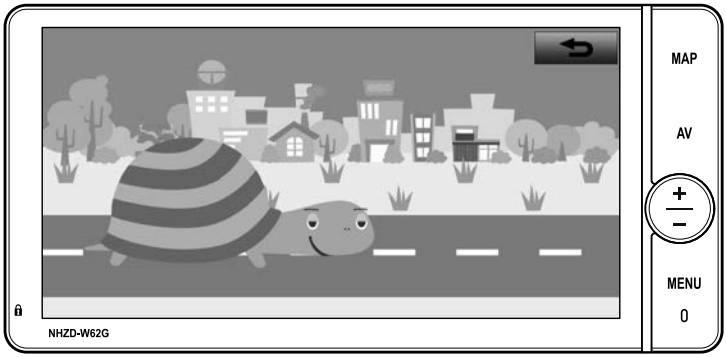
▶安全のため、運転者は走行中に極力画面を見ないようにしてください。

⚠注意

▶速度表示はおおよその値です。車両メーターの表示とずれが生じる場合があります。

動物メータアプリは、起動して本機と接続すれば自動的に車速に応じた動物が表示されます。（操作は必要ありません。）

本機上で動物メータを表示することができます。（→**95**）



表示動物の目安

かめ	わに	ぞう	さい	うま	カンガルー	チータ
0	20	50	80			キロ

知識

▶動物メータアプリの操作については、動物メータアプリ内のヘルプ、サポートサイトのヘルプをご覧ください。

05 オーディオリモコンアプリを利用する

オーディオリモコンアプリを起動する

⚠警告

▶安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

1 スマートフォンを操作して、専用アプリ（smart nAVVi Link）を起動する。

▶オーディオリモコンアプリが起動し、本機との接続が完了すると、接続インジケータが「オンライン」と表示されます。

知識

▶専用アプリ（smart nAVVi Link）起動時の操作方法は、オーディオリモコンアプリ内のヘルプ、サポートサイトのヘルプをご覧ください。

▶本アプリは、アイシン・エィ・ダブリュ（株）が提供します。

オーディオリモコンアプリは以下からダウンロードできます。
http://www.denso.co.jp/ja/products/aftermarket/info/download/12navi.html

Smart nAVVi Linkのサポートサイト
http://smartnavvilink.com/

オーディオリモコンアプリの操作について

⚠警告

▶安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

⚠注意

▶車両走行中にはアプリの操作が制限されます。

スマートフォンを操作することによって、本機の下記操作を行うことができます。

▶NaviCon同様の地図操作（地図のスクロール、拡大縮小、外部アプリからの連携操作はできません。）

▶オーディオリモコンとしてのオーディオ操作

⚠注意

▶SDメモリーカード再生時のフォルダ/アルバム選択機能は利用できません。

▶Blu-ray操作画面は利用できません。

▶TOPメニューの「エコナビ情報」機能は本機では対応していません。

知識

▶ナビ画面の状態によっては、オーディオリモコンアプリの操作と連携して動作しない場合があります。（地図表示中でない場合など）

▶スマートフォンの地図操作やアプリの操作については、オーディオリモコンアプリ内のヘルプ、サポートサイトのヘルプをご欄ください。

音声操作システム

01. 音声操作システムを使う前に 348
はじめに 348
音声操作システムについて 348
使用機器 348
音声認識マイク 348
音声認識スイッチ 348
音声操作画面 349
02. 基本操作について 350
基本操作を覚える 350
メニュー画面の種類について 350
音声認識モードを開始する 350
音声認識モードを中止する 351
03. 代表的な音声操作 352
音声操作の使用例 352
使用例の見方 352
自宅を目的地に設定する 352
色々な方法で目的地を設定する 353
その他の方法で検索する 354
HDDオーディオの楽曲を検索する 357
電話をかける 358
04. 音声認識コマンド一覧 359
音声認識コマンド一覧 359
音声認識コマンド一覧について 359
音声認識コマンド一覧 359

音声操作システムを使う前に★

はじめに

》音声操作システムについて

販売店装着オプションの音声操作システム（音声認識マイク＆音声認識スイッチ）を使用することにより、音声認識コマンドを発声して、ナビやオーディオなどの操作を行うことができます。

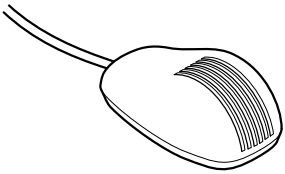
▶音声操作システムは、正しく発声しないと認識されないことがありますので、以下の点にご留意の上、ご使用ください。

- 音声操作を開始するときは、必ず音声認識スイッチを短く押してください。
- “ピッ”音の後にお話しください。“ピッ”音の前または同時に発声した場合は、正しく認識されません。
- ハッキリと発声してください。
- 声色によっては、認識されづらいこともあります。
- 騒音（風切り音・外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、発声するときは、できるだけ窓を閉めておいてください。また、エアコンのファンの音が大きいときも、正しく認識されないことがあります。
- 方言や言い方の違いには対応していません。必ず指定された読みで発声してください。
- 地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず正式名称の読みで発声してください。

使用機器

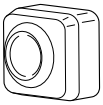
》音声認識マイク

音声認識コマンドを発声するときに使用します。



》音声認識スイッチ

音声認識モードを開始／中止するときに使用します。



★印はオプションです。

音声操作画面

表示		内容
①	コマンドリスト	発声可能なコマンドが、認識中アイコンと同じ緑色で表示される。
②	認識中 アイコン	音声認識中に緑色で表示される。
③	認識結果	認識結果が表示される。
④	候補	認識結果に他の候補がある場合に表示される。

基本操作について

基本操作を覚える

»メニュー画面の種類について

メニュー画面には、メインメニュー画面とガイドメニュー画面があります。

メインメニュー画面

音声認識スイッチを押すと最初に表示される画面です。よく使われるコマンドが表示されます。ここに表示されないコマンドは、ガイドメニューから操作してください。

▶コマンドの表示を切り替えたいとき
→**「ページ切替」**と発声する、または ページ切替 にタッチ。

▶ガイドメニュー画面を表示したいとき
→**「ガイドメニュー」**と発声する、または ガイドメニュー にタッチ。

知識

▶G-BOOKのデータ受信ができないなど使用できないコマンドは灰色になり、操作できないことがあります。

ガイドメニュー画面

希望のコマンドがメインメニュー画面にない場合、ガイドメニュー画面に表示されたコマンドから操作してください。操作できるコマンドは、コマンドリスト（→**359**）にあるコマンドです。

知識

▶G-BOOKのデータ受信ができないなど使用できないコマンドは灰色になり、操作できないことがあります。

»音声認識モードを開始する

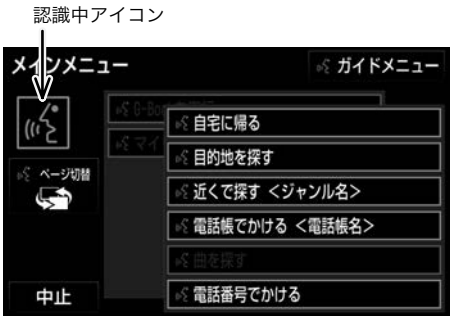
基本的な操作の流れを見ながら、音声操作を開始する方法と、音声認識モード中の基本操作を覚えましょう。

1 音声認識スイッチを押し、すぐにスイッチから指を離す。

▶音声操作画面に切り替わり、「ピッと鳴ったら、お話しください」、「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」という音声ガイドのあと、＜ピッ＞と音がします。

2 認識中アイコンが緑色に変わったら、希望のコマンドを発声する。

▶＜ピッ＞と音がしてから約５秒以内に発声してください。



▶コマンドが認識されると、音声ガイドが出力され、実行されます。

知 識

▶音声認識スイッチを押した後の音声ガイドは、状況などにより異なる音声ガイドが出力されることがあります。

認識結果が違うとき

表示された画面により、次の操作をします。

▶発声したコマンドと異なる認識結果のとき
→**「いいえ」**と発声し、「音声認識モードを開始する」（→**350**）手順2へ。

▶候補に希望の結果が表示されているとき
→**「候補１」**または**「候補２」**と発声する。

▶候補に希望の結果が表示されていないとき、候補が表示されないとき
→**「戻る」**と発声する、または 戻る にタッチし、「音声認識モードを開始する」（→**350**）手順2へ。

連続して音声操作をする

目的地検索など、連続して音声操作をする場合があります。（→**353**）

音声操作を再開する

次のような場合は、音声認識モードを中断します。

▶コマンドを２回連続で認識できなかったとき

この場合、音声認識スイッチを押すと再開できます。

ヘルプ機能を使用する

音声ガイドによる詳しい操作方法を聞くことができます。

▶コマンドの読み方や発声例を知りたいとき
→**「ヘルプ」**と発声する。

音声ガイドを省略する

音声ガイド出力時に音声認識スイッチを押すと、音声ガイドが途中でも次の動作に移ることができます。

》音声認識モードを中止する

次のいずれかの操作をします。

▶音声認識スイッチを押し続ける。

▶コマンドリストに「中止」が表示されているとき
→ 中止 にタッチ。

代表的な音声操作

音声操作の使用例

》使用例の見方

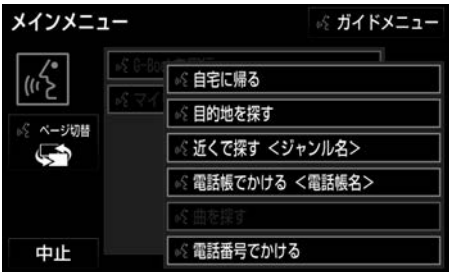
ここでは、音声操作の具体的な使い方を説明します。 例にしたがって、同じように操作してみてください。
ここで紹介するのは、主にメインメニュー画面から連続して音声操作をする場合の例です。

▶文中の表記は次のようになっています。
(○○○) :スイッチの操作
「○○○」:車載機から出力される音声ガイド
＜○○○＞ :車載機から出力される操作音
「○○○」:発声するコマンド

■説明にないコマンドの使い方は、「音声認識コマンド一覧」(→**359**) をご覧ください。

》自宅を目的地に設定する

自宅を目的地に設定して、ルートを探索してみましょう。
お客様 :(音声認識スイッチを押す)
車載機 :「ピッと鳴ったら、お話しください」
車載機 :「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」＜ピッ＞
お客様:**「自宅に帰る」**



車載機 :「自宅に帰る」
車載機 :「よろしければ、はいとお話しください」
お客様 :**「はい」**
車載機 :「はい」

▶以上で、自宅を目的地に設定して、ルートが探索されます。

知 識

▶自宅が登録されていない場合は、使用することができません。自宅を登録してから使用してください。(→**146**)

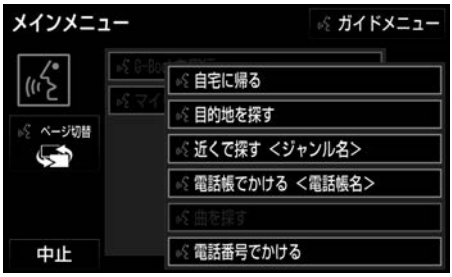
》色々な方法で目的地を設定する

目的地を設定するときは、色々な検索方法を使うことができます。ここでは代表して、「住所で探す」から設定する場合を説明します。

▶検索できる住所は、画面操作の住所検索（→**108**）から検索できる住所です。

例）「東京都文京区後楽一丁目１－2」を 目的地に設定します。

お客様：（音声認識スイッチを押す）
車載機：「ピッと鳴ったら、お話しください」
車載機：「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「目的地を探す」**



車載機：「目的地を探す」
車載機：「検索方法をお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「住所で探す」**
車載機：「住所で探す」
車載機：「住所を都道府県からお話しください」＜ピッ＞
お客様:**「東京都」**
車載機：「東京都」
車載機：「続きの住所をお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「文京区」**
車載機：「文京区」
車載機：「続きの住所をお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「後楽」**
車載機：「後楽」
車載機：「続きの住所をお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「一丁目」**
車載機：「一丁目」
車載機：「続きの住所をお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「1－2」**
車載機：「1－2」
車載機：「よろしければ、目的地セットとお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「目的地セット」**
車載機：「目的地セット」
車載機：「よろしければ、はいとお話しください」
お客様：**「はい」**
車載機：「はい」

▶以上で、この住所を目的地に設定して、ルートが探索されます。

知識

▶コマンドを発声するときは、次の点に注意して発声してください。
- ●住所は、すべての地名を一度に発声しても、途中で区切って発声してもかまいません。
- ●郡・大字・字・番地・号は省略して発声してください。
- ●「ー」は**「の」**または**「はいふん」**と発声してください。

地図を表示する

住所で検索中、地点が特定できないときは、最後に発声した地名の広域図を表示します。

コマンドを言いなおす

直前に発声した内容によって言いなおす範囲が異なります。

▶例）住所検索で、東京都文京区を検索したとき

▶都道府県名と市区町村名を一度に発声した場合

→**「東京都文京区」**と都道府県名から言いなおす。

▶都道府県名と市区町村名を分けて発声し、直前に発声したのが市区町村名の場合

→**「文京区」**と市区町村名のみ言いなおす。

目的地設定について

設定した目的地の条件により、設定方法を選択する必要があります。

知 識

▶音声操作・スイッチのどちらでも操作できます。

■すでに目的地が設定されているとき

▶検索結果を一番手前の目的地として追加します。

知 識

▶目的地は最大5カ所まで設定できます。すでに5カ所目的地が設定されているときは、「すべての目的地を削除します。よろしいですか？」と音声ガイドが出力されます。

》その他の方法で検索する

検索方法を発声するときに次のコマンドを発声すると、希望の方法で検索できます。操作方法は「住所で探す」と同様です。ここでは、それぞれの検索方法を使用するときの注意点を説明します。

検索方法 コマンド	機能
●施設名で探す **「施設で探す」**	施設名から目的地を検索する（→**354**）
●電話番号で探す **「電話番号で探す」**	電話番号から目的地を検索する（→**355**）
●最寄の施設で探す **「近くで探す」**	最寄の施設から目的地を検索する（→**356**）
●メモリ地点で探す **「メモリ地点で探す」**	メモリ地点から目的地を検索する（→**101**）

施設名で探す

▶検索できる施設は、画面操作の施設検索（→**108**）から検索できる施設です。

▶原則として**「都道府県名＋施設名」**を発声します。

●都道府県名と施設名は、都道府県名・施設名の順に続けて発声しても、都道府県名だけ発声して、次の音声ガイドの後に施設名を発声するというように分けて発声してもかまいません。

▶次の施設は、都道府県名が分からないとき、他の名称で指定することもできます。

▶販売店、レンタリース、ジェームス※
系列名＋店名

例）トヨタ○○＋△△店

※ジェームスの場合、系列名は「ジェームス」になります。

▶駅

鉄道会社名＋路線名＋駅名

例）JR　東海道新幹線　東京駅

▶高速IC・SA・PA、有料IC

道路名＋施設名

例）東名高速道路　東京インター

知識

▶現在地の都道府県の施設を認識させるときは、都道府県名を発声する必要はありません。また、立体ランドマークが表示される施設を認識させるときも、都道府県名を発声する必要はありません。

▶都道府県名・政令指定都市名で開始される施設名は、施設名のみで認識されます。また、施設名の最初の名称と実際に存在する都道府県（政令指定都市）名が一致しなくても、認識されます。
例）千葉県にある東京ディズニーランドは、**「東京ディズニーランド」**と発声すれば認識され、“千葉県”を発声する必要はありません。

▶音声操作で検索できる施設は、次の操作で表示することができる施設になります。

●「立体的な施設マークを表示する（立体ランドマーク）」（→**85**）

●「施設で地図を検索する」（→**108**）

▶発声する施設名は、上記方法で表示される施設名をそのまま発声してください。

電話番号で探す

数字は一度にすべて発声しても、分けて発声してもかまいません。 発声するときは、以下の例を参照の上、局番単位の区切る位置に注意して発声してください。

▶例）「03－1234－5678」を発声する場合

●一度にすべて発声するとき**「ゼロ、サン、イチ、ニ、サン、ヨン、ゴ、ロク、ナナ、ハチ」**

●分けて発声するとき**「ゼロ、サン」**＋**「イチ、ニ、サン、ヨン」**＋**「ゴ、ロク、ナナ、ハチ」**

▶市内局番については、桁読みで発声することができます。

●例）「03－1234－5678」の市内局番を桁読みで発声する場合**「センニヒャクサンジュウヨン」**

知識

▶「－」は**「の」**または**「はいふん」**と発声しても、省略してもかまいません。

最寄の施設を目的地に設定する

施設を最大5件まで検索し、目的地に設定できます。

▶ジャンルを選択するときは、**「ジャンル名」**または**「番号」**を発声します。

例）最寄の「コンビニエンスストア」を目的地に設定します。

お客様：（音声認識スイッチを押す）
車載機：「ピッと鳴ったら、お話しください」
車載機：「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「近くで探す」**

車載機：「近くで探す」
車載機：「ジャンル名をお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「コンビニ」**
車載機：「コンビニエンスストア」
車載機：「施設の番号を選択してお話しください」、「またはルート沿いで探すとお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「2」**
車載機：「2」
車載機：「よろしければ、はいとお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「はい」**
車載機：「はい」

▶以上で、最寄のコンビニエンスストアを目的地に設定して、ルートが探索されます。

Myリクエストを使う

▶G-BOOKオンラインサービス利用時

Myリクエストに登録されているコンテンツをリクエストできます。

▶コンテンツを選択するときは、**「コンテンツ名」**を発声します。

例）「道路交通情報：一般道」をリクエストします。

お客様：（音声認識スイッチを押す）
車載機：「ピッと鳴ったら、お話しください」
車載機：「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「マイリクエストを実行」**

車載機：「マイリクエストを実行」
車載機：「表示されているコンテンツ名をお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「道路交通情報一般道」**
車載機：「道路交通情報一般道」

他のページのコンテンツをリクエストする

他のページに登録してあるコンテンツをリクエストしたいときは、次の操作を行います。

1 ▲または▼にタッチ。

2 **「コンテンツ名」**を発声する。

》HDDオーディオの楽曲を検索する

HDDオーディオ内の楽曲を、音声認識で検索して再生できます。

▶アーティスト名とトラック名は、HDDオーディオ画面で表示される読みを発声します。

●アーティスト名：アーティスト読み

●トラック名：トラック読み

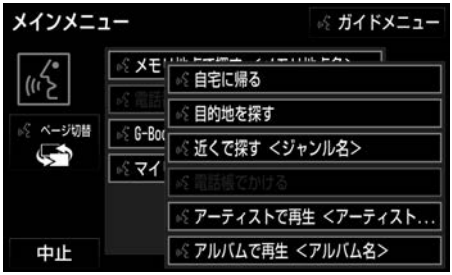
例）○○○（アーティスト名）の曲を再生します。

ここでは「アーティストで再生」と「(アーティスト名)」を発声する場合で説明します。

お客様：(音声認識スイッチを押す)

車載機：「ピッと鳴ったら、お話しください」＜ピッ＞

お客様：**「アーティストで再生」**※1



車載機：「アーティストで再生」

車載機：「アーティスト名をお話しください」＜ピッ＞

お客様：**「○○○（アーティスト名）」**

車載機：「○○○（アーティスト名）」

車載機：「よろしければ、はいとお話しください」　＜ピッ＞

お客様：**「はい」**※2

以上で、選択したアーティストの曲が再生されます。

「アーティストで再生」と「(アーティスト名)」を続けて発声する

▶※1で**「アーティスト　“○○○（アーティスト名）”」**と発声してください。

複数の候補が表示されたとき

▶※2で再生したい候補の番号、または**「再生」**と発声してください。

知識

▶アーティスト読み（アーティスト名）、アルバム読み（アルバム名）が付与されなかったり、表示用のアーティスト、アルバムの名称と読みが異なることがあります。 この場合、HDDオーディオ画面で表示されるアーティスト名、アルバム名を発声しても読みが異なるため、音声操作で楽曲の検索ができません。 HDDオーディオ画面で、それぞれの読みをご確認ください。

▶HDDオーディオ画面を確認し、ご希望のアーティスト読み（アーティスト名）、アルバム読み（アルバム名）でない場合は、次のいずれかの操作をしてください。

●「タイトル情報を再取得する」（→**271**）の操作で、再度、該当する情報を付与し、情報が更新されないか確認する。

●「アーティスト読みを変更する」（→**270**）の操作で、希望の読みに変更する。

●「トラックタイトル、トラック読みを変更する」（→**271**）の操作で、希望の読みに変更する。

▶認識対象となるアーティスト名、またはアルバム名が1500 件を超えると、楽曲の検索ができないため、手動で操作してください。（→**261**）

▶楽曲の検索ができない場合、「曲を探す」と表示されます。

》電話をかける

電話帳に登録した名称や電話番号を発声して、電話をかけることができます。

電話番号でかける

▶電話番号を発声するときの注意点については、「電話番号で探す」（→**355**）と同様です。

例)「03−1234−5678」に電話をかけます。
お客様：(音声認識スイッチを押す)
車載機：「ピッと鳴ったら、お話しください」
車載機：「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「電話番号でかける」**

車載機：「電話番号でかける」
車載機：「電話番号を市外局番からお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「03－1234－5678」**
車載機：「03－1234－5678」
車載機：「続きの番号、または発信とお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「発信」**
車載機：「発信」

電話帳でかける

▶発信できる電話番号は、電話帳（→**458**）に登録してある電話番号のうち、名称読み（→**461**）の設定をしてある電話番号です。

お客様：(音声認識スイッチを押す)
車載機：「ピッと鳴ったら、お話しください」
車載機:「詳細な説明が必要の場合は、ヘルプとお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「電話帳でかける」**※1

車載機：「電話帳でかける」
車載機：「電話帳に登録されている名称をお話しください」＜ピッ＞
お客様：**「○○○（登録した名称読み）」**
車載機：「発信とお話しください」※2
お客様：**「発信」**
車載機：「発信」
以上で、選択した電話帳データの電話番号に発信します。

「電話帳でかける」と「(電話帳名)」を続けて発声する

▶※1 で**「電話帳でかける“○○○（電話帳名）”」**と発声してください。

複数の候補が表示されたとき

▶※2で再生したい候補の番号、または**「発信」**と発声してください。

知 識

▶音声操作で電話をかける場合、携帯電話の機種によっては、発信後電話画面に切り替わるまでに時間がかかることがあります。この場合、切り替え中は現在地画面が表示されますので、電話画面に切り替わるまではナビの操作をしないでお待ちください。
▶データ通信中に音声操作で電話をかけると、データ通信は強制終了されます。

音声認識コマンド一覧

音声認識コマンド一覧

》音声認識コマンド一覧について

音声認識モードで表示されるコマンドについて、発声する認識語とそのときの動作をまとめています。

▶「音声認識モードを開始する」(→**350**)の手順で、コマンドを発声します。

知 識

▶表ではすべてのコマンドを紹介しています。
▶メインメニュー画面に表示されないコマンドを認識させるには、まずガイドメニュー画面の表示コマンドを発声し、希望のコマンドを表示させてください。
▶使用できないコマンドは表示が灰色になり、操作できません。

》音声認識コマンド一覧

メインメニュー画面の表示コマンド

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する。
目的地を探す	もくてきちをさがす	ルート検索コマンドを表示する。
近くで探す＋(ジャンル名)	ちかくでさがす	希望の(ジャンル名)のうち、より近いところを探す。
電話帳でかける＋(電話帳名)	でんわちょうでかける	(電話帳名)の電話にかける。
アーティスト＋(アーティスト名)	あーてぃすと	(アーティスト名)から音楽を再生する。
アルバム＋(アルバム名)	あるばむ	(アルバム名)から音楽を再生する。
曲を探す	きょくをさがす	オーディオ操作コマンドを表示する。
メモリ地点で探す＋(メモリ地点名)	めもりちてんでさがす	(メモリ地点名)へのルートを表示する。
電話番号でかける	でんわばんごうでかける	電話番号から電話をかける。
G-BOOKを実行＋(コンテンツ名)	じーぶっくをじっこう	G-BOOKサービスの(コンテンツ名)を実行する。
マイリクエストを実行	まいりくえすとをじっこう	マイリクエストを実行する。

ガイドメニュー画面の表示コマンド

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する。
目的地を探す	もくてきちをさがす	ルート検索コマンドを表示する。
曲を探す	きょくをさがす	オーディオ操作コマンドを表示する。
電話をかける	でんわをかける	通話コマンドを表示する。
G-BOOKを使う	じーぶっくをつかう	G-BOOKコマンドを表示する。

■メニュー画面切替コマンド

コマンド名称	認識語	動作
メインメニュー	めいんめにゅー	メインメニュー画面を表示する。
ガイドメニュー	がいどめにゅー	ガイドメニュー画面を表示する。
ページ切替	ぺーじきりかえ	コマンドの表示を切り替える。

■検索コマンド

コマンド名称	認識語	動作
候補○	こうほ○／こーほ○	候補○を選択する。
検索	けんさく	検索を開始する。

■目的地設定コマンド

コマンド名称	認識語	動作
目的地セット	もくてきちせっと	目的地に設定する。
はい	はい	発声内容を決定する。
いいえ	いいえ	発声内容を取り消す。

■ルート検索コマンド

コマンド名称	認識語	動作
住所で探す	じゅうしょでさがす	住所から目的地を設定し、ルートを表示する。
電話番号で探す	でんわばんごうでさがす	電話番号から目的地を設定し、ルートを表示する。
施設で探す※	しせつでさがす	施設名から目的地を設定し、ルートを表示する。
近くで探す	ちかくでさがす	近くの施設を目的地に設定し、ルートを表示する。
メモリ地点で探す	めもりちてんでさがす	登録したメモリ地点を目的地に設定し、ルートを表示する。

※「ジェームス」、「トヨタ販売店」などの施設名称がコマンドとして利用できます。

■オーディオ操作コマンド

コマンド名称	認識語	動作
アルバムで再生	あるばむでさいせい	アルバム名から音楽を再生する。
アーティストで再生	あーてぃすとでさいせい	アーティスト名から音楽を再生する。

■通話コマンド

コマンド名称	認識語	動作
電話帳でかける＋（電話帳名）	でんわちょうでかける	電話帳から電話をかける。
電話番号でかける	でんわばんごうでかける	電話番号から電話をかける。

■G-BOOKコマンド

コマンド名称	認識語	動作
G-BOOKを実行＋（コンテンツ名）	じーぶっくをじっこう	G-BOOKサービスのコンテンツを実行する※。
マイリクエストを実行	まいりくえすとをじっこう	マイリクエストを実行する。

※G-BOOKセンターから設定されたコンテンツを利用できます。

■その他のコマンド

コマンド名称	認識語	動作
戻る	もどる	１つ前の表示に切り替える。
ヘルプ	へるぷ	詳しい操作方法を説明する。

目的地設定コマンド

コマンド名称	認識語	動作
近くの○○○（施設名）	ちかくの○○○（施設名）	近くの施設（○○○）を目的地に設定し、ルートを表示する。
目的地セット	もくてきちせっと	目的地に設定する。

周辺施設表示コマンド

コマンド名称	認識語	動作
○○○（施設ジャンル）	○○○（施設ジャンル）	指定されたジャンルの施設の記号を地図上に表示する。
検索	けんさく	検索を開始する。
ルート沿いで探す	るーとぞいでさがす	検索対象をルート沿いの施設に設定する。

オーディオ操作コマンド

コマンド名称	認識語	動作
○○○（アーティスト名）	○○○（アーティスト名）	○○○を選択する。
○○○（アルバム名）	○○○（アルバム名）	○○○を選択する。
再生	さいせい	再生を開始する。

ハンズフリー操作コマンド

コマンド名称	認識語	動作
電話番号	でんわばんごう	電話番号を入力する。
電話帳	でんわちょう	電話帳に登録されている名称読みから選択する。
発信	はっしん	入力されている番号に発信する。

G-BOOKコマンド

G-BOOKセンターから設定されたコマンドを利用できます。

情報

01. 情報画面からできること 364
情報・BTナビ（情報） 364
情報・BTナビ（情報）を表示する 364
交通ナビ関連情報 365
交通ナビ関連情報を表示する 365

01 情報画面からできること

情報・BTナビ（情報）

》情報・BTナビ（情報）を表示する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 インフォ にタッチ。

▶BTナビ画面が表示されたとき
→ 情報 にタッチ。

▶情報画面から次の操作を行うことができます。

表示順序／項目（スイッチ）		機　能	ページ
①	エコ情報	エコ情報の表示	174
②	VICS	VICS図形情報、文字情報の表示	194
		割込情報（VICS/ITSスポット）の表示※1	195
③	高速渋滞予測※2	渋滞予測情報の表示	548
④	ETC※3	ETC画面の表示	427
⑤	データ管理	データ管理画面の表示	256
⑥	アクセサリ	アクセサリ画面の表示	62
⑦	動物メータ	動物メータ画面の表示	95

※1　販売店装着オプションのビーコンユニット、またはITSスポット対応DSRCユニットを装着したときに操作することができます。
※2　G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに操作することができます。
※3　販売店装着オプションのナビ連動のETCシステムを取りつけたときのみ表示されます。ETCシステムを取りつけていないときは、表示順序が繰り上がって表示されます。

交通ナビ関連情報

》交通ナビ関連情報を表示する

JAFや道路交通情報センターなどの電話番号を表示することができます。 また、登録されているメモリ地点（→**145**）や設定されている目的地（→**117**）に電話番号が入力されていれば、その地点の電話番号を表示することができます。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 電話 にタッチ。

3 交通ナビ にタッチ。

4 項目にタッチ。

▶目的地が1カ所のみ設定されているとき
→ 目的地 にタッチすると、名称と電話番号を表示する。

5 選択した項目により、次のいずれかの操作をする。

［JAF］または［道路交通情報センター］の情報を表示する

1 都道府県名 → 施設名称の順にタッチ。

［メモリ地点］の情報を表示する

1 メモリ地点にタッチ。

▶地図を表示するとき
→ 地図 にタッチ。
▶電話番号を表示する※
→リストにタッチ。

※メモリ地点に電話番号が登録されていないと表示されません。

［目的地］の情報を表示する

▶目的地が複数設定されているとき
→目的地名称にタッチ。

周辺モニター

01. バックガイドモニター 369
バックガイドモニターとは 369
ガイド画面の出し方 369
ガイド画面の出し方 369
ガイド方法の選び方 370
並列駐車（車庫入れ）時に使用するとき 370
縦列駐車時に使用するとき 371
並列駐車のしかた（進路表示モード） 372
画面の見方 372
操作のしかた 373
並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード） 375
画面の見方 375
操作のしかた 375
縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード） 377
車の動きと画面・音声案内の流れ 377
操作のしかた 379
縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード） 385
画面の見方 385
操作のしかた 385
バックガイドモニターの設定 386
バックガイドモニター設定画面の表示 386
縦列ガイドの音量設定 387
はじめのコツの表示設定 387
バックガイドモニターについての注意点 387
運転時の注意 387
画面に映る範囲 388
カメラ 389
画面と実際の路面との誤差 390
立体物が近くにあるとき 391
バッテリーの脱着後やシステム初期化中画面がでたときは 391
バッテリーの脱着後や車載機の載せ替えをしたときは 392
02. マルチビューバックガイドモニター 393
マルチビューバックガイドモニターとは 393
カメラの視点切替方法 394
画面の見方 394
視点の切り替え方 394
マルチビューバックガイドモニターについての注意点 395
運転時の注意 395
画面に映る範囲 396
カメラ 398
03. バックモニター 399
バックモニターとは 399
操作のしかた 399
操作のしかた 399
画面の見方 399
ガイド線表示の設定 400
バックモニターについての注意点 400
運転時の注意 400
画面に映る範囲 401
カメラ 402
画面と実際の路面との誤差 402
04. ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステム 404
ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステムとは 404
操作のしかた 404
画面の出し方 404
画面の切り替え方 406
ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステムについての注意点 407
運転時の注意 407
画面に映る範囲 408
カメラ 409
05. マルチアングル全周囲モニター 411
マルチアングル全周囲モニターとは 411
フロントモード 411
画面の出し方 411

画面の見方 411
視点の切り替え方 412
バックモード 412
画面の出し方 412
画面の見方 412
視点の切り替え方 413
回転表示モード 414
画面の出し方 414
マルチアングル全周囲モニターの設定 414
マルチアングル全周囲モニターの設定 414
便利な使い方 417
マルチアングル全周囲モニターについての注意点 418
運転時の注意 418
画面に映る範囲 419
カメラ 422

バックガイドモニター★

バックガイドモニターとは

車両後方の映像をモニター画面に映し出し、ガイド線や音声案内で、駐車時の後退操作を補助する装置です。バックガイドモニターは、以下の2通りの駐車方法について補助します。

▶車庫入れのような並列駐車。進路表示モードか駐車ガイド線表示モードを使います。

▶路側などに止める縦列駐車。縦列ガイドモードか駐車ガイド線表示モードを使います。

※車種により、バックガイドモニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

⚠警告

▶バックガイドモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。（→387）

▶カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。（→389）

知識

▶本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

ガイド画面の出し方

》ガイド画面の出し方

1 エンジンスイッチがONのとき、シフトレバーをⓇにする。

▶解除するとき
→シフトレバーをⓇ以外にする。

知識

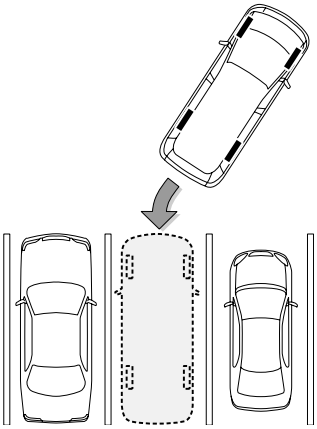
▶シフトレバーをⓇにしていても、画面外の MAP ・ AV など各モードのスイッチにタッチすると、タッチしたスイッチのモード画面に切り替わります。

★印はオプションです。

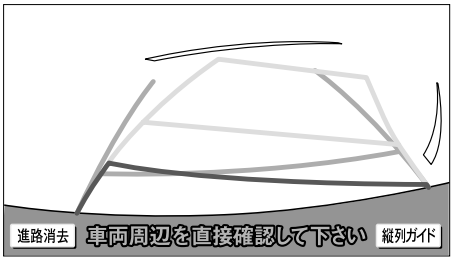
ガイド方法の選び方

並列駐車（車庫入れ）時に使用するとき

車庫入れなど並列駐車をするときは、次のいずれかのモードを使用します。

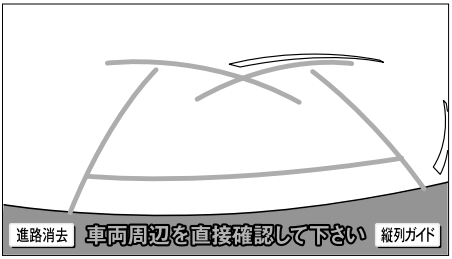


■進路表示モード（→372）



ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されるモードです。

■駐車ガイド線表示モード（→375）



ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

▶車両感覚に慣れた方（進路表示モードを必要とせずに駐車できる方）はご使用ください。

モードの切り替え方

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 運転支援 にタッチ。

4 バックガイドモニター設定 にタッチ。

5 駐車ガイド線表示 にタッチ。

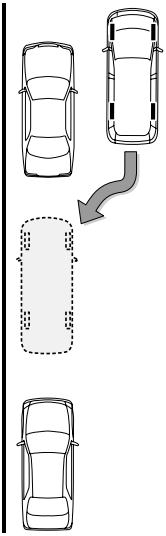
6 する または しない にタッチし、完了 にタッチ。

▶駐車ガイド線表示モードに切り替えるとき
→ する にタッチ。

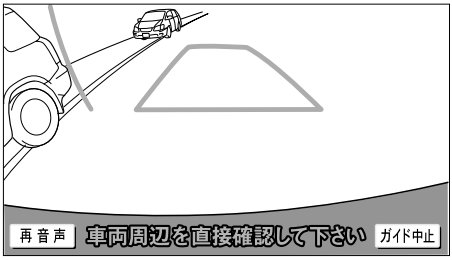
▶進路表示モードに切り替えるとき
→ しない にタッチ。

》縦列駐車時に使用するとき

縦列駐車をするときは、次のいずれかのモードを使用します。

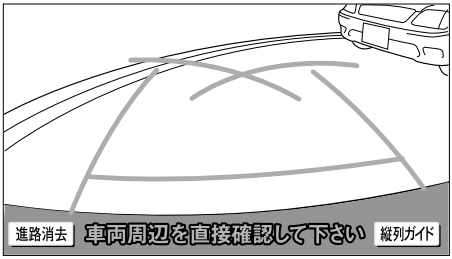


■縦列ガイドモード（→377）



画面表示と音声案内により、縦列駐車を補助するモードです。

■駐車ガイド線表示モード（→385）



ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

▶縦列ガイドモードを必要とせずに駐車のできる方や、縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

モードの切り替え方

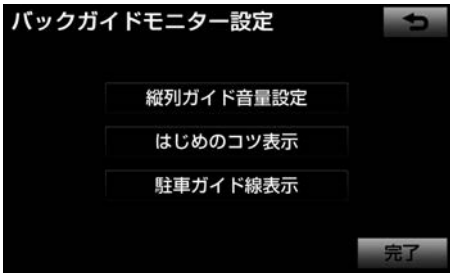
■縦列ガイドモードへの切り替え

1 縦列ガイド にタッチ。

■駐車ガイド線表示モードへの切り替え

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 運転支援 ⇒ バックガイドモニター設定 ⇒ バックガイドモニター設定画面

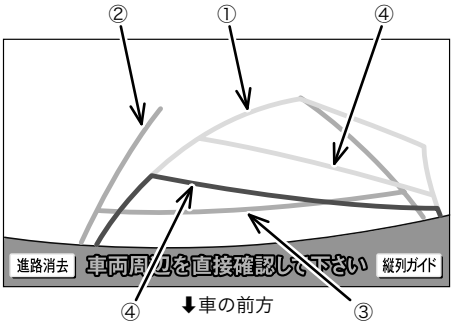
1 駐車ガイド線表示 にタッチ。



2 する にタッチし、 完了 にタッチ。

並列駐車のしかた（進路表示モード）

画面の見方



①予想進路線（黄色）
車が後退していく進路の目安を示す。 ●ハンドル操作と連動します。
②車幅延長線（緑色）
車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 ●実際の車幅より広く表示しています。 ●ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっているときは、予想進路線と重なります。
③距離目安線（緑色 約0.5m先）
車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 ●約0.5m先を示します。
④距離目安線（赤色 約0.5m先） （黄色 約1m先）
車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 ●ハンドル操作と連動します。予想進路線とともに動きます。 ●それぞれの中心位置で、約0.5m先（赤色）・約1m先（黄色）を示します。 ●ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっていないときは誤差が生じます。 上の画面では、距離目安線が示す実際の距離（赤色：約0.5m先、黄色：約1m先）より、右側は近くの位置に、左側は遠くの位置に表示されます。

⚠警告

- ▶乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ▶ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、できるだけ曲り角・カーブ等がなく、渋滞の少ない道路を前進で約5分間以上走行してください。それでもなおらない場合は、販売店で点検を受けてください。
- ▶車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

知識

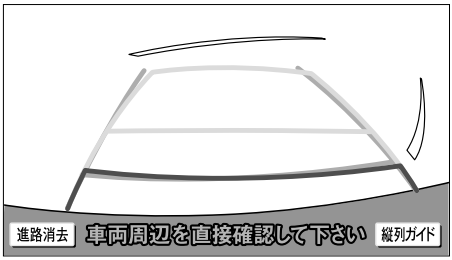
- ▶ **進路消去** にタッチすると、予想進路線や車幅延長線を消すことができます。この場合、距離目安線はハンドル操作と連動しません。もとに戻すときは、同じ画面に表示される **進路表示** にタッチします。

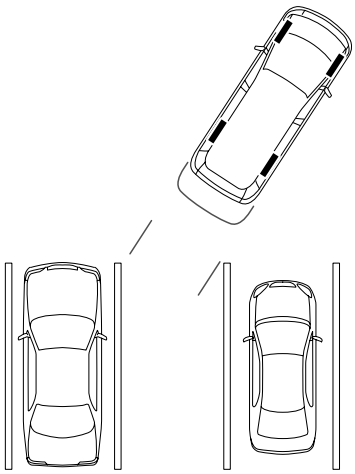
操作のしかた

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

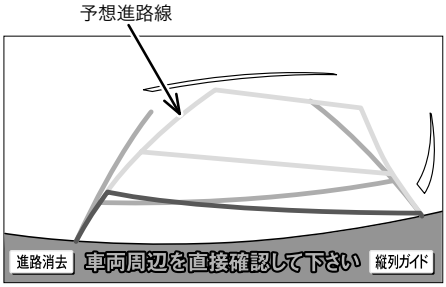
1 進路表示モードにする。（→370）

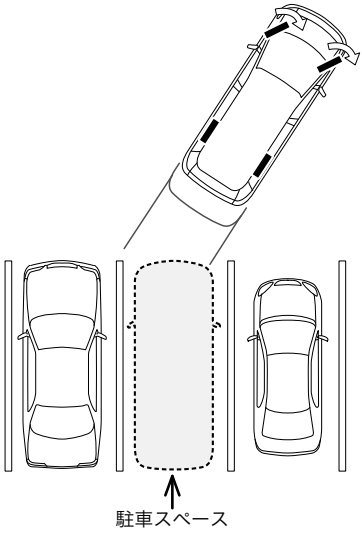
2 シフトレバーをⓇにする。



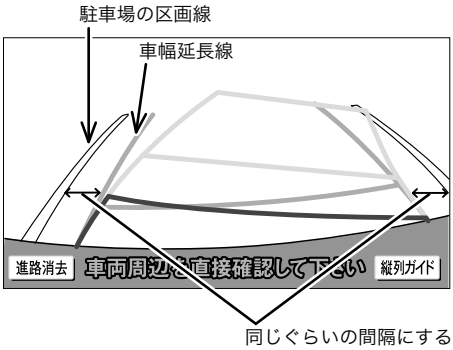


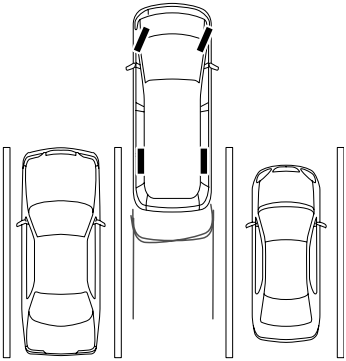
3 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退する。





4 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線と駐車スペース左右の区画線との間隔が、車の近くの位置で同じくらいになるようにハンドルを操作する。



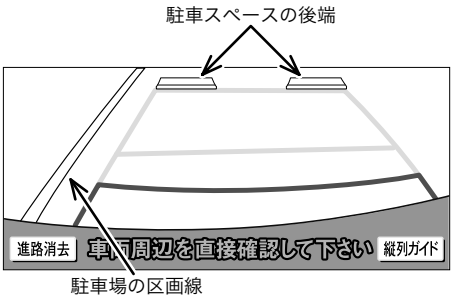


5 車幅延長線と駐車場の区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、車が駐車スペースに全部入るまで、ゆっくり後退する。

知識

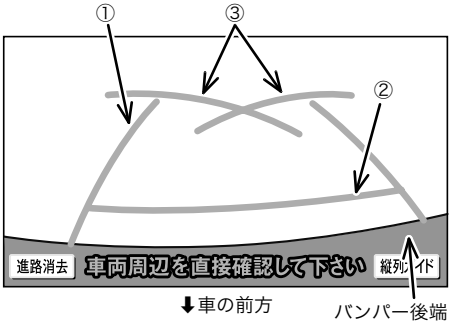
▶駐車するときは、画面の映像と実際の状況は異なることがありますので、必ず直接確認してください。

- ●距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行ではないことがあります。
- ●駐車場の区画線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行ではないことがあります。



並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方



①車幅延長線（緑色）
車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 ●実際の車幅より広く表示しています。
②距離目安線　約0.5m先（緑色）
車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 ●約0.5m先を示します。
③駐車ガイド線（緑色）
ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示す。 ●駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

⚠警告

- ▶乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ▶車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

知識

▶ 進路消去 にタッチすると、車幅延長線を消すことができます。もとに戻すときは、同じ画面に表示される 進路表示 にタッチします。

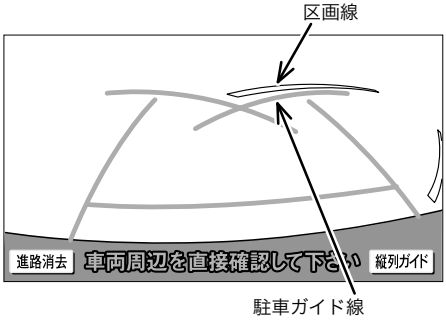
操作のしかた

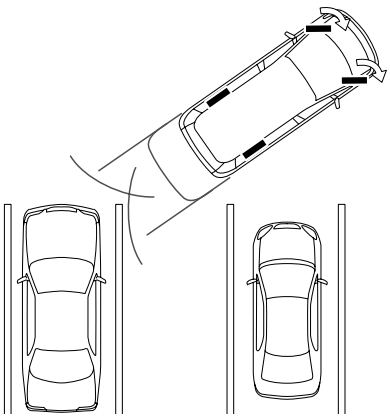
以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 駐車ガイド線表示モードにする。（→370）

2 シフトレバーをⓇにする。

3 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まる。





知 識

▶画面のように駐車ガイド線と区画線に合わせて後退すると、駐車スペースの幅が約2.2mの場合にほぼ中央に進入します。駐車スペースの幅に応じて止まる位置を調整してください。

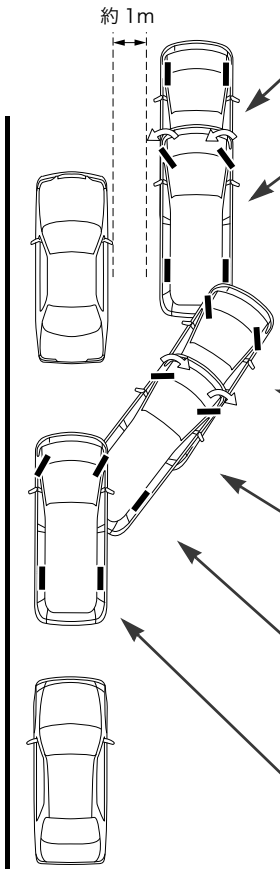
4 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。

5 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を終える。

縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード）

》車の動きと画面・音声案内の流れ

〈車の動き〉



〈操作内容〉

道路と平行で、駐車している車との間隔が約1m の位置で止まる。

緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合うまで後退したら止まる。
（画面①）

車を止めたままハンドルを操作し、緑の枠を駐車したい場所に合わせたら、ハンドルをそのままにして後退する。
（画面②）

緑の曲線が表示されて、緑の曲線が駐車したい位置の左端に合うまでハンドルをそのままにして後退する。**（画面③）**

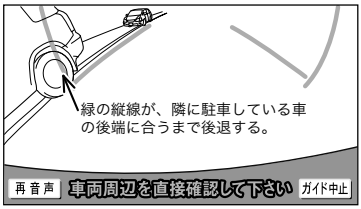
駐車したい位置の左端に合ったら止まり、ハンドルを逆方向にいっぱいまで操作する。
（画面④）

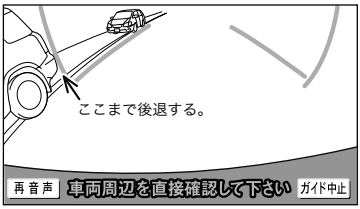
ハンドルをそのままにして、距離目安線などを参考に目視やミラーで周辺を確認し後退する。**（画面⑤）**

車がほぼまっすぐになったら、縦列ガイドモードが終了する。**（画面⑥）**

■画面・音声案内の流れ

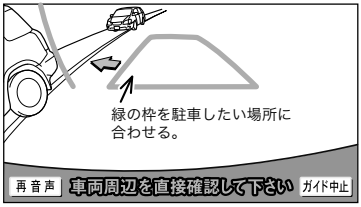
画面①

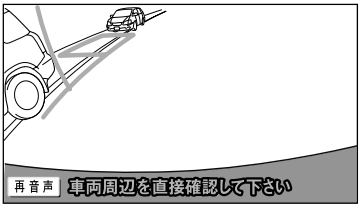




音声案内	「緑の縦線が隣の車の後ろに合うまでバックして止まります。」

画面②

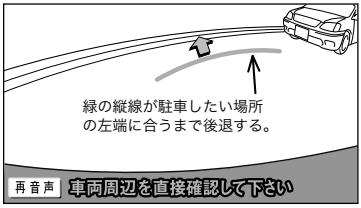




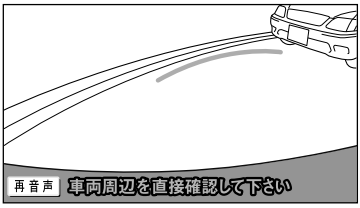
音声案内	「止まったままハンドルをまわして、緑の枠を駐車スペースに合わせます。」

音声案内	「枠を合わせたらハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

画面③

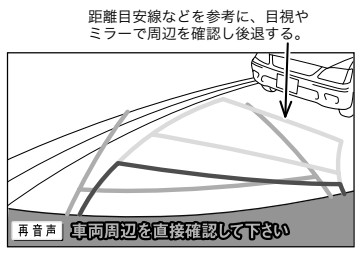


画面④



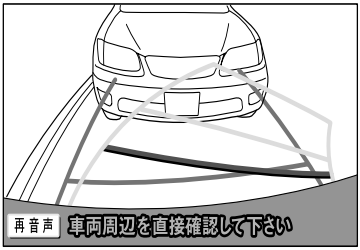
音声案内	「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに切り返します。」

画面⑤



音声案内	「ハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

画面⑥



音声案内	「縦列ガイドを終了します。」

⚠警告

▶カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路では正しく表示されないため、使わないでください。
▶ハンドル操作は、必ず車を止めた状態で行ってください。

知識

▶ガイドを中止したいときは、
ガイド中止 にタッチすると、最初（シフトレバーをⓇにしたとき）の画面にもどります。
▶音声案内をもう一度聞きたいときは、
再音声 にタッチします。
▶音声案内は運転席側スピーカーより出力されます。

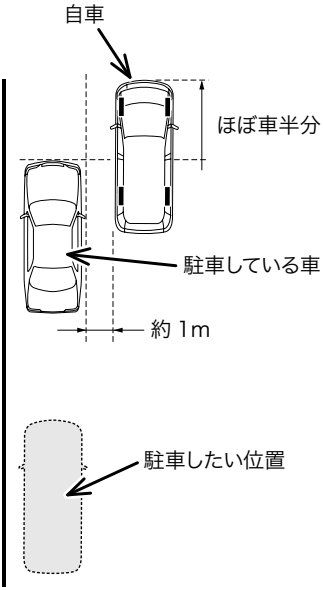
操作のしかた

以下の手順は、左側の駐車スペースに駐車するときの例を示しています。
右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作などがすべて左右逆になります。

▶マルチビューバックガイドモニターを接続しているとき
→カメラの視点を標準画面に切り替えます。（→**394**）

1 道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約1mの位置に止まり、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。

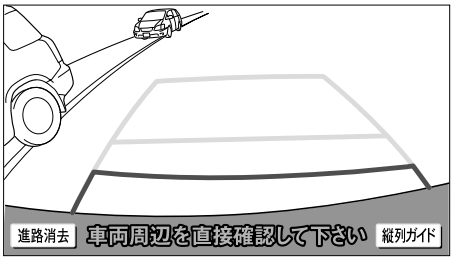
▶前後の位置は、駐車している車より車半分ほど前の位置にします。



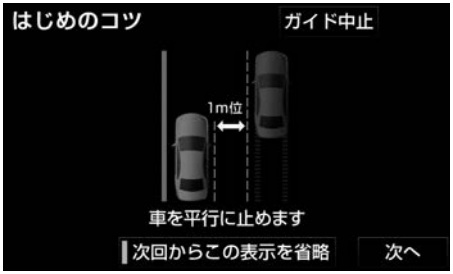
2 シフトレバーをⓇにする。

3 車の位置を確認し、縦列ガイドにタッチ。

▶画面で、駐車している車のリヤタイヤより後ろの部分が映っていることを確認してください。映っていないときは、車を正しい位置まで前進させ、操作をやりなおします。



4 表示された画面と同じ位置に車が止まっていることを確認し、次へにタッチ。

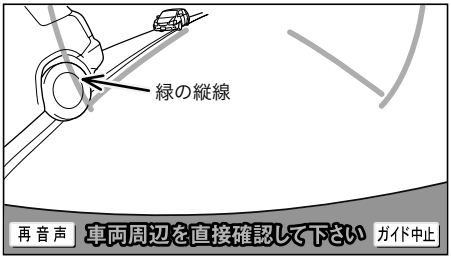


▶前の画面に戻るとき
→ガイド中止にタッチ。

▶この画面を表示させないようにするとき
→次回からこの表示を省略にタッチ。

▶この画面を再度表示させるとき
→「はじめのコツの表示設定」(→**387**)

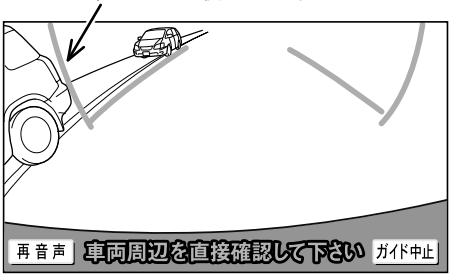
5 音声で案内されたら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしたまま、緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し、止まる。

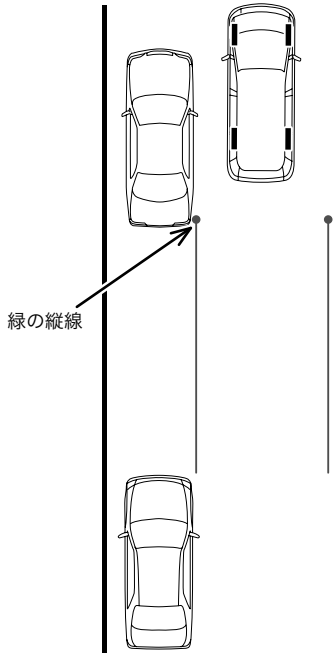


音声案内	「緑の縦線が隣の車の後ろに合うまでバックして止まります。」

▼

車をここまで後退させる。



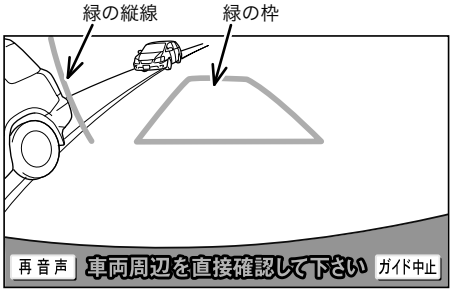


知識

▶ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。 その場合は、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、やりなおしてください。

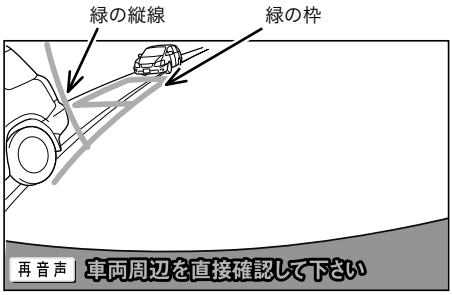
▶シフトレバーをⓇ以外にしても、約10秒以内にⓇにもどせば、この画面にもどります。

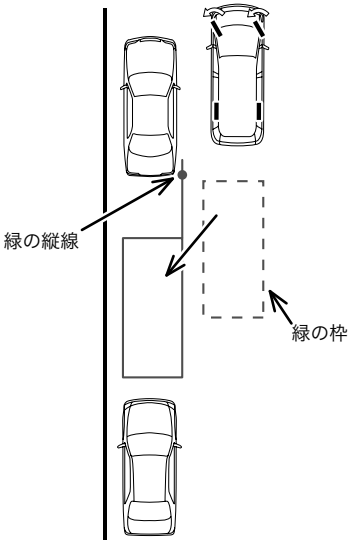
6 音声で案内され、緑の枠が表示される。止まったままハンドルを左にまわして、緑の枠を駐車したい位置に合わせる。



音声案内	「止まったままハンドルをまわして、緑の枠を駐車スペースに合わせます。」

▼

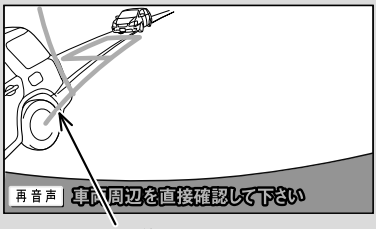




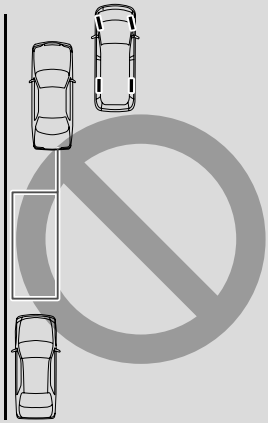
⚠注意

▶緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードを使用することはできません。

▶緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは、必ず手前に延びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせると前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。

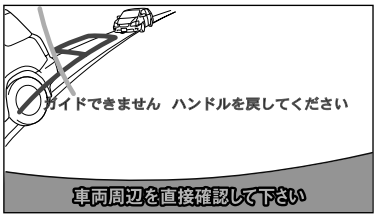


延長線がタイヤにかかっている



知識

▶枠が赤くなって、下のようなメッセージが表示されたら、ガイドすることができませんので、ハンドルをもどしてください。



▶枠が正しい駐車位置に合っている場合でも、下のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、車が路肩から離れすぎていることが考えられますので、隣に駐車している車との間隔（約1m）を確認してください。

7 緑の枠を合わせ、音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。

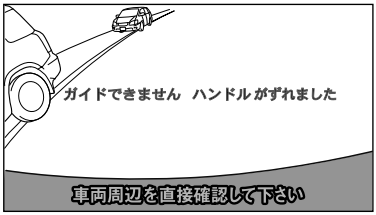
音声案内	「枠を合わせたらハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

⚠注意

▶車の右前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。

知識

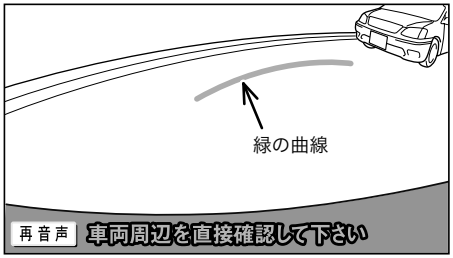
▶後退中にハンドルを操作してしまうと、ガイドされなくなります。 その場合は、シフトレバーをⓇ以外にしてから、再度Ⓡにして最初からやりなおしてください。



▶ごく低速で後退すると、次の案内が行われないことがあります。

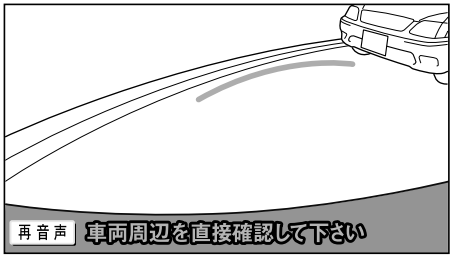
▶後退を開始すると、ガイド線が表示されなくなります。 必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

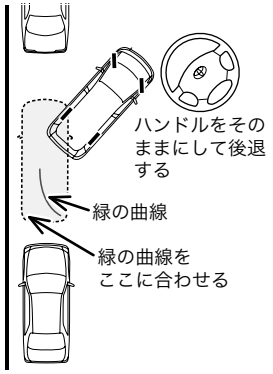
8 音声で案内され緑の曲線が表示されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。 緑の曲線が、駐車したい位置の左端の地点に合ったら止まる。



音声案内	「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに切り返します。」

▼





知識

▶後退の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

9 車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいまでまわす。

▶必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。

10 画面が切り替わり音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。

音声案内	「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

⚠注意

▶車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

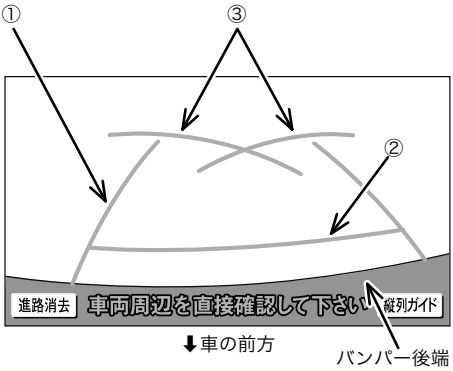
11 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にもどす。 距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確認して、ゆっくり後退し止まる。

▶車がほぼまっすぐになったら、音声で案内され、縦列ガイドモードが終了します。

音声案内	「縦列ガイドを終了します。」

縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

》画面の見方



①車幅延長線（緑色）
車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 ●実際の車幅より広く表示しています。
②距離目安線 約0.5ｍ先（赤色）
車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 ●約0.5m先を示します。
③駐車ガイド線（緑色）
ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示す。 ●駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

⚠警告

- ▶乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ▶車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

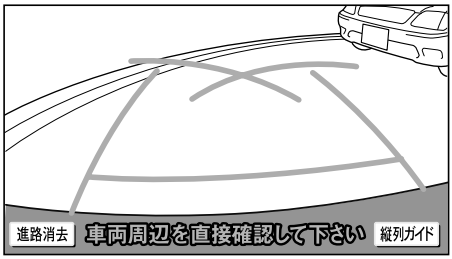
》操作のしかた

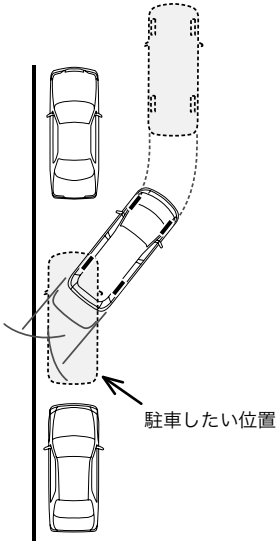
以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 駐車ガイド線表示モードにする。（→**370**）

2 シフトレバーを🅡にする。

3 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まる。



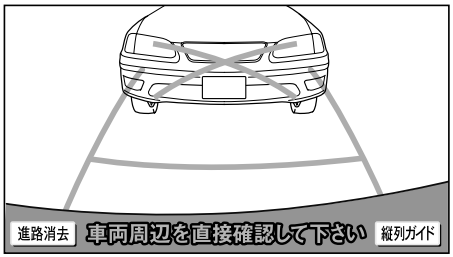


4 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。

⚠注意

▶車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

5 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。 画面を参考に必ず目視やミラーで車の前後を確認し、最適な位置まで後退して駐車を終える。



バックガイドモニターの設定

»バックガイドモニター設定画面の表示

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 運転支援 にタッチ。

4 バックガイドモニター設定 にタッチ。

5 設定する項目を選択する。

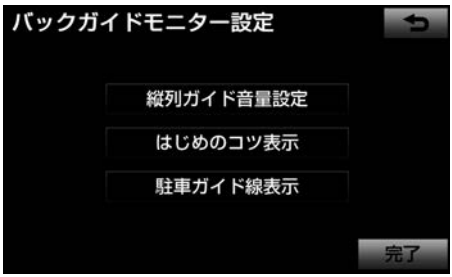
▶次の項目を設定できます。

項　目	ページ
縦列ガイド音量設定	387
はじめのコツ表示	387
駐車ガイド線表示	370 、371

縦列ガイドの音量設定

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
運転支援 ⇒
バックガイドモニター設定 ⇒
バックガイドモニター設定画面

1 縦列ガイド音量設定 にタッチ。



2 設定したい音量にタッチし、 完了 にタッチ。

▶音声をOFFにするとき
→ 消音 にタッチ。

はじめのコツの表示設定

縦列ガイドモード（→**377**）に「はじめのコツ」を表示することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
運転支援 ⇒
バックガイドモニター設定 ⇒
バックガイドモニター設定画面

1 はじめのコツ表示 にタッチ。

2 する または しない にタッチし、
完了 にタッチ。

バックガイドモニターについての注意点

運転時の注意

⚠警告

▶バックガイドモニターを過信しないでください。 一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
▶後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
▶画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。 画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
▶以下のような状況では、使用しないでください。車の進路が予想進路線から大きく外れる可能性があります。
- ●凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
- ●タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
- ●バックドアが完全に閉まっていないとき
- ●坂道など平坦でない道路

▶バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、バックガイドモニターをご使用ください。 また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作をおこなってください。

▶外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
▶タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

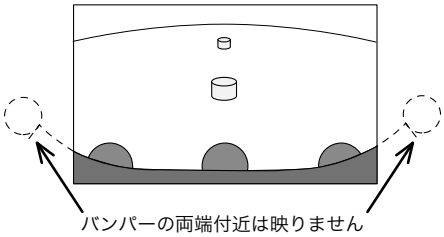
⚠注意

▶本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、舵角センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
▶本機能は、各車種ごとの設定が必要です。したがってお車の買い換えなどのとき、本機を他の車へ付け替えるときは必ず販売店でバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください（そのままでは本機能をご使用になれない車種があります）。

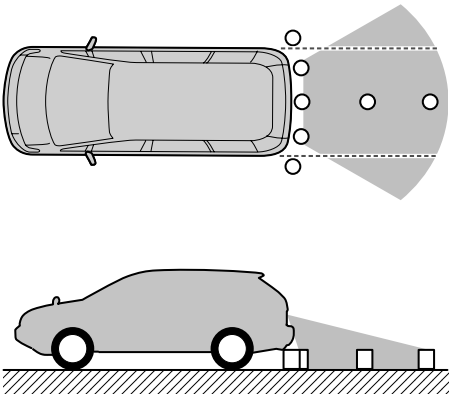
》画面に映る範囲

バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

■画面



■映る範囲



知識

▶車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
▶カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
▶バックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
▶次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
- ●暗いところ（夜間など）
- ●レンズ付近の温度が高い、または低いとき
- ●カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
- ●カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
- ●太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき

▶バックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビ画面の調整と同じです。（→**46**）

»カメラ

車両の後方に取りつけられています。

⚠注意

▶バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
- ●カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
- ●カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- ●カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとカバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- ●カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- ●寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
- ●洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- ●カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- ●スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

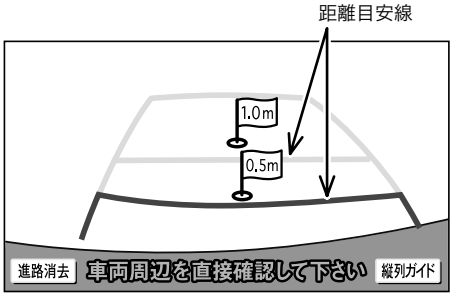
知識

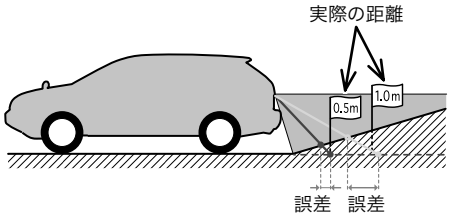
▶カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。 水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

》画面と実際の路面との誤差

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

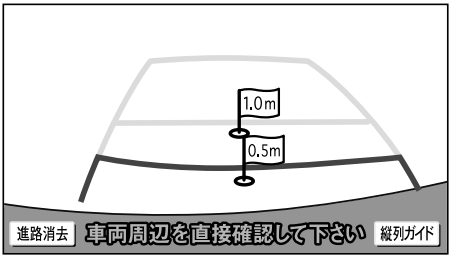
■急な上り坂が後方にあるとき

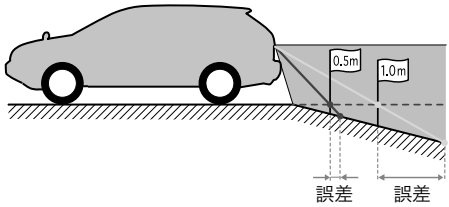




実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

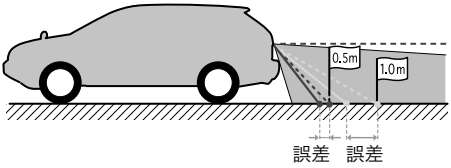
■急な下り坂が後方にあるとき





実際の距離より後ろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■車が傾いているとき

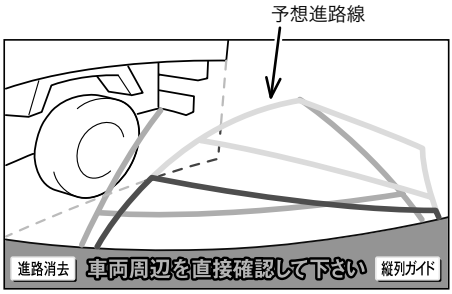


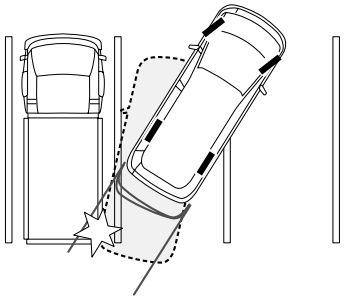
乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

》立体物が近くにあるとき

画面のガイドは平面物（道路など）を対象にしています。
張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことに注意して、ぶつからないようにしてください。

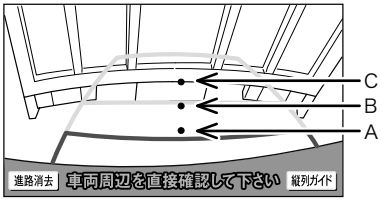
■予想進路線
予想進路線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することはできません。



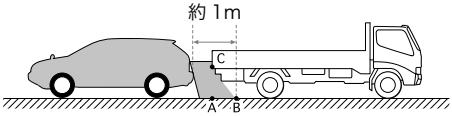


画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えますが、実際には荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。
このように予想進路線が障害物の近くを通るときは、後方や周囲の安全を直接確認してください。

■距離目安線
距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。



A、B、Cの位置



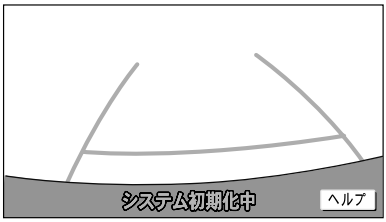
画面では、距離目安線により約1m先（Bの位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。
画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

》バッテリーの脱着後やシステム初期化中画面がでたときは

以下の場合には、必ず初期化作業を行ってください。

- ▶バッテリーを脱着したとき
- ▶シフトレバーを🅁にして、システム初期化中画面が表示されたとき（バッテリー能力の低下など）

システム初期化中画面



■初期化作業
次のいずれかの操作をします。
▶車を止めた状態で、ハンドルを左いっぱいにまわしたあと、右いっぱいにまわします。(左右どちらが先でも可)
▶できるだけ曲り角・カーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約5分間以上走行します。
通常の画面にもどれば、設定終了です。

⚠注意
▶上記操作を行っても、画面が切り替わらないときは、販売店で点検を受けてください。

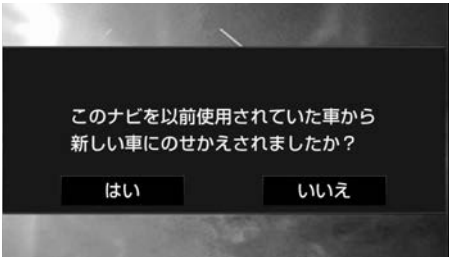
知識
▶システム初期化中画面で、ヘルプにタッチすると、操作方法を表示させることができます。

画面に表示された操作をして、通常の画面にもどれば設定終了です。
システム初期化中画面、またはヘルプ画面が表示されたままのときは、販売店で点検を受けてください。
了解にタッチすると、もとの画面にもどります。

»バッテリーの脱着後や車載機の載せ替えをしたときは

バッテリーの脱着や車載機を載せ替えた場合、チェンジレバーを🅡にすると確認画面が表示されます。本機を載せ替えた場合、必ず販売店でバックガイドモニターの設定を行ってください。

1 はいまたはいいえにタッチ。



▶車載機を載せ替えたとき
→はいにタッチ。
▶車載機を載せ替えていないとき
→いいえにタッチ。
▶はいにタッチしたとき
→次に表示される画面でOKにタッチ。

マルチビューバックガイドモニター★

マルチビュー バックガイドモニターとは

マルチビューバックガイドモニターはバックガイドモニターの機能を使用できる他、カメラの映像を次の3つの視点で表示することができます。

▶標準画面…バックガイドモニターと同じ視点です。ハンドル操作に連動したガイド線が表示されます。縦列駐車への切り替えや、ガイド線を消すことができます。

▶ワイドビュー…標準画面と比べ、左右に広い範囲の映像を表示することができます。車両後退時の左右安全確認をサポートする視点です。

▶ワイドビュー＋トップビュー…ワイドビューの映像と、上方から見下ろした映像（トップビュー）を同時に表示することができます。車両後退時の安全運転をよりいっそうサポートする視点です。

基本的な操作方法や注意点については「バックガイドモニター」（→**369**～**392**）をご覧ください。

※車種により、マルチビューバックガイドモニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

知識

▶ワイドビューおよびワイドビュー＋トップビューで表示している場合、車幅延長線などのガイド線を消すことができません。また、ハンドル操作に連動した予想進路線などのガイド線は表示されません。（→**372**）

⚠警告

▶マルチビューバックガイドモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。（→**395**）

▶カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。（→**389**）

知識

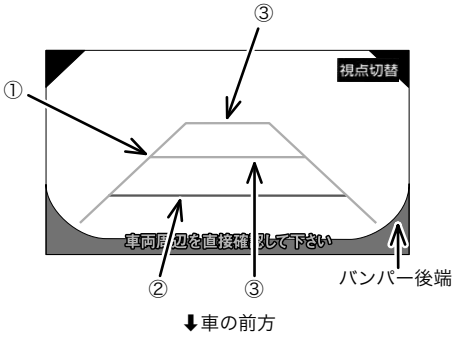
▶本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

★印はオプションです。

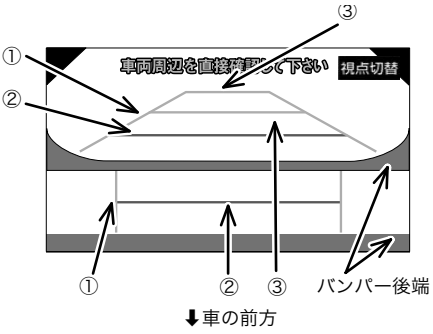
カメラの視点切替方法

》画面の見方

＜標準画面＞
バックガイドモニターの「画面の見方」（→**375**、**385**）をご覧ください。
＜ワイドビュー＞



＜ワイドビュー＋トップビュー＞



①車幅延長線（緑色）
車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 ●実際の車幅より広く表示しています。
②距離目安線　約0.5m先（赤色）
車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 ●約0.5m先を示します。
③駐車ガイド線（緑色）
車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 ●約1m先（1本目）・約2.7m先（2本目）を示します。

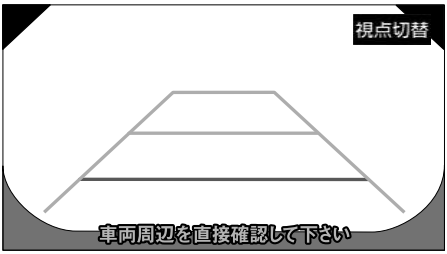
⚠警告

▶乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
▶車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

》視点の切り替え方

1 シフトレバーを🅡にする。

2 **視点切替** にタッチ。



▶タッチするごとに、標準画面→ワイドビュー→ワイドビュー＋トップビューと切り替わります。

知識

▶縦列ガイドモード中は視点を切り替えることができません。

マルチビューバックガイドモニターについての注意点

》運転時の注意

⚠警告

▶マルチビューバックガイドモニターを過信しないでください。 一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
▶後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
▶画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。 画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
▶以下のような状況では、使用しないでください。車の進路が予想進路線から大きく外れる可能性があります。
●凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
●タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
●バックドアが完全に閉まっていないとき
●坂道など平坦でない道路
▶マルチビューバックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、マルチビューバックガイドモニターをご使用ください。 また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作をおこなってください。
▶外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
▶タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

知識

▶本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、舵角センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
▶本機能は、各車種ごとの設定が必要です。したがってお車の買い換えなどのとき、本機を他の車へ付け替えるときは必ず販売店でマルチビューバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください。（そのままでは本機能をご使用になれない車種があります。）

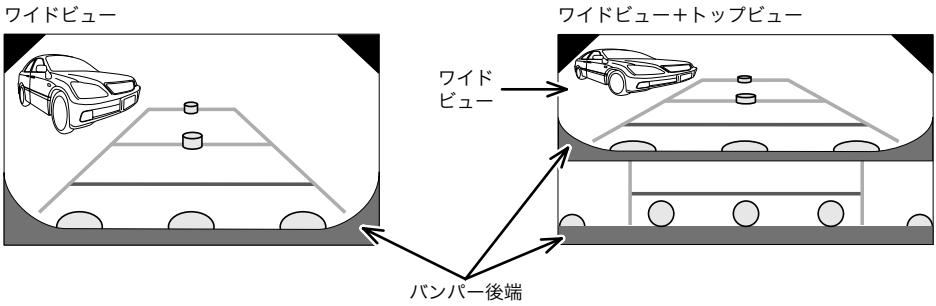
画面に映る範囲

＜標準画面＞

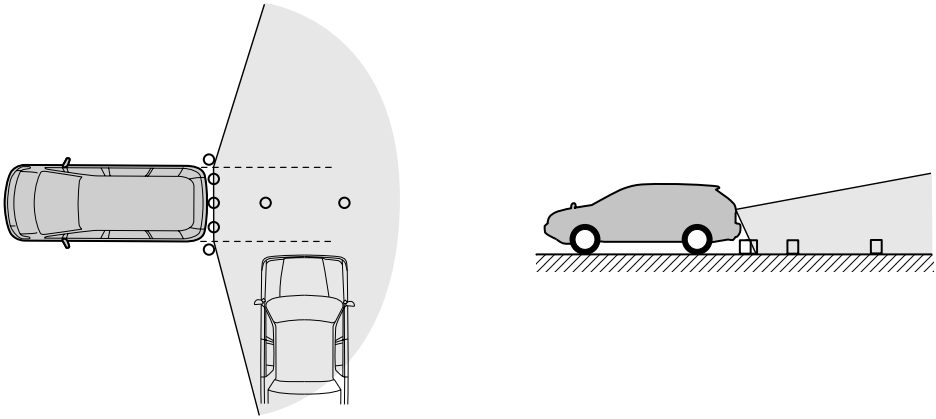
バックガイドモニターの「画面に映る範囲」（→**388**）をご覧ください。

＜ワイドビュー＞

■画面

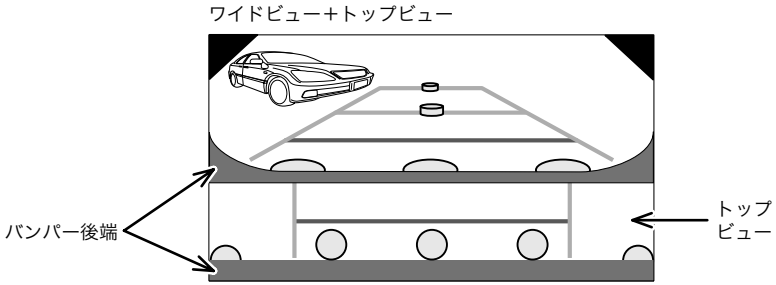


■映る範囲



<トップビュー>

■画面



■映る範囲

知識

▶車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
▶バンパー後端の見え方は車種により異なります。
▶マルチビューバックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
▶次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
- ●暗いところ。(夜間など。)
- ●レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
- ●カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。(雨天時など。)
- ●カメラ付近に異物(泥など)がついたとき。
- ●太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
- ●バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。

▶マルチビューバックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビ画面の調整と同じです。(→**46**)

»カメラ

車両の後方に取りつけられています。

⚠注意

▶マルチビューバックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。

- ●カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
- ●カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- ●カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとカバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- ●カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- ●寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
- ●洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- ●カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- ●スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

知識

▶カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。 水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

バックモニター★

バックモニターとは

車両後方の映像をモニター画面に映し出し、ガイド線で駐車時の後退操作を補助する装置です。

※車種により、バックモニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

⚠警告

▶バックモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。（→**400**）

▶カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。（→**402**）

知識

▶本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

操作のしかた

操作のしかた

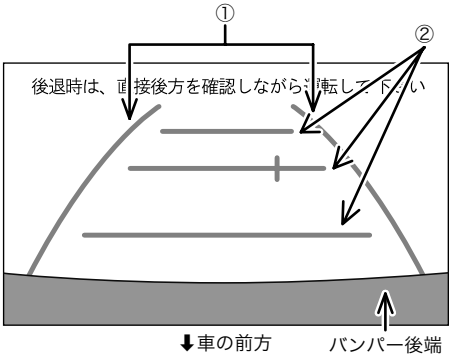
1 エンジンスイッチがONのとき、シフトレバーをⓇにする。

▶解除するとき
→シフトレバーをⓇ以外にする。

知識

▶シフトレバーをⓇにしていても、画面外の MAP ・ AV など各モードのスイッチにタッチすると、タッチしたスイッチのモード画面に切り替わります。

画面の見方



①車幅延長線（黄色）
車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 ●実際の車幅より広く表示しています。
②距離目安線
車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 ●ハンドル操作と連動しません。 ●約0.5m先（1本目）・約1m先（2本目）・約2m先（3本目）を示します。

★印はオプションです。

⚠警告

▶乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

▶車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

知識

▶ガイド線は表示する／しないを設定できます。（→400）

»ガイド線表示の設定

後方の映像にガイド線を表示する/しないを設定できます。

バックモニター映像表示中（→399）

1 画面外の MENU に1秒以上タッチし続ける。

2 ガイドON または ガイドOFF にタッチし、 完了 にタッチ。

バックモニターについての注意点

»運転時の注意

⚠警告

▶バックモニターを過信しないでください。 一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。

▶後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

▶画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。 画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。

▶以下のような状況では、使用しないでください。

- ●凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
- ●タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
- ●バックドアが完全に閉まっていないとき
- ●坂道など平坦でない道路

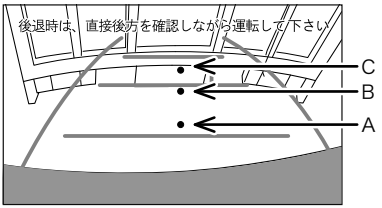
▶外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

▶タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

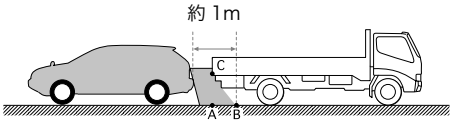
画面に映る範囲

バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

■画面



■映る範囲



距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

画面では、距離目安線により約1m先（Bの位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。

画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

知識

- ▶太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- ▶シフトレバーをⓇにした瞬間は、一端黒画面になりますが、その後次第に安定します。
- ▶車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- ▶カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- ▶バックモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- ▶次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - ●暗いところ（夜間など）
  - ●レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  - ●カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  - ●カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  - ●太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
- ▶蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下でカメラ撮影を行うと、照明および照明の照らされている部分がちらついているように見えることがあります。（フリッカー現象）
- ▶バックモニターの画質調整の方法は、ナビ画面の調整と同じです。（→46）
- ▶後方の映像は実際の色合いと異なることがあります。
- ▶車両によりバックガイド線が左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

»カメラ

車両の後方に取りつけられています。

⚠注意

▶バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。

- ●カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
- ●カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- ●カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとカバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- ●カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- ●寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
- ●洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- ●カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- ●スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

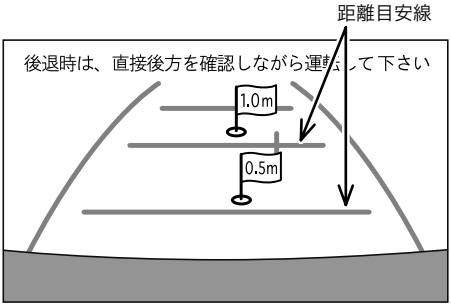
知識

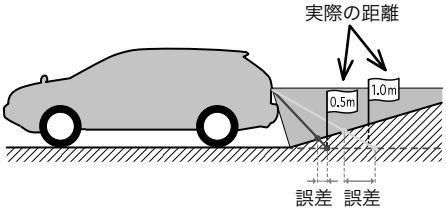
▶カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。 水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

»画面と実際の路面との誤差

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

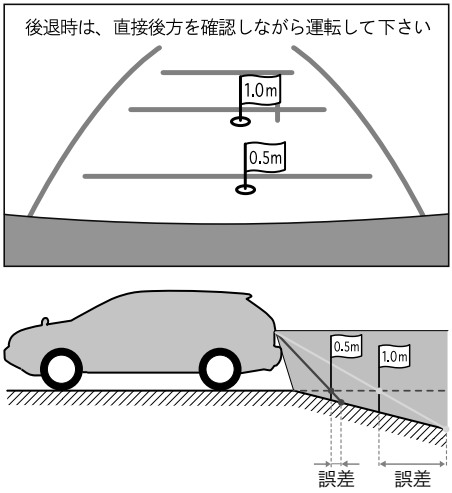
■急な上り坂が後方にあるとき





実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■急な下り坂が後方にあるとき



実際の距離より後ろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

ブラインドコーナーモニター★/サイドモニターシステム★

ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステムとは

車両周辺の映像をモニター画面に映し出すことができます。

▶ブラインドコーナーモニター…車両前方直下、または見通しの悪い交差点やT字路などで、車両の左右前方を確認することができます。

▶左折や幅寄せなどをする際に、車両の左前方を確認することができます。

※車種により、ブラインドコーナーモニターやサイドモニターシステムが使用できないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

⚠警告

▶必ず車の前方や左右の安全を直接確認しながら運転してください。(→**407**)

▶カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

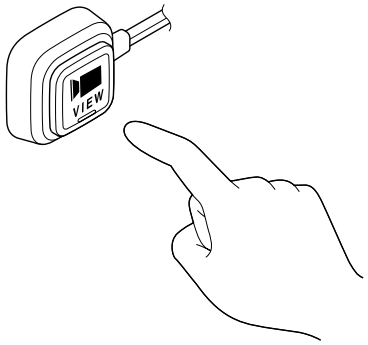
知識

▶本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

操作のしかた

》画面の出し方

1 エンジンスイッチがONで車速が約12km/h未満のとき、カメラ映像呼び出しボタンを押す。



画面の解除

次の場合は、映像が解除されます。

▶走行を開始し、車速が約12km/h以上になったとき

▶カメラ映像呼び出しボタンを押したとき※1

▶シフトレバーをⓇにしたとき※2

▶画面外の MAP など各モードのスイッチにタッチしたとき

※1 優先表示に設定されている画面を表示しているとき
→2回押す。

※2 バックガイドモニター、またはバックモニターを接続していないとき
→サイドモニター画面は解除されません。

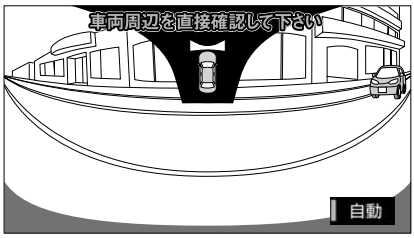
★印はオプションです。

自動表示設定

車速やエンジンスイッチの位置によって自動的にカメラ映像の画面に切り替わるように設定することができます。

周辺の映像表示中（→404）

1 自動 にタッチ。



▶タッチするごとに、自動で表示する条件が切り替わり、条件によって作動表示灯の色が変わります。

作動表示灯	表示条件
黄色	減速して10ｋｍ/ｈ以下になったとき
橙色	エンジンスイッチをONにしたとき
無灯	自動表示しない

知識

▶シフトレバーがⓇのとき、ブラインドコーナーモニターの映像を表示することができません。

▶ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に接続しているとき、自動表示設定は同じになります。異なる設定にすることはできません。

優先表示設定

ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に接続しているとき、優先して表示する画面を選ぶことができます。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 運転支援 にタッチ。

4 カメラ表示優先設定 にタッチ。

5 ブラインドコーナーモニター または サイドモニターシステム にタッチし、完了 にタッチ。

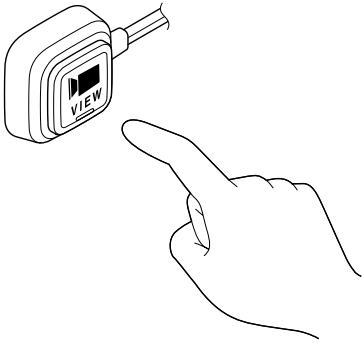
》画面の切り替え方

ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムの切り替え方

ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に接続しているとき、映像を切り替えることができます。

周辺の映像表示中（→404）

1 カメラ映像呼び出しボタンを押す。

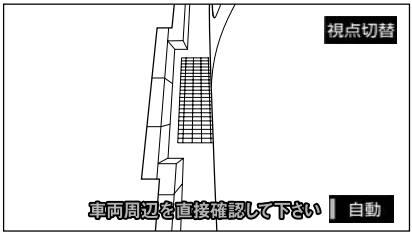


サイドモニターシステムの表示範囲の切り替え方

サイドモニターシステムはVIEW AとVIEW Bの２つの表示範囲に切り替えることができます。

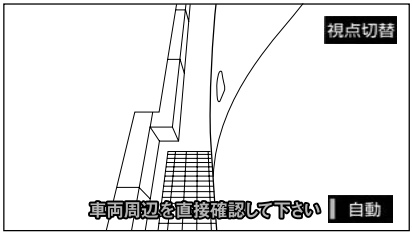
＜VIEW A＞

車両左前方の映像を、左側中心で表示します。



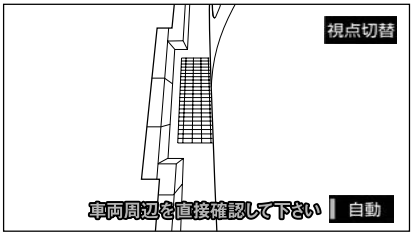
＜VIEW B＞

車両左前方の映像を、前方中心で表示します。



サイドモニターシステムの映像表示中（→406）

1 視点切替 にタッチ。



▶タッチするごとに、VIEW AとVIEW Bが切り替わります。

ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムについての注意点

運転時の注意

⚠警告

▶ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムを過信しないでください。 運転は一般の車と同様、慎重に行ってください。

▶画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。 画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て走行すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。走行するときは、必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認してください。

▶以下のような状況では、使用しないでください。

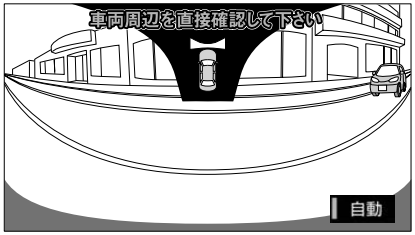
- ドアミラーを格納したとき
- 助手席側ドアが完全に閉まっていないとき

▶外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。とくに動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

》画面に映る範囲

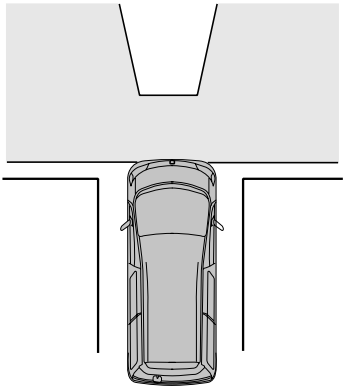
＜ブラインドコーナーモニター＞
車両の左右前方が映ります。

■画面

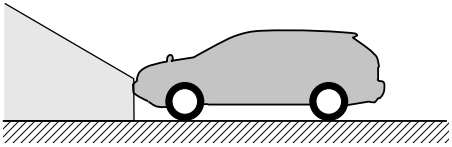


■映る範囲

左右方向



上下方向

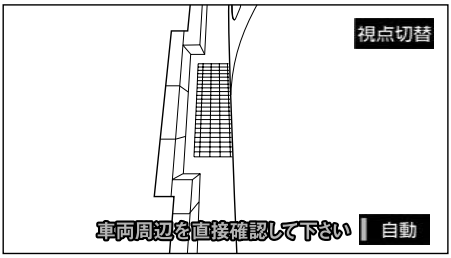


＜サイドモニターシステム＞
車両の左前方が映ります。

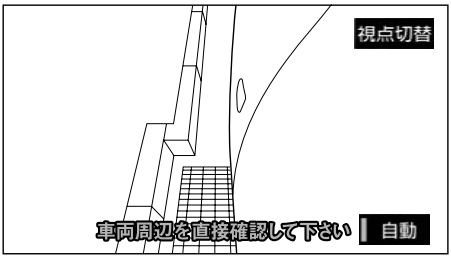
▶VIEW A…左側中心に表示します。
▶VIEW B…前方中心に表示します。

■画面

View A

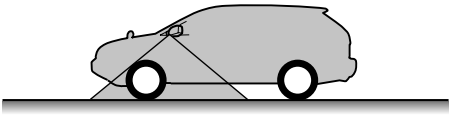


View B

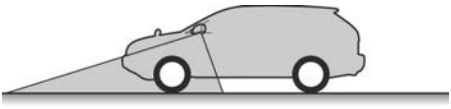


■映る範囲

View A



View B



知識

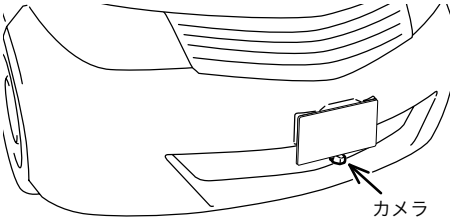
▶車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
▶画面に車両の一部（バンパーやグリル、ライセンスプレートなど）が映ることがあります。
▶ブラインドコーナーモニターやサイドモニターシステムのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
▶次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
- ●暗いところ（夜間など）
- ●レンズ付近の温度が高い、または低いとき
- ●カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
- ●カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
- ●太陽やヘッドランプの光りが直接カメラのレンズに当たったとき

▶蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下でカメラ撮影を行うと、照明および照明の照らされている部分がちらついているように見えることがあります。（フリッカー現象）
▶ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり見づらくなることがあります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
▶次のようなときは故障ではありません。
- ●雨の日など湿度が高いときは、カメラが曇ることがあります。
- ●夜間走行のときなどに、前方の車のランプや建物などの灯りが映像に映り込むことがあります。
- ●夜間など暗い場所では、ノイズを目立たなくするために、白黒映像のように見えたり、実際とは異なった色で見えます。
- ●画面の中央や四隅は映像の鮮明度が低下することがありますが、故障ではありません。

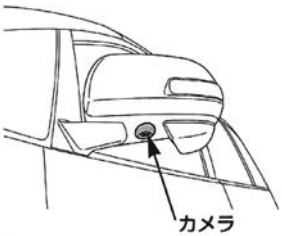
▶ブラインドコーナーモニターやサイドモニターシステムの画質調整の方法は、ナビ操作画面の調整と同じです。（→46）

»カメラ

＜ブラインドコーナーモニター＞



＜サイドモニターシステム＞



⚠注意

▶ブラインドコーナーモニターやサイドモニターシステムが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。

- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、レンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのレンズはガラスですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして、急激な温度変化を与えないでください。
- 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- カメラの表面に飛び石などで傷がつくことがあります。
- スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

知識

▶カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。 水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

マルチアングル全周囲モニター★

マルチアングル全周囲モニターとは

マルチアングル全周囲モニターは車両を中心とした全周囲（前方・左右・後方）の映像を次の3つのモードで表示することができます。

▶フロントモード…車両前方の映像を表示する他、車両左右の映像や車両周辺の映像を表示することができます。

▶バックモード…車両後方の映像を表示する他、車両左右の映像や車両周辺の映像を表示することができます。

▶回転表示モード…車両周辺の映像を回転表示することができます。 車両後方の映像については「バックガイドモニター」（→**369**～**392**）をご覧ください。

※車種により、マルチアングル全周囲モニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

⚠警告

▶必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。（→**418**）

▶カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。（→**421**）

知識

▶本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

フロントモード

》画面の出し方

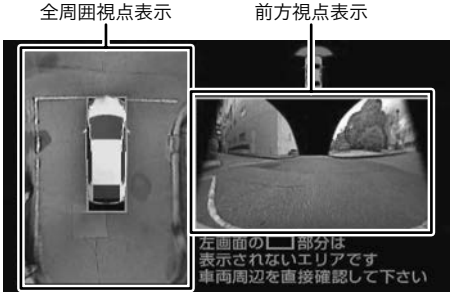
1 ドアミラーが開いている状態およびシフトレバーがⓇ以外の状態であることを確認する。

2 フロントモード表示条件設定（→**415**）で設定した切り替え方で操作する。

▶フロントモード優先表示画面設定（→**416**）で設定した画面に切り替わります。

》画面の見方

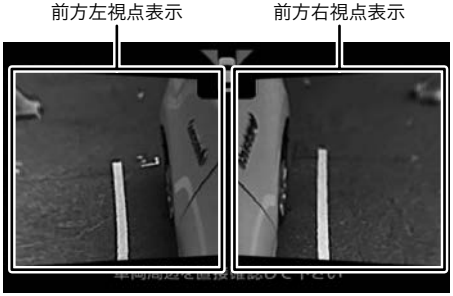
＜全周囲＋前方表示画面＞



＜前方表示画面＞

★印はオプションです。

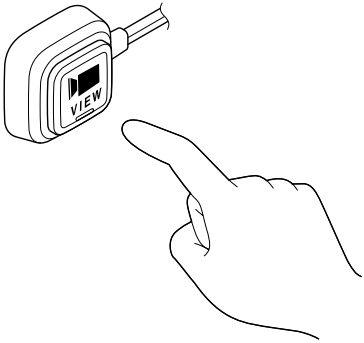
＜前方左右表示画面＞



»視点の切り替え方

フロントモード表示中（→411）

1 カメラ映像呼び出しボタンを押す。



▶押すごとに、視点を切り替えることができます。 例えば、フロントモード優先表示画面の設定（→416）を「サイド」に設定しているとき、全周囲＋前方表示画面→前方表示画面→ナビ画面→前方左右表示画面の順に切り替わります。

●車速が12km/h以上になったとき
→もとの画面に戻ります。

知識

▶車速が12km/h以上のとき、カメラ映像呼び出しボタンを押すと前方左右表示画面が表示されます。

バックモード

»画面の出し方

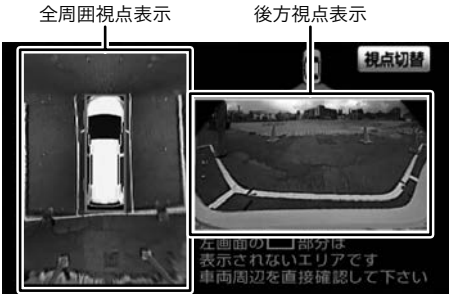
1 ドアミラーが開いている状態であることを確認し、シフトレバーを🅁にする。

▶全周囲＋後方表示画面、後方表示画面（標準）、後方表示画面（ワイド）の中で、前回表示されていた画面が表示されます。

●後方左右表示画面を表示させるとき
→ドアミラーを格納する。

»画面の見方

＜全周囲＋後方表示画面＞

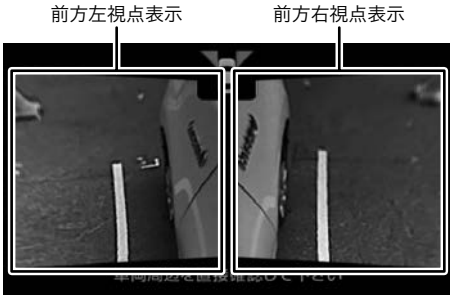


＜後方表示画面（標準）＞
（→372～375）

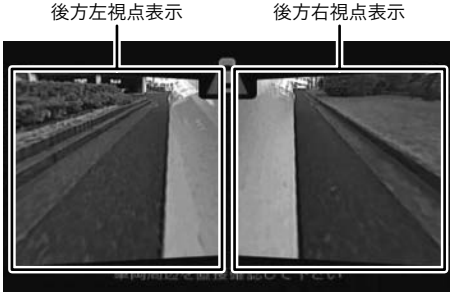
＜後方表示画面（ワイド）＞（→394）

※後方表示画面（ワイド）などの画面で、カメラの一部が映り込む現象（ケラレ）が生じることがありますが、故障ではありません。

＜前方左右表示画面＞



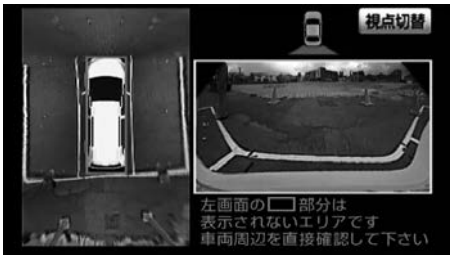
＜後方左右表示画面＞



視点の切り替え方

バックモード表示中（→412）

1 視点切替にタッチ。



▶タッチするごとに、視点を切り替えることができます。 全周囲＋後方表示画面→後方表示画面（標準）→後方表示画面（ワイド）の順に切り替わります。

●後方表示画面（標準）で縦列ガイドモードにするとき
→「バックガイドモニター」（→377）

2 車速が10km/h 未満でカメラ映像呼び出しボタンを押す。

▶ドアミラーが開いているとき
→前方左右表示画面が表示されます。

▶ドアミラーが閉じているとき
→後方左右表示画面が表示されます。

▶車速が12km/h 以上になる、または再度カメラ映像呼び出しボタンを押す
→後方表示画面に切り替わります。

▶シフトレバーをⓇ以外にしたとき
→もとの画面に戻ります。

回転表示モード

初期状態では、エンジンスイッチがACCまたはONのとき、オープニング画面が表示された後に自動で車両周辺の映像が回転表示されます。（→**415**）

》画面の出し方

1 車両が停止していることを確認する。

2 ドアミラーが開いている状態およびシフトレバーがⓇ以外の状態であることを確認する。

3 カメラ映像呼び出しボタンを1秒以上押す。

▶車速が1km/h以上になったとき
→もとの画面に戻ります。
▶シフトレバーをⓇにしたとき
→バックモードの画面に切り替わります。

マルチアングル全周囲モニターの設定

》マルチアングル全周囲モニターの設定

マルチアングル全周囲モニター設定画面の表示

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 運転支援 にタッチ。

4 全周囲モニター設定 にタッチ。

5 設定する項目を選択する。

▶次の項目を設定できます。

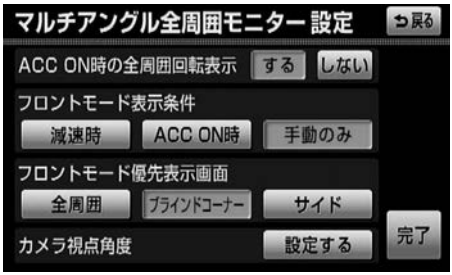
項　目	ページ
ACC ON時の全周囲回転表示	415
フロントモード表示条件	415
フロントモード優先表示画面	416
カメラ視点角度	416

ACC ON時の全周囲回転表示設定

エンジンスイッチをACCまたはONにすると、オープニング画面が表示された後に自動で車両周辺の映像を回転表示させることができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
運転支援 ⇒ 全周囲モニター設定 ⇒
マルチアングル全周囲モニター設定画面

1 する または しない にタッチし、完了 にタッチ。



知識

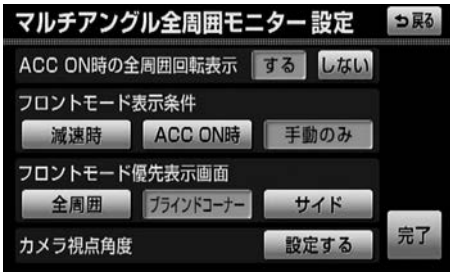
- フロントモード表示条件（→**415**）を「ACC ON時」に設定していると、エンジンスイッチをACCまたはONにしたときオープニング画面が表示された後にフロントモードの画面が表示されます。全周囲回転表示を設定することはできません。
- 車両のドアミラーが閉じていると、全周囲回転表示画面は表示されません。

フロントモード表示条件設定

フロントモードへの切り替え方を設定できます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
運転支援 ⇒ 全周囲モニター設定 ⇒
マルチアングル全周囲モニター設定画面

1 減速時 、 ACC ON時 または 手動のみ にタッチし、完了 にタッチ。



- 減速時 …車速が10km/h未満になったとき、フロントモードに切り替わります。
- ACC ON時 …エンジンスイッチをACCまたはONにしたとき、フロントモードに切り替わります。
- 手動のみ …カメラ映像呼び出しボタンを押したとき、フロントモードに切り替わります。

知識

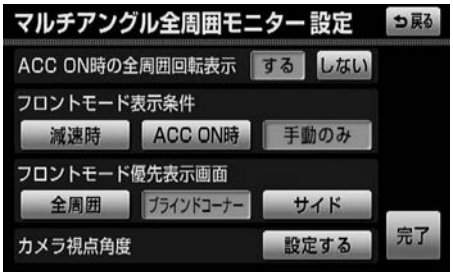
- 「ACC ON時」に設定しているとき、車速が12km/h以上になり、もとの画面にもどった後で、再度減速しても自動で切り替わりません。

フロントモード優先表示画面設定

フロントモードに切り替えたときに、はじめに表示される画面を設定できます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 運転支援 ⇒ 全周囲モニター設定 ⇒ マルチアングル全周囲モニター設定画面

1 全周囲 、 ブラインドコーナー または サイド にタッチし、 完了 にタッチ。



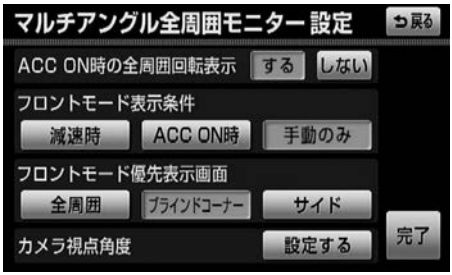
- ▶ 全周囲 …全周囲＋前方表示画面が表示されます。
- ▶ ブラインドコーナー …前方表示画面が表示されます。
- ▶ サイド …前方左右表示画面が表示されます。

カメラ視点角度設定

車両周辺の映像を回転表示させるときのカメラの視点角度を設定することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 運転支援 ⇒ 全周囲モニター設定 ⇒ マルチアングル全周囲モニター設定画面

1 設定する にタッチ。

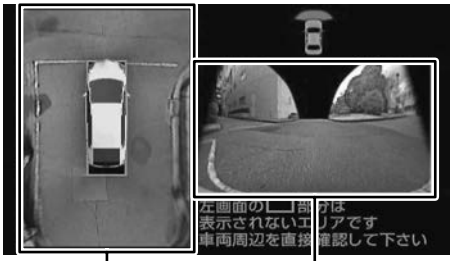


2 [↙] または [↘] にタッチし、 完了 にタッチ。

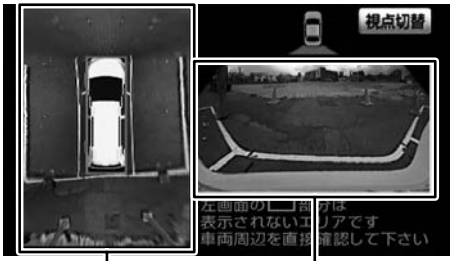
便利な使い方

駐車時などに車両のシフトレバーのⓇとⒹを連続して切り替えるとき、画面の全周囲視点表示を固定して、前方視点表示と後方視点表示のみをシフトレバーに連動して切り替えることができます。

＜シフトレバーがⒹ＞

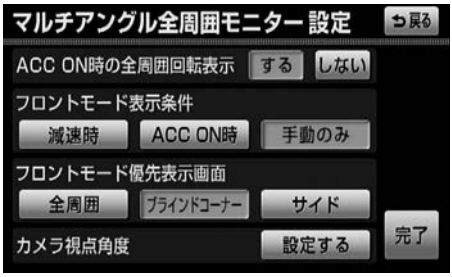


＜シフトレバーがⓇ＞



画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
運転支援 ⇒ 全周囲モニター設定 ⇒
マルチアングル全周囲モニター設定画面

1 フロントモード表示条件の 減速時 、フロントモード優先表示画面の 全周囲 にタッチし、 完了 にタッチ。



2 シフトレバーをⓇにする。

▶全周囲＋後方表示画面、後方表示画面（標準）、後方表示画面（ワイド）の中で、前回表示されていた画面が表示されます。

3 全周囲＋後方表示画面に切り替わるまで 視点切替 にタッチ。

マルチアングル全周囲モニターについての注意点

》運転時の注意

⚠警告

▶マルチアングル全周囲モニターを過信しないでください。 一般の車と同様、必ず周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
▶後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
▶画面だけを見ながら運転することは絶対にしないでください。 画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て運転すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。運転するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
▶以下のような状況では、使用しないでください。
- ●凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
- ●タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
- ●バックドアが完全に閉まっていないとき
- ●坂道など平坦でない道路

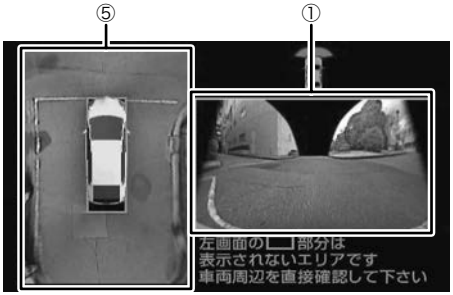
▶タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。
▶車両のドアミラーを格納した状態で使用しないでください（車両の後方左右を表示する場合を除く）。適切な範囲を映すことができません。

画面に映る範囲

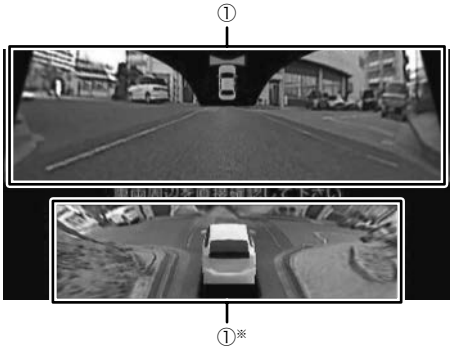
■画面

＜フロントモード＞

全周囲＋前方視点表示

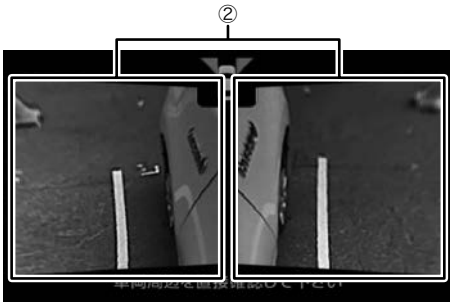


前方表示画面



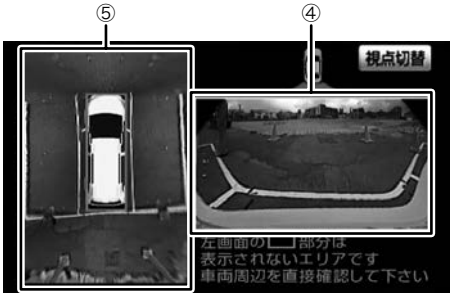
※車両の後方上部から前方を見る視点

前方左右表示画面

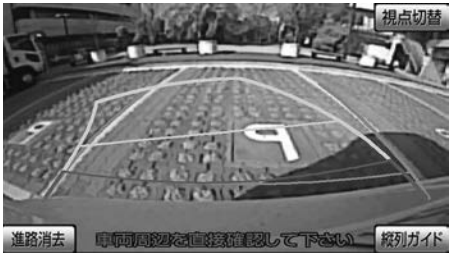


＜バックモード＞

全周囲＋後方表示画面

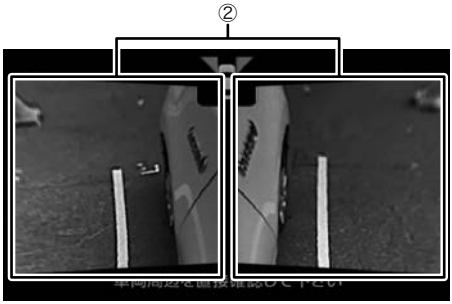


後方表示画面（標準）（→388）

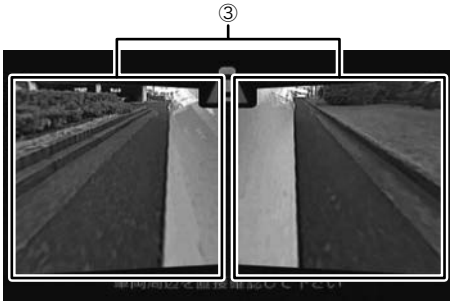


後方表示画面（ワイド）（→396）

前方左右表示画面



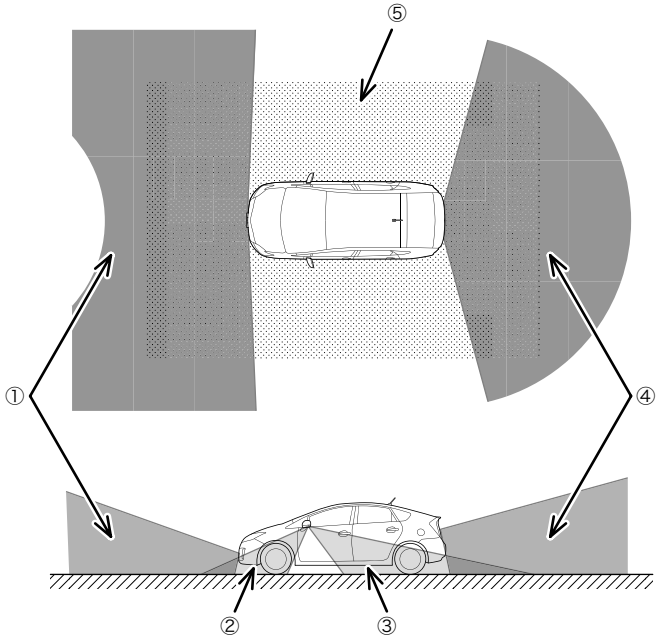
後方左右表示画面



＜回転表示モード＞

回転表示画面

※4つのカメラの映像を合成して擬似的に
全周囲を表示します。



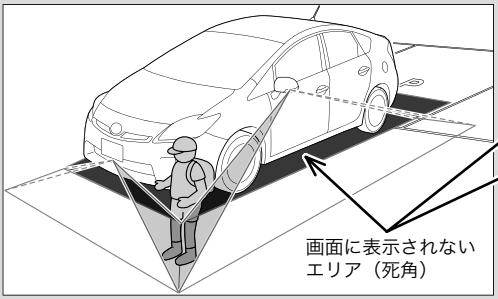
番号	視点表示
①	前方視点表示
②	前方左右視点表示
③	後方左右視点表示
④	後方視点表示
⑤	全周囲視点表示

※上記は表示範囲を正確に示しているものではありません。

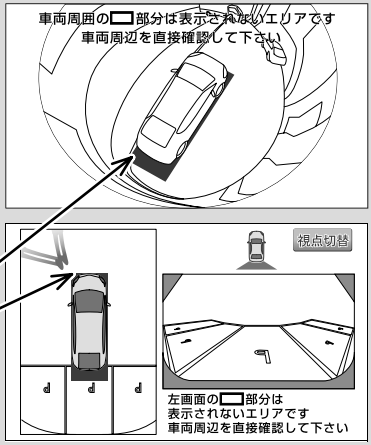
⚠注意

▶本機能は、車両に取り付けられた４つのカメラの映像を合成して擬似的に全周囲が見えるようにしています。次のマルチアングル全周囲モニターの特性をご理解のうえ使用してください。

- ●カメラ取付け位置より上部にある物体は映し出されません。
- ●車両を上から見た映像や後方から見た映像も映像処理により表現しているため、実際の映像と異なる場合があります。(例えば人物などの立体物が寝ているように映る、距離感が実際とは異なるなどの現象が生じます。)
- ●車両の四隅の映像は、人物などの立体物が二重に見えます。
- ●車両の四隅および車両付近に死角があり、画面に表示されないエリアがあります。(下図参照)
- ●画面に表示される車両は、コンピューター処理しているため、実際の車両と異なります。
- ●画面に表示される車両は、実際の形状より大きく表示されるため、車両付近の物体が車両と接触しているように見える場合があります。



カメラの特性



画面の見え方

知識

▶車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。

▶マルチアングル全周囲モニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

▶次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。

- 暗いところ（夜間など）
- レンズ付近の温度が高い、または低いとき
- カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
- カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
- 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
- バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき

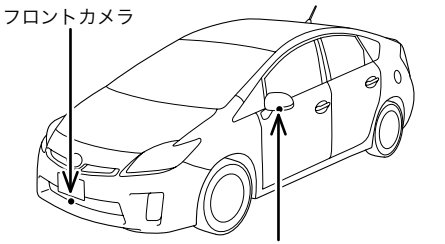
▶車両後方の映像を表示する場合、バンパー後端の見え方は車種により異なります。

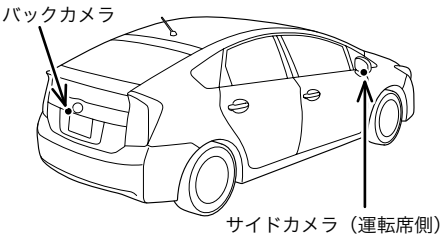
▶広範囲の映像を切り出し、引き伸ばして全周囲画像に処理しているため、画面モードによって部分的に解像度が落ちる場合があります。

▶夜間のサイドカメラ映像は赤外光照明によって周辺を照らすため、昼間の色や明るさとは異なって見えることがあります。例えば赤外光を吸収しやすい物（水たまりなど）は黒く、反射しやすい物（植物の葉など）は白っぽく見えるなどの現象が生じます。

▶マルチアングル全周囲モニターの画質調整の方法は、ナビ画面の調整と同じです。（→**46**）

»カメラ





⚠注意

▶マルチアングル全周囲モニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。

- ●カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
- ●カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- ●カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとカバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- ●カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- ●寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
- ●洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- ●カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- ●スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

知識

▶カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。 水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

▶サイドカメラには夜間照明（赤外光照明）機能があり、夜間の視認性を確保するために赤外光を遮断しない構造になっています。そのため、昼間の太陽光に含まれる赤外光によって、画面の映像が実際の見え方と異なる場合があります。（例えば、映像の色が薄くなったり変色して見えるなどの現象が生じます。）

ETCシステム／ITSスポットサービス（DSRC）

01. ETCシステム 426

ETC システム 426

ETCシステムの概要 426
ETCを利用する前に 426
ETCカードの有効期限案内 427

ETC画面の使い方 427

ETC画面の表示 427
ETC割込表示 428
ETCマーク表示 428
履歴表示 428
統一エラーコードの表示 429
ETC登録情報の表示 429
ETCの通知設定 429

エラーコード 430

統一エラーコード一覧 430

02. ITSスポットサービス（DSRC） 432

ITSスポット対応　DSRCユニット 432

ご利用の前に 432
ITSスポットサービス（DSRC）で提供されるサービス内容 432
ITSスポット 画面の使い方 432
エラーコード 432

01 ETCシステム★

ETC システム

》ETCシステムの概要

ETC（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。路側無線装置と車両のETC車載機との間で通信を行い、料金はお客様が登録されたETCカードの引き落とし口座から後日引き落とされます。

》ETCを利用する前に

ETCシステムを利用する際には、次の点に注意してください。

⚠警告

▶安全のため、運転者は走行中にETCカードの抜き差し、およびETC車載機の操作を極力しないでください。
走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。

▶以下のとき、ETCレーンに設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ●ETCカードが挿入されていないとき
- ●ETCカードの有効期限が切れているとき
- ●ETCレーンへの進入速度が速すぎるとき

⚠注意

▶その他、ETC車載機を用いたサービス（スマートICなど）には、様々な制約があります。サービス提供者が案内する利用方法をご確認ください。

ETCカードを挿入する前

⚠警告

▶ETCカードの有効期限切れにご注意ください。ETCカードの有効期限が切れていると、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。お手持ちのETCカードに記載された有効期限を、あらかじめ確認してください。

ETCカードを挿入した後

⚠警告

▶ETCを利用する際は、あらかじめETCカードが確実にETC車載機に挿入されていることと、ETC車載機が正常に作動していることを確認してください。開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

▶ETC車載機がETCカードを認証するまでには数秒かかりますので、料金所手前でのETCカードの挿入はエラーの原因となる場合があります。

料金所を通過するときは

⚠警告

▶ETCレーンの進入は、十分な車間距離をとり、約20km/h以下の安全な速度で進入してください。

▶ETCレーンに設置されている開閉バーは、ETC車載機と路側無線装置の間の通信、あるいはETC車載機とETCカードとの通信が正常に行われなかった場合は、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

▶ETCレーンを通行するときは、前車との車間距離を保持した上で、開閉バーの手前で安全に停止できるように十分に減速し、開閉バーが開いたことを確認してから通行してください。

★印はオプションです。

》ETCカードの有効期限案内

ETCカードの有効期限が当月、または切れている場合、音声と画面表示で案内されます。

▶ETCカードを挿入する、または挿入した状態で車両のエンジンスイッチをACCまたはONにすると、「ETCカードの有効期限が切れています」などと案内されます。

⚠注意

▶本機能は、ETCカードの有効期限を確認するための補助手段として使用してください。ETCを使用する前は、必ずETCカードに記載されている有効期限を確認してください。

知識

▶通知設定画面のETC音声案内（→**429**）を「しない」に設定していても、ETCカードの有効期限は案内されます。

ETC画面の使い方

》ETC画面の表示

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (情報)⇒情報画面

1 ETC にタッチ。

2 ETC画面が表示される。

ETC カードメッセージ

ETCカードメッセージ

現在のETCシステムの状態が表示されます。

メッセージ	状　態
ETCカード確認中	ETCカードを読み込んでいます。
ETCカード挿入済み	ETCカードが挿入されていることを確認しました。
システム異常	ETCシステムに何らかの異常が発生しています。
ETCカード異常	ETCカードを読み込むことができませんでした。
ETCカード未挿入	ETCカードが挿入されていません。
未セットアップ	ETC車載機がセットアップされていません。
セットアップ完了	ETC車載機がセットアップされました。
ITSスポット通信中	ITSスポットサービス（DSRC）通信中のため、ETCシステムが利用できません。
カード挿入済みETCレーン通行不可	ETCカード以外のカードが挿入されているため、ETCシステムが利用できません。

》ETC割込表示

有料道路にあるETCゲートを通ったときや、エラーが発生したときに表示されます。

割込表示

▶表示される通行料金は道路事業者の割り引きなどにより実際と異なる場合があります。 また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の割込表示・音声による案内は行われない場合があります。

》ETCマーク表示

ETCカードを挿入すると、インフォメーション画面にETCマークが表示されます。

ETC マーク表示

▶ETCマーク表示は、ETCゲートを通過できることを表してはいません。また、有効期限切れのカードを挿入しても表示されます。

》履歴表示

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (情報) ⇒ ETC ⇒ETC画面

1 履歴情報表示 にタッチ。

2 履歴表示を切り替える。
最新 ：最新の履歴にもどる
詳細 ：利用区間を表示する

⚠警告

▶ETCゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができなくなるなど、ETCレーンに設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

▶表示させることができる履歴は、ETCカードに記録されるため、記録件数は使用するETCカードにより異なります。(最大100件)

▶道路事業者の設定する料金所情報に追加・変更があった場合、利用区間が正しく表示されないことがあります。

》統一エラーコードの表示

最後に発生した統一エラーコードが確認できます。

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (情報) ⇒ ETC ⇒ETC画面

1 エラー発生時、登録情報表示にタッチ。

》ETC登録情報の表示

お客様の車のETC車載機に登録された情報が表示されます。

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (情報) ⇒ ETC ⇒ETC画面

1 登録情報表示にタッチ。

▶エラー発生時は最後に発生した統一エラーコードも表示されます。

》ETCの通知設定

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定にタッチ。

3 ETCにタッチ。

4 通知設定にタッチ。

5 各項目の する または しない にタッチし、完了にタッチ。

次の設定を変更することができます。

項 目	内 容
ETC割込表示	「ETC割込表示」(→**428**)
ETC音声案内	ETCシステムを利用するときに、音声を出力する。
ACCオン時警告表示	エンジンスイッチをOFF(LOCK)からACCにしてから約20秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを画面に表示して警告する。
ACCオン時警告音声案内	エンジンスイッチをOFF(LOCK)からACCにしてから約20秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを音声で警告する。
カード抜き忘れ警告	ETCカードが挿入されている状態で、エンジンスイッチをACCからOFF(LOCK)にしたとき、カードの抜き忘れをETC車載機からの音声で警告する。なお、ETC車載機の音声案内を中止(音量0)に設定した場合は、「ピー」とブザー音のみで警告する。
地図上への表示	ETCカード挿入時にETCマークを地図画面上に表示する。

▶通知設定画面でETC割込表示を「しない」に設定すると、エラー発生時に統一エラーコードが画面表示されません。ETC画面の 登録情報表示 で確認してください。(→**429**)

エラーコード

》統一エラーコード一覧

エラーが発生すると、統一エラーコードが画面に表示されます。
この場合は、次の表にもとづき、処置をしてください。
（例）エラー01が発生したときは、次のように音声で案内されると同時に、統一エラーコードが画面に表示されます。
音声案内：「ポーン ETCカードが挿入されていません」または「ポーン ETCゲートを通過できません」
画面表示：「ETCカードが挿入されていません（01）」または「ETCゲートを通過できません（01）」

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処　置
01	ETCカード挿入異常	●ETCカードが通信時に挿入されていない ●ETCカードの挿入状態が悪い	ETCカードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。
02	データ処理異常	●ETCカードへの読出し、書込みエラー ●ETCカードとETC車載機の接点不良（ETCカードアクセス中の瞬断） ●読出し中、書込み中カードのイジェクト	**ETCカード挿入時** 挿入されたETCカードのデータが読み出せませんでした。再度挿入してください。それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。 **ETCカード挿入時** 料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。車両停止後、料金所係員の指示にしたがってください。 **ETCカード挿入時** 次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。料金所係員のいる一般レーン（ETC/一般共用レーンを含む）へ進入してください。
03	ETCカード異常	●ETCカードが故障している ●ICカード以外のカードが挿入され、通信しない ●ETCカードの誤挿入（裏面、挿入方向違い）	挿入されたカードがETCカードであると認識できませんでした。正しいETCカードであること、および挿入方向などをご確認のうえ、再度挿入してください。それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
04	ETC車載機故障	●自己診断結果により、ETC車載機が故障している	再度エンジンを始動してみてください。それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処　置
05	ETCカード情報の異常	●ETCカードとの認証エラー ●ETCカード以外のICカードが挿入 ●認証中ETCカードのイジェクト ●未セットアップ状態でのETCカードの挿入	挿入されたカードがETCカードであると認識できませんでした。正しいETCカードであること、および挿入方向などをご確認のうえ、再度挿入してください。それでも異常のときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
06	ETC車載機情報の異常	路側無線装置との認証エラー	ETC車載機と料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。料金所係員の指示にしたがってください。
07	通信異常	路側無線装置との通信が途中で終了	

▶以下の設定にした場合は、エラーが発生しても音声案内は出力されません。ETC車載機からブザー音のみが出力されます。
- ●通知設定画面で、ETC音声案内（→**429**）を「しない」に設定したとき
- ●ナビの音量設定画面（→**98**）で、「消音」に設定したとき

▶ETCカード未挿入お知らせアンテナなどと通信した際に、統一エラーコード〔07〕と通知されることがありますが、ETC車載機の故障ではありません。

▶ETC車載機の無線通信を利用して、駐車場管理システムが運用されています。有料道路の料金支払いと異なる通信を行った場合、画面表示・**登録情報表示**で確認できる統一エラーコードが〔01〕もしくは〔07〕と表示されることがありますが、ETC車載機の故障ではありません。

▶ETCゲート通過後にエラーが発生した場合、ETCカードを抜くとエラー音が停止します。この場合、再度ETCカードを挿入すると、「ポーンETCカードが挿入されました」の音声と同時に緑ランプが点灯しますが、次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。

ITSスポットサービス（DSRC）

ITSスポット対応　DSRCユニット

ご利用の前に

各サービスをご利用される前に、ITSスポット対応DSRCユニットのセットアップ手続きが必要です。セットアップ手続きについては、お買い上げの販売店にご相談ください。（セットアップ手続きには別途費用が発生します。）

ITSスポットサービス（DSRC）で提供されるサービス内容

ITSスポット対応DSRCユニットは、ETCシステム（自動料金支払いシステム）と、新たにITSスポット 安全運転支援等のITSスポットサービス（DSRC）に対応しています。各サービスの概要、取り扱いについては、各ページを参照してください。
なお、今後サービスが追加された場合は、新しいサービスに対応できないことがあります。

提供サービス		サービス内容	ページ
ETC		自動料金支払い機能	426
ITSスポットサービス（DSRC）	ITSスポット安全運転支援情報	合流支援情報提供（音声、図形表示）	90
		前方障害物情報提供（音声、図形表示）	
	道路交通情報	前方状況情報提供（音声、図形表示、画像表示）	195
		電子標識情報提供（図形表示）	
		長文読み上げ情報（音声）	
		ITSスポット　走行情報アップリンク	198

ITSスポット 画面の使い方

表示される画面の使い方などについては、「ETC画面の使い方」（→**427**）をご覧ください。

エラーコード

エラーコードなどについては、「エラーコード」（→**430**）をご覧ください。

ハンズフリーを使う

01. お使いになる前に 434
ハンズフリーとは 434
Bluetooth 携帯電話について 434
ハンズフリーが使用できないとき 435
Bluetooth オーディオと同時に使用するとき 436
音声について 436
マイク 436
音声 436
各種表示について 437
受信レベル表示 437
電池残量表示 438
Bluetooth 接続状態表示 438
お車を手放すとき 439
02. ハンズフリーの基本操作 440
ハンズフリーの準備をする 440
ハンズフリーの設定をする 440
携帯電話を登録する 440
携帯電話を接続する 441
Bluetooth の再接続について 443
電話をかける 443
ダイヤル発信する 443
電話を切る 444
電話を受ける 445
電話を受ける 445
通話中に操作する 446
通話中に 10 キー入力する 446
通話を終了する 446
03. ハンズフリーの便利な使い方 447
色々な方法で電話をかける 447
はじめに行うこと 447
電話帳から発信する 447
履歴から発信する 448
ワンタッチで発信する 450
音声認識で発信する 451
ナビ画面から発信する 451
携帯電話本体から発信する 452
着信中画面で電話を受ける 452
電話を保留する（応答保留） 452
着信音量を調整する 453
通話中画面で操作する 453
受話音量を調整する 454
送話音量を調整する 454
送話音をミュート（消音）する 454
通話を転送する 454
割込通話を操作する 455
簡易画面で操作する 455
簡易画面での操作について 455
04. ハンズフリーの設定を変更する 456
設定画面を表示する 456
電話の設定をする 456
Bluetooth の設定をする 456
音の設定を変更する 457
音設定画面を表示する 457
電話帳を編集する 458
電話帳について 458
電話帳を編集する 458
携帯電話の電話帳データを転送する 459
電話帳に新規データを追加する 461
電話帳のデータを修正する 462
電話帳のデータを削除する 463
ワンタッチダイヤルを登録する 463
ワンタッチダイヤルを削除する 464
履歴のデータを削除する 465
ハンズフリーの詳細設定を変更する 465
電話詳細設定画面を表示する 465
着信割り込みを表示する 466
電話帳転送の完了を表示する 466
履歴転送の完了を表示する 466
着信時画像を表示する 467
着信時画像の回転を設定する 467
電話詳細設定を初期化する 467
Bluetooth の設定を変更する 468
Bluetooth の設定について 468
携帯電話を登録する 468
Bluetooth 電話機の登録を削除する 468
使用する携帯電話を選択する 469
電話機詳細情報を表示する 470
車載機の Bluetooth 情報を編集する 471
自動で電話機を接続する 472
ACC ON 時の Bluetooth 接続確認を案内する 472

01 お使いになる前に

ハンズフリーとは

動作確認済のBluetooth携帯電話※（以下「携帯電話」）を車載機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。

※本機で動作確認済みの機種については、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でご確認ください。

本機に接続する携帯電話が対応していなければならない仕様については、「車載機で使用できるメディア／データについて」（→**593**）をご覧ください。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠警告

▶安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

▶運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても受けなければいけないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してからかけ直してください。

⚠注意

▶携帯電話は車室内に放置しないでください。 炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

»Bluetooth携帯電話について

Bluetooth携帯電話は、車載機と携帯電話との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。

従来の携帯電話では、ハンズフリーを利用するために、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth携帯電話では、どこにも接続することなく、ハンズフリーを利用することができます。

例えば、ポケットやカバンに携帯電話をいれたままでも、そのままの状態でハンズフリーがご利用いただけます。

⚠注意

▶Bluetooth携帯電話を車載機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

知識

▶Bluetooth携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。

▶Bluetooth携帯電話は、Bluetooth接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。

ハンズフリーが使用できないとき

▶次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。

- ●通話エリア外のとき
- ●回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
- ●緊急通報中のとき
- ●携帯電話から電話帳データを転送中のとき
- ●携帯電話がダイヤルロックされているとき
- ●データ通信中など、携帯電話が使用中のとき
- ●携帯電話が故障しているとき
- ●携帯電話が車載機に接続されていないとき
- ●携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- ●携帯電話の電源がOFFのとき
- ●携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき
- ●車載機側でデータ通信や電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき（切り替え中は車載機のBluetooth接続状態表示が表示されません。）
- ●その他、携帯電話自体が使えないとき

知識

▶三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で三者通話を解除してからお使いください。

▶ヘルプネットをご利用の場合は、次のような制限があります。

- ●ヘルプネット動作中はハンズフリーを使用できません。 また、ヘルプネットを携帯電話でご利用の場合、ヘルプネット動作中は電話を切る操作による回線切断ができません。ただし、呼び返し待機中は、ハンズフリーで発信できます。
- ●着信中、応答保留中または通話中画面表示中にヘルプネットが起動すると、ハンズフリーは強制終了されて、ハンズフリー画面が解除されます。

》Bluetoothオーディオと同時に使用するとき

▶BluetoothオーディオとハンズフリーでBluetooth対応機器（携帯電話）を同時に使用するときは、次のようになります。
- ●携帯電話のBluetooth接続が切断されることがあります。
- ●ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
- ●ハンズフリーの動作が遅くなることがあります。

▶Bluetoothオーディオを再生中にハンズフリーで使用する携帯電話の選択を変更した場合、再生音声が途切れることがあります。

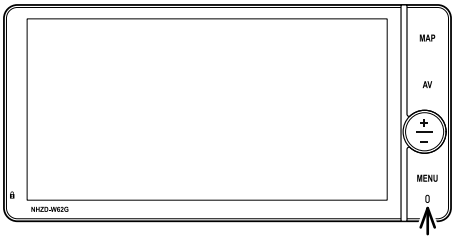
▶電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されます。 この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）

▶ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。

音声について

》マイク

ナビ本体に内蔵されており、通話時に使用します。



マイク

知識

▶販売店装着オプションの音声認識マイクを接続した場合は、内蔵されているマイクを使用せずに、音声認識マイクを使用します。（→348）

》音声

▶発信後および着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話できます。

▶着信通知や通話時などの音声出力は、前席両側のスピーカーから出力されます。

知識

- ▶通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。（故障ではありません。）
- ▶受話音量はできるだけ小さく調整してください。音量が大きい場合、次のようになることがあります。
  - ●通話相手の音声が車外にもれる。
  - ●通話相手側にエコーが聞こえる。
- ▶音声は大きくはっきりとお話しください。
- ▶次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  - ●悪路走行時
  - ●高速走行時
  - ●窓を開けているとき
  - ●エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
  - ●エアコンのファンの音が大きいとき
  - ●携帯電話をマイクに近づけたとき
- ▶使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- ▶他のBluetooth対応機器（ポータブル機）が同時に接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

各種表示について

》受信レベル表示

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

- ▶「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。この場合は、携帯電話本体も使用できません。「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。
- ▶受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。
- ▶機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。
- ▶「未接続」の表示が出ているときは、携帯電話が車載機に接続されていません。ハンズフリーを利用する場合は、Bluetooth接続してからご利用ください。

表示	圏外
レベル	圏外　弱 ◀——▶ 強

電池残量表示

携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

▶電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。

▶本システムには携帯電話の充電機能はありません。

表示				
残量	無	少	◀▬▬▶	多

Bluetooth 接続状態表示

携帯電話の Bluetooth 接続状態を表示します。

表示	接続状態
	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。
	この状態では通話時に音質が劣化することがあります。点が3つ表示される位置まで、携帯電話を移動してご使用ください。
	携帯電話が Bluetooth 接続されていない状態を示しています。この状態では携帯電話でのハンズフリーは使用できませんので、再度、携帯電話の選択をご確認ください。（→**469**）携帯電話の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。（→**468**）

知識

▶Bluetooth通信用のアンテナがディスプレイ内に内蔵されています。 次のような場所や状態でBluetooth携帯電話を使用すると、Bluetooth接続状態表示の点の数が少なくなることや、Bluetooth接続ができないことがあります。
- ●携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき（携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
- ●携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき

▶Bluetooth携帯電話を使用するときは、点が3つ表示されるように、携帯電話の場所を移動させてください。

▶携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的にBluetooth接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（→**52**）

なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態にもどすことはできません。間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

▶ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。
- ●電話帳データ
- ●発信履歴および着信履歴
- ●ワンタッチダイヤル
- ●Bluetooth電話機の登録情報
- ●ハンズフリー関連の設定項目

02 ハンズフリーの基本操作

ハンズフリーの準備をする

》ハンズフリーの設定をする

ここでは、ハンズフリーを使用するための基本的な操作について説明しています。
初めてハンズフリーを使われる方やすぐにハンズフリーを使いたいという方は、まずこの章をご覧の上、操作してください。

▶ハンズフリーを使用する前に、まず使用する携帯電話を設定します。

》携帯電話を登録する

Bluetooth携帯電話を使用するためには、まず次の手順で車載機に登録をすることが必要です。

▶携帯電話をBluetoothオーディオとしても使用したい場合は、同時に登録できます。（→**317**）

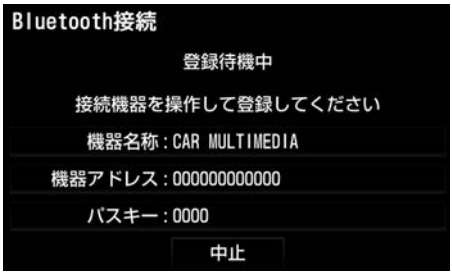
画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒設定画面

1 機器登録 にタッチ。

2 新規登録 にタッチ。

▶複数の携帯電話を使用する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

3 Bluetooth接続画面に表示される案内にしたがって、携帯電話本体を操作する。



▶携帯電話側の登録操作は、必ずこのBluetooth接続画面を表示させて行ってください。

▶中止するとき
→ 中止 にタッチ。

4 接続が完了したとき
→メッセージが表示され、携帯電話の登録が完了する。

知識

▶携帯電話によっては、パスキーの入力が必要になります。
▶パスキーとは、Bluetooth携帯電話を車載機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。（→**471**）
▶携帯電話は、車載機に最大5台まで登録することができます。
▶携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
▶複数の携帯電話を使用する場合は、携帯電話の数だけ登録を繰り返します。

G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で利用するとき

携帯電話の登録後、ご利用の携帯電話に合わせて、使用する携帯電話の設定をしてください。（→**556**）

接続失敗画面が表示されたとき

「接続できませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。

知識

- ▶携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が車載機で使用する携帯電話として選択されます。
- ▶携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- ▶HFPに対応していない携帯電話は、ハンズフリー電話機として登録できません。また、そのような携帯電話では、DUN、OPP、PBAPのみのサービスは利用できません。
- ▶接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
- ▶Bluetooth オーディオ再生中に携帯電話を登録する場合、Bluetoothオーディオ機器が一旦切断されます。
- ▶登録時、携帯電話側に登録完了が表示されても、車載機側の登録が完了しない場合があります。 その場合、携帯電話側からBluetoothの接続を行ってください。

》携帯電話を接続する

Bluetooth携帯電話の車載機への接続は、自動と手動の2通りの方法があります。

知識

- ▶携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- ▶Bluetoothオーディオの再生中に接続動作を行った場合、音声が途切れることがあります。
- ▶Bluetoothオーディオの操作後に携帯電話の接続を行った場合、接続できないことがあります。また、携帯電話の接続動作中にBluetoothオーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。
- ▶電話帳自動転送（→**460**）と履歴自動転送（→**460**）の設定を「する」に設定している場合、携帯電話を接続するたびに、電話帳データと履歴のデータが自動で転送されます。
- ▶PBAPに対応している携帯電話で接続時、またはユーザー操作により電話帳転送実施時にPBAP電話帳／履歴転送する際には、携帯電話側にPBAPの接続リクエストの許可を求める機種があります。携帯電話側で許可をしないと電話帳／履歴転送は行えません。

携帯電話を自動で接続する

Bluetooth詳細設定の電話機自動接続（→**472**）を「する」に設定すると、自動でBluetooth接続できます。
エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCまたはONにするたびに、車載機は選択されている携帯電話と自動的にBluetooth接続します。

■Bluetooth接続確認案内

Bluetooth詳細設定の電話機の接続確認案内（→**472**）で「する」を選択しているときは、Bluetooth接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。
ハンズフリーを使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth 接続確認案内

▶Bluetooth接続状態表示でも確認できます。（→**438**）

知識

▶携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがACCまたはONのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFに設定してください。（設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。）

■自動接続できなかった場合

自動接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→**442**）

携帯電話を手動で接続する

携帯電話の自動接続が失敗したときや自動接続OFF状態にしているときにBluetooth接続するときは、手動でBluetooth接続操作をします。

ダイヤル画面表示中（→**447**）

1 携帯電話をBluetooth接続可能な状態にする。

2 接続 にタッチ。

3 使用する携帯電話にタッチ。

4 Bluetooth接続画面が表示される。

▶中止するとき
→ 中止 にタッチ。

5 再びダイヤル画面が表示されたら、Bluetooth接続状態表示を確認する。

▶良好な状態であれば携帯電話が使用できます。

知識

▶携帯電話の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

》Bluetoothの再接続について

エンジンスイッチがACCまたはONのときに、一度接続が成立したBluetooth接続がBluetoothネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、再接続処理を自動的に行います。

知識

▶自動接続を開始して約35秒経過した時点で接続完了していない場合「携帯電話が接続できませんでした。携帯電話を忘れていませんか？」というメッセージが表示され、AKB48 Team 8の音声案内が流れます。（→**4**）

▶接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→**442**）

Bluetooth接続が意図的に切断された場合

携帯電話側からBluetooth接続をOFFにするなど、一度接続が成立したBluetooth接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

次のいずれかの方法で再接続してください。

項目	ページ
手動で接続する	**442**
改めて携帯電話を選択する	**469**

電話をかける

》ダイヤル発信する

ここでは、基本操作としてダイヤル発信を説明します。

電話番号を入力して電話をかけることができます。

■その他の電話のかけ方について

→「はじめにおこなうこと」（→**447**）

知識

▶ダイヤル画面を表示しているときに走行を開始すると、10キーが灰色になり、操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信することはできます。

▶ハンズフリーを使用して電話をかけるときの通話料は、お客様のご負担になります。

▶Bluetooth携帯電話は、車載機に携帯電話を登録してBluetooth接続しないとハンズフリーが使用できません。ハンズフリーを使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。（→**440**）

▶携帯電話はBluetooth機能を使用できる状態にしてご使用ください。 携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

▶Bluetooth接続状態表示が切断表示の場合は、携帯電話でのハンズフリーはご使用になれません。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 電話 にタッチ。

▶携帯電話が登録されていないときはメッセージが表示されます。 はい にタッチすると、携帯電話の登録（→**440**）を開始します。

3 電話番号を入力する。

▶最後の1桁を消去するとき
→ 修正 にタッチ。
▶最後の1桁から続けて消去するとき
→ 修正 にタッチし続ける。

4 にタッチ。

5 発信できたとき

▶発信中画面が表示される。
▶発信音が出力された後、呼出音が出力されます。

6 相手が電話に出たとき

▶通話中画面が表示され、通話を開始する。

知識

▶携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
- 発信音や呼出音が鳴らず、無音になることがあります。
- 発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
- 通信事業者のサービスにより発信中画面で10キー入力する必要がある場合、10キー入力をしてもトーン信号を送れないことがあります。10キー入力については、「通話中に10キー入力する」（→**446**）をご覧ください。

▶Bluetoothオーディオ再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。

》電話を切る

▶次のいずれかの操作をする。
- 発信中または通話中画面で にタッチ。
- 携帯電話本体で電話を切る。

知識

▶電話が切れると発信画面に戻ります。

電話を受ける

》電話を受ける

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号が表示されません。（→**455**）

1 表示中の画面に関わらず、電話がかかってくると着信音を鳴らして着信中画面を表示し、着信を通知する。

2 にタッチ。

知識

▶着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリーより優先される音声の場合は、ミュートされません。

▶携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

- ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
- 携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定すると、着信音が聞こえない場合があります。
- 機種によっては、着信音については、
①車両のスピーカーから聞こえる
②携帯電話から聞こえる
③両方から聞こえる
など、機種によって異なります。
- 着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
- 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
- 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、機種によっては、車載機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
- Bluetoothオーディオ再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。

▶PBAPに対応している携帯電話で画像表示設定をしている場合、電話帳データに画像情報があると電話番号と共に画像が表示されます。

通話中に操作する

通話中に10キー入力する

通話中に10キー入力が必要な場合は、10キーを表示させます。
ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号は表示されません。（→**455**）

ハンズフリー通話中

1 トーン にタッチ。

2 スイッチにタッチして入力する。

▶☎にタッチすると、電話が切れます。

知識

▶走行中は10キーが灰色になり、操作できません。

通話を終了する

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号は表示されません。（→**455**）

▶次のいずれかの操作をする。

- 通話中画面で☎にタッチする。
- 携帯電話本体で電話を切る。

ハンズフリーの便利な使い方

色々な方法で電話をかける

»はじめに行うこと

ここでは、ダイヤル発信以外の電話のかけ方について説明します。

ダイヤル画面を表示する

1 画面外の MENU →電話 の順にタッチ。

▲ダイヤル画面

▶この画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

発信方法	内容	ページ
ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかける	443
電話帳発信	車載機の電話帳から電話をかける	447
履歴発信	発信履歴または着信履歴から電話をかける	448
ワンタッチ発信	ワンタッチダイヤルから電話をかける	450

▶その他、次の方法で電話をかけることもできます。

発信方法	内容	ページ
音声認識発信	音声認識で電話をかける	451
ナビからの発信	ナビまたはG-BOOKのデータから電話をかける	451

知識

▶ハンズフリーで使用する携帯電話の場合は、データ通信中に電話をかけようとすると、メッセージが表示されます。データ通信を終了しても良い場合は、はい にタッチしてください。データ通信を終了したくない場合は、いいえ にタッチし、データ通信が終了してから、再度電話をかけてください。

»電話帳から発信する

あらかじめ電話番号を車載機の電話帳に登録しておくことにより（→458）、登録した電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

ダイヤル画面表示中（→447）

1 電話帳 にタッチ。

▶電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。

- PBAPに対応していない携帯電話の場合、 編集 にタッチすると、電話帳編集画面（→461）が表示されます。 転送 にタッチすると、電話帳転送画面（→459）が表示されます。
- PBAPに対応している携帯電話の場合、 はい にタッチすると電話帳転送が行われます。

2 希望の通話相手にタッチ。

ショートカットスイッチ

▶接続されている携帯電話に対応した電話帳のみ表示されます。

▶次のいずれかにタッチすると、ショートカットスイッチが切り替わります。
その他 ：英数字ショートカット
50音 ：50音ショートカット

▶英数字ショートカットを表示しているときは、アルファベットのショートカットスイッチのみ任意のアルファベットが選択できます。
（例） ABC を2回タッチすると、Bで始まるデータのリストが先頭に表示されます。

▶ 転送 にタッチすると、電話帳転送画面が表示されます。（→**459**）

▶ 機能 にタッチすると、電話帳編集画面が表示されます。（→**461**）

3 電話番号が複数登録してあるときは、希望の電話番号にタッチ。

▶PBAPに対応している携帯電話で画像表示設定をしている場合、電話帳データに画像情報があると電話番号と共に画像が表示されます。

4 にタッチ。

»履歴から発信する

発信履歴または着信履歴に登録されている電話番号を呼び出して、電話をかけることができます。

ダイヤル画面表示中（→**447**）

1 履歴 にタッチ。

2 必要に応じて、全履歴、着信履歴または発信履歴にタッチ。

▲全履歴画面

不在着信アイコン

▲着信履歴画面

▲発信履歴画面

3 希望の通話相手にタッチ。

4 にタッチ。

知識

▶過去に発信または着信した電話番号を、それぞれ最大10件記憶しています。

▶それぞれの履歴が10件を超えると、古い履歴から自動で削除されます。

▶着信および着信拒否、不在着信、発信の電話番号に、それぞれアイコンが表示されます。

▶発信履歴は、状況によって次のように登録されます。

- ●車載機の電話帳またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称・画像も発信履歴に登録されます。
  名称読みのみ登録されているときは、空欄になります。
- ●同一電話番号に発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。

▶着信履歴は、状況によって次のように登録されます。

- ●車載機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称･画像も着信履歴に登録されます。
  名称読みのみ登録されているときは、空欄になります。
- ●同一電話番号から着信した場合は、すべて着信履歴に登録されます。
- ●不在着信および着信拒否も着信履歴として登録されます。
- ●相手先電話番号の情報がない場合は、「通知不可」と着信履歴に登録されます。
- ●履歴にタッチすると、履歴内容画面が表示されます。（→**461**）

履歴を削除する

発信履歴および着信履歴のデータは、それぞれ全削除できます。

▶履歴データはそれぞれ個別に削除することもできます。（→**465**）

知 識

▶履歴の消去は、携帯電話の機種によってできないものがあります。

ダイヤル画面（→**447**）⇒
履歴 ⇒ 全履歴 、 着信画面
または 発信履歴 ⇒全履歴画面、着信履歴画面または発信履歴画面

1 削除 にタッチ。

2 全選択 にタッチ。

3 削除 にタッチ。

4 はい にタッチ。

■お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（→**52**）

》ワンタッチで発信する

電話帳に登録してある任意の電話番号をワンタッチダイヤルとして登録しておくことにより（→**463**）、簡単な操作で電話をかけることができます。

ダイヤル画面表示中（→**447**）

1 ワンタッチダイヤル にタッチ。

2 希望の電話番号にタッチ。

▶選択した電話番号に発信されます。

▶ページを切り替えるとき

→ ワンタッチ 1 、 ワンタッチ 2 または ワンタッチ 3 にタッチ。

知 識

▶ 機能 にタッチすると、ワンタッチダイヤルの登録・削除ができます。（→**463**）

》音声認識で発信する

音声認識で電話をかけることができます。

▶音声認識発信のしかたについて
→「電話をかける」(→**358**)

音声認識発信を中止する

「音声認識モードを中止する」(→**351**)の方法で、音声認識発信を中止できます。

知識

▶音声認識中に着信した場合やハンズフリー以外の画面に切り替えた場合は、認識動作を中止します。

▶音声認識発信は走行中でも使用できます。

▶音声操作で電話をかける場合、携帯電話の機種によっては、発信後電話画面に切り替わるまでに時間がかかることがあります。
この場合、切り替え中は現在地画面が表示されますので、電話画面に切り替わるまではナビの操作をしないでお待ちください。

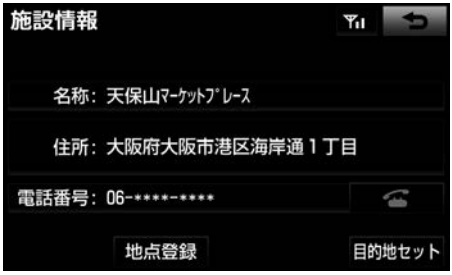
▶データ通信中に音声操作で電話をかけると、データ通信は強制終了されます。

》ナビ画面から発信する

ナビ画面で または 電話をかける が表示されているときは、ナビに登録されているデータの電話番号に電話をかけることができます。

1 または 電話をかける が表示されている画面を表示する。

2 または 電話をかける にタッチ。



ダイヤル画面の 交通ナビ の使い方

ダイヤル画面で 交通ナビ にタッチすると、ナビの交通ナビ関連画面が表示され、ここからも電話をかけることができます。
(→**365**)

》携帯電話本体から発信する

車載機にBluetooth接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

ハンズフリー画面を表示する

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth接続中であれば、ハンズフリー画面を表示することができます。

1 画面外の MENU →電話 の順にタッチ。

■画面スイッチを使用したいとき
→通話転送の操作をする。（→**454**）

⚠警告

▶安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

知識

▶携帯電話本体から発信した場合、次の点がハンズフリーと異なります。
- ●携帯電話側で直接操作して発信した場合は、発信履歴に登録されません。
- ●単独で通話中の携帯電話が車載機に接続された場合、相手先電話番号は発信履歴または着信履歴に登録されません。

▶携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

着信中画面で電話を受ける

ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。

知識

▶ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号が表示されません。（→**455**）

》電話を保留する（応答保留）

1 着信中、☎にタッチ。

▶応答保留を解除して通話するとき
→☎にタッチ。

▶応答保留中に音量を調整するとき
→ − または + にタッチ。

▶応答保留中に電話を切るとき
→☎にタッチ。

知識

▶携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。

▶携帯電話の機種によっては、車載機側の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。

▶Bluetooth接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または携帯電話本体で応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。

応答保留中に通話を転送する

Bluetooth携帯電話では、応答保留中でも 電話機通話 にタッチすると、通話を転送できます。(→**454**)

»着信音量を調整する

着信中、 − または ＋ にタッチ。

着信を拒否する

着信中画面で、着信拒否できます。
携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。

▶ にタッチし続ける。
▶着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

通話中画面で操作する

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

(1) 受話音量の調整
(2) 送話音量の調整
(3) 送話音のミュート
(4) 通話の転送
(5) 割込通話

▲通話中画面

知識

▶ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号が表示されません。(→**455**)

▶携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

- 単独で通話中の携帯電話が車載機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのままで通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。
- ハンズフリーで通話中にエンジンスイッチをOFF(LOCK)にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。 なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、エンジンスイッチがACCまたはONであれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。(→**454**)

受話音量を調整する

通話中、［－］または［＋］にタッチ。

送話音量を調整する

通話相手に聞こえる音量を調整することができます。

1 ［送話音量］にタッチ。

2 ［－］または［＋］にタッチして調整し、［完了］にタッチ。

送話音をミュート（消音）する

お客様の音声を通話相手に聞こえなくすることができます。
（この場合でも、通話相手の声はお客様に聞こえます。）

1 ［ミュート］にタッチ。

▶ミュート状態のときは、作動表示灯が点灯します。
▶ミュートを解除するとき
→再度［ミュート］にタッチ。

通話を転送する

Bluetooth携帯電話では、車載機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

画面で操作する

1 通話中画面または応答保留中画面で、［電話機通話］または［ハンズフリー通話］にタッチ。

知識
▶走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。
▶［ハンズフリー通話］は通話中画面にのみ表示されます。

携帯電話本体で操作する

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。
携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、スイッチでの操作ができます。

知識
▶携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
▶応答保留中の携帯電話本体の通話をハンズフリー通話に切り替えると、携帯電話は応答保留中のままで車載機には通話中画面が表示されます。

》割込通話を操作する

通話中に第三者から着信が入った場合、割込通話（キャッチホン）で両者と通話することができます。

▶電話会社と割込通話（キャッチホン）の契約をしている必要があります。

▶携帯電話がHFP Ver 1.5 プロファイルに対応していない場合は、割込通話できません。

割込通話を使用する

通話中に第三者から着信が入った場合、着信メッセージが表示されます。

1 にタッチ。

▶着信相手と通話でき、通話していた相手は保留中になります。

▶にタッチする度に通話相手が切り替わります。

割込通話を拒否する

1 にタッチ。

▶携帯電話の機種により、両者とも通話が切れる場合があります。携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

簡易画面で操作する

》簡易画面での操作について

状況に応じて次のような画面が表示され、電話がつながっていることをお知らせします。

画面に電話番号および名称は表示されませんが、通常通り操作することができます。

知識

▶電話が切れる、または電話を切ると、簡易表示画面やTEL音声画面は解除されます。

簡易表示画面

電話詳細設定の着信割り込み表示（→**466**）で「簡易」を選択しているときに表示されます。

TEL音声画面

電話がつながっているときにオーディオ画面に切り替えようとした場合に表示されます。

ハンズフリーの設定を変更する

設定画面を表示する

》電話の設定をする

設定画面から、電話の各種設定をすることができます。
お客様の使用状況に応じて、ご利用ください。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 電話 にタッチ。

▶設定画面で、次の項目の設定ができます。

▲設定画面

項目／内容	ページ
●音設定 ハンズフリー各音の音量調整・設定	457
●電話帳設定 電話帳の転送・登録・編集・削除 ワンタッチダイヤルの登録・削除 発信履歴・着信履歴の削除	458
●電話詳細設定 ハンズフリー画面の設定	465

》Bluetoothの設定をする

設定画面から、Bluetoothの各種設定をすることができます。
お客様の使用状況に応じて、ご利用ください。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 Bluetooth にタッチ。

▶設定画面で、次の項目の設定ができます。

▲設定画面

項目／内容	ページ
●機器登録 携帯電話の登録・削除、詳細設定	468
●電話機接続 使用する携帯電話の選択	469
●Bluetooth詳細設定 Bluetooth自動接続の設定 Bluetoothの詳細設定	471

音の設定を変更する

》音設定画面を表示する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 設定画面

1 音設定にタッチ。

2 各設定をする。

項目	ページ
受話音量調整	457
送話音量調整	457
着信音量調整	457
音量設定の初期化	457

3 設定が終わったら、完了にタッチ。

受話音量を調整する

通話相手の音声の音量を調整することができます。

1 受話音量にタッチ。

2 −または＋にタッチして調整し、完了にタッチ。

知識

▶受話音量は、発信中画面、通話中画面、応答保留中画面でも調整できます。

▶車速が約80ｋｍ/ｈ以上の高速走行時になると、設定した音量が自動的に1段階上がります。（車速が約70ｋｍ/ｈ以下になると、もとの音量に復帰します。）この設定は解除することができます。（→98）

送話音量を調整する

通話相手に聞こえる音量を調整することができます。

1 送話音量にタッチ。

2 −または＋にタッチして調整し、完了にタッチ。

知識

▶送話音量は、通話中画面でも調整できます。

着信音量を調整する

1 着信音量にタッチ。

2 −または＋にタッチして調整し、完了にタッチ。

知識

▶着信音量は、着信中画面でも調整できます。

設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

1 音設定画面で、初期状態にタッチし、はいにタッチ。

電話帳を編集する

》電話帳について

電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

(1) 携帯電話に登録してある電話帳を車載機の電話帳に転送する。（→**459**）

(2) 車載機の電話帳に新規登録する。（→**461**）

(3) 発信履歴または着信履歴から登録する。（→**461**）

▶また、登録したデータは、車載機で編集することができます。

知 識

▶電話帳は接続された携帯電話１台につき、1000名分のデータを登録することができます。接続されている携帯電話に対応した電話帳のみ表示することができます。

▶この電話帳は、１名につき最大３件の電話番号が登録できます。

▶低温時は、登録、編集または転送した電話帳データが保存されないことがあります。

》電話帳を編集する

画面外の **MENU** ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 設定画面

1 電話帳設定 にタッチ。

2 電話帳の編集をする。

機能	ページ
電話帳データの転送	**459**
電話帳データの新規追加	**461**
電話帳データの修正	**462**
電話帳データの削除	**463**
ワンタッチダイヤルの登録	**463**
ワンタッチダイヤルの削除	**464**
全履歴・着信履歴・発信履歴の削除	**465**

携帯電話の電話帳データを転送する

携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、車載機に転送することができます。

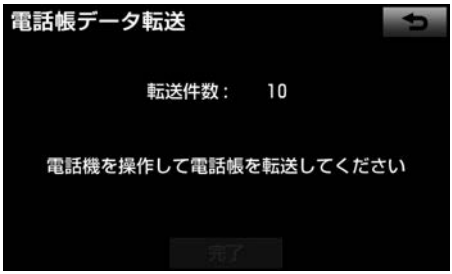
画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 電話帳設定 ⇒電話帳設定画面

1 電話帳編集 にタッチ。

2 転送 にタッチ。

▶PBAP に対応していない携帯電話の場合、携帯電話を操作して電話帳データを転送します。

●電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法を選択します。
上書き ：現在のデータに上書きする
追加 ：現在のデータに追加する



●携帯電話側の転送操作は、必ずこの画面を表示させた状態で行ってください。

●転送中は、転送完了のメッセージが表示されるまで、そのままでお待ちください。

●中止するとき
→ 中止 にタッチ。

▶PBAP に対応している携帯電話の場合、電話帳転送 にタッチすると電話帳転送が行われます。

●中止するとき
→ 中止 にタッチ。

3 転送が完了すると、転送完了のメッセージが表示され、電話帳編集画面にもどる。

知識

▶転送するときは、エンジンを始動した状態で行ってください。

▶この機能は、OPPとPBAPのどちらかに対応している携帯電話で使用できます。また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。詳しくは、携帯電話に添付の取扱説明書を合わせてご覧ください。

▶PBAPに対応している携帯電話では追加することができません。追加が必要な場合は、携帯電話側で追加後転送してください。

▶PBAPに対応している携帯電話では、手動で転送しても「電話帳自動転送」を設定していると、次回再接続時に自動転送され、すべて上書きされてしまいます。

データ通信中に電話帳データを転送する

データ通信中に電話帳転送をすると、メッセージが表示されます。

▶通信を終了するとき
→ **はい** にタッチ。

▶通信を継続するとき
→ **いいえ** にタッチ。
● **いいえ** にタッチした場合は、データ通信終了後にやり直します。

電話帳データを自動転送する

PBAPに対応している携帯電話では、Bluetooth接続時に携帯電話の電話帳データを自動転送することができます。

1 **電話帳編集** にタッチ。

2 **転送** にタッチ。

3 **電話帳自動転送** にタッチし、**する** にタッチ。

4 **完了** にタッチ。

履歴のデータを自動転送する

PBAPに対応している携帯電話では、Bluetooth接続時に携帯電話の履歴データを自動転送することができます。

1 **電話帳編集** にタッチ。

2 **転送** にタッチ。

3 **履歴自動転送** にタッチし、**する** にタッチ。

4 **完了** にタッチ。

転送失敗画面が表示されたとき

▶「転送ができませんでした」のメッセージが表示されたときは、転送操作を最初からやり直してください。

知識

▶電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
- 携帯電話の電話帳で1つの名称に4件以上の電話番号が登録されている場合、車載機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
- 電話番号と同時に名称・名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
- 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。（携帯電話の仕様により可能な場合もあります。）
- 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
- 車載機の電話帳で表示されるアイコンは、転送元の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
- 電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。

▶一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
- ●転送には10分程度かかる場合があります。
- ●電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。

▶電話帳データ転送中は、次のように対応します。
- ●電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。 着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。
- ●電話帳データ転送中に発信操作をした場合、転送を継続して発信を中止します。
- ●電話帳データ転送中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジンを始動して、再度転送操作をやり直してください。

▶次の場合、転送済みの電話帳データは車載機の電話帳に保存されます。
- ●車載機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき
- ●何らかの原因で転送が中断されたとき

▶車載機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。

▶電話帳データ転送中は、Bluetooth オーディオ の接続が切断されます。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）

》電話帳に新規データを追加する

車載機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。
電話帳には、1名のデータにつき、次の項目が登録できます。
名称、名称読み、電話番号（最大3件）、アイコン（各電話番号にそれぞれ1つ）

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 電話帳設定 ⇒電話帳設定画面

1 電話帳編集 にタッチ。

2 新規追加 にタッチ。

3 各項目を編集する。（→462）

▶履歴内容画面（→448）からも、電話帳編集画面を呼び出して新規データを追加することができます。

新規登録 にタッチ。

▶PBAPに対応している携帯電話の電話帳は、新規データを追加することはできません。
▶ 追加登録 にタッチすると、電話帳画面が表示され、電話帳を編集することができます。
▶ 削除 にタッチすると、履歴を削除することができます。

名称、名称読み、電話番号、アイコンの編集をする

電話帳は名称、名称読み、電話番号、アイコンの順で編集することができます。
電話番号は1名につき最大3件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

1 ソフトウェアキーボードで名称を入力し、 完了 にタッチ。

2 名称読みを入力し、 完了 にタッチ。

3 電話番号を入力し、 完了 にタッチ。

4 登録したいアイコンにタッチ。

5 いいえ にタッチ。

▶他の電話番号を続けて登録するとき
→ はい にタッチ。

》電話帳のデータを修正する

登録済みの電話帳データを修正することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 電話帳設定 ⇒電話帳設定画面

1 電話帳編集 にタッチ。

2 編集 にタッチ。

3 修正したいデータにタッチ。

4 各項目のスイッチにタッチして編集する。（→462）

5 完了 にタッチ。

知識

▶PBAPに対応している携帯電話の電話帳は、電話帳データを修正することはできません。

名称、名称読みの編集をする

1 編集する項目（ 名称 、 名称読み ）にタッチ。

2 ソフトウェアキーボードで入力する。

電話番号を編集する

電話番号は、電話番号1～3にそれぞれ1件ずつ登録でき、1名につき最大3件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

1 電話番号1 、 電話番号2 または 電話番号3 にタッチ。

2 電話番号を入力し、 完了 にタッチ。

3 登録したいアイコンにタッチ。

»電話帳のデータを削除する

電話帳データは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

■お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（→52）

知識

▶PBAPに対応している携帯電話の電話帳は、「電話帳自動転送」設定されている場合、削除することはできません。

電話帳のデータを個別に削除する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 電話帳設定 ⇒電話帳設定画面

1 電話帳編集 にタッチ。

2 削除 にタッチ。

3 削除したいデータを選択しタッチ。

4 削除 にタッチ。

5 はい にタッチ。

電話帳のデータをすべて削除する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 電話帳設定 ⇒電話帳設定画面

1 電話帳編集 にタッチ。

2 削除 にタッチ。

3 全選択 にタッチ。

4 削除 にタッチ。

5 はい にタッチ。

»ワンタッチダイヤルを登録する

電話帳に登録してある任意の電話番号を、最大18件までワンタッチダイヤルに登録することができます。

ワンタッチダイヤルは走行中でも使用できるため、よく利用する電話番号を登録しておくと便利です。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 電話帳設定 ⇒電話帳設定画面

1 ワンタッチダイヤル編集 にタッチ。

2 登録 にタッチ。

3 登録したいデータにタッチ。

4 登録したい電話番号にタッチ。

5 登録したいスイッチにタッチ。

▶ページを切り替えるとき
→ワンタッチ1、ワンタッチ2または ワンタッチ3にタッチ。

6 登録済みのスイッチを選択したとき
→置き換えてもよいときは はい にタッチ。

»ワンタッチダイヤルを削除する

ワンタッチダイヤルの 1 ～ 18 は、個別に選択して削除できます。
全削除すると、18件すべてが削除できます。

ワンタッチダイヤルを個別に削除する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 電話帳設定 ⇒電話帳設定画面

1 ワンタッチダイヤル編集 にタッチ。

2 削除 にタッチ。

3 削除したいワンタッチダイヤルにタッチ。

4 削除 にタッチ。

5 はい にタッチ。

ワンタッチダイヤルをすべて削除する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 電話帳設定 ⇒電話帳設定画面

1 ワンタッチダイヤル編集 にタッチ。

2 削除 にタッチ。

3 全選択 にタッチ。

4 削除 にタッチ。

5 はい にタッチ。

》履歴のデータを削除する

履歴データは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

▶履歴データを全削除したいとき
→履歴を削除する。（→**450**）

■お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（→**52**）

知識

▶PBAPに対応している携帯電話の履歴は、「履歴自動転送」設定されている場合、削除することはできません。

履歴のデータを個別に削除する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 電話帳設定 ⇒電話帳設定画面

1 履歴削除 にタッチ。

2 全履歴削除 、 着信履歴削除 または 発信履歴削除 にタッチ。

3 削除したいデータを選択しタッチ。

4 削除 にタッチ。

5 はい にタッチ。

ハンズフリーの詳細設定を変更する

》電話詳細設定画面を表示する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 設定画面

1 電話詳細設定 にタッチ。

2 各設定をする。

項目	ページ
着信割り込み表示	466
電話帳転送時の完了表示	466
履歴転送時の完了表示	466
着信時画像表示	467
着信時画像の回転設定	467
電話詳細設定の初期化	467

3 完了 にタッチ。

》着信割り込みを表示する

ハンズフリー以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を選択できます。

▲簡易表示

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 電話詳細設定 ⇒電話詳細設定画面

1 着信割込み表示 にタッチ。

2 全画面 または 簡易 にタッチ。

全画面 ：着信中、通話中および応答保留中に各画面が表示され、画面のスイッチで操作ができます。

簡易 ：着信中、通話中および応答保留中に、電話番号および名称を表示しない簡易画面が表示されます。全画面同様、画面のスイッチで操作ができます。

》電話帳転送の完了を表示する

PBAPに対応している携帯電話とBluetooth接続後、電話帳データの自動転送が完了したときに、完了表示を画面上部に表示するかしないかを選択できます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 電話詳細設定 ⇒電話詳細設定画面

1 電話帳転送確認表示 にタッチし、 する にタッチ。

▶解除するとき
→ しない にタッチ。

知 識

▶電話帳の自動転送は、PBAPに対応していない携帯電話では行うことができません。

》履歴転送の完了を表示する

PBAPに対応している携帯電話とBluetooth接続後、履歴データの自動転送が完了し、その後履歴リストを表示したときの完了表示を画面中央に表示するかしないかを選択できます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 電話詳細設定 ⇒電話詳細設定画面

1 履歴の転送確認表示 にタッチし、 する にタッチ。

▶解除するとき
→ しない にタッチ。

知 識

▶履歴の自動転送は、PBAPに対応していない携帯電話では行うことができません。

》着信時画像を表示する

▶PBAPに対応している携帯電話で電話帳データに画像情報がある場合に、着信時に画像を表示するかしないかを選択できます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 電話詳細設定 ⇒電話詳細設定画面

1 着信時の画像表示 にタッチし、 する にタッチ。

▶解除するとき
→ しない にタッチ。

知 識

▶着信時画像表示は、PBAPに対応していない携帯電話では行うことができません。

》着信時画像の回転を設定する

PBAPに対応している携帯電話で着信時画像を表示するに設定している場合、画像の方向を変更できます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 電話詳細設定 ⇒電話詳細設定画面

1 画像回転 にタッチし、使用したい方向にタッチ。

知 識

▶着信時画像の回転設定は、PBAPに対応していない携帯電話では行うことができません。

》電話詳細設定を初期化する

各設定を初期設定の状態に戻すことができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 電話 ⇒ 電話詳細設定 ⇒電話詳細設定画面

1 初期状態 にタッチ。

Bluetoothの設定を変更する

》Bluetoothの設定について

ここでは、携帯電話とBluetoothに関する次の設定の説明をしています。

項目	ページ
携帯電話の登録・削除	468
携帯電話の選択	469
車載機のBluetooth設定の変更	471

》携帯電話を登録する

▶「携帯電話を登録する」（→**440**）をご覧ください。

》Bluetooth電話機の登録を削除する

機器登録は、個別に選択して削除、または全削除ができます。

機器登録を個別に削除する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒ 機器登録 ⇒ 機器登録画面

1 削除にタッチ。

▶電話機の詳細情報を確認するとき
→ 編集 にタッチ。（→**470**）

2 削除したい携帯電話を選択し、削除にタッチ。

3 はいにタッチ。

データ通信中に電話機の登録を削除する

データ通信中に携帯電話の登録を削除すると、メッセージが表示されます。

▶通信を終了するとき
→ はい にタッチ。

▶通信を継続するとき
→ いいえ にタッチ。

● いいえ にタッチした場合は、データ通信終了後、再度手順 2 からやり直します。

知識

▶緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、携帯電話の登録を削除することはできません。

機器登録をすべて削除する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒ 機器登録 ⇒ 機器登録画面

1 削除にタッチ。

2 全選択にタッチ。

3 削除にタッチ。

4 はいにタッチ。

使用する携帯電話を選択する

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が車載機で使用する携帯電話として選択されます。
複数の携帯電話を使用するときは、必要に応じて携帯電話を選択します。
携帯電話の登録について
「携帯電話を登録する」（→**440**）

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒設定画面

1 電話機接続 にタッチ。

2 携帯電話をBluetooth接続可能状態にする。

3 使用する携帯電話にタッチ。

▶選択中の携帯電話は、作動表示灯が点灯します。
▶Bluetooth接続中の携帯電話は、Bluetoothマークが表示されます。
▶他の携帯電話がBluetooth接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、 はい にタッチします。
▶接続完了のメッセージが表示されたら、携帯電話が使用できます。

知識
▶携帯電話は車載機に最大5台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機接続で選択された携帯電話のみです。
▶Bluetoothオーディオ再生中に電話機接続をした場合、音声が途切れることがあります。

データ通信中に通信機器を選択する

データ通信中に電話機接続をすると、メッセージが表示されます。
▶通信を終了するとき
→ はい にタッチ。
▶通信を継続するとき
→ いいえ にタッチ。
● いいえ にタッチした場合は、データ通信終了後、再度手順 3 からやり直します。

知識
▶緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、携帯電話の登録を削除することはできません。

»電話機詳細情報を表示する

電話機詳細情報では、車載機に登録されている携帯電話に関する情報の表示と設定をすることができます。

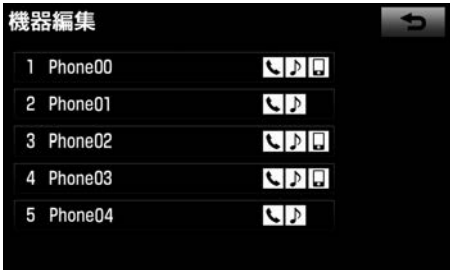
▶情報は、次の項目が表示されます。

項目	内容
機器名称	車載機に表示される携帯電話の名称です。任意の名称に変更することができます。
機器アドレス	機器固有のアドレスで、変更することはできません。
自局電話番号	携帯電話の電話番号です。
対応プロファイル	携帯電話で対応しているプロファイルで、変更することはできません。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒ 機器登録 ⇒ 機器登録画面

1 編集 にタッチ。

2 詳細情報を表示したい携帯電話にタッチ。



3 各項目を確認する。

▶この画面で、次の操作を行うことができます。

項目	ページ
機器名称の変更	470
Bluetoothオーディオとの接続方法（Bluetoothオーディオ使用時）	324

携帯電話の名称を変更する

車載機に表示される携帯電話の名称を、任意の名称に変更することができます。

知識

▶車載機で機器名称を変更しても、携帯電話に登録されている機器名称は変更されません。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒ 機器登録 ⇒ 編集 ⇒ （名称変更したい電話機） ⇒ 詳細情報画面

1 機器名称 にタッチ。

2 ソフトウェアキーボードで入力する。

3 完了 にタッチ。

車載機のBluetooth情報を編集する

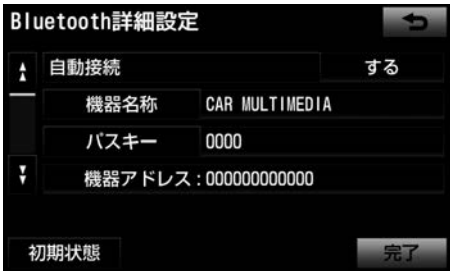
Bluetooth設定は、車載機に関するBluetooth設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

▶Bluetooth詳細設定画面で、次の情報を確認できます。

項目	内容
機器名称	Bluetoothネットワーク内での車載機の名称です。任意の名称に変更することができます。
パスキー	携帯電話を車載機に登録する際のパスワードです。4～8桁の任意の数字に変更することができます。
機器アドレス	車載機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称やパスキーを他のBluetooth機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での車載機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。
対応プロファイル	車載機で対応しているプロファイルで、変更することはできません。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒ Bluetooth詳細設定 ⇒ Bluetooth詳細設定画面

1 各項目を確認する。



▶この画面で、次の操作を行うことができます。

項目	ページ
機器名称の変更	471
パスキーの変更	472
電話機自動接続の設定	472
携帯電話接続確認表示の設定	472
Bluetoothオーディオ接続確認表示の設定	321

車載機の名称を変更する

Bluetoothネットワーク内での車載機の名称を、任意の名称に変更することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒ Bluetooth詳細設定 ⇒ Bluetooth詳細設定画面

1 機器名称 にタッチ。

2 ソフトウェアキーボードで入力し、完了 にタッチ。

パスキーを変更する

パスキーは4～8桁の任意の数字に変更することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒ Bluetooth詳細設定 ⇒ Bluetooth詳細設定画面

1 パスキー にタッチ。

2 4～8桁の範囲で任意の数字を入力し、完了 にタッチ。

▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。

》自動で電話機を接続する

エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCまたはONにするたびに、選択した携帯電話と自動的にBluetooth接続します。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒ Bluetooth詳細設定 ⇒ Bluetooth詳細設定画面

1 自動接続 にタッチし、する にタッチ。

▶通常はこの状態で使用してください。
▶携帯電話はBluetooth接続可能な状態にしておいてください。
▶解除するとき
→ しない にタッチ。

》ACC ON時のBluetooth 接続確認を案内する

エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCまたはONにして、携帯電話と自動的にBluetooth接続したときに、接続確認の表示を画面上部に案内するかしないかを選択できます。（→**442**）

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒ Bluetooth詳細設定 ⇒ Bluetooth詳細設定画面

1 電話機の接続確認案内 にタッチし、する にタッチ。

▶解除するとき
→ しない にタッチ。

車載機のBluetooth情報を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ Bluetooth ⇒ Bluetooth詳細設定 ⇒ Bluetooth詳細設定画面

1 初期状態 にタッチ。

2 はい にタッチ。

G-BOOK オンラインサービス

01. はじめに 475
ご利用の前に知っておいていただきたいこと 475
安全に利用するため注意いただきたいこと 475
通信機器について 475
02. G-BOOKとは 480
G-BOOKオンラインサービスとは 480
G-BOOKオンラインサービスとは 480
G-BOOKの通信方法 480
主なサービス 481
03. G-BOOKを使うための準備 483
利用手続きをする 483
利用手続きをする 483
利用開始操作をする 485
各種手続きについて 488
継続方法を変更する 488
有料コンテンツのご利用について 489
解約手続きについて 489
解約手続きをする 490
お車を手放す際にすること 490
非アクセス登録をする 490
04. G-BOOKトップ画面 491
G-BOOKトップ画面 491
G-BOOK画面の使い方 491
05. G-BOOK.comで情報をさがす（メインメニュー） 492
G-BOOK.comで情報をさがす（メインメニュー） 492
メインメニュー画面の使い方 492
06. よく使う情報を登録する（Myリクエスト） 494
よく使う情報を登録する（Myリクエスト） 494
Myリクエストについて 494
読み上げコンテンツを操作する 494
Myリクエストを使う 496
音声認識でリクエストをする 497
Myリクエストの編集をする 497
07. お気に入りのスポットを登録する（Gメモリ地点） 498
Gメモリ地点 498
Gメモリ地点について 498
Gメモリ地点を登録する 498
Gメモリ地点を表示する 498
08. G-BOOKで目的地を探す 499
Gで設定 499
Gで設定について 499
Gで設定画面を表示する 499
WEB検索 S01
WEB検索で目的地を設定する S01
09. 地図画面から使う S03
地図画面から使う S03
地図画面から使う S03
10. 画面操作の説明 S04
ブラウザ S04
ブラウザ画面で操作する S04
G情報マーク S06
G情報マークを表示する S06
施設の情報を表示する S06
G 情報マークを非表示にする S07
11. パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する S08
パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する S08
パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する S08
12. サービスの使い方 S10
ヘルプネット S10
ヘルプネットについて S10
各部の名称とはたらき S12
安全のために S12
サービス開始操作※をする S15
緊急通報をする S16
保守点検について S19
自動保守点検について S19
手動で保守点検を実施する S20
利用登録の更新 S22
緊急通報できない場合について S24
故障とお考えになる前に S26

オペレーターサービス 527
オペレーターサービスについて 527
オペレーターサービスを購入する 528
オペレーターサービスを使う 528
手動で情報を取得する 529
マップオンデマンド（地図差分更新） 530
マップオンデマンドとは 530
地図を更新する 536
故障とお考えになる前に 539
ドライブプラン 540
ドライブプランを利用する 540
G-Security 540
G-Securityについて 540
初期設定を確認・変更する 541
オートアラーム作動を通知する 543
エンジン始動を通知する 544
車両の位置を追跡する 544
警備員を派遣する 544
Gルート探索（プローブ情報付） 545
Gルート探索をする（プローブ情報付） 545
プローブコミュニケーション交通情報とは 545
Gルート探索の利用方法 546
Gルート探索を自動で取得する 546
目的地設定時に手動で取得する 547
渋滞予測 548
渋滞予測情報を表示する 548
周辺情報 551
周辺情報について 551
周辺情報を設定する 551
周辺情報を取得する 552
ETC割引情報 552
ETC割引情報を表示する 552
G-駐車場 553
G-駐車場について 553
CDタイトル情報取得 555
タイトル情報を取得する 555
13. 各種登録・設定 556
G-BOOK詳細設定 556
通信設定を変更する 556
サポートアドレスについて 559
携帯電話を追加する 559
通信ロックを使う 560
暗証番号を変更する 561
G-BOOK利用案内の設定をする 563
プライバシー設定 563
設定・編集画面を表示する 563
プライバシー設定を変更する 564
契約内容・契約者情報の確認・変更 565
契約内容・契約者情報の確認・変更 565
14. こんなメッセージが表示されたときは 566
こんなメッセージが表示されたときは 566
こんなメッセージが表示されたときは 566

01 はじめに

ご利用の前に知っておいていただきたいこと

本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をトヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

▶携帯電話を使って G-BOOK を利用する場合は、smart G-BOOK ARPEGGiO や NaviCon 等の「スマートフォン連携機能」（→**334**）と通信機能を切り替えて使う必要があります。G-BOOK を利用するとき（携帯電話を使った接続）には、「スマートフォン連携」を無効（オフ）にする必要があります。G-BOOK 利用後にスマートフォン連携機能を利用するためには、「スマートフォン連携」を有効（オン）にする必要があります。

▶本書で使用している画面は、携帯電話使用時の画面を使用して説明しています。
通信モジュール（DCM）使用時については、特に注記のない限り、携帯電話使用時と同様の操作になります。また、表示内容はサンプル表示となっております。
なお、全体に関わる注意点として、携帯電話使用時の画面に表示される 切断 については、通信モジュール（DCM）使用時は表示されません。

▶本書で使用しているコンテンツの画面は、実際の画面と異なることがあります。

》安全に利用するため注意いただきたいこと

G-BOOK オンラインサービスをご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

⚠警告

▶安全のため、運転者は走行中に極力操作（音声操作も含む）をしないでください。
走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
車を停車させてから操作をしてください。
なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

走行中の操作、表示規制について

走行中に G-BOOK オンラインサービスをご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによってはブラウザのコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。
このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。

》通信機器について

本機は G-BOOK mX（Ver.2.0）、G-BOOK mX Pro（Ver.2.0）対応ナビです。
G-BOOK オンラインサービスは、Bluetooth 携帯電話※または通信モジュール（DCM）を利用して、データ通信を行います。

▶接続する通信機器により、データ通信やハンズフリー通話に利用する機器は、次のように選択されます。

サービス	G-BOOKオンラインサービス データ通信／ ヘルプネットとオペレーターサービスの音声通話	ハンズフリー通話
G-BOOK mX	Bluetooth携帯電話※	Bluetooth携帯電話※
G-BOOK mX Pro	通信モジュール（DCM）	Bluetooth携帯電話※

※本機で動作確認済みのBluetooth携帯電話については、G-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でご確認ください。

Bluetooth携帯電話を使用するときの留意事項

▶Bluetooth携帯電話を使用してデータ通信するときは、次の点をご理解の上、正しくお使いください。

- Bluetooth携帯電話でデータ通信を行うときは、あらかじめ本機に携帯電話を登録しておかないと使用できません。Bluetooth携帯電話を使用するときは、まず最初に、ご使用になる携帯電話の登録を行ってください。（→**440**）
- Bluetooth携帯電話の機種によっては、受信レベル表示を行うことができないことがあります。
- Bluetooth携帯電話でデータ通信を利用される場合、携帯電話の割込着信の設定または契約を「割込着信する」で利用していると、携帯電話の機種によっては、データ通信を行っている最中とデータ通信終了後の約1分間は、電話を受けることや応答保留などができないにもかかわらず、発信元では呼び出し中の状態が続くことになります。 割込着信の設定変更または契約変更については、ご利用の携帯電話に添付の取扱説明書などでご確認ください。
- Bluetooth携帯電話でデータ通信する場合は、操作しない状態が一定時間継続すると、G-BOOKセンターとのデータ通信を自動で切断します。自動で切断するまでの時間は、携帯電話の機種によって異なります。
- Bluetooth携帯電話の機種や状態によっては、エンジン始動後にデータ通信を行うことができる状態になるまでに時間がかかることがあります。 この場合は、しばらく待ってから再度操作を行ってください。
- Bluetooth携帯電話の機種によっては、携帯電話が待ち受け状態でないとデータ通信ができないことがあります。
- 通信にはお手持ちの携帯電話の電波を使用します。通信可能なエリアについては、携帯電話各社のサービスエリア図などを参照ください。
- お手持ちの携帯電話に添付の取扱説明書の注意事項もよくお読みください。
- 通信料金はお客様のご負担になります。
- データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態、接続している携帯電話の機種によって異なります。
- G-BOOKオンラインサービスを利用中に携帯電話と本機の接続を切断すると、機種によってはデータ通信や音声通話を継続したままになることがあります。 G-BOOKオンラインサービス利用後に携帯電話と本機の接続を切断したら、携帯電話の状態を必ず確認してください。
- G-BOOKオンラインサービスを利用中に、エンジンをかけなおすなどのエンジンスイッチの操作を行うと、接続している携帯電話の機種によっては、ハンズフリーの着信中画面になることがあります。 この場合は、電話機を操作するなどして、通話を終了する操作を行ってください。（→**444**）

通信モジュール（DCM）を利用するときの留意事項

▶通信モジュール（DCM）使用時
- ●通信方式は、株式会社NTTドコモのW-CDMA方式の携帯電話と同一です。 FOMAサービスエリアでは、最大7.2Mbpsデータ通信サービスがご利用いただけます。同社サービスエリア図をご参照ください。 なお、通信状況は様々な要因で変動します。必ずしもサービスエリア内にいれば、常に通信が可能というわけではありません。
- ●G-BOOKオンラインサービスはデータ取得に通信を利用するため、次のような通信環境が整わない状況では通信を利用するサービスはすべて利用できません。
  - ●トンネルの中にいるとき
  - ●地下駐車場にいるとき
  - ●山奥などの通信圏外にいるとき
  - ●回線が混雑しているなど、発信規制中のとき

▶通信モジュール（DCM）は通信アンテナを使用します。

▶通信アンテナの位置は、販売店でご確認ください。
- ●この先、通信事業者にて通信に使用する電波が変更もしくは打ち切りになった場合、G-BOOKオンラインサービスが使用できなくなります。（その場合には事前にご連絡します。）

知識

▶データ通信に関する通信料金はG-BOOK利用料金に含まれています。

▶データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態によって異なります。

⚠警告

▶植え込み型心臓ペースメーカーや植え込み型除細動器をお使いの方は、通信アンテナから22cm以内にこれらの医療用電気機器が近づくような姿勢をとらないようにしてください。上記以外の医療用電気機器をお使いの方は、G-BOOKオンラインサービスをお使いになる前に、医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。データ通信に伴う電波により、医療用電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。

知識

▶本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。

▶本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

本製品には、電気通信事業法第56条第2項の規定に基づく端末機器の設計について認定をうけた以下の設備が組込まれております。
- ●機器名称：FOMA TM02-KY、認証番号：AD11-0014001

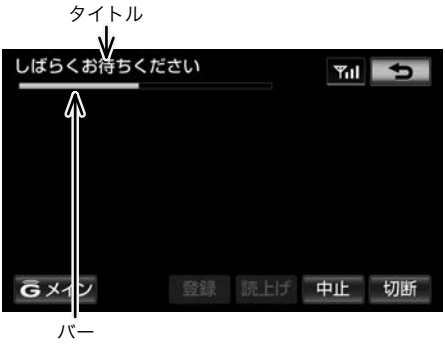
本製品には、電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を受けた以下の設備が組込まれております。
- ●機器名称：FOMA TM02-KY、認証番号：005XYAA0301 005MWAA0236

通信機器共通留意事項

ここでは、各通信機器に共通の留意事項がまとめてあります。

▶画面上部（タイトル）に、ネットワーク接続中は**「接続中」**、コンテンツ読み込み中は**「しばらくお待ちください」**が表示されます。 また、コンテンツ読み込み中は、タイトルの下に読み込み状況がバーで表示されます。バーの表示が消えて、コンテンツのタイトルが表示されたら、画面の操作を行ってください。

●走行中のためにコンテンツの表示が制限されている場合は、コンテンツの読み込みが終了すると、“ピッ”という音でもお知らせします。



▶通信中は、ネットワーク接続中であることをお知らせするため、現在地画面などに通信中マークが表示されます。

知識

▶GPS信号を長い間（数カ月間）受信していないとき、またはバッテリーとの接続が断たれたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS信号が受信できる場所（→**180**）に車を移動し、画面外の **MAP** にタッチして地図画面上にGPSマークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。

受信レベルについて

画面右上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。

▶携帯電話接続時の表示は、携帯電話本体の受信レベル表示と一致しないことがあります。

▶通信モジュール（DCM）使用時

表示	圏外 DCM	DCM	DCM	DCM	DCM
レベル	圏外　弱 ◀――――▶ 強				

▶携帯電話使用時

表示	圏外				
レベル	圏外　弱 ◀――――▶ 強				

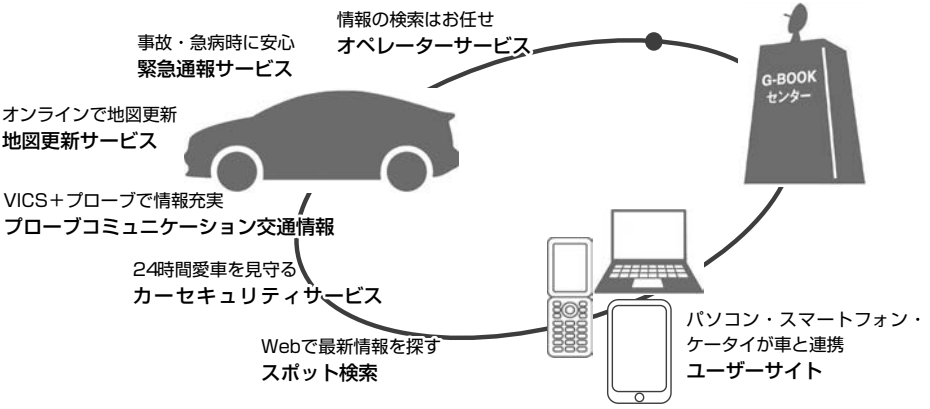
●使用する携帯電話がBluetooth接続されていないときは、「未接続」が表示されます。

02 G-BOOKとは

G-BOOKオンラインサービスとは

G-BOOKオンラインサービスとは

本機に通信機器を接続することで、「安心・快適・便利」な車向け情報サービスをご利用いただけます。



G-BOOKの通信方法

G-BOOKの通信方法には２種類あります。

Bluetooth 対応携帯電話を使う

▶G-BOOK mX

G-BOOKに対応したBluetooth携帯電話が必要です。

- 「動作確認済み携帯電話」をG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でご確認ください。
- 通信費はお客様負担です。
  - カーナビ向け通信が定額になる料金プラン※にご加入の場合、地図更新を自動で行う設定が可能です。

※カーナビ通信料定額プラン

- au：カーナビ用料金オプション
- Softbank：カーナビプラン
- ドコモには2015年４月現在カーナビ通信料定額プランはありません。 最新の情報は各通信事業者にお問い合わせください。

サービスによりWeb登録が必要です。（詳細→**483**）

通信モジュール（DCM）を使う

▶G-BOOK mX Pro

車両に装着した通信モジュール（DCM）で通信を行います。

●通信費はG-BOOK mX Pro 利用料金に含まれます。利用料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。 詳細→**481**

G-BOOK利用申込書の提出、またはWeb登録が必要です。
（詳細→**483**）

》主なサービス

△：有料オプション

主なサービス	G-BOOK mX※1 通信機： Bluetooth対応携帯電話	G-BOOK mX Pro 通信機： 通信モジュール（DCM）
緊急通報サービス **ヘルプネット**	○ Web登録 ※2	○
ナビ操作をサポート **オペレーターサービス**	△ Web登録	○
地図更新サービス **マップオンデマンド**	○	○
パソコンや携帯電話と連携 **ドライブプラン**	○ Web登録 ※3	○
カーセキュリティサービス **G-Security**	×	○
最適ルートの探索 **Gルート探索（プローブ情報付）**	○	○
ルート上の渋滞を予測 **渋滞予測**	○	○
ルート上や目的地周辺の情報サービス **周辺情報**	○	○
選択ルートの割引率表示 **ETC割引情報**	○	○
満空情報付の駐車場情報 **G - 駐車場**	○	○
ドライブに役立つ情報コンテンツ **G-BOOK.com**	一部サービス ○ Web登録	○
最新の楽曲情報をダウンロード **CDタイトル情報取得**	○	○

※1 通信にかかる費用はお客様のご負担となります。
※2 ヘルプネットサービス開始操作後ご利用いただけます。なお、ご利用には2年ごとに登録情報の更新が必要です。
※3 GAZOO会員登録でも利用可能です。

	G-BOOK mX	G-BOOK mX Pro
	通信機： Bluetooth対応携帯電話	**通信機： 通信モジュール（DCM）**
利用料金	基本料無料 オペレーターサービス有料※2	初年度無料※1 2年目以降有料※2
必要な手続き	Web登録 マーク利用の場合 Web登録 ＊ドライブプランはGAZOO会員登録でも利用可能	G-BOOK利用申込書ご提出またはWeb登録

※1 初年度無料期間中は、お申込書の提出前またはWeb登録前でも一部のサービスはご利用いただけますが、すべてのサービスのご利用にはお申込書の提出またはWeb登録が必要です。
初年度無料期間：初度登録日より初回の12ヶ月点検月の末日までとなります。初年度無料期間内に一旦解約した場合、次回契約時には有料となります。
利用料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-ook.com/）でご確認ください。

※2 利用料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

▶掲載の情報は、2015年4月現在のサービスです。サービス内容は変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

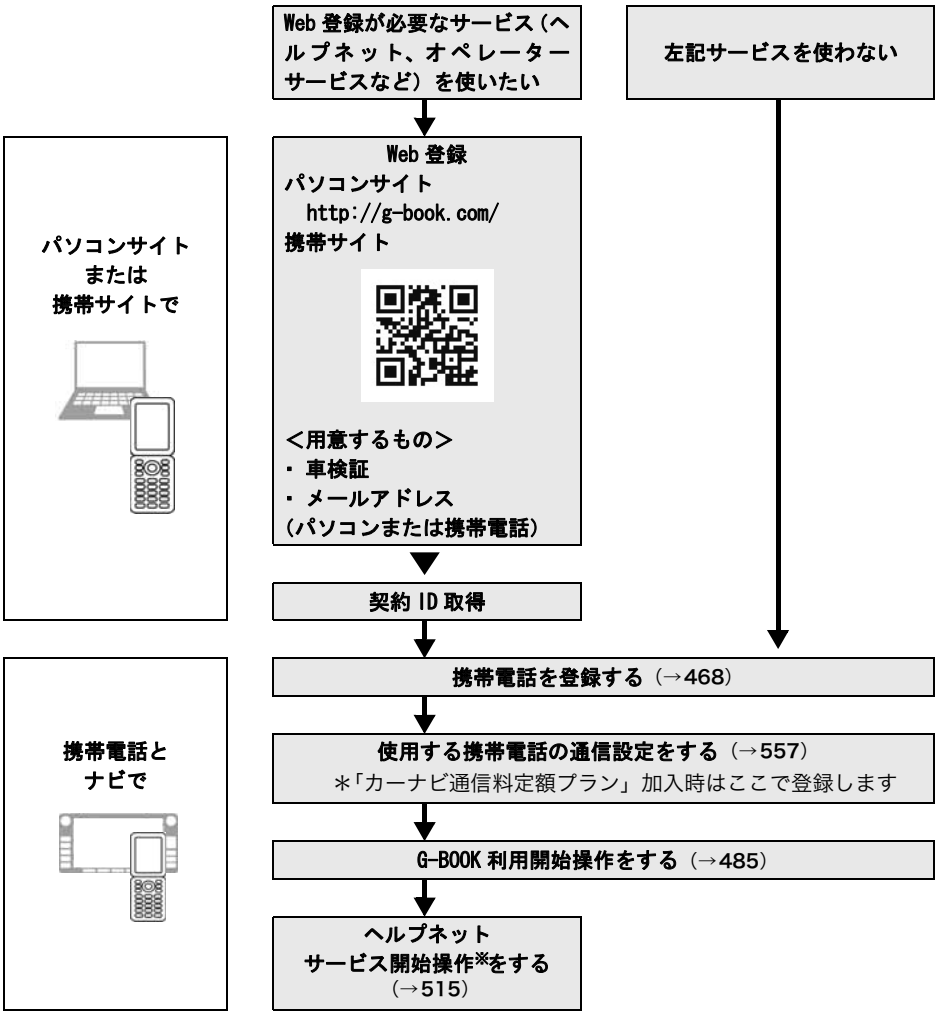
最新のサービスはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

G-BOOKを使うための準備

利用手続きをする

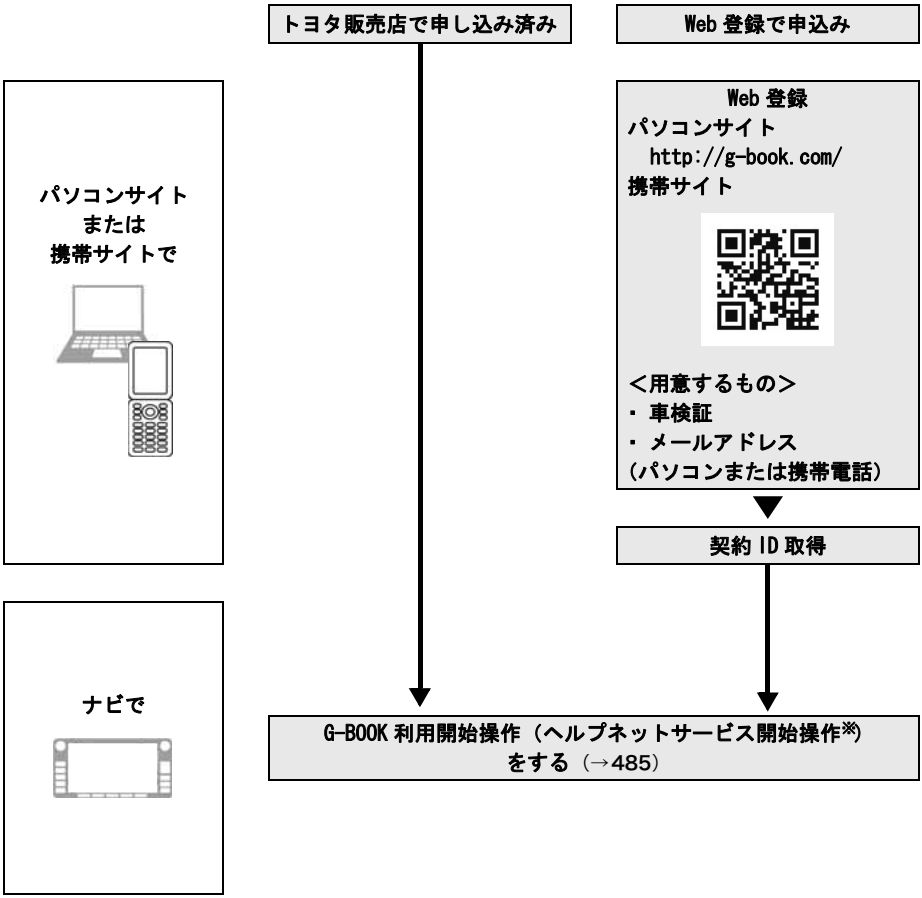
利用手続きをする

G-BOOK mX の場合



※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

G-BOOK mX Proの場合



▶初年度無料期間中は、お申込書の提出前またはWeb登録前でも一部のサービスはご利用いただけますが、すべてのサービスのご利用にはお申込書の提出またはWeb登録が必要です。

初年度無料期間：初度登録日より初回の12ヶ月点検月の末日までとなります。初年度無料期間内に一旦解約した場合、次回契約時には有料となります。利用料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

》利用開始操作をする

利用開始操作は、ご利用のサービスにより操作手順が異なります。
該当のページをご覧の上、手続きを行ってください。

▶利用開始操作は、可能な限り見晴しの良い場所で行ってください。

G-BOOK mX
Web登録をしない場合 → **485**

G-BOOK mX
Web登録をした場合 → **486**

G-BOOK mX Proの場合 → **487**

知識

▶G-BOOKを利用するときにスマートフォン連携（→**336**）を有効にしていると、「スマートフォン連携を有効にしている間はG-BOOKサービスを利用できません スマートフォン連携を無効にしますか？」というメッセージが表示され、G-BOOKを利用することができません。 **はい** にタッチすると、スマートフォン連携が無効になり、G-BOOKを利用することができます。スマートフォン連携を無効にすると、smart G-BOOK ARPEGGiOやNaviCon等のスマートフォン連携機能は使用できません。G-BOOK利用後にスマートフォン連携を使用するには、再度スマートフォン連携を有効にする必要があります。

▶車載機を起動したときに、G-BOOKのサービスが利用できないことを通知することができます。(→**563**)

G-BOOK mX Web登録をしない場合

画面外の **MENU** ⇒ **G-BOOK** ⇒ G-BOOK画面

1 **メインメニュー** にタッチ。

2 **G-BOOK.com** にタッチ。

3 **利用開始する** にタッチ。

4 サービス内容、利用規約などを確認し、画面の指示にしたがって操作する。

5 利用開始操作完了画面が表示されたら完了です。

知識

▶メインメニュー画面に6個のアイコンが表示されていれば、利用開始操作は正常に完了しています。

G-BOOK mX
Web登録をした場合

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒
G-BOOK画面

1 メインメニュー にタッチ。

2 G-BOOK.com にタッチ。

3 利用開始する（Web 登録済の方）にタッチ。

4 契約ID照会画面が表示される。 IDとパスワードを入力し、 決定 にタッチ。

▶IDおよびパスワードの入力は、それぞれの入力枠にタッチして、ソフトウェアキーボードで入力します。

5 登録内容を確認し、画面の指示にしたがって操作する。

6 G-BOOK利用手続き完了画面が表示されたら はい にタッチし、ヘルプネットのサービス開始操作※（→515）を行う。

▶ヘルプネットセンターの音声案内にしたがって、現在地とマイク音声を確認します。

7 G-BOOK利用手続き完了画面が表示されたら完了です。

▶サービス開始操作※が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

知識

▶G-BOOK画面に HELPNET が表示されていれば、ヘルプネットのサービス開始操作※は正常に完了しています。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

G-BOOK mX Proの場合

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ G-BOOK画面

1 メインメニュー にタッチ。

2 G-BOOK.com にタッチ。

3 申し込み方法により、次の画面が表示される。

▶申込書で申し込みの方
→本人確認の画面が表示される。 画面の指示にしたがって、確認･操作する。

▶Web登録で申し込みの方
→契約ID照会画面が表示される場合、IDとパスワードを入力し、 決定 にタッチ。

4 サービス内容などを確認し、画面の指示にしたがって操作する。

▶G暗証番号の設定をしていない方
→G暗証番号の設定が表示される。 画面の指示にしたがって、確認・操作する。

5 G-BOOK利用手続き完了画面が表示されたら はい にタッチし、ヘルプネットのサービス開始操作※(→**515**) を行う。

▶ヘルプネットセンターの音声案内にしたがって、現在地とマイク音声を確認します。

6 G-BOOK利用手続き完了画面が表示されたら完了です。

▶サービス開始操作※が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

知識

▶「G暗証番号」は、有料コンテンツの購入やG-Securityの設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく4桁の番号です。

▶G-BOOK画面に HELPNET が表示されていれば、ヘルプネットのサービス開始操作※は正常に完了しています。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

各種手続きについて

》継続方法を変更する

▶G-BOOK mX Pro利用時
G-BOOK mX Proは、年単位で契約更新となります。
契約の更新日が近づくと、トヨタメディアサービス（株）より案内を送付します。
次の手順で、本機から契約の継続／停止の手続きができます。

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ メインメニュー ⇒ G-BOOK.com ⇒ ユーザー ⇒ユーザー画面

1 会員情報/利用契約変更・解約 にタッチ。

2 利用契約の確認・変更 にタッチ。

3 利用契約内容の変更 にタッチ。

4 G暗証番号入力画面が表示される。 G暗証番号を入力し、 決定 にタッチ。

5 利用契約の変更画面が表示される。

▶自動継続に変更したい場合
→ G-BOOK 利用継続処理 にタッチ。
▶自動継続を停止したい場合
→ 自動継続停止 にタッチ。

6 G-BOOK利用契約の確認画面が表示される。 内容を確認し、 決定 にタッチ。

知識

▶「G暗証番号」は、有料コンテンツの購入やG-Securityの設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく4桁の番号です。
▶自動継続に設定すると、次年度の契約を自動で更新できます。契約の更新をし忘れて、ヘルプネットなどが解除されてしまうのを防ぐことができます。
▶利用契約の継続／停止はG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）からも手続きができます。

有料コンテンツのご利用について

G-BOOK mXの場合、有料コンテンツの利用にはWeb登録が必要です。

有料コンテンツを購入・解約する

G-BOOK有料コンテンツの購入・解約には、次の手続きが必要になります。
また、利用料金はコンテンツ毎に異なります。

■有料コンテンツ購入手続き

▶有料コンテンツを購入する際は、画面の指示にしたがって、「規約への同意」「購入方法と支払い方法の確認」「G暗証番号の入力」を実行し、ご利用ください。

■有料コンテンツ解約手続き

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ メインメニュー ⇒ G-BOOK.com ⇒ ユーザー ⇒ユーザー画面

1 コンテンツ購入履歴／解約 にタッチ。

2 コンテンツ契約内容の確認 にタッチ。

3 G暗証番号を入力し、解約する。

知識

▶「G暗証番号」は、有料コンテンツの購入やG-Securityの設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく4桁の番号です。

解約手続きについて

お車を手放すときなど、G-BOOKオンラインサービスを解約するときは、状況に応じて、次の手続きを行ってください。

＜車載機で解約する場合＞
解約手続きをする →490

⬇

＜お車を手放す場合＞
個人情報の初期化をする →52

解約しないで車を手放したときなど

⬇

G-BOOKサポートセンターに連絡して解約する
G-BOOKサポートセンター
全国共通・フリーダイヤル
0120－104－370
受付時間　9:00～18:00
（年中無休）

⚠注意

▶本機に保存した情報は、本機で個人情報の初期化を行わないと消去されません。 お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、本機で解約手続きおよび初期化を必ず行ってください。

知識

▶G-BOOK契約IDは、解約手続き後、GAZOO会員IDとして利用できます。

》解約手続きをする

G-BOOKオンラインサービスを解約するときは、次の手順で実施してください。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 G-BOOK にタッチ。

4 G- BOOK 詳細設定 にタッチ。

5 契約解除 にタッチ。

6 画面の指示にしたがって操作する。

▶ユーザー画面からでも解約手続きができます。

知識

▶G-BOOKオンラインサービスの利用開始ができないように設定したい場合は、「非アクセス登録」をしてください。（→**490**）

》お車を手放す際にすること

解約手続きをしただけでは、本機に保存したお客様の情報は消去されません。 お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放す際は必ず、解約手続きおよび個人情報の初期化（→**52**）を実施してください。

》非アクセス登録をする

▶G-BOOKオンラインサービスが不要というお客様は、G-BOOKサポートセンターに電話をしてください。 オペレーターに「非アクセス登録」を申し出ていただければ、「車載機端末アクセス制限申請書」を送付します。 申請書を提出していただくと、利用開始操作をできないように設定します。

- G-BOOKオンラインサービスを利用中のお客様は、申請書を提出する前に解約手続きを行ってください。

▶再びG-BOOKオンラインサービスの利用をご希望の際は、G-BOOKサポートセンターに電話をしてください。「非アクセス登録」の解除を申し出ていただければ、「車載機端末アクセス制限申請書」を送付します。

G-BOOKサポートセンター
全国共通・フリーコール
0800－123－0016
受付時間　9:00～18:00
年中無休

G-BOOKトップ画面

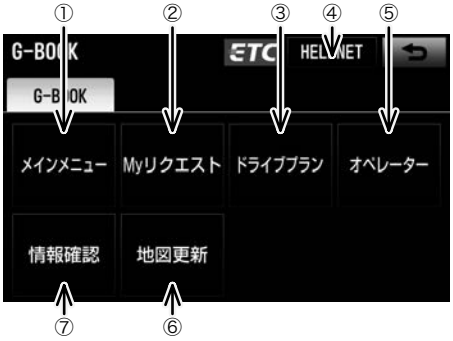
G-BOOKトップ画面

G-BOOK画面の使い方

G-BOOK画面から、G-BOOKオンラインサービスの各アプリケーションを起動することができます。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 G-BOOK にタッチ。



▶この画面から、次の操作をすることができます。

スイッチ		機　能
①	メインメニュースイッチ	メインメニュー画面（→**492**）を表示する。
②	Myリクエストスイッチ	Myリクエスト画面（→**494**）を表示する。
③	ドライブプランスイッチ	ドライブプランをダウンロードする。（→**540**）
④	HELPNETスイッチ※	ヘルプネットの緊急通報（→**516**）を行う。 ●ヘルプネットサービス開始操作後に表示されます。（→**515**）
⑤	オペレータースイッチ	オペレーターサービスを利用する。（→**527**）
⑥	地図更新スイッチ	地図更新画面（→**533**）を表示する。
⑦	情報確認スイッチ	オペレーターサービスで取得した情報を確認する。（→**529**）

※情報画面やBTナビ画面でも表示されます。

05 G-BOOK.comで情報をさがす（メインメニュー）

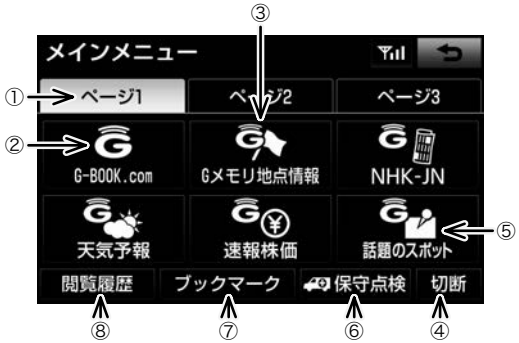
G-BOOK.comで情報をさがす（メインメニュー）

»メインメニュー画面の使い方

メインメニューは、G-BOOKオンラインサービスのアプリケーションを起動するメニューです。

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒G-BOOK画面

1 メインメニュー にタッチ。



スイッチ		機　能
①	ページ切り替えタブ	ページを切り替える。
②	G-BOOK.comスイッチ	G-BOOKセンターに接続し、ブラウザ画面（→**504**）を表示する。 ●G-BOOK.comコンテンツが閲覧できます。
③	Gメモリ地点情報 スイッチ	Gメモリ地点情報のリスト画面を表示する。（→**498**） Gメモリ地点は、同じ内容がナビのメモリ地点にも保存されます。修正や消去をしたいときは、ナビのメモリ地点画面で行ってください。（→**149**）
④	切断スイッチ ▶携帯電話使用時	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断する。 ●切断されているときは、スイッチは灰色になっています。
⑤	G-BOOKセンターから 配信されるスイッチ	タッチすると該当のコンテンツを起動する。 ご利用のサービス（G-BOOK mX Web登録なし/G-BOOK mX Web登録あり/G-BOOK mX Pro）により、表示されるスイッチは異なります。
⑥	保守点検スイッチ	ヘルプネットの手動保守点検を実施する。（→**520**）
⑦	ブックマークスイッチ	ブックマーク画面を表示する。
⑧	閲覧履歴スイッチ	閲覧履歴画面を表示する。

知識

▶G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

よく使う情報を登録する（Myリクエスト）

よく使う情報を登録する（Myリクエスト）

》Myリクエストについて

Myリクエストでは、ニュースや天気予報などを簡単な操作でリクエストして、取得した情報を読み上げることができます。

(1) G-BOOK mXをWeb登録してご利用の方、およびG-BOOK mX Proをご利用の方は、登録するメニューを変更したり、並べ替えることができます。

(2) G-BOOK mXをWeb登録なしでご利用の方は、メニューが固定されます。

操作は、Myリクエスト画面から行う方法と、音声認識で行う方法があります。

》読み上げコンテンツを操作する

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒G-BOOK画面

1 Myリクエスト にタッチ。

スイッチ		機　能
①	音量調整スイッチ	コンテンツを読み上げるときの音量を調整する。 ●Myリクエスト画面で操作するとき ［－］：小さくする ［＋］：大きくする ●画面外のスイッチで操作するとき ：小さくする ：大きくする
②	前項目／次項目スイッチ	読み上げの開始位置を変更する。 ［◀◀］：読み上げ中の項目の先頭からはじめる ［▶▶］：次の項目の先頭からはじめる ●前の項目の先頭からはじめるとき →［◀◀］にタッチしてから約1秒以内に再度タッチ。
③	停止スイッチ	コンテンツの読み上げを停止し、閲覧中の画面にもどる。
④	ポーズ／再開スイッチ	［⏸］：コンテンツの読み上げを一時停止する（読み上げ中に表示） ［▶］：読み上げていた項目の頭から読み上げを再開する （読み上げ一時停止中に表示）
⑤	切断スイッチ ●携帯電話使用時	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断する。 ●切断されているときは、スイッチは灰色になっています。
⑥	中止スイッチ ●通信モジュール（DCM）使用時	G-BOOKセンターとのデータ通信を中止する。
⑦	オーディオ操作スイッチ	コンテンツの読み上げを停止する。

知 識

▶G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

Myリクエストを使う

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ Myリクエスト ⇒Myリクエスト画面

1 リクエストしたいコンテンツにタッチ。

▶走行中はリストを動かすことができません。2ページ目以降に登録してあるコンテンツをリクエストしたいときは、音声認識でリクエストしてください。（→**497**）

2 ナビ画面に切り替わる。

通信中マーク

▶データ取得後、コンテンツの読み上げ、または地図上へのアイコン表示などが行われます。

知識

▶ネットワーク接続中は、通信中マークが表示されます。

読み上げ中に操作する

読み上げ中に音量調整などの操作をしたいときは、Myリクエスト画面を表示させて行います。（→**494**）

知識

▶コンテンツの読み上げ中に別の読み上げコンテンツを受信したときは、読み上げ中のコンテンツを中止し、次の読み上げコンテンツに切り替わります。

▶リクエストによっては、画面上にメッセージが表示されることがあります。状況によって、次のようになります。

- 運転補助画面（交差点案内などの運転を補助する画面）が表示されているときは、運転補助画面が優先されるため、運転補助画面の終了後にメッセージが表示されます。
- ハンズフリーなど優先度の高い機能の割り込みがあると、メッセージは破棄されます。

▶コンテンツの読み上げ中にナビの音声案内が出力されたときは、読み上げを一時停止します。

▶コンテンツの読み上げ中にハンズフリーの着信があったときは、読み上げを終了します。

▶リクエストによるコンテンツの読み上げは、ブラウザの自動読上げの設定（→**506**）に関係なく行われます。

情報を見る

リクエストによって、地図上にアイコンが表示されたときは、その施設の情報を見ることができます。

1 アイコンにタッチ。

▶アイコンが表示されるコンテンツにもかかわらず、アイコンが画面に表示されていないときは、地図縮尺の切り替えや地図の移動をすると、アイコンが確認できます。

2 情報にタッチ。

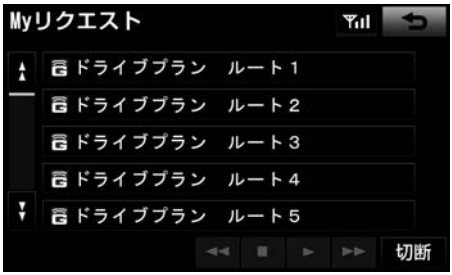
▶ブラウザ画面または施設情報画面に切り替わり、情報が表示されます。

■リクエストで地図上に表示されたアイコンの表示／非表示を設定することができます。（→**507**）

ドライブプランを利用する

Myリクエストからもドライブプランを利用できます。

1 設定したいドライブプランにタッチ。



▶情報取得後の操作について
→「ドライブプランを利用する」（→**540**）

》音声認識でリクエストをする

音声認識でリクエストすると、登録してあるすべてのコンテンツを、走行中でもリクエストすることができます。

▶リクエストのしかたについて
→「Myリクエストを使う」（→**496**）

知識

▶リクエストしたあとの操作については、Myリクエスト画面のスイッチでリクエストした場合と同様です。

》Myリクエストの編集をする

Myリクエストに登録するコンテンツの変更や並べ替えをすることができます。
G-BOOK mXをWeb登録してご利用の方、およびG-BOOK mX Proをご利用の方のみ操作できます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ G-BOOK ⇒設定画面

1 Myリクエスト編集にタッチ。

2 登録替にタッチ。

3 画面の指示にしたがって、リクエストしたいコンテンツを登録する。

お気に入りのスポットを登録する（Gメモリ地点）

Gメモリ地点

》Gメモリ地点について

G-BOOK.comで検索したスポットを「Gメモリ地点」として本機に登録できます。また、G-BOOKのパソコンサイトや携帯サイト、スマートフォンで登録したGメモリも「Gメモリ地点」にダウンロードできます。

》Gメモリ地点を登録する

Gメモリ地点を登録するときは、次のいずれかの方法で行ってください。

本機で検索したスポットを登録する

1 本機でG-BOOK.comコンテンツを表示し、詳細情報が表示されている画面で Gメモリ にタッチ。

Gメモリを本機に登録する

■「Gメモリを一括ダウンロードする」をご覧ください。（→501）

》Gメモリ地点を表示する

Gメモリ地点として登録した地点情報は、メインメニューから呼び出すことができます。

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ メインメニュー ⇒メインメニュー画面

1 Gメモリ地点情報 にタッチ。

2 Gメモリ地点名称にタッチ。

3 ブラウザ画面に切り替わる。

▶G-BOOK.comコンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

■Gメモリ地点に登録すると、目的地設定の「メモリ地点」にも登録されます。目的地設定のメモリ地点から呼び出せばG-BOOKセンターに接続せずそのまま目的地設定ができます。また、名称読みが登録してあれば、音声認識を使用することもできます。

■Gメモリ地点は、同じ内容がナビゲーションのメモリ地点にも保存されます。 修正や消去をしたいときは、ナビゲーションのメモリ地点画面で行ってください。ただし、修正できるのは「自宅・特別メモリに種別変更」と「名称読み」に限定されます。 詳しくは、「地点の登録について」をご覧ください。（→145）

知 識

▶同一のGメモリ地点は、上書き登録されます。ただし、音声認識で使用する名称読みが登録してある場合、その情報は保持されます。

G-BOOKで目的地を探す

Gで設定

Gで設定について

G-BOOKのパソコンサイトや携帯サイトで作成したドライブプランやGメモリを、本機で利用することができます。

▶Gで設定では追加目的地の設定（→**139**）はできません。Gで設定を行うと、設定されていた目的地に新しく設定した目的地が上書きされます。「Gメモリ地点」に登録済み（→**498**）のGメモリであれば、目的地画面の メモリ地点 から追加目的地の設定ができます。

Gで設定画面を表示する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 ナビ にタッチ。

3 Gで設定 にタッチ。

▶Gで設定画面から、次の機能を利用できます。

項目	ページ
ドライブプラン（Myルート）	**499**
Gメモリ	**500**
G-BLOG	**500**
Gメモリー括ダウンロード	**501**

ドライブプランを利用する

G-BOOKのパソコンサイトや携帯サイトでドライブプランを作成しておくと、本機にダウンロードするだけで経由地および目的地が設定できます。

画面外の MENU ⇒ ナビ ⇒ Gで設定 ⇒Gで設定画面

1 ドライブプラン（Myルート） にタッチ。

2 設定したいドライブプランにタッチ。

3 はい にタッチ。

4 ドライブプランをダウンロード後、経由地・目的地が設定され、ルート探索を開始する。

Gメモリを利用する

G-BOOKのパソコンサイトや携帯サイトで登録したGメモリを呼び出して、ナビの目的地に設定できます。ナビのデータベースに収録されていない地点が利用できるようになります。

画面外の MENU ⇒ ナビ ⇒ Gで設定 ⇒Gで設定画面

1 Gメモリ にタッチ。

2 目的地に設定したいGメモリにタッチ。

3 はい にタッチ。

4 目的地が設定され、ルート探索を開始する。

G-BLOGを利用する

GAZOO.comのユーザーが紹介するスポット情報や口コミ情報を検索し、目的地に設定できます。

画面外の MENU ⇒ ナビ ⇒ Gで設定 ⇒Gで設定画面

1 G-BLOG にタッチ。

2 目的に合わせて検索する。

3 画面の指示にしたがって操作する。

Gメモリを一括ダウンロードする

G-BOOKのパソコンサイトや携帯サイトで登録したGメモリを一度本機に一括ダウンロードすると、次からはG-BOOKセンターに接続しなくてもナビのメモリ地点（Gメモリ地点）として常に利用することができます。

画面外の MENU ⇒ ナビ ⇒ Gで設定 ⇒Gで設定画面

1 Gメモリー括ダウンロード に タッチ。

2 ダウンロード完了の画面が表示される。

▶Gメモリ地点として利用できます。
→「Gメモリ地点」（→498）

WEB検索

》WEB検索で目的地を設定する

▶G-BOOK mX(Ver.2.0)、G-BOOK mX Pro(Ver.2.0) 対応ナビ限定サービス

本機からインターネットの検索エンジンを使用して施設を検索し、目的地に設定することができます。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 ナビ にタッチ。

3 WEB にタッチ。

4 ソフトウェアキーボードを使用してキーワードを入力し、検索 にタッチ。

▶ソフトウェアキーボードの使用方法は、「入力画面の各スイッチを使う」（→36）をご覧ください。

▶ 検索エンジン にタッチすると、検索エンジンを切り替えることができます。

▶ エリア にタッチすると、検索エリアを変更することができます。

▶検索結果の地図画面が表示され、施設アイコンが表示されます。

5 目的地セット にタッチ。

▶目的地を設定する画面が表示されます。（→117）

6 目的地セット にタッチ。

知識

▶1/8万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。

検索エンジンを変更する

WEB検索で使用する検索エンジンを変更することができます。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 ナビ にタッチ。

3 WEB にタッチ。

4 検索エンジン にタッチ。

5 変更したい検索エンジンにタッチ。

▶ 利用案内 にタッチすると、各検索エンジンの利用規約を確認することができます。
初めてご利用になる際は、必ず利用規約をご確認ください。

6 完了 にタッチ。

地図画面から使う

地図画面から使う

》地図画面から使う

地図画面からG-BOOKオンラインサービスの各コンテンツをご利用いただけます。

1 目的地を設定する。（→**117**）

▶この画面から、次の操作をすることができます。

スイッチ		機能
①	Gルートスイッチ	Gルート探索（→**545**）を利用する
②	割引情報スイッチ	ETC割引情報（→**552**）を表示する

画面操作の説明

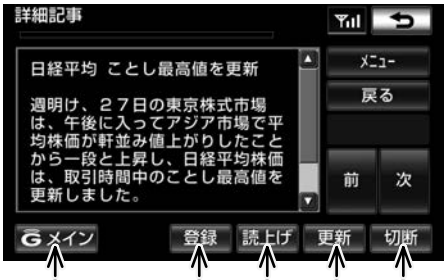
ブラウザ

》ブラウザ画面で操作する

ブラウザは、G-BOOKオンラインサービスの各種コンテンツの表示や操作を行います。
ブラウザ画面には、コンテンツ閲覧中に表示される画面と、コンテンツ読み上げ中に表示される画面があります。

閲覧中に操作する

コンテンツの閲覧中は、次の操作ができます。



スイッチ		機　能
①	Gメイン／終了スイッチ	Gメイン ：メインメニュー画面にもどる 終了 ：ブラウザ画面を終了してブラウザ表示前の画面にもどる
②	登録スイッチ	表示中のページをブックマークに登録する。
③	読上げスイッチ	読み上げを開始する。 ●読み上げ情報がないときは、スイッチは灰色になっています。 ●読み上げ情報があるコンテンツを表示したときに、自動で読み上げをするかしないかを設定できます。（→**506**）
④	更新／中止スイッチ※	更新 ：コンテンツの再読み込みをして画面を更新する（コンテンツの読み込みが完了または中断しているときに表示） 中止 ：コンテンツの読み込みを中止する （コンテンツの読み込み中に表示）
⑤	切断スイッチ ▶携帯電話使用時	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断する。 ●切断されているときは、スイッチは灰色になっています。

※コンテンツの読み込み中に 中止 にタッチしたり通信が切断された場合、コンテンツが表示されずに背景のみとなったり、読み込み中のコンテンツが乱れて表示されることがあります。この場合は、次のいずれかの操作を行ってください。

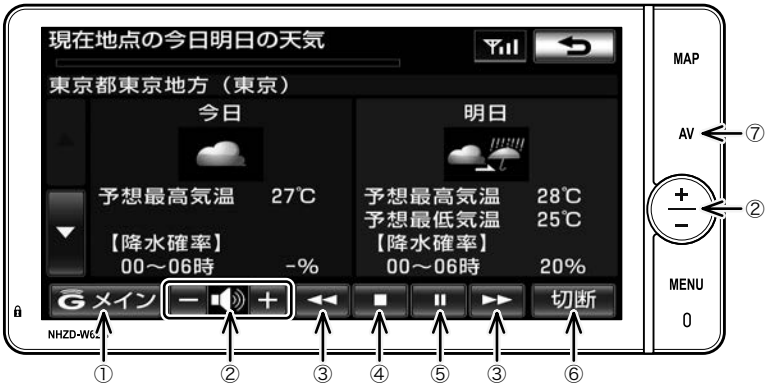
- 更新 にタッチして、コンテンツを再取得する。
- ⮌ にタッチしていったん前のページを表示し、コンテンツを取得しなおす。

知 識

▶各スイッチはブラウザ表示前の画面により、スイッチの表示・非表示およびスイッチ名称に違いがあることがあります。
▶G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

読み上げ中に操作する

読み上げ情報があるコンテンツの読み上げ中は、次の操作ができます。



スイッチ		機　能
①	Gメインスイッチ	メインメニュー画面にもどる。
②	音量調整スイッチ	コンテンツを読み上げるときの音量を調整する。 ●ブラウザ画面で操作するとき ［－］：小さくする ［＋］：大きくする ●画面外のスイッチで操作するとき ：小さくする ：大きくする
③	前項目／次項目スイッチ	読み上げの開始位置を変更する。 ［◀◀］：読み上げ中の項目の先頭からはじめる ［▶▶］：次の項目の先頭からはじめる ●前の項目の先頭からはじめるとき →［◀◀］にタッチしてから約1秒以内に再度タッチ。
④	停止スイッチ	コンテンツの読み上げを停止し、閲覧中の画面にもどる。
⑤	ポーズ／再開スイッチ	［⏸］：コンテンツの読み上げを一時停止する（読み上げ中に表示） ［▶］：読み上げていた項目の頭から読み上げを再開する （読み上げ一時停止中に表示）
⑥	切断スイッチ ▶携帯電話使用時	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断する。 ●切断されているときは、スイッチは灰色になっています。
⑦	オーディオ操作スイッチ	コンテンツの読み上げを停止する。

知識

▶G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

ブラウザの自動読上げ

ブラウザで読み上げ情報があるコンテンツを表示したとき、自動で読み上げをすることができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ G-BOOK ⇒ G-BOOK詳細設定 ⇒ G-BOOK詳細設定画面

1 ブラウザ自動読上げ にタッチ。

2 する にタッチ。

▶解除するとき
→ しない にタッチ。

G情報マーク

»G情報マークを表示する

G情報マークは、G-BOOK.comコンテンツが提供する地点情報です。
情報を取得すると自動で地図に表示されます。

G情報マーク

»施設の情報を表示する

地図上にG情報マークが表示されているときは、その施設の情報を見ることができます。

1 G情報マークにタッチ。

2 情報 にタッチ。

3 ブラウザ画面に切り替わる。

▶G-BOOK.com コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

》G 情報マークを非表示にする

G 情報マークを消したいときは、次の手順で非表示にすることができます。

地図表示中

1 表示変更 にタッチ。

2 周辺施設 にタッチ。

3 G情報マーク表示 にタッチ。

▶地図画面のG情報マークが非表示になります。

パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する

パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する

》パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する

G-BOOKはパソコンや携帯電話・スマートフォンからも情報確認や各種設定ができます。

便利にご利用いただける主なコンテンツ

- G-Security※の設定確認や変更
- スポット検索
- ドライブプラン
- マイカーインフォメーション
- Eメールデリバー

※G-BOOK mX Pro契約が必要です。

- パソコンでの操作

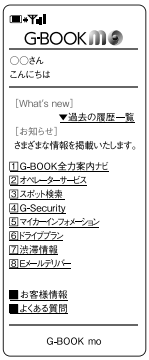
URL→http://g-book.com/

G-BOOKのパソコンサイトに
アクセスする
▼
ログイン をクリック
▼
IDとパスワードを入力
▼
ユーザーサイトが表示されます。

▶携帯電話

- URL→http://mo.g-book.com/
- QRコード→

G-BOOK moのトップページに
アクセスする
▼
ログインする を選択
▼
IDとパスワードを入力
▼
ログイン を選択
▼
ユーザーサイトが表示されます。



知識

▶「かんたんログイン」を設定しておくと、G暗証番号(数字4桁)の入力で簡単にログインできます。

▶「G暗証番号」は、有料コンテンツの購入やG-Securityの設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく4桁の番号です。

▶スマートフォン
T-Connectアプリ（無料）を下記URLからダウンロードします。
●URL→http://tconnect.jp/spappdl/
●QRコード→

●App StoreまたはGoogle Play™で「T-Connect」と検索すると表示されます。

⚠警告

▶安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

●T-Connectアプリの機能紹介などの詳細説明については、次のサイトをご覧ください。
URL→http://tconnect.jp

サービスの使い方

ヘルプネット

》ヘルプネットについて

ヘルプネットは、急病などの緊急事態発生時に、ヘルプネットスイッチにタッチするだけでヘルプネットセンターに接続し、車内からの通報を補助するシステムです。
ヘルプネットセンターに電話が接続されるとオペレーターが応答し、ドライバーあるいは他の乗員から状況を確認して、通報位置に適した警察または消防にお客様の状況を通報します。
ヘルプネットは警察や消防への緊急通報サービスです。ロードサービスへの取次ぎは行いません。

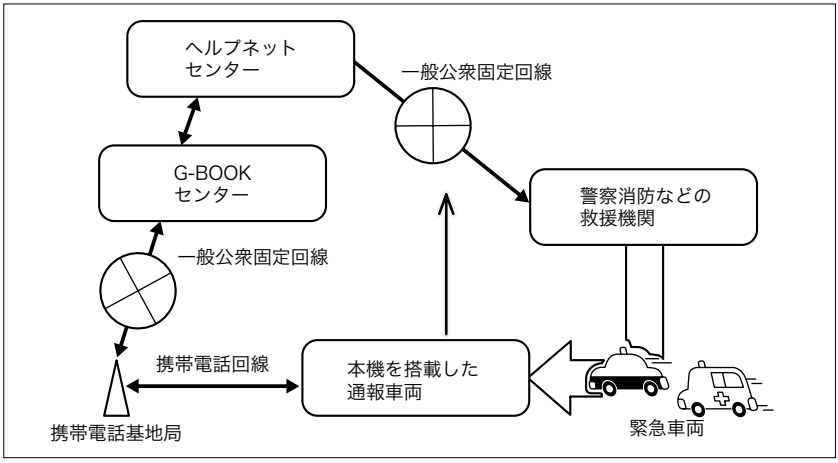
▶本システムは、エンジンスイッチがACCまたはONのときに作動します。

サービスのご利用について

▶ヘルプネットは、本機でG-BOOKオンラインサービスを利用開始の上、サービス開始操作※が完了すると利用することができます。（→**515**）
▶G-BOOK mXの場合、サービス開始操作後は、2年ごとに本機またはG-BOOKサイトでの登録情報の更新が必要です。
▶ヘルプネットは（株）日本緊急通報サービスの登録商標です。

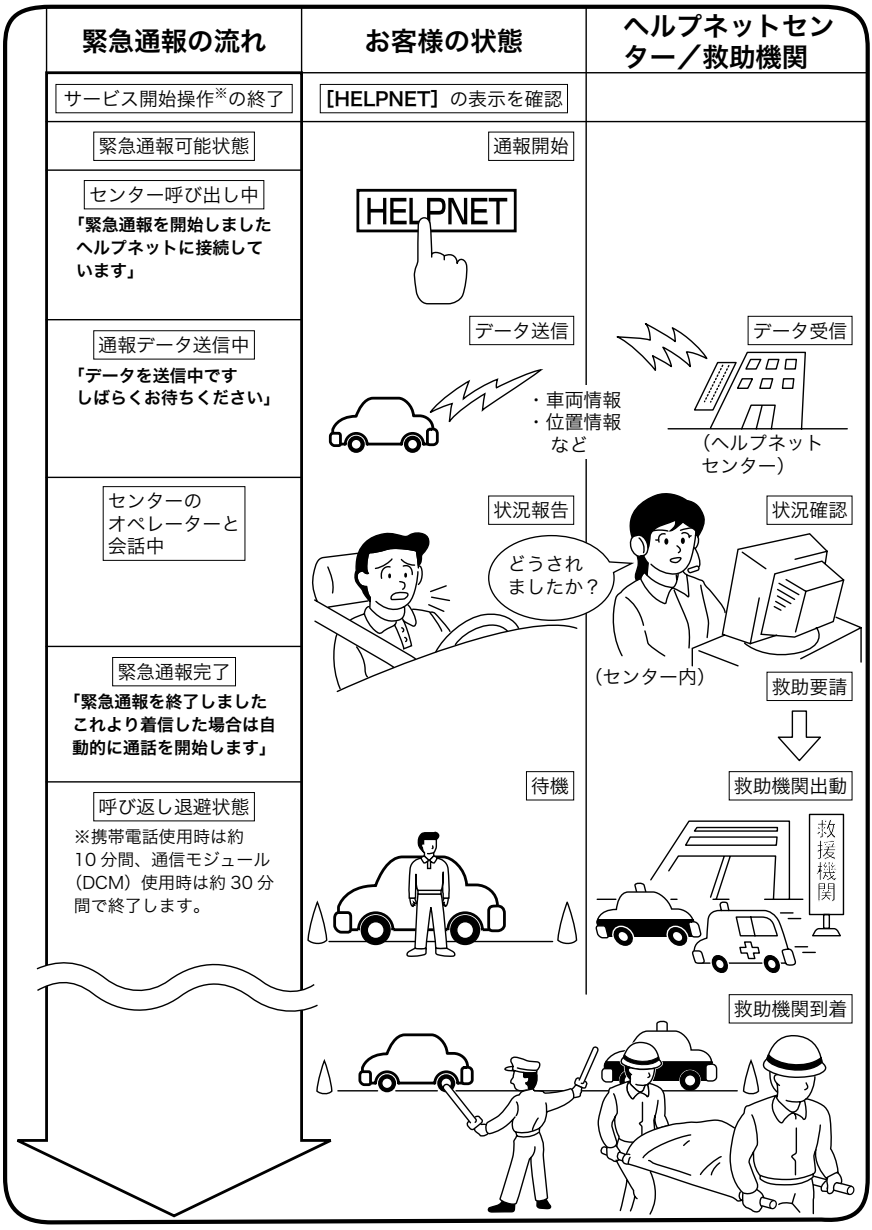
緊急通報のしくみ

本機のG-BOOK画面に表示される HELPNET にタッチすると、ヘルプネットセンターに通報し、専門のオペレーターが応答します。



※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

緊急通報の主な流れ

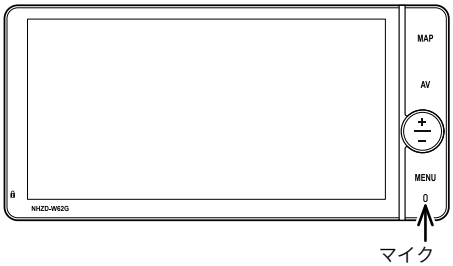


※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

各部の名称とはたらき

車載機

緊急通報時や手動保守点検時に使用します。



マイク

本機に内蔵されています。
緊急通報中や手動保守点検中のハンズフリー通話時に使用します。

⚠注意

▶本機が故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。本機に液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。 本機が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。

安全のために

⚠警告

▶安全運転を心がけてください。本機は、交通事故や急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。
▶緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。
▶緊急事態発生により燃料の匂いや異臭を感じるときは、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。
▶サービス開始操作※は契約者本人が行い、G-BOOK画面に HELPNET が表示されていることを必ず確認してください。
▶本機は衝撃などによって、作動しなくなることがあります。このようなときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
▶バッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットセンターと通信できないことがあります。
▶携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠警告

▶次の場合は緊急通報できません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ●携帯電話サービスエリア外でご使用の場合
- ●機器（車載機本体、携帯電話回線に接続する機器、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線）に異常または損傷があり、故障している場合
- ●G-BOOKオンラインサービスの利用契約がされてない、または利用契約が解除されている場合
- ●登録情報が更新されていない場合
- ●サービス開始操作※を実施していないため、本機が緊急通報可能状態になっていない場合

▶ヘルプネットを携帯電話で使用するとき、次の場合は緊急通報できません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ●携帯電話と本機がBluetooth接続されていない場合
- ●携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している場合
- ●携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない場合
- ●携帯電話が故障している場合
- ●携帯電話の料金を滞納している場合

▶緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。 通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠警告

▶ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。「携帯電話の設定について」をご覧ください。（→**523**）

▶緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。 基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機のBluetooth接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源がOFFになってしまった場合は、携帯電話の電源をONにし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth接続の切断により、通話も切断されることがあります。

▶安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。
走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。 緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。

▶本機はエアバッグと連動していないため、エアバッグが作動しても通報されません。
このような場合には、HELPNETによる緊急通報をしてください。

▶G-BOOKオンラインサービスを解約してもG-BOOK画面に、HELPNETが表示されているときは、トヨタ販売店にご相談ください。

⚠警告

▶ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。

▶煙が出る、異臭がするなど異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止してトヨタ販売店にご相談ください。

⚠注意

▶本機内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。万一、異常などがあるときには、すぐにトヨタ販売店にご相談ください。

▶本機の取り外しを行うと、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなる可能性があります。取り外しが必要な場合には、トヨタ販売店にご相談ください。

▶緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話ができません。これらの機器が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。

▶次の温度範囲以外では、緊急通報や携帯電話が正常に動作しない場合があります。そのときは、最寄りの公衆電話を使用してください。
動作温度範囲：－20℃～＋60℃

▶実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物は、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。

⚠注意

▶呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合および車外に避難するときは、パーキングブレーキを確実に作動させ、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしてください。 この場合、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした時点で、緊急通報は終了します。なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機のBluetooth接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源がOFFになってしまった場合は、携帯電話の電源をONにし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth接続の切断により、通話も切断されることがあります。

▶ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、電話料金を滞納していると、緊急通報できません。電話料金の滞納にはくれぐれもご注意ください。

知識

▶ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、ヘルプネットによる緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信の通信料金や通話時の通話料は、お客様のご負担となります。

▶いたずらなどが原因で救急車両などの出動が起きた場合、該当費用に関しての請求や関連法規により処罰されることがあります。いたずらをしないようにしてください。

≫サービス開始操作※をする

ヘルプネットは、サービス開始操作※を完了してはじめて利用できるようになります。利用開始操作完了後、次の手順でサービス開始操作※および本機が正常に動作するか確認してください。この確認が行われないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

1 できるだけ見晴らしの良い場所に車を移動する。

▶ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください。

2 「手動保守点検」を行い、以下の点を確かめる。（→520）

▶通信が正常に始まる。
▶通報位置が正しい（ヘルプネットセンターとの通話で確認）。
▶通話ができる。

3 手動保守点検後、G-BOOK画面に HELPNET が表示される。

▶G-BOOK画面に HELPNET が表示されない場合は、再度、手動保守点検を実施してください。
▶手動保守点検が正常に終了しなくても HELPNET が表示される場合があります。この場合、緊急通報できないことがあるため、トヨタ販売店にご相談ください。

⚠警告

▶通話が正常に終了したか否かの確認画面で いいえ にタッチする、または画面外の MAP などにタッチして他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作※を行い、本機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。
▶次のように、本機が正常に動作しない場合、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。
- ●発呼しない。
- ●通報位置とヘルプネットセンターでの位置表示が間違っている。
- ●通話できない。

▶サービス開始操作※は途中で中断せず、最後まで完了してください。 途中で中断した場合は、基本的に HELPNET は表示されませんが、 HELPNET が表示された場合はトヨタ販売店にご相談ください。
▶サービス開始操作※時の手動保守点検が正常に動作しなかった場合は、緊急通報できないことがあり危険です。手動保守点検時に本機が正常に動作しない場合や、 HELPNET は表示されたが通話できない場合には、トヨタ販売店にご相談ください。
▶手動保守点検後、 HELPNET が表示されない場合、緊急通報は動作しません。 HELPNET の表示が正常に行われない場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠警告

▶ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、次の点に注意してください。
- ●本システムで動作確認済みの携帯電話を使用してください。動作確認済みでない携帯電話をご使用になられると、緊急通報が動作しないおそれがあり危険です。また、携帯電話本体の破損など故障の原因となる場合があります。
- ●ヘルプネットを使用する前に、携帯電話の登録（→**440**）および使用する携帯電話の通信設定（→**556**）を行ってください。
- ●本機に携帯電話をBluetooth接続する際は、必ず携帯電話の電池残量を確認してください。携帯電話の電池が空になると携帯電話が動作しないため、緊急通報も動作しません。なお、本機には携帯電話の充電機能はありません。
- ●電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。「携帯電話の設定について」をご覧ください。（→**523**）
- ●携帯電話と本機がBluetooth接続されていることを確認してください。接続されていないと、緊急通報は動作しません。

知識

▶手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー通話などが利用できません。この場合、手動保守点検が終了してからご利用ください。

▶ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがACCまたはONのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話の照明をOFFに設定してください。（設定については携帯電話の取扱説明書をご参照ください。）

》緊急通報をする

急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターへ通報するときにボタン操作をすることで緊急通報ができます。ここでは、緊急通報の流れを一通り説明します。実際に使用するときにあわてないために、流れを覚えておいてください。

エンジンスイッチがACCまたはONのとき、G-BOOK画面で HELPNET にタッチすると緊急通報を開始します。あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがってください。

⚠警告

▶次の場合は緊急通報できません。緊急通報できなかった場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ●携帯電話サービスエリア外では緊急通報動作が開始しても、緊急通報できません。
- ●携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。

▶緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。 通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。

⚠警告

- ▶ヘルプネットセンターへ接続中に、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。緊急通報が中止されます。エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしてしまった場合、緊急通報はできていないので、再度エンジンスイッチをACCまたはONにして通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ▶ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機をBluetooth接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ G-BOOK画面

1 HELPNET にタッチ。

2 ヘルプネットセンターへ接続を開始し、緊急通報が開始される。

- ▶メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
- ▶緊急通報を中止するとき
  → 中止 にタッチ。

3 ヘルプネットセンターにデータ通信を行い、車両の位置などが送信される。

4 データ通信完了後、通話モードになる。

- ▶マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話することができます。

5 オペレーターと通話する。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの症状、警察または消防への通報の要・不要を伝える。

▶通話音量を調整するとき
→ － または ＋ にタッチ。

知識

▶緊急通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の応答が取れたときに救援機関に通報します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。

▶ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、通話中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。（ヘルプネットを通信モジュール（DCM）で使用する場合は、緊急通報は中止されます。）

6 警察または消防への通報が必要なときはヘルプネットセンターが警察または消防に接続する。

7 通話が終了すると、ヘルプネットセンターが電話回線の切断をする。

8 通話終了後、しばらくの間（携帯電話使用時は約10分間、通信モジュール（DCM）使用時は約30分間）は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になる。この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながる。

⚠警告

▶呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。
基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。 なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機のBluetooth接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源がOFFになってしまった場合は、携帯電話の電源をONにし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth接続の切断により、通話も切断されることがあります。

▶呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

知識

▶ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、呼び返し待機中に携帯電話本体で電話を受けると、その時点でヘルプネット画面は解除されます。
▶呼び返し待機中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOKオンラインサービスは利用できません。

9 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネット画面は解除される。

知識

▶緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
▶緊急通報開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
▶緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOKオンラインサービスは利用できません。
▶誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。

保守点検について

保守点検は、自動または手動で車内からヘルプネットセンターに接続し、動作確認や契約状態の確認などを行うときに使用します。

▶保守点検は、次の2種類があります。
- 自動保守点検:（→**519**）
- 手動保守点検:（→**520**）

自動保守点検について

自動保守点検は、本機が定期的に自動で実施する保守点検です。お客様が利用登録されているかの確認を、ヘルプネットセンターがするために実施されます。

警告

▶ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機をBluetooth接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

注意

▶自動保守点検開始後、何らかの理由で通信が中断されてしまったときは、次にエンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCまたはONにしたときに、再び自動保守点検を開始します。何度も正常に終了しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

知識

▶自動保守点検を行うための特別な操作は、必要ありません。
- 点検時期：（株）日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。
- 点検時間：開始後1～2分で終了します。

▶自動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOKオンラインサービスは利用できません。この場合、自動保守点検が終了してからご利用ください。

》手動で保守点検を実施する

手動保守点検は、お客様ご自身が手動で実施する保守点検です。

▶G-BOOK mXの場合、使用する携帯電話を追加・変更したときは、必ず手動保守点検を行ってください。

▶手動保守点検は、以下の保守点検を実施します。

- ●車載機の保守点検（車載機修理点検や車両修理後の保守点検）
- ●ヘルプネットセンターに利用登録されているかの確認（加入時、契約内容変更時）

▶ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機がBluetooth接続されていることを確認してください。

⚠警告

▶手動保守点検の途中で、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。手動保守点検が正しく終了しません。エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしてしまったときは、再度手動保守点検をやり直してください。

▶ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機をBluetooth接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

▶手動保守点検を実施する前に、現在地画面でGPSの受信（GPSマークが表示されること）を確認してください。

GPS マーク

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ G-BOOK画面

1 メインメニュー にタッチ。

2 保守点検 に約10秒以上タッチし続ける。

3 ヘルプネットセンターに接続を開始します。

▶メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。

▶中止するとき
→ 中止 にタッチ。

4 ヘルプネットセンターに接続すると、最初にデータ通信を行い、以下の確認をする。

▶車両の現在地
▶手動保守点検をしていること
▶ヘルプネットセンターに利用登録されていること

5 データ通信完了後、通話モードになります。

6 マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話する。

▶ヘルプネットセンターの応対は、自動音声で行われます。自動音声で車両の現在地の確認後に、名前を聞かれます。「ピー」と鳴ったら、お客様の名前を話してください。自動音声で名前を繰り返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。
▶通話音量を調整したいとき
→ － または ＋ にタッチ。

7 サービス開始操作※時は、通話が正常に終了したら はい にタッチ。

⚠警告

▶ここで表示された画面で いいえ にタッチする、または画面外の MAP などにタッチして他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作※を行い、本機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

8 保守点検を終了する。

9 画面外の MENU →［G-BOOK］の順にタッチして、G-BOOK画面に［HELPNET］が表示されていることを確認する。

⚠警告

▶サービス開始操作※で手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。
途中で中断した場合は、基本的に［HELPNET］は表示されませんが、［HELPNET］が表示された場合はトヨタ販売店にご相談ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠注意

▶手動保守点検は、正確に位置情報を送ることができることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPSを受信できる見晴らしのよい場所で行ってください。

▶手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかったときは、エンジンスイッチを一度OFF（LOCK）にし、手動保守点検をやり直してください。携帯電話サービスエリア内でやり直しても接続されない場合には、トヨタ販売店にご相談ください。

知識

▶手動保守点検開始から通話終了までの間は、本機の音声が自動的にミュート（消音）されます。

▶手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOKオンラインサービスは利用できません。この場合、手動保守点検が終了してからご利用ください。

利用登録の更新

▶G-BOOK mX利用時

ヘルプネットサービス利用開始日から2年毎に利用登録の更新手続きが必要です。
更新期限が近づくと、ナビ画面にて更新手続きのご案内が表示されます。
ナビ画面またはG-BOOKのパソコンサイト(http://g-book.com/)のユーザーサイトにて更新または変更してください。

利用登録の更新操作について

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ メインメニュー ⇒ G-BOOK.com ⇒ G-BOOK.com画面

1 ヘルプネット にタッチ。

2 利用登録の更新手続き にタッチ。

3 G暗証番号を入力する。

4 決定 にタッチ。

5 ヘルプネット登録情報画面の内容を確認。

6 更新 にタッチ。

▶登録情報に変更がある場合、 変更 にタッチし、画面にそって情報を変更してください。

7 ヘルプネットの登録情報を更新したと表示される。

知識

▶「G暗証番号」は、有料コンテンツの購入やG-Securityの設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく4桁の番号です。

▶更新期限の約一ヶ月前に、ナビの画面にお知らせを表示します。
このお知らせ画面から更新することもできます。

携帯電話の設定について

⚠警告

▶緊急通報の妨げになる電話機能は利用しないでください。(機能を解除する方法については、携帯電話の取扱説明書をご参照ください。)
（1）ダイヤルロック
（2）発信を制限もしくは禁止する機能
（3）ドライブモード
（4）着信拒否、着信制限
（5）着信転送
（6）留守番電話
（7）発信者電話番号非通知
（8）着信を制限もしくは禁止する機能
※（1）（2）の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターに電話をかけることができないため、緊急通報が動作せず、危険です。
(3)～(8)の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターからの呼び返しができず、救援困難となる可能性があり危険です。
また、各通信事業者が独自に設定している付加サービス（キャッチホン、三者通話、セレクトフォン、マルチナンバーなど）によっては、緊急通報が正常に動作しない場合があり危険です。

▶ヘルプネットはG-BOOKオンラインサービスの通信設定を利用します。
ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話を追加したときは、必ず使用する携帯電話の通信設定（→**556**）を行ってから、手動保守点検を実施して正常に動作することを確認してください。

知 識

▶ヘルプネットを使用する場合、携帯電話の通信機能はヘルプネットに優先的に使用されます。このため、次のような場合は携帯電話は使用できません。
- ●携帯電話を使用中の場合でも、緊急通報が開始されると携帯電話の使用を中止します。
- ●緊急通報中は、携帯電話は使用できません。
- ●自動保守点検、手動保守点検のいずれかが先行して通信機能を使用している場合、携帯電話は使用できません。

》緊急通報できない場合について

以下のようなときには、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障が出ることがあります。

G-BOOK利用契約の不成立または消滅

▶未登録の場合
▶利用契約を解除した場合

ヘルプネット利用登録の不成立

▶サービス開始操作※を完了していない場合
▶登録情報が更新されていない場合
※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

車載機または車両関連機器の異常による通信不能

▶車載機（車載ユニット、通信モジュール（DCM）、マイク、スピーカー、接続電気回路など）の故障
▶バッテリーの電圧低下など、車両関連機器の故障・消耗など
▶車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、車載機または車両関連機器の損傷

緊急通報センターシステムの位置評定エラー

GPSのシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などでGPSでの位置演算の誤差が大きいとき、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きいときなど、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きいとき

知 識

▶ヘルプネットは、本機のGPSから位置情報を取得しています。（→**180**）

ヘルプネットセンター／G-BOOKセンターシステムの異常による通信不能

▶センターシステムの故障など
▶センターの火災などによる、センターシステムの損傷

ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能

▶本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両”が位置するとき
▶本サービスに使用する携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信ができないとき
▶本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑しているなど、通話利用もしくは通話時間が制限され、結果としてヘルプネットによる通信ができないとき
▶本サービスに使用する通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができないとき
▶本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止されたとき

緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止

▶センターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要があるとき
▶大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中したとき

その他

▶ヘルプネットを携帯電話で使用するとき、次のような理由で携帯電話が使用できない場合
- 携帯電話と本機がBluetooth接続されていない
- 携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している
- 携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない
- 携帯電話が故障している
- 携帯電話の料金を滞納しているなど

▶緊急通報で、ヘルプネットセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができないとき（緊急通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

》故障とお考えになる前に

本機が正常に作動しなくなったときは、以下の表にしたがって確認してください。表にしたがって対処しても作動しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。また、万一異常が起きたら、必ずトヨタ販売店に修理をご依頼ください。

⚠警告

▶緊急事態発生時に緊急通報できないときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

症　状	考えられること	処　置
保守点検 が表示されない	利用開始操作が完了していない。	利用開始操作を実施してください。（→**485**）
HELPNET が表示されない	サービス開始操作※が完了していない。	サービス開始操作※を実施してください。（→**515**）
緊急通報できない	▶携帯電話使用時 動作確認済みの携帯電話を使用していますか。	トヨタ販売店にご確認ください。
	▶携帯電話使用時 使用する携帯電話の通信設定をしましたか。	使用する携帯電話の通信設定をしてください。（→**556**）
	▶携帯電話使用時 携帯電話で、緊急通報の妨げになる電話機能を利用していませんか。	携帯電話およびネットワークサービスの発信や着信を制限もしくは禁止する機能を解除してください。
	電波状態は良好ですか。	電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。（→**520**）
	携帯電話のサービスエリア外で使用していませんか。	
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてから、または電波状況の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。（→**520**）

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

オペレーターサービス

G-BOOK mX Proをご利用の場合は、購入手続きなしで利用することができます。
G-BOOK mXをご利用の場合は、有料オプションになります。

»オペレーターサービスについて

オペレーターサービスは、電話で依頼するだけで、オペレーターがお客様に代わって、ナビゲーションの目的地設定やレストラン／駐車場の検索などを行うサービスです。

オペレーターサービスメニュー

▶ドライブサポート
- ●ナビの目的地設定
- ●駐車場の案内
- ●電話番号の案内
- ●夜間・休日診療機関の案内

▶セキュリティサービス
（G-BOOK mX Pro 契約が必要）
- ●オートアラームの作動連絡
- ●盗難車両の位置追跡
- ●警備員の派遣手配

▶トラブルサポート
- ●ロードアシスト24への取次ぎ

	G-BOOK mX	G-BOOK mX Pro
申込	Web登録が必要（有料）	不要
ハンズフリー	必要	不要
通話料	お客様負担	無料※

※携帯電話・固定電話からご利用の場合、通話料はお客様のご負担になります。

▶利用料金や詳しいサービス内容については、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

知識

▶G-BOOK mX Proをご利用の場合は、オペレーターへの発信のみ可能です。オペレーターからの着信には対応していません。

▶本機の時刻データが更新されていないと、オペレーターサービスを利用できません。
この場合は、GPS信号が受信できる場所に車を移動し、画面外の MAP にタッチして地図画面上にGPSマークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。

▶ヘルプネットの緊急通報中または保守点検中は、オペレーターサービスを利用できません。

▶オペレーターサービス中は、ヘルプネット以外のデータ通信を必要とするサービスは使用できません。これらのサービスを使用するときは、オペレーターサービスを終了してからご使用ください。

▶マルチナンバーなど、ひとつの携帯電話に複数の番号が付与されるサービスをご利用の場合、オペレーターサービスが正常に動作しないことがあります。

▶G-BOOKオンラインサービスを通信モジュール（DCM）で使用する場合、電話機接続で携帯電話が選択されていても、オペレーターサービス中は一時的にBluetooth接続が切断されます。

»オペレーターサービスを購入する

▶G-BOOK mX利用時
利用するには、まずコンテンツの購入手続きをします。

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ G-BOOK画面

1 オペレーター にタッチ。

2 画面の指示にしたがって、購入手続きをする。

»オペレーターサービスを使う

車内よりハンズフリーを利用する場合の使用例を紹介します。

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ G-BOOK画面

1 オペレーター にタッチ。

2 オペレーターに接続する。

▶中止するとき
→ 切断 （携帯電話使用時）または 中止 （通信モジュール（DCM）使用時）にタッチ。

3 オペレーターと通話する。

▶「ナビの目的地設定」、「レストランや駐車場などの周辺情報の検索」や「ニュースの配信」など、利用したい内容を オペレーター にお伝えください。

4 オペレーターとの通話が終了する。

▶自動的に回線が切断されます。

5 画面の指示にしたがって操作する。

▶「周辺情報の検索」や「ニュースの配信」などを利用した場合、G-BOOK センターから情報を取得すると、メッセージが表示されます。

▶「ナビの目的地設定」を依頼した場合、メッセージは表示されず、ルート案内画面に自動で切り替わります。

携帯電話・固定電話から利用する

いつもご利用の携帯電話、自宅やオフィスの電話からも利用できます。

1 オペレーターに電話をかける。

オペレーターサービス専用電話番号
0561－57－6818
（365日 24時間対応）

2 利用したい内容を伝える。

3 本機を使用して、手動で受信する。

▶携帯電話や固定電話から利用すると、次回エンジンスイッチを ACC または ONにしたときに、情報の受信をお知らせするメッセージが 本機 に表示されます。画面の指示にしたがって、操作してください。
表示されない場合は、手動で情報を取得してください。（→529）

知識

▶ご利用の際は、お申し込み時にサポートアドレスとして登録した番号から、発信者番号通知でかけていただくと、スムーズにご利用いただけます。

▶ご本人であることをオペレーターが確認させていただく場合があります。

▶通話料はお客様のご負担になります。本機から通信モジュール（DCM）を接続してご利用の場合は通話料は必要ありませんが、携帯電話、自宅やオフィスの電話からご利用の場合、通話料はお客様のご負担になります。

》手動で情報を取得する

自動で情報が取得されない場合は、次の手順で取得してください。

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ G-BOOK 画面

1 情報確認 にタッチ。

2 メッセージが表示されたら、はい にタッチ。

▶メッセージが表示されないとき
→ 受信一覧 にタッチ。

▶過去に依頼した情報が表示されます。

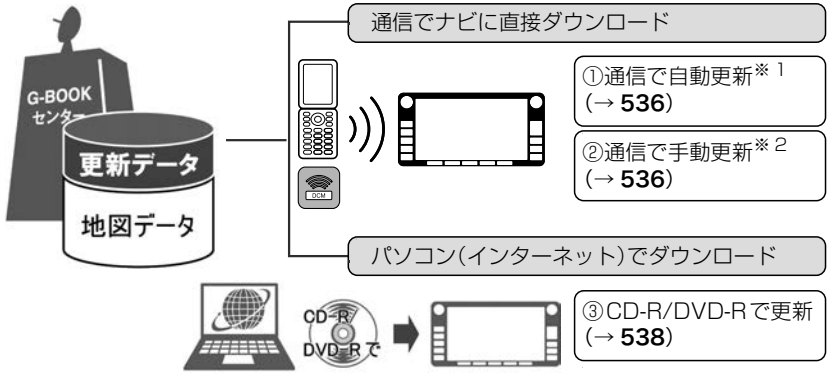
マップオンデマンド（地図差分更新）

》マップオンデマンドとは

G-BOOK センターでは、新しい道路情報が準備でき次第、順次地図データを更新しています。マップオンデマンドは、通信モジュール（DCM）・携帯電話の通信またはパソコン（インターネット）を経由して新しい道路情報をダウンロードし、地図を更新するサービスです。

更新方法

更新方法は 3 種類あります。



※1 G-BOOK mX の場合、自動更新には「カーナビ通信料定額プラン」(→ **480**)の契約が必要です。

※2 初回の更新は③で実施が必要です。

サービス期間

マップオンデマンドは、本機購入後３年間ご利用いただけます。それ以降、またはサービス利用期限内に「最新版地図ソフト」を購入いただくと、購入日より２年間利用いただけます。

マップオンデマンド（地図差分更新）と全更新

▶地図更新は、新しい道路データ（差分）を携帯電話やパソコンで更新していく「マップオンデマンド（地図差分更新）」と、「最新版地図ソフト」を購入いただきすべての地図データを更新する「全更新」があります。

▶「全更新」を行う際、マップオンデマンドで更新済みの差分データが「全更新」データより新しい部分はそのまま保存されます。

更新にかかる費用

更新方法により、更新時に次の費用がかかります。

通信で更新※ ●携帯電話のパケット通信費	パソコンで更新 ●パソコンのインターネット通信費 ●CD-R/DVD-R 代
地図更新DVD を注文して更新 ●地図更新DVDは有料です。料金については、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。	

※G-BOOK オンラインサービス利用時

更新対象

	全国配信	指定エリア※配信
道路データ	高速道路・有料道路、主要国道	一部国道、主要道、都道府県道、 その他道路、道幅5.5ｍ未満の道路
施設情報	高速道路・有料道路施設	立体ランドマーク相当の著名な施設
市街図	更新対象外	更新対象外
音声案内	更新対象外	更新対象外

※指定エリア

▶通信で更新時

●ナビゲーションで登録した自宅周辺80㎞（細街路は10㎞）四方、目的地周辺10㎞四方

▶パソコンで更新時

●選択した都道府県

知識

▶コンビニなどの一般施設は、マップオンデマンドでは更新されません。

▶マップオンデマンドでは、音声案内データは更新されませんので、交差点、路線、方面名称、施設名称、目印などが更新された場合、固有の音声案内は出力されません。

更新エリア

■通信で更新

▶自動更新※

下記のタイミングで、自動的に更新データをダウンロードします。

- エンジンスイッチをACCまたはONにしたときに、ナビゲーションで登録した自宅周辺80 ㎞（細街路は10㎞）四方ならびに全国配信道路に更新情報がある場合
- 目的地設定時、目的地周辺10 ㎞四方ならびに全国配信道路に更新情報がある場合

※G-BOOK mX の場合、「カーナビ通信料定額プラン」の契約が必要です。（→**557**）

▶手動更新

地図更新画面の **自宅周辺** にタッチ。

- ナビゲーションで登録した自宅周辺80 ㎞（細街路は10 ㎞）ならびに全国配信道路に更新情報があると更新データをダウンロードします。

地図更新画面の **目的地周辺** にタッチ。

- ナビゲーションで登録した目的地周辺10㎞四方ならびに全国配信道路に更新情報があると更新データをダウンロードします。

■パソコン経由で更新

▶更新したい都道府県を選択すると、全国配信道路の更新データもあわせてダウンロードします。

■地図更新DVD を注文して更新

▶マップオンデマンド・サポートデスクに地図更新DVD を電話注文して、更新することができます。その際、以下の情報が必要となりますのでご確認ください。

- 車種名
- ナビ型番
- サービス終了日※
- 地図のタイプ※
- ナビバージョン※

※地図更新画面で確認できます。（→**535**）

▶地図更新DVDは有料です。料金については、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

マップオンデマンド・サポートデスク
0561－57－6814
受付時間　9:00～18:00（年中無休）

■更新データ配信の目安

▶高速道路は供用開始後、最短７日で更新します。ただし、年末年始などの長期休暇、開通道路状況、天候不良、システム保守などにより、配信までの期間に遅延が生じる場合があります。地図更新データの収集・整備状況によっては、配信までに３カ月ほどかかる場合もあります。

▶一般道路は、開通後（変更後）、地図データとして収集・整備を行った後、順次配信します。

地図更新のステップ

更新データの本機へのダウンロード（またはコピー）後、地図の更新が完了するまで2つのステップがあります。

(1) 地図の更新準備

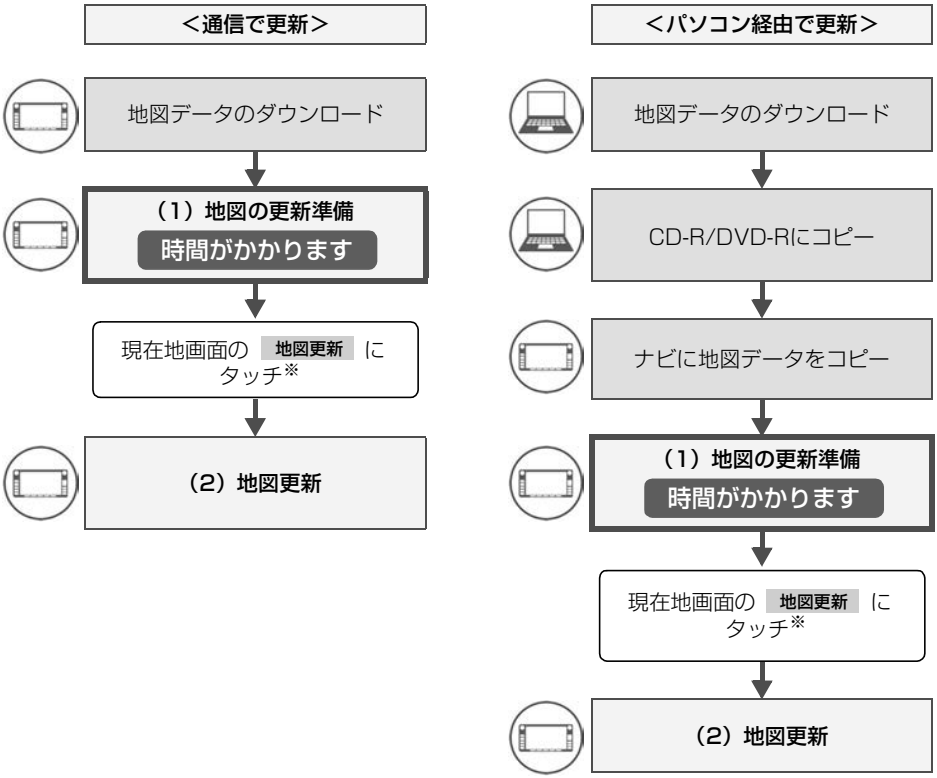
地図データを書き換えるための準備を行います。

ご利用の地図データや更新頻度により異なりますが、更新データが多い場合、数時間かかることがあります。自動更新以外でご利用の場合、定期的に更新することをお勧めします。

(2) 地図更新

本機の地図データを書き換える処理です。

更新準備が完了後、現在地画面の 地図更新 にタッチした後、20 ～30秒程度で完了します。ただし、更新データが多い場合は数分程度かかることがあります。



※ 地図更新 にタッチしなかった場合、次回エンジンスイッチをACCまたはONにしたときに、地図更新を行います。

知 識

▶「地図の更新準備」および「地図更新」中にオーディオなどの操作を行った場合は、さらに時間がかかることがあります。とくに音楽CD をハードディスクに録音している間は、一時的に更新処理を停止し、録音終了後に処理を再開するため、その分時間がかかります。

地図更新画面の使い方

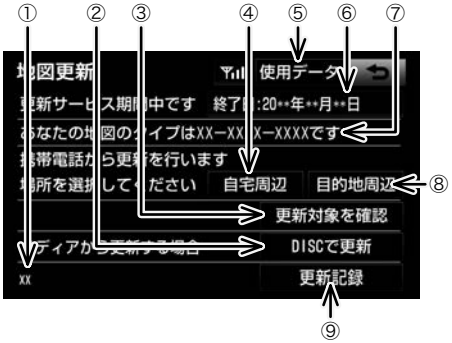
地図更新に関する情報の確認や操作は、地図更新画面から行います。

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ 地図更新 ⇒地図更新画面

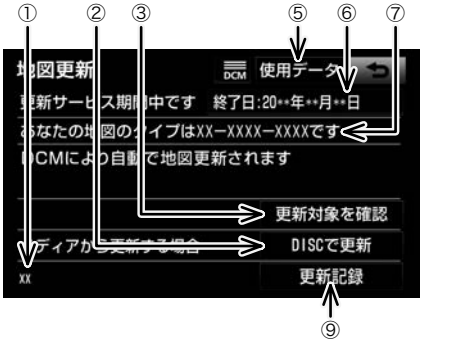
または

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 地図更新 ⇒地図更新画面

▶携帯電話使用時



▶通信モジュール（DCM）使用時



番号	機　能
①	ナビゲーション地図のバージョンを示しています。
②	CD-R/DVD-R で更新する。
③	更新エリアと更新対象を確認する。
④	携帯電話で、全国の高速道路・有料道路と自宅周辺を更新する。 ●ナビゲーションでの自宅登録が必要となります。
⑤	使用データ画面を表示する。 ●ハードディスクに収録されているデータベースなどの情報を確認できます。
⑥	更新サービス終了日を表示する。
⑦	ナビゲーション地図のタイプを示しています。地図更新DVDをご注文の際などに必要になることがあります。
⑧	携帯電話で、全国の高速道路・有料道路と目的地周辺を更新する。 ●ナビゲーションでの目的地設定が必要となります。
⑨	最新の更新日を確認する。

》地図を更新する

通信（通信モジュール（DCM）または携帯電話）で自動更新する

差分データがあると、自動で更新データをダウンロードします。
G-BOOK mX の場合、ご利用には「カーナビ通信料定額プラン」（→**480**）にご加入のうえ、車載機での登録（→**483**）が必要です。

1 G-BOOK センターに接続し、差分データがあると、データがダウンロードされる。

▶更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

2 現在地画面の 地図更新 にタッチ。

3 地図が更新される。

通信（携帯電話）で手動更新する

差分データがあると手動で更新データをダウンロードします。
ただし、初回は必ずCD-R/DVD-R にて更新をする必要があります。（→**535**）

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ 地図更新 ⇒地図更新画面

または

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ 地図更新 ⇒地図更新画面

1 更新する場所を選択する。
自宅周辺 または 目的地周辺 にタッチ。

2 G-BOOKセンターに接続する。

▶地図が最新状態の場合は、メッセージが表示されます。

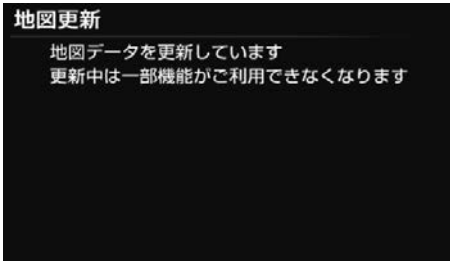
3 差分データ量が多いときはメッセージが表示される。
継続してよければ、 はい にタッチ。

4 データがダウンロードされ、地図更新の準備をする。

▶更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

5 現在地画面の **地図更新** にタッチ。

6 地図が更新される。



知識

▶通信にかかる実費はお客様のご負担になります。

▶データ量が多いときに表示される通信データ量は概算値になります。
データ量が多い場合は、通信にかかる費用を節約するためにも、CD-R/DVD-R での更新をお勧めします。

▶次のいずれかにより前回のダウンロードを途中で中断した場合は、次回 **自宅周辺** または **目的地周辺** にタッチすると、続きのダウンロードを再開できます。
- ●通信が中断したとき
- ●エンジンスイッチを OFF（LOCK）にしたとき

▶CD-R/DVD-R 代、パソコンの通信にかかる実費はお客様のご負担となります。

パソコン（CD-R/DVD-R）で更新する

■地図データを用意する

1 マップオンデマンドのダウンロードサイト（http://g-book.com/mapondemand/Top.aspx）からデータをダウンロードする。

2 地図データをCD-R/DVD-Rにコピーする。

⚠注意

▶CD-R/DVD-R には地図データ以外の情報を入れないでください。
▶ダウンロードした地図データのファイル名および拡張子を変更しないでください。
変更すると地図更新できません。

■地図を更新する

1回の更新で3都道府県まで更新できます。

1 CD-R/DVD-R を本機に挿入する。

2 DISCで更新 にタッチ。

3 CD-R/DVD-R に差分データがある場合は、 開始 にタッチ。

▶地図が最新状態の場合は、メッセージが表示されます。

4 データがコピーされ、地図更新の準備をする。

▶コピーが完了したら、CD-R/DVD-R を取り出すことができます。
▶更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

5 現在地画面の 地図更新 にタッチ。

6 地図が更新される。

知識

▶詳しい操作方法は、マップオンデマンドのダウンロードサイト（http://gbook.com/mapondemand/Top.aspx）の「使い方ガイド」にてご確認ください。

地図更新DVD を注文する（有料）

地図更新DVD は、マップオンデマンド・サポートデスクに電話で注文して購入することも可能です。その際、以下の情報が必要になりますので、確認しておいてください

- 車種名
- ナビ型番
- サービス終了日※
- 地図のタイプ※
- ナビバージョン※

※地図更新画面で確認できます。（→**535**）

マップオンデマンド・サポートデスク
0561－57－6814
受付時間　9:00 ～ 18:00（年中無休）

》故障とお考えになる前に

症　状	考えられること	処　置
地図更新画面の終了日が「＊」になっている。	サービス有効期間の設定前であるためです。	サービス有効期間は自動で設定されます。サービス有効期間設定前でも地図の更新は可能です。
いつまでたっても地図データが更新される気配がない。	通信で更新する場合、通信状態によってはダウンロードが中断することがあります。	しばらくしてから、通信状態が良好な場所で再度確認してください。
	●通信モジュール(DCM)使用時お客様がお住まいの地域で実際に道路更新がなかった。	地図データの更新はありません。
	ダウンロード中、コピー中、または更新準備中である。	地図更新画面で状態を確認してください。(→**535**)

ドライブプラン

》ドライブプランを利用する

G-BOOKのパソコンサイトや携帯サイトでドライブプランを作成しておくと、簡単な操作で経由地および目的地が設定できます。

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ G-BOOK画面

1 ドライブプラン にタッチ。

2 設定したいドライブプランにタッチ。

3 ドライブプランをダウンロード後、経由地・目的地が設定され、ルート探索を開始する。

■目的地が設定されているときにドライブプランで目的地を設定すると、設定されていた目的地の数に関係なく、新しく設定した目的地にすべて上書きされます。なお、設定されていた目的地を再度設定したい場合は、目的地履歴から設定することができます。

■ドライブプランは次の手順でも利用できます。

- Myリクエスト（→**494**）
- Gで設定（→**499**）

G-Security

▶G-BOOK mX Pro利用時

》G-Securityについて

G-Securityは、ドアのこじ開けなどオートアラームの作動を検知した場合、異常をメールや電話でお知らせします。また、車両盗難時はお客様の要請により、車両の位置を追跡し、警備員を現場に派遣します。

G-Securityのご利用に際して

G-Securityを利用するには、次の機器の装着が必要です。

(3) 車載機
(4) 通信モジュール（DCM）
(5) G-BOOK対応オートアラーム：アラーム通知サービス利用時に必要です。

▶上記の必要機器を車両に装着された上で、G-BOOK mX Proに申し込みいただくと、次のようなサービスをご利用いただけます。

■アラーム通知（→543）

▶G-BOOK対応オートアラーム装着車

お車のオートアラーム作動を検知した場合、お客様へメールと電話でお知らせします。

■エンジン始動通知（→544）

エンジンの始動を検知し、メールでお知らせします。

■車両の位置追跡（→544）

お客様の要請により、盗難車の位置を追跡します。

■警備員の派遣（→544）
車両盗難や車上荒らしの際、お客様の要請により、警備員を派遣します。
詳しくは、G-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

知識
▶G-Securityでは、車両の異常を検知した場合、サポートアドレスに登録されている電話番号やメールアドレスに通知します。サポートアドレスに登録されていない場合、通知できませんので、必ずご登録ください。また、連絡先に変更があった場合は変更手続きを行ってください。（→559）
▶携帯電話で迷惑メールの拒否設定などをされている場合は、以下の発信元メールを受信できるようにご登録ください。
［登録する発信元メールアドレス］
g-book.info@03-003.mail.g-book.com
▶メールによる通知には遅延が発生することがありますので、あらかじめご了承ください。
▶アラーム通知される番号は発信専用番号となっています。ご連絡の際はオペレーターサービスへご連絡ください。（→528）また、指定着信許可・拒否などの設定をされている場合は、以下の番号を着信できるようご登録ください。
［通知番号］0570-024-111
▶G-Security では車両の位置情報を使用します。本機が起動していない状態で車両が移動された場合、または電波の届かない場所に車両が移動された場合は、位置情報の変化を確認できません。
▶G-BOOK 利用契約を解除した場合、メールや電話による通知は送信されません。

》初期設定を確認・変更する

アラーム通知※、エンジン始動通知の設定の確認・変更について説明します。
※G-BOOK対応オートアラーム装着車のみ

通知設定の一覧

＊初期設定

サービス名	通知方法	設定	
アラーム通知	電話	設定中＊	解除中
	Eメール	設定中＊	解除中
エンジン始動通知	Eメール	設定中	解除中＊

設定中: 通知します
解除中: 通知されません

知識
▶Eメールアドレスの登録がない場合は、Eメールでの通知はされません。サポートアドレスの登録はナビ画面で行えます。（→559）

解除中→設定中へ切り替える

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ G-BOOK画面

1 メインメニュー にタッチ。

2 セキュリティ にタッチ。

3 設定したい項目にタッチ。

▶設定の説明画面が表示されるとき
→内容を確認し、確認にタッチ。
▶スイッチが「設定中」にかわり、通知設定が切り替わります。

設定中→解除中へ切り替える

画面外のMENU⇒G-BOOK⇒G-BOOK画面

1 メインメニューにタッチ。

2 セキュリティにタッチ。

3 解除したい項目にタッチ。

4 エンジン始動通知を解除するとき
→解除にタッチ。
▶アラーム通知を解除するとき
→手順5へ

5 G暗証番号またはパスワードを入力する。
▶G暗証番号を登録しているとき
→G暗証番号表示窓スイッチにタッチ。
▶G暗証番号を登録していないとき
→パスワード表示窓スイッチにタッチ。
▶ソフトウェアキーボードで入力します。

6 解除にタッチ。

7 確認にタッチ。
▶設定が解除中にかわり、通知設定が切り替わります。

知識

▶「G暗証番号」は、有料コンテンツの購入やG-Securityの設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく4桁の番号です。

»オートアラーム作動を通知する

▶G-BOOK対応オートアラーム装着車ドアのこじ開けなどのオートアラーム作動を検知した場合、サポートアドレスに登録してあるEメールアドレスや電話番号に通知します。

■アラーム通知の設定・解除を行うことができます。（→**541**）

▶車外に出た後、ドア・トランクまたはバックドア・ボンネットを閉め、全てのドアをロックした後、30秒以上経過すると自動的にオートアラームが設定されます。

▶アラーム通知はサポートアドレスに連絡されます。

▶アラーム通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置追跡／警備員の派遣サービスをご利用ください。
車両の位置追跡／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてオペレーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。 ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。

オペレーターサービス専用電話番号
0561－57－6818
（365日 24時間対応）

知識

▶バッテリーがあがった場合、アラーム通知は行われません。

▶車両の室内温度が非常に高いとき、アラーム通知の送信が行われないことがあります。

▶通信環境が整わない状況等によりアラーム通知の送信が行われない場合、送信が完了するまで継続されます。

▶アラーム通知が未送信状態で、アラームが複数回作動した場合は、最新のアラームを通知します。

▶ヘルプネット通報中は、通報が終わるまで、アラーム通知は行われません。

▶G-BOOK利用契約を解除した場合、アラーム通知は送信されません。

エンジン始動を通知する

エンジン始動を検知し、サポートアドレスに登録されているEメールアドレスに通知します。
お車から離れるとき、携帯電話などから設定しておけば第三者によるエンジン始動がわかります。

■エンジン始動通知の設定・解除を行うことができます。（→**541**）

▶エンジン始動通知はサポートアドレスに連絡されます。

▶エンジン始動通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置追跡／警備員の派遣サービスをご利用ください。
車両の位置追跡／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてオペレーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。
ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。

オペレーターサービス専用電話番号
0561－57－6818
（365日 24時間対応）

知 識

▶オプション設定にて、エンジン始動通知の連絡を受けたあと、エンジンスイッチがOFF（LOCK）になったことを検知し、通知させることができます。

▶オプション設定にて、エンジン始動通知の連絡を受けたあと、10分間隔で通知させることができます。（初回の通知から24時間経過後、自動解除されます。）

車両の位置を追跡する

お客様の要請により、オペレーターが盗難車両の位置を追跡します。

▶ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。

オペレーターサービス専用電話番号
0561－57－6818
（365日 24時間対応）

警備員を派遣する

お車が盗難にあったり、オートアラーム作動を検知した場合にお客様の要請により、警備員を現場に派遣します。

▶ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。

オペレーターサービス専用電話番号
0561－57－6818
（365日 24時間対応）

知 識

▶警備員が出動してから1時間以内は無料です。1時間を超える場合は、オペレーターから延長するかどうかの確認を行います。
延長した場合の利用料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

▶警備員は盗難車両の確保はいたしません。追跡調査のみ行います。

Gルート探索（プローブ情報付）

Gルート探索をする（プローブ情報付）

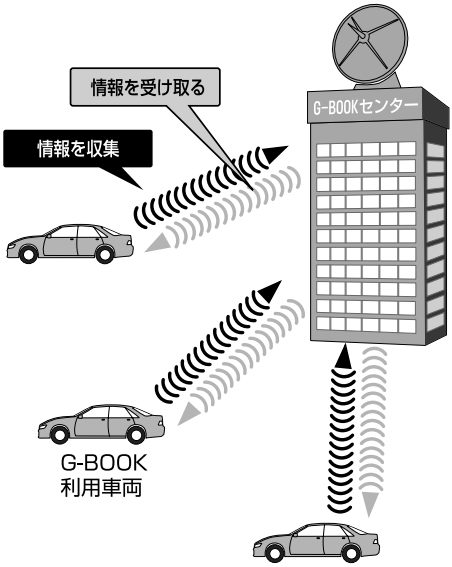
G-BOOKセンターから、プローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を、広域の渋滞予測情報として提供します。この情報をもとに、目的地までの最適なルートを探索し、ご案内します。

知識

- ▶オペレーターにナビの目的地設定を依頼すると、Gルート探索による最適なルート案内を行います。
- ▶渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
- ▶Gルート探索をしても、ルートが変わらないことがあります。

プローブコミュニケーション交通情報とは

プローブコミュニケーション交通情報とは、G-BOOK利用車両の走行情報をG-BOOKセンターで集約し、G-BOOK利用車両に配信するリアルタイムな交通情報です。G-BOOK利用車両が増えるにつれて、従来の交通情報に比べ、幅広いエリアのリアルタイムな交通情報を提供できるようになります。



Gルート探索の利用方法

Gルート探索の取得方法には、自動取得と手動取得の２種類の設定があります。
ご利用のサービスにより、初期設定が異なります。

▶初期設定
- G-BOOK mX Pro：自動取得
- G-BOOK mX：手動取得

取得設定（自動／手動）を切り替える

Gルート探索の取得方法（自動／手動）はナビ詳細設定画面で切り替えることができます。（→**166**）

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ ルート系設定 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 プローブ交通情報自動取得 にタッチ。

2 する にタッチ。

▶手動取得（自動取得を解除）にするとき
→ しない にタッチ。

3 完了 にタッチ。

■G-BOOK mXで自動取得する場合、G-BOOKセンターへ接続するときの確認メッセージを表示する／しないを設定することができます。（→**558**）

Gルート探索を自動で取得する

Gルート探索の取得を自動に設定すると、次のタイミングで自動的にGルート探索情報を取得できます。

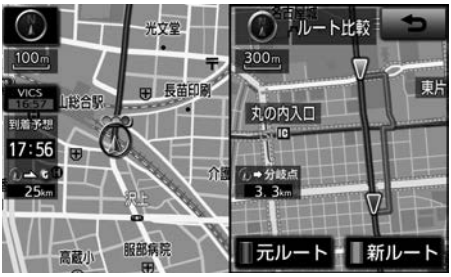
▶ルート案内開始時と、案内開始以降約20分ごと
▶JCT手前や高速道路にはいる手前

全ルート図表示画面（→**121**）

1 ルート案内が始まると自動的にG-BOOKセンターに接続し、Gルート探索を行います。

2 Gルート探索でルートが変更になった場合、画面と音声でお知らせします。

3 新旧ルートを表示します。



》目的地設定時に手動で取得する

目的地設定後に表示される全ルート図表示画面で、Gルート探索を取得できます。

1 ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面で Gルート にタッチ。

▶G-BOOKセンターに接続し、Gルート探索を行います。

▶新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。

▶通常のルート探索をしたルートにもどすとき

→ 元ルート にタッチ。

▶Gルート探索で取得した情報が本機に保存されていれば、 元ルート にタッチしたあとに Gルート にタッチしても、G-BOOKセンターに接続されません。

知識

▶Gルート探索後にIC指定や探索条件変更などを行うと、広域の渋滞予測情報は破棄されます。

ルート案内中に手動で取得する

ルート案内中に、手動でGルート探索を取得することができます。

現在地画面表示中

1 再探索 にタッチ。

2 Gルート探索 にタッチ。

▶G-BOOKセンターに接続し、Gルート探索を行います。

▶Gルート探索情報の取得を中止するとき

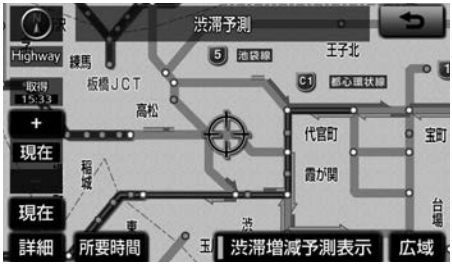
→ 取得中止 にタッチ。

▶新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。

渋滞予測

》渋滞予測情報を表示する

G-BOOKセンターから渋滞予測情報を取得し、その情報を表示するサービスです。
高速路線マップで表示された道路の現在地周辺とルート上に、渋滞の増減を示すアイコン（渋滞増減予測のアイコン）を表示します。また、ルートが設定されているときは、ルート上の渋滞予測情報を読み上げることもできます。
今後の旅行の計画を立てるときに利用すると便利です。



▲渋滞予測情報画面

▶渋滞予測情報は現在地周辺を基準として提供され、「渋滞」および「混雑」について、旅行時間データが提供されている路線のみ表示します。

表示	名称	内容
▶赤色	渋滞	渋滞の区間を示しています。
▶橙色	混雑	混雑の区間を示しています。
▶黒色	通行止め区間	通行止めの区間を示しています。
▶灰色	不明区間	交通情報が配信されていない区間を示しています。

※渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
なお、「通行止め」は現在の状況が継続するとして扱っております。
交通情報提供区間の距離が短い場合は、矢じりを表示しません。

渋滞予測情報を提供する路線について

▶都市間高速道路
▶都市高速道路
▶主な有料道路
▶一部の一般道路
　●松永道路、名阪国道、姫路西バイパス、姫路バイパス、保土ヶ谷バイパス、加古川バイパス、米子バイパスなど

＊情報提供路線は随時更新されます。

渋滞予測情報を表示する

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒
(情報)⇒情報画面

1 高速渋滞予測 にタッチ。

2 G-BOOKセンターに接続し、渋滞予測情報を取得する。

▶情報の表示および読み上げを行います。
▶中止するとき
→ 切断 （携帯電話使用時）または 中止 （通信モジュール（DCM）使用時）にタッチ。

知識

▶渋滞予測情報の読み上げは、ブラウザの自動読上げ設定（→**506**）に関係なく、常に読み上げられます。
▶以前に取得した渋滞予測情報が本機に保存されているときは、G-BOOKセンターに接続しないことがあります。
▶極端に遠い距離の渋滞予測情報（到着予想時刻を含む）は、表示されないことがあります。

渋滞予測時間を変更する

渋滞予測情報は、現在の渋滞状況以外に、一定の時間単位で時間を進めて、今後の渋滞予測を表示させることができます。

1 次のいずれかにタッチ。
＋ : 渋滞予測時間を進める
－ : 渋滞予測時間をもどす
現在 : 現在の渋滞状況を表示する

知識

▶G-BOOKセンターから提供される渋滞予測情報は、現在については現在の交通状況が提供され、未来については予測した情報が提供されます。
▶その時間の渋滞予測情報を取得していない場合のみ、G-BOOKセンターに接続して渋滞予測情報を取得します。

渋滞増減予測を表示する

渋滞予測画面の地図上に、渋滞増減予測のアイコンを表示させることができます。
また、ルート上の読み上げ情報があるアイコンの場合は、渋滞情報を音声で読み上げることができます。
渋滞増減予測アイコンのON（表示する）／OFF（表示しない）を選択できます。

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒
(情報)⇒ 高速渋滞予測 ⇒
渋滞予測画面

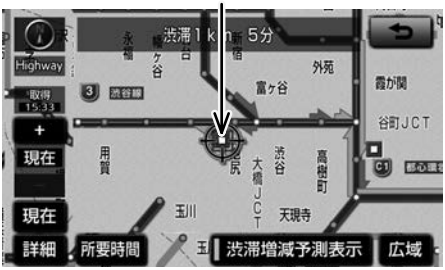
1 渋滞増減予測表示 にタッチ。

作動表示灯

▶アイコン表示がONのときは、作動表示灯が点灯します。
▶アイコンを表示しないとき
→再度 渋滞増減予測表示 にタッチ。

2 読み上げ情報があるアイコンの場合は、地図上に表示されたアイコンにタッチ。

アイコン



▶渋滞情報を読み上げます。

アイコン	内 容
＋	表示している時間後に、渋滞が増加傾向であることを表します。
－	表示している時間後に、渋滞が減少傾向であることを表します。
□	表示している時間後に、渋滞が変化しないことを表します。

知 識

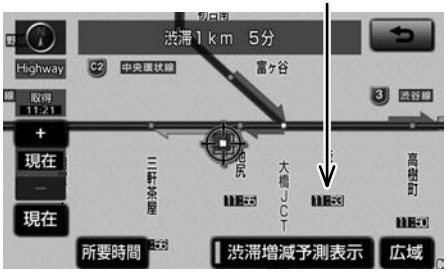
▶渋滞増減予測のアイコンは、地図の縮尺によっては、表示されないものもあります。
▶渋滞増減予測のアイコンは、ルートが設定されている場合は、ルート沿いの情報を提供します。また、ルートが設定されていない場合は、現在地周辺の情報を提供します。

渋滞予測地図の縮尺を切り替える

渋滞予測画面の地図は、通常の地図と同様に地図の縮尺を切り替えることができます。

1 広域 または 詳細 にタッチ。

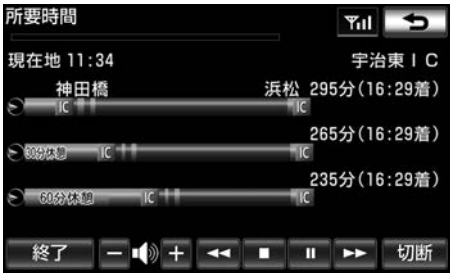
到着予想時刻



▶ルートが設定されているときは、もっとも詳細な縮尺に切り替えると、地図上にIC毎の到着予想時刻が表示されます。
●もっとも詳細な縮尺で表示される到着予想時刻は、3時間先以降は到着予想時刻設定（→**132**）で設定した車速から計算されます。
そのため、渋滞予測情報から計算される到着予想時刻にくらべると、誤差が広がることがあります。

区間所要時間予測を表示する

高速道路を通るルートが設定されているとき、休憩した場合の所要時間予測を行います。
ルート上の渋滞変化を予測し、高精度の到着予測時間をサービスします。



▲区間所要時間予測表示

画面外の MENU ⇒ インフォ ⇒ (情報) ⇒ 高速渋滞予測 ⇒ 渋滞予測画面

1 所要時間 にタッチ。

▶G-BOOKセンターに接続し、区間所要時間予測情報を取得すると、ブラウザ画面で区間所要時間予測が表示されると同時に読み上げが行われます。

2 区間所要時間予測表示を解除するときは、 終了 または ⮌ にタッチ。

知識

▶出口ICまでの距離が遠い場合は、出口ICまで表示されないことがあります。
▶渋滞予測画面で表示される到着予想時刻と区間所要時間予測表示で表示される内容は、それぞれ独自で処理するため異なる表示をすることがあります。

周辺情報

》周辺情報について

▶G-BOOK mX(Ver.2.0)、G-BOOK mX Pro(Ver.2.0) 対応ナビ限定サービス

目的地やルート周辺の気象情報など、ドライブに役立つ情報を音声読み上げや地図上のアイコンで案内します。

案内する情報について

次の情報を案内します。

▶目的地到着予想時刻頃の天気
（情報が更新された場合、目的地接近時に変更情報を表示）
▶ルート周辺および目的地付近の、短時間の雷雨、強風・豪雨情報
▶目的地周辺の駐車場情報
▶ルート上の高速道路・有料道路・自動車専用道路の道路交通規制情報等

※目的地までの直線距離が50km以下の場合、天気についての表示・案内はありません。

提供する情報は、随時追加します。
最新の情報はG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）などでお知らせします。

》周辺情報を設定する

▶ご利用の際は、あらかじめ取得したい情報を設定してください。

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ メインメニュー ⇒ G-BOOK.com ⇒ G-BOOK.com画面

1 周辺情報 にタッチ。

2 メニュー にタッチ。

3 取得したい情報を選択する。

▶情報は「自動案内」「手動取得」を選択できます。

⚠注意

▶自動案内では定期的に通信が発生します。カーナビ通信料定額プランへご加入の上、利用されることをおすすめします。

※カーナビ通信料定額プランについては、ご利用の携帯電話事業者へお問い合わせください。

»周辺情報を取得する

1 目的地画面から目的地を設定する。(→117)

2 案内開始 にタッチ。

▶G-BOOKセンターに接続し、情報を取得します。

▶取得した情報は、音声で案内、または地図上にアイコンで表示します。

知識

▶情報は案内開始時、一定距離走行毎、目的地に接近時にG-BOOKセンターにアクセスし、更新します。

ETC割引情報

»ETC割引情報を表示する

▶G-BOOK mX(Ver.2.0)、G-BOOK mX Pro(Ver.2.0)対応ナビ限定サービス

本機に表示されている通常料金をもとに、各種割引情報（平日・休日・特別）の一覧を表示することができます。

全ルート図表示中（→121）

1 割引情報 にタッチ。

2 平日割引情報が表示される。

※画面は表示例です。実際の画面とは異なります。

▶休日割引情報を表示したいとき
→ 休日 にタッチ。

▶特別割引情報を表示したいとき
→ 特別 にタッチ。

スイッチ	機能
平日	平日（月曜～金曜、除く祝祭日）割引を一覧表示
休日	休日（土曜～日曜、祝祭日）割引を一覧表示
特別	特別に設定された期間の割引を一覧表示

▶各画面で 詳細 にタッチすると、適用条件などの詳細を表示します。

知識

▶ルートが複数の路線にまたがっている場合、割引率が同じ路線はまとめて表示されます。

▶割引情報の更新は割引適用日まで、または各道路管理者による割引情報開示日から9営業日までに行います。割引適用日までに情報を更新できない場合がありますので、最新情報は各道路管理者のホームページ等をご確認ください。

▶割引情報は、実際の料金と異なる場合があります。

G-駐車場

》G-駐車場について

現在地や目的地付近の駐車場情報を提供します。満空情報を表示できるほか、車両のサイズや形状、こだわり条件を登録しておくと、ご希望の駐車場情報を検索することができます。

駐車場情報を表示する

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ メインメニュー ⇒ G-BOOK.com ⇒ G-BOOK.com画面

1 駐車場 にタッチ。

2 希望の検索条件にタッチ。

▶こだわり検索ではあらかじめ、条件の設定が必要です。
次の条件を３つまで設定できます。
- ●満車空車の情報あり
- ●空車優先
- ●24時間営業
- ●立体駐車場除く
- ●機械式除く
- ●障害者用スペースあり
- ●領収書発行可能

3 駐車場の情報をG情報マークで表示します。

マーク	内容
P	満車（赤）
P	混雑（橙）
P	空車（青）
P	満空情報なし（灰）
P	車両制限の可能性あり
P	休止中

■G情報マークの表示／非表示を設定できます。（→**507**）

知識

▶G-駐車場のこだわり検索では、設定した優先順位に合わない駐車場を薄い色のマークで表示します。

近接案内

オペレーターに目的地周辺の駐車場情報の送信を依頼した場合に、目的地に近付くと最新の満空情報に自動で更新されます。
設定はナビ詳細設定画面から行います。
（→**165**）

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ ナビ詳細設定 ⇒ 案内表示設定 ⇒ ナビ詳細設定画面

1 G情報マーク連動サービス にタッチ。

2 する にタッチ。

▶解除するとき
→ しない にタッチ。

3 完了 にタッチ。

CDタイトル情報取得

》タイトル情報を取得する

HDDオーディオでは、音楽CDから内蔵のハードディスクへ録音した楽曲のタイトル情報（アルバム名、アーティスト名、ジャンル名など）を、ハードディスクに収録されているデータベースから取得することができます。
ただし、新しい曲などはデータベースにタイトル情報がないものもあります。
G-BOOKオンラインサービスを利用すると、最新のCDタイトル情報をG-BOOKセンター経由でGracenote メディアデータベースから取得することができます。

▶データベースの検索について
→「タイトル情報を再取得する」（→**271**）

アルバム修正画面（→**268**）

1 Gで検索 にタッチ。

2 表示された画面の指示にしたがって、希望のタイトルを選択・登録する。

知識

▶ハンズフリー着信など、優先順位の高い機能の割り込みがあったときは、CDタイトル情報の取得を中止します。

13 各種登録・設定

G-BOOK詳細設定

»通信設定を変更する

▶携帯電話使用時
携帯電話でデータ通信を行う場合、通信に関する各種設定をすることができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ G-BOOK ⇒設定画面

1 通信設定 にタッチ。

2 各項目を設定する。

項目	ページ
使用する携帯電話の通信設定をする	557
カーナビ通信料定額プランの設定をする	557
通信接続時の確認	558
自動通信の設定	558

3 設定が終わったら、 完了 にタッチ。

注意

▶ 完了 にタッチして設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。
- エンジンスイッチをOFF（LOCK）にする。
- エンジンをかけなおす。

知識

▶通信設定画面の項目は携帯電話毎に設定が保持されます。

使用する携帯電話の通信設定を変更する

次のような場合は、必ず使用する携帯電話の通信設定を確認してください。
(1) 携帯電話を初めて接続するとき
(2) バッテリーの接続が断たれたとき
(3) 使用する携帯電話を変更したとき

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ G-BOOK ⇒ 通信設定 ⇒ 通信設定画面

1 使用する携帯電話の通信事業者を選択する。

項目	機能
au※1	auのパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
docomo※2	docomoのパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
SoftBank※3	SoftBankのパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
通信に利用しない	携帯電話をハンズフリー通話のみに使用する場合

※1 auはKDDI株式会社の商標または登録商標です。
※2 docomoは株式会社NTTドコモの商標です。
※3 SoftBankはソフトバンクモバイル株式会社の商標です。

知識

▶通信事業者の設定が間違っていると、G-BOOKオンラインサービスを利用できません。

カーナビ通信料定額プランの設定をする

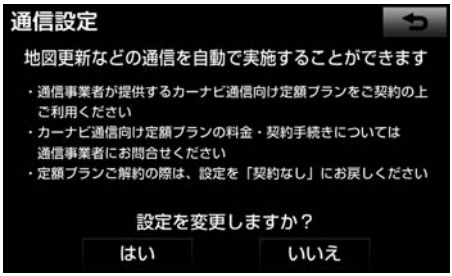
G-BOOK mX利用時、カーナビ通信料定額プランを設定すると、マップオンデマンドは自動更新となります。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ G-BOOK ⇒ 通信設定 ⇒ 通信設定画面

1 カーナビ通信料定額プラン にタッチ。

2 契約あり にタッチ。

3 表示されている内容を確認し、設定を変更する場合は はい にタッチ。



▶変更しないとき
→ いいえ にタッチ。

4 暗証番号を入力し、 完了 にタッチ。

知識

▶カーナビ向け通信が定額になる料金プラン※にご加入の場合、地図更新を自動で行う設定が可能です。
※カーナビ通信料定額プラン
- au：カーナビ用料金オプション
- Softbank：カーナビプラン
- ドコモには2015年4月現在カーナビ通信料定額プランはありません。

最新の情報は各通信事業者にお問い合わせください。

通信接続時の確認メッセージを表示する

携帯電話でG-BOOKセンターへ接続するときに、確認のメッセージを表示させることができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
G-BOOK ⇒ 通信設定 ⇒
通信設定画面

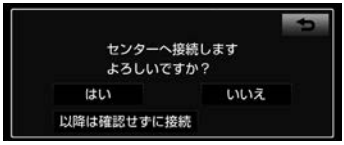
1 通信接続時の確認 にタッチ。

2 する にタッチ。

▶解除するとき
→ しない にタッチ。

知識

▶接続確認画面で 以降は確認せずに接続 にタッチすると、次回接続時以降は、接続確認画面が表示されません。
このとき、通信接続時の確認は「しない」に設定されます。
再度表示したいときは、通信接続時の確認を「する」に設定してください。



▶通信接続時の確認を「しない」に設定すると、画面に「自動で通信する場合があります」と表示されます。
これは、自動で通信するサービスを利用したとき、お客様が気付かないところで通信料金が発生する場合があることをご確認いただくためのものです。

携帯電話による自動通信の設定をする

エンジン始動時にG-BOOKセンターへ自動で接続し、G-BOOKセンターからのお知らせや新着メールなどの有無を確認できます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒
G-BOOK ⇒ 通信設定 ⇒
通信設定画面

1 自動通信 にタッチ。

2 する にタッチ。

▶解除するとき
→ しない にタッチ。

知識

▶電話機接続（→**469**）で携帯電話を変更すると、自動通信の設定も「する」に変更されます。「しない」を選択していた場合は、設定しなおしてください。
▶自動通信の設定を「しない」に設定しても、プローブ交通情報自動取得の設定（→**546**）により自動で通信する場合があります。

》サポートアドレスについて

サポートアドレスは、G-Securityやロードアシスト24などのサービス利用にあたって、お客様に連絡が必要になった場合の連絡先です。
G-BOOK利用申込書に記入またはWeb登録で入力いただいた連絡先が、サポートアドレスとして登録されています。
連絡先に変更があった場合は下記操作で変更してください。

サポートアドレスを確認・変更する

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ メインメニュー ⇒ G-BOOK.com ⇒ G-BOOK.com画面

1 サポートアドレスの登録・変更にタッチ。

※表示されているメニューは一例です。この画面に表示されていないときはユーザーにタッチし、ユーザーページにて操作してください。

2 G暗証番号入力画面が表示されたときは、G暗証番号を入力する。

▶G暗証番号が未設定の場合、契約IDとパスワードを入力してG暗証番号を設定してください。

3 表示される電話番号を確認した後、メールにタッチ。

▶電話番号を変更するときは、変更する電話番号にタッチし、入力します。

4 Eメールアドレスを確認する。

▶Eメールアドレスを変更するとき
→変更するEメールアドレスにタッチし、入力する。

知識

▶サポートアドレスの確認・変更は、G-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でも行えます。

》携帯電話を追加する

▶G-BOOK mX利用時
利用手続き後、データ通信に利用する携帯電話の追加や変更をする場合は、次の手続きを行ってください。

携帯電話を追加する場合
↓
携帯電話を登録する→ **440**
↓
使用する携帯電話の通信設定をする
（au／docomo／SoftBank）→ **557**
↓
ヘルプネットの「手動保守点検」を実施する
→ 520

通信ロックを使う

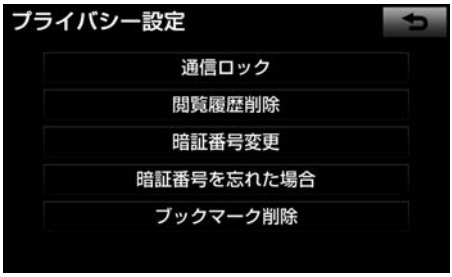
通信ロックを使用すると、各機能の動作を下表のように制限することができます。
他人に車を貸す場合など、G-BOOKオンラインサービスを触らせたくないときや、プライベートな情報を見せたくないときに使用してください。
○：利用できます
×：利用できません

機　能		動　作
ヘルプネット		○
マップオンデマンド（地図更新）		×（携帯電話または通信モ ジュール（ DCM ）で更新するとき）
メインメニュー	G-BOOK.com	×
	閲覧履歴	×
	ブックマーク	×
Myリクエスト		×
オペレーターサービス		×
CDタイトル情報取得		×
G-BOOKと ナビの連携機能	WEB検索	×
	周辺情報	×
	ETC割引情報	×
	渋滞予測	×
	Gルート探索	×（プローブコミュニケーション交通情報を含む）
	Gメモリ地点	○（保存済みデータのみ）
	ドライブプラン	×
	Gで設定	×
	施設情報表示	×
	G情報マーク連動サービス	○（情報の読み上げのみ）

ロックする

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ G-BOOK ⇒ プライバシー設定 ⇒ プライバシー設定画面

1 通信ロック にタッチ。



2 はい にタッチ。

解除する

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ G-BOOK ⇒ プライバシー設定 ⇒ プライバシー設定画面

1 通信ロック解除 にタッチ。

2 暗証番号を入力し、 完了 にタッチ。

▶間違えたとき
→ 修正 にタッチ。

暗証番号を変更する

暗証番号は、通信ロック（→561）したときに、ロックを解除するために入力が必要になります。通信ロックを使用するときは、まず暗証番号および暗証番号を忘れたときの質問とその回答を設定してください。

⚠注意

▶ 完了 にタッチして設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。
- エンジンスイッチをOFF（LOCK）にする。
- エンジンをかけなおす。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ G-BOOK ⇒ プライバシー設定 ⇒ プライバシー設定画面

1 暗証番号変更 にタッチ。

2 現在の暗証番号を入力し、完了にタッチ。

▶はじめて設定するとき
→「0000」を入力する。
▶変更するとき
→設定してある暗証番号を入力する。
▶間違えたとき
→修正にタッチ。
▶暗証番号を忘れたとき
→「暗証番号を忘れた場合」（→562）

3 新しく設定したい暗証番号を入力し、完了にタッチ。

4 新しい暗証番号の確認のため、再度新しく設定したい暗証番号を入力し、完了にタッチ。

5 質問、回答にタッチして、それぞれ入力する。

▶ソフトウェアキーボードで入力します。

6 完了にタッチ。

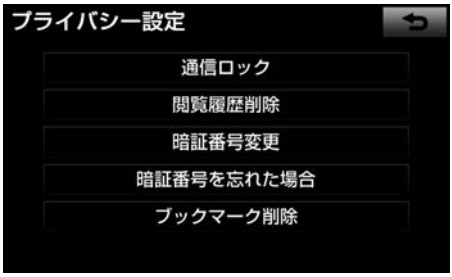
知識

▶暗証番号は、他人にわかりにくい番号にしておいてください。
▶質問とその回答は、暗証番号を忘れた場合に暗証番号を表示するために設定します。（→562）
質問とその回答は、お客様以外にわかりにくい内容にしておいてください。
▶暗証番号を変更するときも、同様の操作で行うことができます。

暗証番号を忘れた場合

画面外のMENU⇒設定⇒G-BOOK⇒プライバシー設定⇒プライバシー設定画面

1 暗証番号を忘れた場合にタッチ。



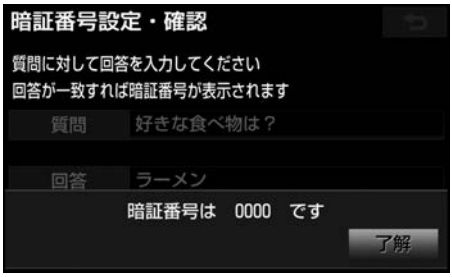
2 回答にタッチ。

3 回答を入力する。

▶ソフトウェアキーボードで入力します。

4 完了にタッチ。

5 暗証番号を確認したら、了解にタッチ。



》G-BOOK利用案内の設定をする

G-BOOK mX 利用時に、スマートフォンナビ連携（→**336**）を有効にしていると、ヘルプネット以外のG-BOOKのサービスを利用することができません。
車載機を起動したときに、G-BOOKが利用できないことを通知することができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ G-BOOK ⇒ G-BOOK詳細設定 ⇒G-BOOK詳細設定画面

1 ACC ON時のG-BOOK利用案内の する にタッチ。

▶通知しないとき
→ しない にタッチ。

2 完了 にタッチ。

プライバシー設定

》設定・編集画面を表示する

G-BOOKオンラインサービスを利用するときの各種設定は、設定画面から行います。

1 画面外の MENU にタッチ。

2 設定 にタッチ。

3 G-BOOK にタッチ。

▶設定画面で、次の項目を設定することができます。

項目	ページ
通信設定※	556
Myリクエスト編集	497
プライバシー設定	564

※携帯電話接続時のみ設定することができます。

»プライバシー設定を変更する

プライバシーに関する各種設定をすることができます。

画面外の MENU ⇒ 設定 ⇒ G-BOOK ⇒設定画面

1 プライバシー設定にタッチ。

2 各項目を設定する。

項目	ページ
通信ロックを使う	560
暗証番号を変更する	561
暗証番号を確認する	562

3 設定が終わったら、完了にタッチ。

契約内容・契約者情報の確認・変更

》契約内容・契約者情報の確認・変更

登録内容や契約者情報の確認・変更、G暗証番号の変更などを行えます。

画面外の MENU ⇒ G-BOOK ⇒ メインメニュー ⇒ G-BOOK.com ⇒ ユーザー ⇒ ユーザー画面

この画面から、次の操作をすることができます。

スイッチ		機　能
①	会員情報／利用契約変更・解約スイッチ	登録しているユーザーの情報や利用契約内容を確認・変更できます。
②	サポートアドレスの登録・変更スイッチ	サポートアドレス（電話番号やメールアドレス）の登録を追加・変更できます。
③	コンテンツ購入履歴／解約スイッチ	契約している有料コンテンツの確認や解約ができます。
④	ドライブプランのデータコピースイッチ	他のG-BOOKやGAZOO IDで登録しているドライブプランやGメモリをコピーできます。
⑤	お車を手放す際に スイッチ	利用契約を解約することができます。
⑥	お車の情報スイッチ	車両登録番号の変更ができます。

こんなメッセージが表示されたときは

こんなメッセージが表示されたときは

》こんなメッセージが表示されたときは

次のようなメッセージが表示されたときは、処置内容や画面の指示にしたがって操作してください。

メッセージ	原　因	処　置
G-BOOKの利用手続きが必要です （所要時間：約5～10分）	G-BOOK mX Proに申し込んだが、車載機で利用開始操作が実施されていない。	利用開始操作の方法を選択してください。 ●すぐに操作をする。 → **開始する** にタッチ。 ●あとで操作をする。 → **あとで** にタッチ。
サービス開始操作を実施していないためヘルプネット機能が使用できません（所要時間：約2分）	ヘルプネットのサービス開始操作※が実施されていない。	サービス開始操作※の方法を選択してください。 ●すぐに操作をする。 → **開始する** にタッチ。 ●あとで操作をする。 → **あとで** にタッチ。
G-BOOKの利用手続きが必要です メニュー画面のG-BOOKから手続きできます	G-BOOKオンラインサービスの利用手続きがされていない。	利用手続きを行ってください。 （→**483**）
電話機選択が必要です 設定のBluetoothから設定できます	使用する電話機が選択されていない。	使用する電話機を選択してください。 （→**469**）
携帯電話の通信設定が必要です 設定のG-BOOKから設定してください	使用する携帯電話の通信設定がされていない。	使用する携帯電話の通信設定を行ってください。（→**556**）
Bluetooth設定が必要です 設定のBluetoothから設定してください	Bluetoothの設定がされていない。	Bluetoothの設定を行ってください。 （→**468**）
緊急通報中です このサービスはご利用できません	ヘルプネットの緊急通報中のため。	緊急通報が終了してから、ご利用ください。 ●誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

メッセージ	原　因	処　置
オペレーターと通話中です 終了してからご利用ください	オペレーターサービスを利用中のため。	オペレーターサービスが終了してからご利用ください。
センター接続中は変更できません 回線を切断して再度操作してください	通信中のため。	通信が終了してから再度操作する、または **切断** にタッチして通信を終了してください。
電話機が使用中です 通話を終了してからご利用ください	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用ください。
通話中は操作できません		
これ以上登録できません 設定のG-BOOKのプライバシー設定で削除してください	ブックマークの最大登録数を超過したため。	不要なブックマークを削除してください。
携帯電話が接続されていません 保守点検はできません 再度操作してください	携帯電話が接続されていないため。	携帯電話を接続してください。（「携帯電話を接続する」（→**441**）
これ以上Gメモリ地点を登録できません 設定のナビから不要なGメモリ地点情報を削除してください	Gメモリ地点の最大保存数を超過したため。	不要なGメモリ地点を削除してください。（→**149**）
通信ロック中です ロックを解除してからご利用ください	通信ロックされている。	通信ロックを解除してください。 通信ロック解除のための暗証番号を忘れた場合は、プライバシー設定画面で **暗証番号を忘れた場合** にタッチして確認してください。
回線が混み合っている等により表示できませんでした しばらく待ってから操作してください	●サービスエリア圏外にいる。 ●認証に失敗した。 ●通信環境が悪い。 ●通信機器の接続状態に異常がある。	①携帯電話について、次の点を確認してください。 ●携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 ●携帯電話単体で正常動作するか。 ●携帯電話の異常でないか。 （携帯電話の電源OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障） ②携帯電話とBluetooth接続ができているか確認してください。 ③他の携帯電話に変えて、試してみてください。

メッセージ	原　因	処　置
時刻データが古いため通信できません 移動してGPSを受信してください	GPSが受信できていない。	GPSが受信できる場所に移動してください。
電話機をご確認ください	●携帯電話がBluetooth接続されていない。 ●携帯電話に異常がある。 （携帯電話の電源OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障） ●携帯電話が動作確認済みの機種でない。	次の点を確認してください。 ●携帯電話とBluetooth接続されているか。 ●携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 ●携帯電話の充電は十分であるか。
回線が混雑しています しばらく待ってご利用ください	発信規制中である。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
通話エリア外です 通話エリアに移動してご利用ください	サービスエリア圏外にいる。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
回線が混みあっている等により情報を取得できませんでした しばらく待ってから再度操作してください	●サービスエリア圏外にいる。 ●認証に失敗した。 ●通信環境が悪い。 ●通信機器の接続状態に異常がある。 ●通信設定に誤りがある。	①しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。 ②使用する携帯電話の通信設定を確認してください。（→**557**）

smart G-BOOK ARPEGGiO

01. はじめに 570

ご利用の前に知っておいていただきたいこと 570
- 安全に利用するため注意いただきたいこと 570
- 商標について 571

02. smart G-BOOK ARPEGGiOとは 572

smart G-BOOK ARPEGGiOとは 572
- サービスのご利用にあたって 573
- 個人データの初期化 573

03. smart G-BOOK ARPEGGiOを使うための準備 574

利用手続きをする 574
- smart G-BOOK ARPEGGiOアプリのダウンロード 574
- 使う前の準備 574

04. smart G-BOOK ARPEGGiOを使う 575

smart G-BOOK ARPEGGiOを操作する 575
- smart G-BOOK ARPEGGiOを起動する 575
- お気に入りを操作する 576

ローカルサーチ 577
- ローカルサーチを操作する 577

チェックイン 578
- チェックインを操作する 578

写真deマップ 579
- 写真deマップを操作する 579

Music Player 581
- Music Playerを操作する 581

Suono Dolce（スォーノ・ドルチェ） 582
- Suono Dolce（スォーノ・ドルチェ）を操作する 582

e燃費 583
- e燃費を操作する 583

koukouTV 585
- koukouTVを操作する 585

05. こんなメッセージが表示されたときは 586

こんなメッセージが表示されたときは 586
- こんなメッセージが表示されたときは 586

はじめに

ご利用の前に知っておいていただきたいこと

》安全に利用するため注意いただきたいこと

smart G-BOOK ARPEGGiOをご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

⚠警告

▶安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。
走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
車を停車させてから操作をしてください。
なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

走行中の操作、表示規制について

走行中にsmart G-BOOK ARPEGGiOをご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによってはブラウザのコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。
このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。
本機能はスマートフォン／ナビ連携機能を用いて接続します。
このため、利用の際には、設定画面（→**336**）で、「スマートフォン連携」を有効（オン）にしておく必要があります。

G-BOOKを利用する時（携帯電話を使った接続）には、「スマートフォン連携」を無効（オフ）にする必要があります。
G-BOOK利用後に本機能を利用するためには、再度「スマートフォン連携」を有効（オン）にする必要があります。

スマートフォンアプリの入手・起動については 「4章 スマートフォン／ナビ連携機能」（→**334**）をご覧ください。
本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店またはhttp://toyota.jp/でご確認ください。

項目	「スマートフォン連携」状態	切り替え要領
NaviCon、動物メータ、オーディオリモコン利用時	「有効」（オン）	設定画面で切り替えてください。
smart G-BOOK ARPEGGiO利用時	「有効」（オン）	smart G-BOOK ARPEGGiO起動時に切り替えできます。
G-BOOK利用時（携帯電話を使った接続）	「無効」（オフ）	G-BOOK起動時に切り替えできます。

Bluetooth携帯電話を使用するときの留意事項

▶Bluetooth携帯電話を使用してデータ通信するときは、次の点をご理解の上、正しくお使いください。

- ●Bluetooth携帯電話でデータ通信を行うときは、あらかじめ本機に携帯電話を登録しておかないと使用できません。Bluetooth携帯電話を使用するときは、まず最初に、ご使用になる携帯電話の登録を行ってください。（→**334**）
- ●Bluetooth携帯電話の機種によっては、受信レベル表示を行うことができないことがあります。
- ●Bluetooth携帯電話でデータ通信を利用される場合、携帯電話の割込着信の設定または契約を「割込着信する」で利用していると、携帯電話の機種によっては、データ通信を行っている最中とデータ通信終了後の約1分間は、電話を受けることや応答保留などができないにもかかわらず、発信元では呼び出し中の状態が続くことになります。 割込着信の設定変更または契約変更については、ご利用の携帯電話に添付の取扱説明書などでご確認ください。
- ●Bluetooth携帯電話の機種や状態によっては、エンジン始動後にARPEGGiOなどのデータ通信を行うことができる状態になるまでに時間がかかることがあります。 この場合は、しばらく待ってから再度操作を行ってください。
- ●通信にはお手持ちの携帯電話の電波を使用します。通信可能なエリアについては、携帯電話各社のサービスエリア図などを参照ください。
- ●お手持ちの携帯電話に添付の取扱説明書の注意事項もよくお読みください。
- ●通信料は、各通信事業者との間のパケット定額サービス内でご利用いただけます。（2015年4月現在）
- ●データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態、接続している携帯電話の機種によって異なります。
- ●smart G-BOOK ARPEGGiOを利用中に携帯電話と本機の接続を切断すると、機種によってはデータ通信や音声通話を継続したままになることがあります。smart G-BOOK ARPEGGiO利用後に携帯電話と本機の接続を切断したら、携帯電話の状態を必ず確認してください。
- ●smart G-BOOK ARPEGGiOを利用中に、エンジンをかけなおすなどのエンジンスイッチの操作を行うと、接続している携帯電話の機種によっては、ハンズフリーの着信中画面になることがあります。 この場合は、電話機を操作するなどして、通話を終了する操作を行ってください。（→**444**）

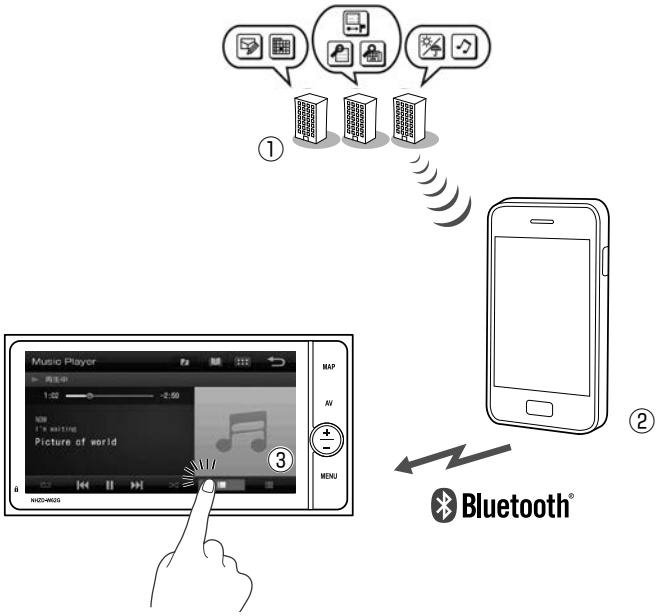
》商標について

▶「e燃費」および「e燃費」ロゴは、株式会社イードの商標または登録商標です。
▶「koukouTV」、「koukouTV」ロゴは、株式会社UIEジャパンの商標または登録商標です。
▶「Facebook」、「Facebook」ロゴは、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
▶「foursquare」、「foursquare」ロゴは、Foursquare Labs, Inc.の商標または登録商標です。
▶「mixi」、「mixi」ロゴは、株式会社ミクシィの商標または登録商標です。

smart G-BOOK ARPEGGiOとは

smart G-BOOK ARPEGGiOとは

smart G-BOOK ARPEGGiOは、スマートフォン上のコンテンツをナビに表示させ、ナビから操作することができるサービスです。
smart G-BOOK ARPEGGiOのサービスを利用するには、事前にスマートフォン用ARPEGGiOアプリをダウンロードする必要があります。



No.	名称	機能
①	コンテンツプロバイダ	スマートフォンを経由して、コンテンツをナビゲーションシステムに配信します。
②	スマートフォン	smart G-BOOK ARPEGGiOは、ナビゲーションシステム、コンテンツプロバイダ間の通信を行います。
③	アプリケーション（“アプリ”）	スマートフォンを経由して、コンテンツプロバイダより送られた画像や音楽などのコンテンツをアプリケーションプレイヤーで表示・再生します。

サービスのご利用にあたって

smart G-BOOK ARPEGGiOは日本国内向けのサービスです。
提供サービスは予告なく変更することがあります。

▶smart G-BOOK ARPEGGiOサービスは無料です。
▶smart G-BOOK ARPEGGiOのサポートサイトhttp://www.d-arpeggio.com/

知識

▶smart G-BOOK ARPEGGiOをご使用の際は、携帯電話のご契約によってはデータ使用料がかかります。サービスをご利用前に必ずご契約内容をご確認ください。
▶このサービスを利用するにはsmart G-BOOK ARPEGGiOアプリのダウンロードやスマートフォンをナビゲーションシステムへ接続する必要があります。（→**334**）
▶本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店またはhttp://toyota.jp/でご確認ください。
▶G-BOOKを携帯電話接続で契約している場合、smart G-BOOK ARPEGGiOを使用中は、同時にG-BOOKサービスがご利用できなくなります。smart G-BOOK ARPEGGiOの使用を一旦中止してからご利用ください。

個人データの初期化

smart G-BOOK ARPEGGiOで使用した個人情報を初期化することができます。（→**52**）
お車を手放す際は、必ず個人データの初期化を実施してください。
次のデータを初期設定の状態にすることができます。

- 車載機のARPEGGiO更新データ
- チェックインで利用するSNSサービス
- Music Playerの設定

知識

▶一度初期化されたデータはもとに戻せません。十分注意して初期化してください。

smart G-BOOK ARPEGGiOを使うための準備

利用手続きをする

»smart G-BOOK ARPEGGiOアプリのダウンロード

1 アプリストア（App StoreまたはGoogle Play）からスマートフォンアプリをインストールする。

▶smart G-BOOK ARPEGGiOアプリは以下からダウンロードできます。
http://www.denso.co.jp/ja/products/aftermarket/info/download/12navi.html

»使う前の準備

スマートフォンアプリを起動してログイン

1 アプリ起動後「登録」を選択。

2 利用規約を確認いただき、「規約に合意」を選択。

3 連携設定を行う場合は「連携機能設定」を、設定を後で行う場合は「スキップ」を選択。

知識

▶GAZOO ID、G-BOOK IDをすでにお持ちの方は下記の方法でご利用いただけます。（サービスの内容に変わりはありません）
- アプリ起動後「こちら」を選択
- ログイン画面が表示されるので、IDとパスワードを入力する

smart G-BOOK ARPEGGiOをカーナビで利用

1 スマートフォンを接続します。（→**334**）

2 smart G-BOOK ARPEGGiOアプリを起動する。ARPEGGiOメニュー画面が表示される。

3 画面外の MENU にタッチ。

4 Apps にタッチ。

▶初回接続時、車載機登録画面が表示されます。

5 はい にタッチ。

知識

▶G-BOOKサービスを解約された場合でも、使用していたIDとパスワードでそのままsmart G-BOOK ARPEGGiOをお使いいただけます。

▶サービスの詳細やよくあるご質問についてはサポートサイトをご覧ください。
- smart G-BOOK ARPEGGiOのサポートサイト
http://www.d-arpeggio.com/gbook/pc/

smart G-BOOK ARPEGGiOを使う

smart G-BOOK ARPEGGiOを操作する

知 識

▶画面デザインは予告なく変更する場合があります。
▶機能の追加や詳細な使い方につきましては、下記サイトでご確認ください。
●smart G-BOOK ARPEGGiOサポートサイト：http://www.d-arpeggio.com/gbook/pc/

》smart G-BOOK ARPEGGiOを起動する

1 画面外の MENU にタッチ。

2 スマートフォンのsmart G-BOOK ARPEGGiOを起動する。

3 Apps にタッチ。

知 識

▶ Apps にタッチする前に、スマートフォン側のARPEGGiOを起動させてください。
▶サーバーに最新アプリ（コンテンツの変更を含む）がアップデートされていた場合、自動的にダウンロード画面が表示されます。表示にしたがって、アップデートしてください。
アップデート中にエンジンを切っても問題ありませんが、次回ARPEGGiO起動時に再度ダウンロード画面が表示されます。

▶メニュー画面が表示されます。

No.	機　能
①	各コンテンツ（アプリ）を選択すると起動します。
②	ARPEGGiOのバージョンが確認できます。
③	お気に入り：SNSで友達がチェックインした施設や、スマートフォンで事前に登録しておいた施設を目的地に設定することができます。
④	メニュー画面に戻ります。
⑤	一つ前の画面に戻ります。

知 識

▶③、④、⑤のスイッチは、他のコンテンツでも同様に表示されます。

»お気に入りを操作する

1 メニュー画面の■にタッチ。

▶お気に入り画面が表示されます。

No.	機　能
①	各SNSまたは地点キープした登録地点を表示します。選択すると地図画面を表示し、目的地に設定することができます。
②	各SNSまたは地点キープに切り替えます。
③	最新の情報を読み込みます。

ローカルサーチ

今いる地点周辺のお店やレストランを、カテゴリ別やフリーキーワードで検索し、そのままナビの目的地として設定することができます。

»ローカルサーチを操作する

1 メニュー画面の **ローカルサーチ** にタッチ。

▶ローカルサーチ画面が表示されます。

No.	機　能
①	検索対象を現在地周辺、または全国に切り替えます。
②	フリーキーワード検索の場合、ここに入力します。
③	カテゴリ別検索の場合、ここからカテゴリを選択します。

チェックイン

mixiなどのSNSへチェックイン情報を投稿できます。
目的地に到着したらナビからチェックインして、友達と情報をシェアすることができます。

》チェックインを操作する

1 メニュー画面の チェックイン にタッチ。

▶チェックイン画面が表示されます。

▲mixiのチェックイン画面例

No.	機　能
①	現在地を中心に施設をリスト表示します。選択すると、チェックイン画面になります。
②	フリーキーワードで検索します。検索対象範囲は現在地から半径1kmの範囲内です。最大50件までリスト表示されます。
③	設定アイコン：ログインするSNSを選択します。

知識

▶初回起動時に利用するSNSサービスを選択します。
以降、この画面は表示されませんので、SNSサービスを変更する場合は、設定アイコンから変更してください。

写真deマップ

インターネット上に投稿された写真からナビの目的地を設定できます。

知識

▶写真deマップでは、写真共有サービスの設定はありません。
▶走行中はスライド表示せず、走行時点の写真が表示され続けます。

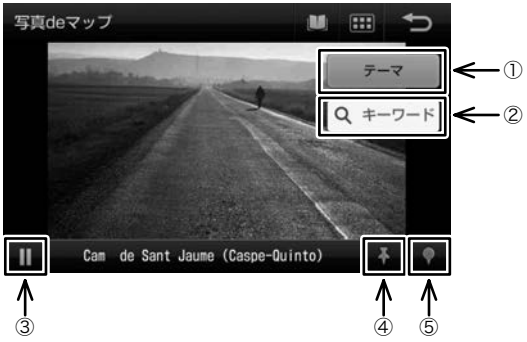
》写真deマップを操作する

1 メニュー画面の **写真deマップ** にタッチ。

▶インターネット上で共有されている写真がスライドショーで表示されます。

▲全画面表示

▶画面にタッチすると、メニューが表示されます。



▲スライド表示画面

No.	スイッチ	機　能
①	テーマ選択スイッチ	様々なジャンルのテーマを選択することができます。
②	検索バー	フリーキーワードで検索することができます。
③	一時停止／再生スイッチ	写真のスライドショーを一時停止／再生します。
④	キープスイッチ	表示している写真をお気に入り地点に登録できます。
⑤	地図スイッチ	写真の位置情報から地図を表示し、目的地に設定することができます。

▶テーマを選択したり、検索するとリスト画面が表示されます。

▲リスト画面

No.	スイッチ	機　能
①	リスト表示	検索結果を表示します。リストをタッチすると写真が表示されます。
②	キープスイッチ	表示している写真をお気に入り地点に登録できます。写真に位置情報がない場合、空欄となります。
③	地図スイッチ	写真の位置情報から地図を表示し、目的地に設定することができます。
④	スライドショースイッチ	検索結果の写真をスライドショーにします。

Music Player

スマートフォンにダウンロードした音楽をナビで再生することができ、スマートフォンと同じ操作感でお気に入りの音楽を楽しむことができます。

》Music Playerを操作する

1 メニュー画面の Music Player にタッチ。

▶Music Player再生画面が表示されます。

No.	スイッチ	機　能
①	再生画面表示スイッチ	再生画面を表示します。
②	リスト表示スイッチ	再生中のアルバムの曲リストを表示し、再生する曲を選択することができます。
③	オーディオ操作スイッチ	曲の一時停止、次の曲、前の曲を選択します。
④	リピートスイッチ	「1曲リピート」と「通常再生」を切り替えます。
⑤	シャッフルスイッチ	「シャッフル再生」と「通常再生」を切り替えます。
⑥	プレイリスト表示スイッチ	プレイリストを表示して、プレイリスト、アーティスト、曲、アルバム、ジャンルから選択することができます。

知識

▶Music Playerの画面を表示させなくても音楽再生を継続できます。
▶ナビのオーディオをOFFにする、または音楽モード（AM、FM、DISCなど）を切り替えることで再生を停止することができます。

Suono Dolce（スォーノ・ドルチェ）

ラブソング専門のインターネットラジオが楽しめます。

》Suono Dolce（スォーノ・ドルチェ）を操作する

1 メニュー画面の Suono Dolce にタッチ。

▶Suono Dolce画面が表示されます。

No.	機　能
①	現在放送中の番組名と番組内で再生される曲名、アーティスト名が表示されます。選択すると、mixi、FacebookからSNS投稿ができます。
②	現在流れている曲を含むリスト画面に戻ります。

知 識

▶Suono Dolceはラジオのため、曲を選択して再生することはできません。
▶Suono Dolceの画面を表示させなくても音楽再生を継続できます。
▶ナビのオーディオをOFFにする、または音楽モード（AM、FM、DISCなど）を切り替えることで再生を停止することができます。

e燃費

給油後にナビから給油情報を入力するだけで簡単に燃費管理ができます。

知識

▶はじめに、カーライフナビe燃費のサイト（http://carlifenavi.com/）で登録を行ってください。

»e燃費を操作する

1 メニュー画面の **e燃費** にタッチ。

▶e燃費画面が表示されます。

No.	スイッチ	機　能
①	車両切替スイッチ	複数の車両を登録している場合、車両を切り替えることができます。
②	燃費入力スイッチ	燃費入力画面に切り替わります。

▶燃費入力にタッチすると、燃費入力画面が表示されます。

No.	機　能
①	前回の入力内容から未入力の給油がある場合、「はい」を選択します。
②	ガソリン種別を選択します。
③	車のメーターから、現在の通算走行距離を入力します。
④	今回の給油量を入力します。
⑤	今回の支払い金額を入力します。
⑥	全ての入力が完了した後、送信ボタンにタッチすると入力内容が登録されます。

知 識

▶燃費確認機能については対応しておりません。スマートフォン側でご確認ください。

koukouTV

自分が写真共有サービスに保存した写真をスライドショー表示することができます。

知識

▶写真共有サービスの設定方法は、http://www.koukou.tv/をご覧ください。
▶走行中はスライド表示せず、走行時点の写真が表示され続けます。

》koukouTVを操作する

1 メニュー画面の koukouTV にタッチ。

▶写真がスライドショーで表示されます。

▲全画面表示

▶画面にタッチすると、メインメニューバーが表示されます。

▲メインメニューバー表示画面

こんなメッセージが表示されたときは

こんなメッセージが表示されたときは

》こんなメッセージが表示されたときは

smart G-BOOK ARPEGGiOを起動するときに問題が生じたときは、メッセージが表示されます。下記の表を参照いただき、正しい対応をしてください。

メッセージ	原　因	処　置
アプリのご利用には スマートフォン連携機器の登録が必要です スマートフォン連携機器を登録しますか？ はい　いいえ	「スマートフォン連携接続」の接続機器が設定されていません。	「スマートフォン連携接続」で接続する機器を設定しておく必要があります。(→**334**) はい を選択すると「スマートフォン連携接続」を設定することができます。
スマートフォン連携を有効にしている間は smart G-BOOK ARPEGGiO以外の G-BOOKサービスを利用できません スマートフォン連携を有効にしますか？ はい　いいえ	「スマートフォン連携」が無効になっています。	smart G-BOOK ARPEGGiOをご利用になるには、「スマートフォン連携」を有効に設定する必要があります。(→**336**) はい を選択すると「スマートフォン連携」が有効になり、smart G-BOOK ARPEGGiOを起動することができます。
スマートフォン連携の接続ができませんでした 安全な場所で停車した後、スマートフォンの アプリケーション状態を確認してください	スマートフォンと接続できなかったため、smart G-BOOK ARPEGGiOを起動することができませんでした。	smart G-BOOK ARPEGGiOをご利用になるにはスマートフォン用ARPEGGiOアプリを起動させておく必要があります。 お手持ちのスマートフォンで、スマートフォン用ARPEGGiOアプリを起動して、再度smart G-BOOK ARPEGGiOを起動させてください。
スマートフォンとの接続が切断されました 安全な場所で停車した後、 スマートフォンアプリの状態をご確認ください	smart G-BOOK ARPEGGiO利用中にスマートフォンを操作したことにより、スマートフォンとの接続が切断されました。	お手持ちのスマートフォンで、スマートフォン用ARPEGGiOアプリを再度起動させてください。
情報を取得できませんでした しばらくしてからもう一度お試しください OK	コンテンツプロバイダからの応答がなく、コンテンツを取得することができませんでした。	しばらくしてから、再度操作をしてみてください。
通信できませんでした しばらくしてからもう一度お試しください	●サービスエリア圏外にいる。 ●通信環境が悪い。 ●スマートフォンの通信接続状態に異常がある。 ●スマートフォンの通信設定に誤りがある。	①しばらくしてから場所を変えて、再度操作をしてみてください。 ②お使いのスマートフォンの設定を確認してください。
オペレータと通話中です 終了してからご利用ください	オペレータサービスを実行しています。	オペレータサービスが完了してから操作を行ってください。
緊急通報中です 終了してからご利用ください	緊急通報を実行しています。	緊急通報が完了してから操作を行ってください。
電話帳転送中です 終了してからご利用ください	手動で連絡先が転送されています。	連絡先の転送が完了してから操作してください。
アプリケーションを更新中です しばらくしてから再度操作してください	最新アプリにアップデート中のため、smart G-BOOK ARPEGGiOを起動することができませんでした。	アップデートが完了するまでsmart G-BOOK ARPEGGiOを利用することができません。 しばらくしてから、再度操作をしてみてください。

ご参考に

01. 参考情報 588
アフターサービスについて 588
保証について 588
バッテリーの交換について 589
バッテリー交換をする前に 589
バッテリーを交換した後に 590
お手入れについて 590
車載機のお手入れ 590
アンテナのお手入れ 590
VICS情報有料放送
サービス契約約款 591
車載機で使用できるメディア／
データについて 593
メディアについて 593
データの仕様について 597
Bluetoothについて 599
仕様 600
車載機の仕様 600
02. 索引 603

01 参考情報

アフターサービスについて

»保証について

1） 保証の内容
トヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場でトヨタ車にお取付けしたトヨタ純正商品に材料、又は製造上の不具合が発生した場合、下記に示す期間と条件に従ってこれを無償修理いたします。
（以下、この無償修理を保証修理といいます。）
保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。また、取外した不具合部品はトヨタの所有となります。

2） 保証の期間、受け方
①保証の期間
保証修理を受けられる期間は、商品をトヨタ車にお取付けした日をご使用開始日として起算し3か年間とします。
ただし、その期間内でも走行距離が60,000kmまでとします。
②保証修理の受け方
保証修理をお受けになる場合はトヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場へ自動車に取付けた状態でお持ちいただき、保証修理をお申しつけください。

3） 保証しない事項
①保証期間内でも、下記に起因する不具合は保証修理いたしません。
- トヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場以外での取付け、修理およびトヨタが認めていない改造など
- 取扱書に示す取扱い方法と異なる使用および不適切な保管などおよび地震、台風、水害などの天災並びに事故、火災

②次に示すものの費用は負担いたしません。
消耗部品および油脂類など（ヒューズ、各種電球など）
商品を使用できなかった事による不便さおよび損失など

4） 保証の適用
日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

5） その他
保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

このHDDナビゲーションの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

知 識

▶アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

バッテリーの交換について

》バッテリー交換をする前に

お車から車載機やバッテリーを取りはずした場合、一部（下記表）を除き、車載機に保存されている情報（設定）が初期化（消去）されます。お車の点検やバッテリーの交換、地図データの全更新を行う際は、ご注意ください。

■初期化されない情報

項目	内容
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
メモリ地点	登録したメモリ地点（自宅を含む）
迂回メモリ地点	登録した迂回メモリ地点
販売店の設定	設定した販売店の情報
アカウント情報	記憶させた各種ナビ設定
地上デジタルテレビ放送	プリセットスイッチに記憶されたチャンネル
HDDオーディオデータ	プレイリストデータや音楽データ
	録音の設定
Gracenoteメディア データベース更新データ	バージョンアップしたデータ
	バージョンアップ履歴
プローブ情報	アップロード条件ファイル
セキュリティ	パスワードの設定
電話帳	登録した電話帳データ
ワンタッチダイヤル	設定したワンタッチダイヤル
発信/着信履歴	記憶された発信/着信履歴
エコ機能	燃費の設定やこれまでの履歴
バックガイドモニター※	バックガイドモニターの設定

※「このナビを以前使用されていた車から新しい車へのせかえされましたか？」のメッセージに「いいえ」を選択したとき。（→392）

知識

▶一度初期化された内容は元に戻せません。ご注意ください。

»バッテリーを交換した後に

バッテリーを交換したとき（バッテリーの⊕ターミナルを接続）は、車両のエンジンスイッチをACCまたはONにするとプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込み中は絶対にバッテリーターミナルをはずさないでください。
次のように画面がかわります。

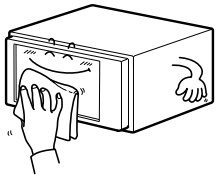
知識

▶セキュリティを設定している場合（→**58**）は、表示される画面は異なります。

お手入れについて

»車載機のお手入れ

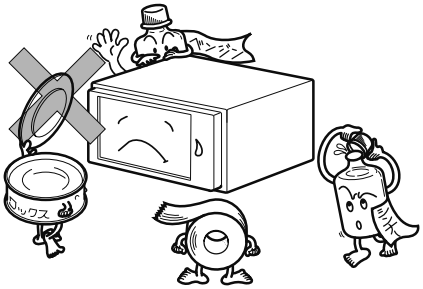
汚れをおとす場合、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。 汚れがひどい場合、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげます。



タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意下さい

▶化学ぞうきんをご使用の場合、その注意書に従ってください。

ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。



▶変質したり、塗装がはげることがあります。

»アンテナのお手入れ

▶フィルムアンテナおよびケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。表面処理を傷める原因となります。

▶一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下することがあります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

（約款の適用）

第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1)　VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2)　VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3)　加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4)　VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）

第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

(1)　文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2)　簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3)　地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）

第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契約

（契約の単位）

第6条　当センターは、VICSデスクランブラー1台 毎に1のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICSサービスの種類の変更）

第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

(1)　加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2)　加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第12条

1　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサー ビス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料金

（料金の支払い義務）

第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。 なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保守

（当センターの保守管理責任）

第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第15条

1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。 ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑則

（利用に係る加入者の義務）

第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第17条

1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。 また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表 視聴料金］

視聴料金：300円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

※この契約約款は、2013年11月1日変更時のものを掲載しています。

車載機で使用できるメディア／データについて

》メディアについて

使用できるディスク、メディアの仕様は下記の通りです。

ディスクについて

次のディスクが使用できます。

■音楽CD

ディスクの種類	
大きさ	12cm
その他のディスク	スーパーオーディオCD（SACD）はハイブリッドディスクのCD層のみ再生することができます。 CD-EXTRAは音楽CDとして再生することができます。 Mixed Mode CDは音楽トラックのみ再生することができます。

知識

- ▶CD-TEXTなど、CDのタイトルや曲名などが収録されている場合、半角25文字、全角12文字まで表示されます。収録タイトル文字数の多いCD-TEXTは表示できないことがあります。
- ▶CD-TEXT機能は市販のCD-TEXT対応CDのみ表示されます。CD-RやCD-RWのCD-TEXTは表示されないことがあります。
- ▶CD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できないことがあります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWやUDFフォーマットで書き込みされたCD-R 、CD-RWは再生することができません。
- ▶記録部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなる恐れがありますので使用しないでください。
- ▶Video-CDは再生することができません。
- ▶Dual Discには対応していません。機器の故障の原因およびディスクの出し入れの際にディスクにキズがつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- ▶CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため再生できないことがあります。

- ▶Mixed Mode CDのデータトラックの音声やDTSが混在しているMixed Mode CDは再生することができません。

■市販されているDVD

NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」のマークが表示されているディスクを使用してください。

ディスクの種類			
大きさ／再生面／最大再生時間（MPEG 2方式）	12cm／片面	1層	133分
		2層	242分
	12cm／両面	1層	266分
		2層	484分
リージョンコード			
その他のディスク	Dolby Digitalに対応しており、下のマークのついたディスクが使用できます。 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。 Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。 Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Pro Logic, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.		

■家庭で録画したDVD

ディスクの種類		
データ形式	DVD±R DVD±RW DVD±R DL	DVDビデオフォーマット（ビデオモード）
	CPRM対応DVD-R CPRM対応DVD-RW CPRM対応DVD-R DL	DVDビデオレコーディングフォーマット（VRモード）

知識

- ▶DVDビデオディスクにより、一部機能が使用できないことがあります。
- ▶Dual Discには対応していません。機器の故障の原因およびディスクの出し入れの際にディスクにキズがつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- ▶DVD±R/RW/R DL（DVD±Recordable/ReWritable/Recordable Dual Layer）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できないことがあります。また、ファイナライズ処理されていないDVD±R/RW/R DLは再生することができません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できないことがあります。

SDメモリーカードについて

次のSD メモリーカードが使用できます。

種類	
容量	8MB～2GB（SDメモリーカード）、4GB～32GB（SDHCメモリーカード）

知識

▶SDメモリーカードの特性により読み取れない場合があります。
▶MP3／WMAファイルの保存状況により、演奏時間が一致しないことがあります。（VBRのFAST UP／DOWN動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。）
▶MP3／WMAファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3／WMAファイル、フォルダが次のように表示されます。
①SDメモリーカードに記録されている状態で表示（原則書き込んだ順番で表示されますが、ファイルの削除・追加を行った場合など順番通りの表示にならない場合があります。）
②同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAが存在する場合、MP3が優先して表示
▶Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。
▶SDロゴ、SDHCロゴはSD-3C,LLCの商標です。

USBメモリについて

使用できるUSB メモリの仕様は次の通りです。

対応クラス	マスストレージクラス
ファイルシステム	FAT16、32
対応USB Ver.	USB1.1、2.0、3.0
最大ディレクトリ階層	8階層
USBメモリに保存可能なフォルダ数	512（ルート含む）
USBメモリに保存可能なファイル数	3000※

※メタデータの状況によっては少なくなります。

知識

▶USBメモリの特性により読み取れない場合があります。
▶MP3／WMAファイルの保存状況により、演奏時間が一致しないことがあります。（VBRのFAST UP／DOWN動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。）
▶MP3／WMAファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3／WMAファイル、フォルダが次のように表示されます。
①USBメモリに記録されている状態で表示（原則書き込んだ順番で表示されますが、ファイルの削除・追加を行った場合など順番通りの表示にならない場合があります。）
②同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAが存在する場合、MP3が優先して表示
▶Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

iPodについて

本機は下記のiPod®、iPod nano®、iPod classic®、iPod touch®、iPhone®を使用することができます。

Made for

- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPod classic
- iPod with video
- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (1st generation)
- iPhone 4S
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G
- iPhone

知識

▶iPodおよびiTunesは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。
著作権の侵害は法律上禁止されています。

▶iPodのファームウェアバージョンは、iPod本体で確認することができます。詳しくは、iPodの取扱説明書をご覧ください。

▶iPodの最新ファームウェアバージョンは、トヨタ自動車のホームページを参照ください。

▶iPodの機種およびファームウェアバージョンにより、正しく動作しなかったり、反応しない場合があります。

▶"Made for iPod", "Made for iPhone", mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, respectively and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Made for iPod iPhone

▶Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone may affect wireless performance.

▶iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

≫データの仕様について

使用できる音楽データの仕様は次の通りです。

MP3/WMA について

■MP3ファイル

<table>
<tr><td colspan="2">規格</td><td colspan="4">MPEG1 レイヤ3、MPEG2 LSF レイヤ3</td></tr>
<tr><td colspan="2">サンプリング周波数（kHz）</td><td colspan="4">MPEG1 レイヤ3：32／44.1／48
MPEG2 LSF レイヤ3：16／22.05／24</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビットレート（kbps）※</td><td colspan="4">MPEG1 レイヤ3：32,40,48,56,64,80,96,112,128,160,
192,224,256,320
MPEG2 LSF レイヤ3：8,16,24,32,40,48,56,64,80,96,112,
128,144,160</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャンネルモード</td><td colspan="4">●ステレオ
●ジョイントステレオ
●デュアルチャンネル
●モノラル</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ID3タグ</td><td>バージョン</td><td colspan="2">1.0、1.1</td><td colspan="2">2.2、2.3</td></tr>
<tr><td rowspan="3">項目／文字数</td><td>TITLE</td><td rowspan="3">半角30文字</td><td rowspan="3">80文字</td></tr>
<tr><td>ARTIST</td></tr>
<tr><td>ALBUM</td></tr>
<tr><td>文字</td><td colspan="2">英数字（ASCIIコード）</td><td>日本語（Unicode）</td></tr>
</table>

※ VBR（可変ビットレート）対応

■WMAファイル

<table>
<tr><td colspan="2">規格</td><td colspan="3">WMA Ver.7、8、9（9.1／9.2に対応）</td></tr>
<tr><td colspan="2">サンプリング周波数（kHz）</td><td colspan="3">32、44.1、48</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビットレート（kbps）※</td><td colspan="3">Ver.7、8：CBR48～192
Ver.9（9.1／9.2）：CBR48～320</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャンネルモード</td><td colspan="3">●ステレオ
●モノラル</td></tr>
<tr><td rowspan="5">WMAタグ</td><td>バージョン</td><td>ASF Revision1.02.02</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">項目／文字数</td><td>TITLE</td><td rowspan="3">80文字</td></tr>
<tr><td>ARTIST</td></tr>
<tr><td>ALBUM</td></tr>
<tr><td>文字</td><td colspan="2">●英数字（ASCIIコード／Unicode）
●日本語（Unicode）</td></tr>
</table>

※VBR（可変ビットレート）対応
2ch再生対応

知識

▶DRM（著作権管理Digital Rights Management）システムのWMAファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたWMAファイルは再生できません。

■CD-R/RW に記録する場合のフォーマット

<table>
<tr><td colspan="2">ディスクの種類</td><td colspan="4">●CD-R
●CD-RW（データをクイックおよび高速消去したディスクは再生できません）</td></tr>
<tr><td colspan="2">書き込み方法</td><td colspan="4">●ディスクアットワンス（推奨）
●セッションアットワンス（再生までに時間がかかる場合があります。）
●トラックアットワンス（再生までに時間がかかる場合があります。）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ディスクフォーマット</td><td colspan="4">●CD-ROM MODE1
●CD-ROM XA MODE2（Form1）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">ファイルフォーマット</td><td colspan="2">ISO9660</td><td colspan="2">拡張フォーマット</td></tr>
<tr><td>LEVEL1</td><td>LEVEL2</td><td>ROMEO形式</td><td>JOLIET形式</td></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td>フォルダ名
（最大文字数）</td><td>半角8文字</td><td>文字半角31</td><td>文字半角128文字</td><td>半角、全角64文字
(". "と拡張子を含む)</td></tr>
<tr><td>ファイル名
（最大文字数）</td><td>8.3形式</td><td>半角31文字</td><td>半角128文字
(". "を含む)</td><td>64文字</td></tr>
<tr><td>文字</td><td colspan="2">英数字（ASCIIコード）</td><td>英数字
（ASCIIコード）
日本語
（S-JISコード）</td><td>英数字
（Unicode）
日本語
（Unicode）</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大ディレクトリ階層</td><td colspan="4">8階層</td></tr>
<tr><td colspan="2">1枚のディスクに書き込み可能なフォルダ数</td><td colspan="4">192（ルート含む）</td></tr>
<tr><td colspan="2">1枚のディスクに書き込み可能なファイル数</td><td colspan="4">255（1フォルダあたり）</td></tr>
</table>

知識

▶CD-RWを消去して使用する場合、完全に消去したことを確認してから使用してください。（消去方法はライティングソフトで異なります。また、クイックおよび高速消去は使用できません。）

▶パケットライト記録ディスクには対応していません。（例えば、DirectCDなどで作成したディスクには対応していません。）

▶MP3／WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。（VBRのFAST UP／DOWN動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。）

▶MP3／WMAファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3／WMAファイル、フォルダが次のように表示されます。

①CD-R/RWに記録されている状態で表示（原則書き込んだ順番で表示されますが、ファイルの削除・追加を行った場合など順番通りの表示にならない場合があります。）

②同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAが存在する場合、MP3が優先して表示

▶Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

》Bluetoothについて

使用できるBluetoothの仕様およびプロファイルは次のとおりです。

項目	Bluetoothオーディオ	ハンズフリー	スマートフォンナビ連携
対応Bluetooth仕様	Bluetooth Specification Ver.1.1 以上（Ver.2.0+EDR 以上を推奨）		
対応Profile	●A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）：Ver.1.0、1.2 ●AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）：Ver.1.0、1.3、1.4	●HFP（Hands Free Profile）：Ver.1.0 ●OPP（Object Push Profile）：Ver.1.1 ●DUN（Dial-up Networking Profile）：Ver.1.1 ●PBAP (Phone Book Access Profile)：Ver.1.0	●SPP（Serial Port Profile）

BluetoothはBluetooth SIG,Inc.の登録商標です。
Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG所有であり、ライセンス取得者「株式会社デンソー」のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレードネームは各所有者のものです。
本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

■Bluetooth機器使用上の注意事項

▶この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記３種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

▶この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。
変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。 想定与干渉距離は10m以下です。
この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

知識

▶本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
▶本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

仕様

》車載機の仕様

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が車載機と一致しないことがありますのでご了承ください。

■テレビ・ディスプレイ

受信可能放送	地上デジタル放送
受信周波数	470～770MHz（UHF13～62チャンネル）
液晶パネル	7型ワイド（16:9）低反射パネル
画面寸法	幅158.6mm・高さ84.3mm・対角179.6mm
画素数	1,152,000個（800（H）×480（V）×3）
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	LEDバックライト
動作温度範囲	-20℃～+65℃
保存温度範囲	-40℃～+85℃

■ラジオ・チューナー部

受信周波数	AM…522～1,629kHz
	FM…76～90MHz
実用感度	AM…34dBμ以下 (S/N20dB)
	FM…14dBμ以下 (S/N30dB)
ステレオセパレーション	25dB以上

■CD部

残留歪み	0.3%以下
周波数特性	20～20,000Hz
S／N比	65dB以上（1kHz）
ステレオセパレーション	60dB以上

■SDメモリーカード部

残留歪み	0.3%以下
周波数特性	20～20,000Hz
S／N比	65dB以上（1kHz）
ステレオセパレーション	60dB以上

■DVD部

音声歪み率	0.3%以下
音声周波数特性	100～19,997Hz 0±3dB
音声信号対雑音比	65dB以上（1kHz:0dB [JIS-A]）
映像信号対雑音比	58dB以上（White 50%）

■共通部

定格出力	25W×4（4Ω、1kHz、10%THD以下）
最大出力	40W×4（試験電圧14.4V）
適合負荷インピーダンス	4Ω（各チャンネル）
消費電流	1W×4出力時…約5A 最大…約15A
外形寸法	横幅205.5mm・高さ104mm・奥行161.5mm
質量（重量）	約3.35kg

■HDD部

容量	100GB
使用温度範囲	- 20℃ ～ + 65℃

■周辺モニター★

【共通仕様】

撮像素子	1/4 インチ　カラー CMOS	ホワイトバランス方式	自動
有効画素数	約31 万画素数	自動感度調整範囲	1：1600 以上
水平解像度	300TV（中心）以上	使用温度範囲	-30 ℃ ～ +70 ℃
TV 方式	NTSC	保存温度範囲	-40 ℃ ～ +85 ℃
標準映像出力レベル	1Vp-p（75 Ω）		

【その他の仕様】

		バックガイドモニター	マルチビューバックガイドモニター
カメラ	焦点距離	f = 1.41mm	f = 0.82mm
	F 値	1：2.4	
	画角（水平、垂直）	135°、105°	190°、155°
最低被写体照度		0.71lux（25IRE）	0.7lux（25IRE）
電源電圧		DC5.7V ～ 8.4V	
消費電流（最大）		100mA	150mA
外形寸法カメラユニット（W × H × D）		約23mm × 20mm × 24mm	
質量（重量）		約25g（ケーブル除く）	

		マルチアングル全周囲モニター		
		フロントカメラ	バックカメラ	サイドカメラ
カメラ	焦点距離	f = 0.8mm		
	F 値	1：2.6		
	画角（水平、垂直）	190°、155°		
最低被写体照度		0.9lux（25IRE）		
電源電圧		DC5.7V ～ 8.4V		DC5.7V ～ 7.0V
消費電流（最大）		100mA		LED OFF 時：100mA
				LED ON 時：200mA
外形寸法カメラユニット（W × H × D）		約27mm × 22mm × 24mm		約37mm × 37mm × 24mm
質量（重量）		約30g（ケーブル除く）		約36g（ケーブル含む）

★印はオプションです。

索引

あ行

あ

アカウントde カスタマイズ 60
　設定項目 60
アクセサリ 62
　一覧 63
　確認する 64
　画面 62
　種類 62
　情報を表示する 64
　配置する 64
アングルを切り替える 237
安全・快適走行設定 167
案内画面の見方 69
案内する
　一時停止交差点 86
　学校存在 90
　逆走注意 89
　事故多発地点 88
　道路形状 87

い

インターチェンジの指定 141
インテリアマップの表示 94

う

迂回メモリ地点
　修正する 150
　消去する 151
　登録する 150

え

液晶画面について 25
エコ機能 174
　エコ情報の表示 177
　エコドライブインフォメーションの設定 179
　エネルギーモニターの表示 179
　燃費の計算 174
　ルート案内時の燃費設定 176
エラーコード（ETC/ITSスポットサービス） 430
　統一エラーコード一覧 430

お

オーディオ
　音質を調整する 216
　音量調節バー 212
　音量を調整する 215
　操作画面を表示する 214
　電源をOFFする 214
　電源をONする 214
　トラックバー 212
　モードを切り替える 214
オーディオ＆ビジュアル 209
お車を手放すとき 439
お手入れする
　アンテナ 590
　車載機 590
オペレーターサービス 527
オペレーターサービスの購入 528
音質を調整する
　オーディオ 216
音声案内する
　規制情報 193
　渋滞情報 193
音声操作システム 348
　音声操作画面 349
　音声認識スイッチ 348
　音声認識マイク 348
　基本操作 350
音声認識
　開始する 350
　コマンド一覧 359
　中止する 351
音声認識マイク 348
音声の設定を変更する 98
音声（DVD）
　切り替える 236
音量を調整する
　オーディオ 215
　縦列ガイド 387
　電話音量 457

か行

か

角度を調整する
　ディスプレイ 46

各部の名称とおもな働き 24
画質を調整する
ディスプレイ 47
DVD 238
iPod 307
VTR 310
画面切り替え時の動画表現 94
画面サイズを切り替える
ディスプレイ 49
DVD 238
iPod 308
VTR 310
画面の調整・設定 46
画面を消す 48

き
機器の初期設定 56
聞く
交通情報 222
ハードディスク (HDD) オーディオ 261
ラジオ 219
Bluetooth オーディオ 314
CD 224
iPod 303
MP3（ディスク） 227
SD メモリーカード 250
USB メモリ 296
WMA（ディスク） 227
規制情報
音声案内する 193
季節規制区間の表示 92
基本操作
音声操作システム 350
デジタルテレビ 212
ラジオ 212
Bluetooth オーディオ 212
CD 212
DVD 212
iPod 212
MP3（ディスク） 212
SD メモリーカード 212
USB メモリ 212
WMA（ディスク） 212
給油ガイドナビの表示 95
切り替える
音声（DVD） 236
字幕言語（DVD） 236
緊急警報放送（EWS) について
デジタルテレビ 290

け
携帯電話
接続する 441
登録する 440
携帯電話への情報の送信 207
携帯連携 207
県境案内 94

こ
後席ディスプレイ 326
オーディオ共通の操作をする 327
再生中の曲を操作する 329
ラジオ・デジタルテレビを操作する 330
DVD プレーヤーを操作する 331
iPod の映像を操作する 332
高速道路・都市高速道路表示 95
高速分岐案内の表示 97
交通情報
聞く 222
交通情報を表示する
VICS 190
交通ナビ関連情報 365
故障とお考えになる前に
オーディオ関係 294
ナビゲーション関係 183
ビジュアル関係 294
G-BOOK 関係 526,539
個人情報
初期化する 52

さ行

さ
削除する
ポータブル機 325
Bluetooth 携帯電話 468
作動条件一覧 23

し
施設記号
消去する 83
表示する 82

施設情報表示 506
施設内容の表示 113
車載機のスイッチ 24
車載機への情報の送信 208
写真deマップ 579
周辺情報 551
消去する
　迂回メモリ地点 151
　施設記号 83
　自宅 147
　特別メモリ 148
　メモリ地点 149
　目的地 140
　目的地履歴 144
　ワンタッチダイヤル 464
初期化する
　個人情報 52
　電話詳細設定 467
使用できるデータ
　MP3 597
　WMA 597
使用できるメディア
　CD 593
　DVD 593
　iPod 593
　SDメモリーカード 593
　USBメモリ 593
自宅
　修正する 146
　消去する 147
　登録する 146
字幕言語（DVD）
　切り替える 236
渋滞情報
　音声案内する 193
渋滞予測 548
縦列ガイド
　音量を調整する 387
縦列駐車（縦列ガイドモード） 377
縦列駐車（駐車ガイド線表示モード） 385
受信レベル表示 437

す

ステアリングスイッチ 26
　オーディオの操作 27
　共通操作 26
スマートフォン連携機能 334
　オーディオリモコンアプリを利用する 345
　使用するスマートフォンの選択 336
　自動スマートフォン接続の設定 337
　スマートフォンの登録・接続 334
　動物メータアプリを利用する 343
　NaviConアプリを利用する 341
　smart G-BOOK ARPEGGiOアプリを起動する 339
　smart G-BOOK ARPEGGiOで音楽を聞く 340
　smart G-BOOK ARPEGGiOでコンテンツを操作する 340
　smart G-BOOK ARPEGGiOの操作について 340
　smart G-BOOK ARPEGGiOを利用する 339
スライドタッチ操作について 28

せ

セキュリティ
　設定する 58
設定する
　セキュリティ 58
　ハンズフリー 440
　バックガイドモニター 386
　メンテナンス項目 168
　目的地 117
　DVDプレーヤー 238
設定を変更する
　ハンズフリー 456
　メンテナンス 170
　Bluetooth 324,471
選曲する
　ハードディスク(HDD)オーディオ 263
　Bluetoothオーディオ 315
　CD 224
　iPod 304
　MP3（ディスク） 228
　SDメモリーカード 250
　USBメモリ 297
　WMA（ディスク） 228

全ルート図表示（ルート案内中）.....134
全ルート図表示（ルート検索後）.....121

そ

走行軌跡の表示 92
ソフトウェアキーボード 36

た行

ち

チェックイン 578
近くの施設の検索..... 83
地図
　2画面表示 78
　動かす..... 74
　現在地を表示する 72
　市街図の表示 81
　縮尺を切り替える 75
　自車マークの切り替え 80
　スイッチの表示..... 73
　操作する 72
　地図/エコ情報表示..... 80
　地図/オーディオ表示..... 79
　表示色を変える..... 80
　向きを切り替える 76
　文字サイズを変える 77
地図データ
　情報を見る 186
　スケール表示について 188
　地図記号、表示について.....188
　地図データについて 186
　データベースについて 187
地図表示画面の設定..... 82
地点
　グループで絞り込む 156
　修正する 152
　登録について 145
　取り込み.....158
　取り出し 158
　編集画面について 145

つ

通過道路を指定 142
通話中の操作 453
　受話音量の調整.....454
　送話音のミュート（消音）.....454
　送話音量の調整.....454
　通話転送.....454
　割込通話（キャッチホン）の操作.....455

て

提携駐車場の検索.....114
ディスプレイ
　角度を調整する..... 46
　画質を調整する..... 47
　画面サイズを切り替える..... 49
デジタルテレビ
　映像を切り替える 288
　各種設定を切り替える 284
　基本操作.....212
　緊急警報放送（EWS)について 290
　初回起動時の設定 278
　受信したお知らせメッセージを見る 292
　地域の設定をする 290
　チャンネルを選ぶ.....281
　テレビ放送の受信方法を設定する.....284
　データ放送を操作する 286
　データ放送を見る 286
　番組表を見る 283
　番組を選ぶ 281
　プリセットモードを切り替える 282
　放送局（系列局／中継局）サーチを
　設定する 285
　見る 280
　miniB-CASカードの情報を見る.....292
　miniB-CASカードの出し入れ 277
　miniB-CASカードの動作確認をする ...292
データを取り込む
　SDメモリーカード 159
データを取り出す
　SDメモリーカード 160
電源
　入れる..... 25
　切る 25
電池残量表示 438
電話
　音声認識で発信する 451
　携帯電話本体から発信する 452
　ダイヤル発信する 443
　着信音量の調整.....453
　通話中に操作する 446
　電話帳から発信する 447
　電話を受ける 445
　電話をかける 443
　電話を切る 444
　電話を保留する.....452
　履歴から発信する 448
　履歴を削除する.....465
　ワンタッチで発信する 450

電話音量
音量を調整する ... 457
電話詳細設定
初期化する ... 467
着信画像の回転 ... 467
着信画像の表示 ... 467
着信割り込みの表示 ... 466
電話詳細設定画面の表示 ... 465
電話帳転送完了の表示 ... 466
履歴転送完了の表示 ... 466
電話帳
データを削除する ... 463
データを修正する ... 462
データを追加する ... 461
データを転送する ... 459
編集する ... 458

と

到着予想時刻・残距離表示の切り替え ... 135
登録する
迂回メモリ地点 ... 150
携帯電話 ... 440
自宅 ... 146
特別メモリ ... 147
ポータブル機 ... 317
メモリ地点 ... 148
ワンタッチダイヤル ... 463
Bluetooth携帯電話 ... 468
Gメモリ地点 ... 498
特別メモリ
修正する ... 147
消去する ... 148
登録する ... 147
動物メータの表示 ... 95
ドライブプラン ... 540

な行

な

ナビゲーションシステムの設定を変更する ... 50
エアコン切替表示 ... 51
オープニング画面 ... 54
画面のテイスト ... 55
ショートカット ... 54
操作画面継続表示 ... 51
地図表示 ... 52
トラックバー自動消去 ... 55
メンバー選択 ... 50
ナビの設定を変更する
案内表示設定 ... 165
音声 ... 165
画面の自動表示 ... 164
詳細設定 ... 163
その他の設定 ... 166
地図表示 ... 164
ルート系設定 ... 166

は行

は

ハートフル音声 ... 99
ハードディスク(HDD)オーディオ ... 253
空き容量を確認する ... 273
アルバム情報を編集する ... 268
アルバムの削除 ... 272
アルバムの中からランダムに聞く ... 264
アルバムを選ぶ ... 261
同じアルバムを繰り返し聞く ... 264
同じ曲（トラック）を繰り返し聞く ... 264
概要 ... 253
聞く ... 261
曲（トラック）の削除 ... 273
選曲する ... 263
全アルバムの中からランダムに聞く ... 264
データベースについて ... 253
データベースのバージョンを確認する ... 256
データベースを更新する ... 256
早送り、早戻し ... 263
編集する ... 265
マイベストの作成 ... 266
マイベストの編集 ... 266
録音する ... 257
録音の設定を変更する ... 258
録音を中止する ... 258
ハイウェイモードについて ... 95
ハンズフリー ... 434
準備する ... 440
設定する ... 440
設定を変更する ... 456
マイク ... 436
番組表を見る ... 283
バックガイドモニター
ガイド画面 ... 369
ガイド方法 ... 370
車庫入れ ... 370
縦列駐車（縦列ガイドモード） ... 377
縦列駐車（駐車ガイド線表示モード） ... 385
設定する ... 386
並列駐車（進路表示モード） ... 372
並列駐車（駐車ガイド線表示モード） ... 375

バックモニター 399
ガイド線表示の設定 400
バッテリー交換 589

ひ

昼画表示・夜画表示 47
手動で表示を切り替える 48
ピンポイント検索 113

ふ

ブラインドコーナーモニター/
サイドモニターシステム 404
プライバシー設定 563

へ

並列駐車（進路表示モード） 372
並列駐車（駐車ガイド線表示モード） 375

ほ

補正
距離を補正する 162
現在地を修正する 162
補正が必要なとき 162
ポータブル機
削除する 325
詳細情報を表示する 323
接続する 319
選択する 321
登録する 317

ま行

ま

マイク 436
マップオンデマンド（地図差分更新） 530
地図を更新する 536
マルチアングル全周囲モニター 411
回転表示モード 414
バックモード 412
フロントモード 411
マルチアングル全周囲モニターの
設定 414
マルチビューバックガイドモニター 393
カメラの視点切替方法 394

め

メッセージ
ナビゲーション関係 181
ビジュアル関係 293
G-BOOKオンラインサービス関係 566
smart G-BOOK ARPEGGiO関係 586
メディア
入れる 30
取り出す 30
メモリ地点
修正する 149
消去する 149
登録する 148
メンテナンス
設定する 168
設定を変更する 170
販売店を設定をする 171
メンテナンス機能とは 168

も

目的地
消去する 140
自宅を目的地に設定 119
設定する 117
追加する 139
並び替える 139
目的地案内
音声案内 126
開始する 125
中止する 126
目的地案内について 116
目的地履歴
消去する 144
目的地を検索する
携帯電話 111
施設 108
ジャンル 110
住所 108
地図の呼び出し 100
電話番号 109
マップコード 111
名称 104
履歴 112
WEB検索 501

ら行

ら

ラジオ
エリア局を表示する 222
聞く 219
基本操作 212
放送局を選ぶ 220
放送局を記憶する 221

り
リスト画面の切り替え 44
履歴を削除する 465

る
ルート学習 120
ルート探索 119
ルートの再探索 135
自動再探索 135
探索方法を選ぶ 136
ルート変更 138
画面の表示 138
探索条件の変更 138

ろ
ローカルサーチ 577

わ行

わ
ワンタッチダイヤル
消去する 464
登録する 463

アルファベット

B
Bluetooth
自動で電話機を接続する 472
設定を変更する 324,471
接続確認の案内 472
接続状態表示 438
Bluetooth オーディオ
アルバムの中からランダムに聞く 317
アルバムを選ぶ 314
一時停止する 314
同じアルバムを繰り返し聞く 316
同じ曲（トラック）を繰り返し聞く 316
各種表示について 311
聞く 314
基本操作 212
設定 317
選曲する 315
全アルバムの中からランダムに聞く 317
早送り、早戻しする 316
Bluetooth 携帯電話 434
削除する 468
詳細情報の表示 470
選択する 469
登録する 468

C
CD
聞く 224
基本操作 212
繰り返し聞く 225
再生を一時停止する 224
使用できるメディア 593
選曲する 224
早送り、早戻し 225
ランダムに聞く 225

D
DVD
一時停止する 233
音声モードの切り替え 237
画質を調整する 238
画面サイズを切り替える 238
基本操作 212
再生モードの切り替え 237
指定位置に戻る 237
使用できるメディア 593
スロー再生する 234
静止画の切り替え 234
停止する 233
早送り、早戻し 233
見たい場所を選ぶ 234
見る 232
メニュー画面を操作する 235
DVD ビデオについて 245
DVD プレーヤー
設定する 238

E
ETC 画面の使い方 427
エラーコードの表示 429
登録情報の表示 429
履歴表示 428
割込表示 428
ETC 画面の表示 427
ETC の設定（通知設定） 429
ETC マーク表示 428
ETC システム 426
ETC 割引情報 552
e 燃費 583

G
G-BOOK オンラインサービス
暗証番号の変更 561
オンラインサービス 480
各種手続き 488
各種登録・設定 556
画面の使い方 491

サポートアドレス 559
地図画面から使う 503
通信機器について 475
通信設定の変更 556
通信ロック 560
ブラウザ画面で操作する 504
ヘルプネット 510
利用案内の設定 563
利用手続き 483
CDタイトル情報取得 555
G-BOOK.comで情報をさがす 492
Gで設定画面を表示する 499
My リクエスト 494
My リクエスト編集 497
G-Security (G セキュリティ) 540
アラーム通知 543
エンジン始動通知 544
警備員の派遣 544
車両の位置追跡 544
初期設定の確認・変更 541
G-駐車場 553
GPS について 180
GPSボイスナビゲーション 68
Gメモリ地点
登録する 498
表示する 498
Gルート探索（プローブ情報付） 545
利用方法 546
G情報マーク
非表示にする 507
表示する 506

I

iPod
アルバムの中からランダムに聞く 306
同じ曲（トラック）を繰り返し聞く 306
カバーアート表示の設定を変更する 307
画質を調整する 307
画面サイズを切り替える 308
聞く 303
基本操作 212
使用できるメディア 593
選曲する 304
全アルバムの中からランダムに聞く 306
早送り、早戻し 305
ビデオ音声入力の設定を変更する 307
プレイモードを選ぶ 304
ITSスポットサービス（DSRC） 432

K

koukouTV 585

M

MP3
使用できるデータ 597
MP3（ディスク）
同じ曲を繰り返し聞く 229
同じフォルダを繰り返し聞く 229
聞く 227
基本操作 212
再生を一時停止する 227
選曲する 228
早送り、早戻し 228
フォルダの中からランダムに聞く 229
フォルダを選ぶ 227
MP3/WMAについて 230
Music Player 581

S

SDメモリーカード
同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く 251
同じフォルダを繰り返し聞く 251
聞く 250
基本操作 212
再生を一時停止する 250
使用できるメディア 593
選曲する 250
全フォルダの中からランダムに聞く 252
データを取り込む 159
データを取り出す 160
早送り、早戻し 251
パスワード設定をする 158
フォルダの切り替え 251
フォルダの中からランダムに聞く 252
MP3/WMAについて 252
smart G-BOOK ARPEGGiO 572
アプリをダウンロードする 574
起動する 575
個人データの初期化 573
写真deマップ 579
使用前の準備 574
操作する 575
チェックイン 578
利用手続き 574
ローカルサーチ 577
e燃費 583
koukouTV 585
Music Player 581
Suono Dolce（スォーノ・ドルチェ） 582

U

USBメモリ
同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く 298
同じフォルダを繰り返し聞く 298
聞く 296
基本操作 212
使用できるメディア 593
選曲する 297
全フォルダの中からランダムに聞く 299
早送り、早戻しする 298
フォルダの中からランダムに聞く 299
フォルダ（アルバム）を選ぶ 297
MP3/WMAについて 299

V

VICS
記号・表示について 206
交通情報の表示設定 192
交通情報を表示する 190
新旧ルートを比較表示 199
渋滞考慮探索 198
図形情報の表示 194
問い合わせ先 203
放送局を選ぶ 200
文字情報の表示 194
用語説明 202
割込情報の表示 195
割込情報の表示設定 197

VICS・交通情報 190

VTR
画質を調整する 310
画面サイズを切り替える 310
基本操作 212
再生する 310
見る 309
VTRモードを切り替える 310

W

WEB検索 501

WMA
使用できるデータ 597

WMA（ディスク）
同じ曲を繰り返し聞く 229
同じフォルダを繰り返し聞く 229
聞く 227
基本操作 212
再生を一時停止する 227
選曲する 228
早送り、早戻し 228
フォルダの中からランダムに聞く 229
フォルダを選ぶ 227
MP3/WMAについて 230

HDDナビゲーション　取付け記録簿

取付け販売店名および取付け店名	
取付け日	
取付け時走行キロ	
備考 （修理メモ・保証継承情報等）	

保証期間を判定する記録簿です。必ず記載し大切に保管してください。

AKB48

Team8

supported by TOYOTA

464400-3170

トヨタ自動車株式会社
株式会社デンソー

464481-3230
52900860
2016年2月発行